

令和6年度

総合計画のための市民意識調査結果報告書

川口市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の設計	3
(3) 回収結果	3
(4) 報告書の表記について	3
(5) 標本誤差について	4
2 調査回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 出生地	6
(4) 職業	6
(5) 通勤・通学先	7
(6) 家族構成	7
(7) 住居形態	8
(8) 居住年数	8
(9) 居住地域	9
第2章 調査結果	11
1 川口市の居留意向	13
(1) 居留意向	13
(2) 居留意向（性別、性・年齢別）	14
(3) 居留意向（出生地別）	15
(4) 居留意向（職業別）	15
(5) 居留意向（通勤・通学先別）	16
(6) 居留意向（家族構成別）	16
(7) 居留意向（住居形態別）	17
(8) 居留意向（居住年数別）	17
(9) 居留意向（居住地域別）	18
2 川口市に転入したきっかけ	19
(1) 川口市に転入したきっかけ	19
(2) 川口市に転入したきっかけ（性・年齢別）	21
(3) 川口市に転入したきっかけ（出生地別）	22
(4) 川口市に転入したきっかけ（居住地域別）	23
3 川口市を選んだ理由	24
(1) 川口市を選んだ理由	24
(2) 川口市を選んだ理由（性・年齢別）	26
(3) 川口市を選んだ理由（出生地別）	28
(4) 川口市を選んだ理由（居住地域別）	29

4	川口市の良いところ・好きなどころ	30
(1)	川口市の良いところ・好きなどころ	30
(2)	川口市の良いところ・好きなどころ(性・年齢別)	32
(3)	川口市の良いところ・好きなどころ(出生地別)	34
(4)	川口市の良いところ・好きなどころ(通勤・通学先別)	35
(5)	川口市の良いところ・好きなどころ(住居形態別)	36
(6)	川口市の良いところ・好きなどころ(居住地域別)	37
(7)	川口市の良いところ・好きなどころ(居留意向別)	38
5	川口市の良くないところ・嫌いなどころ	39
(1)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ	39
(2)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(性・年齢別)	41
(3)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(出生地別)	43
(4)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(通勤・通学先別)	44
(5)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(住居形態別)	45
(6)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(居住地域別)	46
(7)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(居留意向別)	47
6	川口市に住むことを勧めたいか	48
(1)	川口市に住むことを勧めたいか	48
(2)	川口市に住むことを勧めたいか(性別、性・年齢別)	49
(3)	川口市に住むことを勧めたいか(出生地別)	50
(4)	川口市に住むことを勧めたいか(通勤・通学先別)	51
(5)	川口市に住むことを勧めたいか(居住年数別)	52
(6)	川口市に住むことを勧めたいか(居住地域別)	53
7	川口市に愛着や誇りを持っているか	54
(1)	川口市に愛着や誇りを持っているか	54
(2)	川口市に愛着や誇りを持っているか(性別、性・年齢別)	55
(3)	川口市に愛着や誇りを持っているか(出生地別)	56
(4)	川口市に愛着や誇りを持っているか(通勤・通学先別)	57
(5)	川口市に愛着や誇りを持っているか(居住年数別)	58
(6)	川口市に愛着や誇りを持っているか(居住地域別)	59
8	川口市の好きな場所、もの、行事	60
(1)	川口市の好きな場所、もの、行事	60
(2)	川口市の好きな場所、もの、行事(性・年齢別)	61
(3)	川口市の好きな場所、もの、行事(通勤・通学先別)	63
(4)	川口市の好きな場所、もの、行事(居住地域別)	64
(5)	川口市の好きな場所、もの、行事(居留意向別)	65
9	川口市の状況や取り組みについての実感	66
(1)	川口市の状況や取り組みについての実感	66
(2)	川口市の状況や取り組みについての実感(性・年齢別)	72
(3)	川口市の状況や取り組みについての実感(居住地域別)	76

10	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	78
	（1）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	78
	（2）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）	81
	（3）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）	82
	（4）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）	84
11	川口市の都市整備に対する満足度	85
	（1）川口市の都市整備に対する満足度	85
	（2）川口市の都市整備に対する満足度（性・年齢別）	86
	（3）川口市の都市整備に対する満足度（居住地域別）	87
12	消火器設置の有無	88
	（1）消火器設置の有無	88
	（2）消火器設置の有無（性別、性・年齢別）	89
	（3）消火器設置の有無（居住地域別）	90
13	市の行政情報を確認する方法	91
	（1）市の行政情報を確認する方法	91
	（2）市の行政情報を確認する方法（性・年齢別）	92
	（3）市の行政情報を確認する方法（居住地域別）	93
14	市に関する欲しい情報	94
	（1）市に関する欲しい情報	94
	（2）市に関する欲しい情報（性・年齢別）	95
	（3）市に関する欲しい情報（居住地域別）	97
15	スポーツ等の頻度	98
	（1）スポーツ等の頻度	98
	（2）スポーツ等の頻度（性別、性・年齢別）	99
	（3）スポーツ等の頻度（居住地域別）	100
16	協働によるまちづくりの認知度	101
	（1）協働によるまちづくりの認知度	101
	（2）協働によるまちづくりの認知度（性別、性・年齢別）	102
	（3）協働によるまちづくりの認知度（居住地域別）	103
17	協働によるまちづくりの参加状況	104
	（1）協働によるまちづくりの参加状況	104
	（2）協働によるまちづくりの参加状況（性別、性・年齢別）	105
	（3）協働によるまちづくりの参加状況（居住地域別）	106
18	協働によるまちづくりへの参加意向	107
	（1）協働によるまちづくりへの参加意向	107
	（2）協働によるまちづくりへの参加意向（性別、性・年齢別）	108
	（3）協働によるまちづくりへの参加意向（居住地域別）	109
19	協働によるまちづくりに参加したい理由	110
	（1）協働によるまちづくりに参加したい理由	110
	（2）協働によるまちづくりに参加したい理由（性・年齢別）	111
	（3）協働によるまちづくりに参加したい理由（居住地域別）	112

20	協働によるまちづくりに参加したくない理由	113
	(1) 協働によるまちづくりに参加したくない理由	113
	(2) 協働によるまちづくりに参加したくない理由 (性・年齢別)	114
	(3) 協働によるまちづくりに参加したくない理由 (居住地域別)	115
21	「ごみ有料化」の賛否	116
	(1) 「ごみ有料化」の賛否	116
	(2) 「ごみ有料化」の賛否 (性別、性・年齢別)	117
	(3) 「ごみ有料化」の賛否 (居住地域別)	118
22	「ごみ有料化」の際の負担の許容額	119
	(1) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額	119
	(2) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額 (性別、性・年齢別)	120
	(3) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額 (居住地域別)	121
23	ごみ処理費用を抑えるために必要な行動	122
	(1) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動	122
	(2) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動 (性・年齢別)	123
	(3) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動 (居住地域別)	124
24	「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害の認知度	125
	(1) 「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害の認知度	125
	(2) 「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害の認知度 (性別、性・年齢別)	126
	(3) 「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害の認知度 (居住地域別)	127
25	「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害者の有無	128
	(1) 「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害者の有無	128
	(2) 「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害者の有無 (性別、性・年齢別)	129
	(3) 「化学物質過敏症 (香害)」の健康被害者の有無 (居住地域別)	130
26	「化学物質過敏症 (香害)」による健康被害の原因	131
	(1) 「化学物質過敏症 (香害)」による健康被害の原因	131
	(2) 「化学物質過敏症 (香害)」による健康被害の原因 (性・年齢別)	132
	(3) 「化学物質過敏症 (香害)」による健康被害の原因 (居住地域別)	133
27	他人とのつながりの認識状況	134
	(1) 他人とのつながりの認識状況	134
	(2) 他人とのつながりの認識状況 (性・年齢別)	135
	(3) 他人とのつながりの認識状況 (居住地域別)	136
28	近所の困っている方に「あなたができること」	137
	(1) 近所の困っている方に「あなたができること」	137
	(2) 近所の困っている方に「あなたができること」 (性・年齢別)	138
	(3) 近所の困っている方に「あなたができること」 (居住地域別)	140
29	「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」	141
	(1) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」	141
	(2) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」 (性・年齢別)	142
	(3) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」 (居住地域別)	144

30	生きがいの有無	145
	(1) 生きがいの有無	145
	(2) 生きがいの有無(性別、性・年齢別)	146
	(3) 生きがいの有無(居住地域別)	147
31	家族や友人・知人以外の相談相手の有無	148
	(1) 家族や友人・知人以外の相談相手の有無	148
	(2) 家族や友人・知人以外の相談相手の有無(性別、性・年齢別)	149
	(3) 家族や友人・知人以外の相談相手の有無(居住地域別)	150
32	希望する介護	151
	(1) 希望する介護	151
	(2) 希望する介護(性別、性・年齢別)	152
	(3) 希望する介護(居住地域別)	153
33	「終活」の認知度	154
	(1) 「終活」の認知度	154
	(2) 「終活」の認知度(性別、性・年齢別)	155
	(3) 「終活」の認知度(居住地域別)	156
34	「終活」の実施状況	157
	(1) 「終活」の実施状況	157
	(2) 「終活」の実施状況(性別、性・年齢別)	158
	(3) 「終活」の実施状況(居住地域別)	159
35	生物多様性の重要性の認知度	160
	(1) 生物多様性の重要性の認知度	160
	(2) 生物多様性の重要性の認知度(性別、性・年齢別)	161
	(3) 生物多様性の重要性の認知度(居住地域別)	162
36	生物多様性の保全のために必要な施策	163
	(1) 生物多様性の保全のために必要な施策	163
	(2) 生物多様性の保全のために必要な施策(性・年齢別)	164
	(3) 生物多様性の保全のために必要な施策(居住地域別)	165
37	SDGsの認知度	166
	(1) SDGsの認知度	166
	(2) SDGsの認知度(性別、性・年齢別)	167
	(3) SDGsの認知度(居住地域別)	168
38	SDGsの取り組み	169
	(1) SDGsの取り組み	169
	(2) SDGsの取り組み(性別、性・年齢別)	170
	(3) SDGsの取り組み(居住地域別)	171
第3章 調査結果の分析		173
1	川口市の特徴	175
2	川口市の課題	178
参考資料(調査票・単純集計結果)		179

第1章 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本意識調査は、「川口市総合計画」に基づいて様々な施策を実施している、市のまちづくりに対する市民の評価や意見を伺い、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするため実施しました。

(2) 調査の設計

- ① 調査地域 川口市全域
- ② 調査対象 川口市に住民登録している満 18 歳以上の市民
- ③ 対象人数 5,000 人
- ④ 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ⑤ 調査時期 令和6年8月13日(火)～9月2日(月)
- ⑥ 調査方法 郵送配付－郵送回収またはインターネット回答

(3) 回収結果

配付数	回収数	有効回収数	有効回答率
5,000 件	1,745 件	1,744 件	34.9%

(4) 報告書の表記について

- ① 調査結果の回答比率はすべて百分率(%)で表しており、その質問の回答者数を基数として、百分率の小数第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超えます。
- ③ グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表します。
- ④ 属性別のクロス集計では、属性項目の無回答を除いて集計しているため、属性の各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合があります。例えば年齢別の場合、年齢を回答していない人がいるため、年齢別の合計が「全体」の回答数になりません。そのほかの設問間クロス集計においても同様となります。
- ⑤ 回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、nが30未満の回答は参考として示すにとどめています。
- ⑥ 表中の記号の意味は、以下の通りです。

全体値より	☆：15.1ポイント以上高い	★：15.1ポイント以上低い
	○：10.1～15ポイント高い	●：10.1～15ポイント低い
	△：5.1～10ポイント高い	▲：5.1～10ポイント低い

(5) 標本誤差について

本調査は、調査対象となる母集団(川口市に住民登録している満18歳以上の市民)から一部を抽出した標本(サンプル)の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っています。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがあります。

標本誤差は下式で統計学的に得られ、①比率算出の基数(n) ②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。(信頼度は95%とします)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \doteq \pm 1.96 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

(N:母集団(川口市の18歳以上の人口)、n:比率算出の基数(回答者数)、p:回答の比率)

今回の調査では、n=1,744、ある回答(調査結果)が20%(p=0.2)の場合、標本誤差は

$$\pm 1.96 \sqrt{\frac{0.2 \times 0.8}{1,744}} \doteq \pm 0.0188$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±1.88%の範囲内(18.12%~21.88%)にあることとなります。同様に計算したものが下表です。

【標本誤差早見表 (主なもの)】

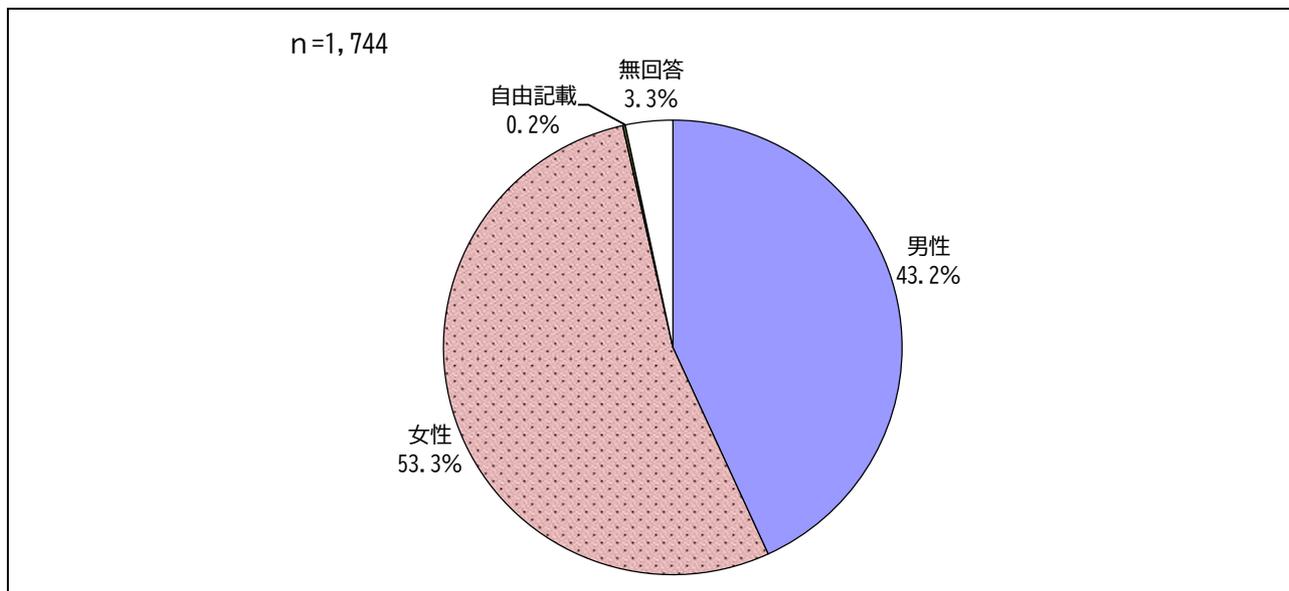
n \ p	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,744	±1.41	±1.88	±2.15	±2.30	±2.35
1,000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
300	±3.39	±4.53	±5.19	±5.54	±5.66
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

2 調査回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が43.2%、「女性」が53.3%と、「女性」が「男性」を10.1ポイント上回っています。

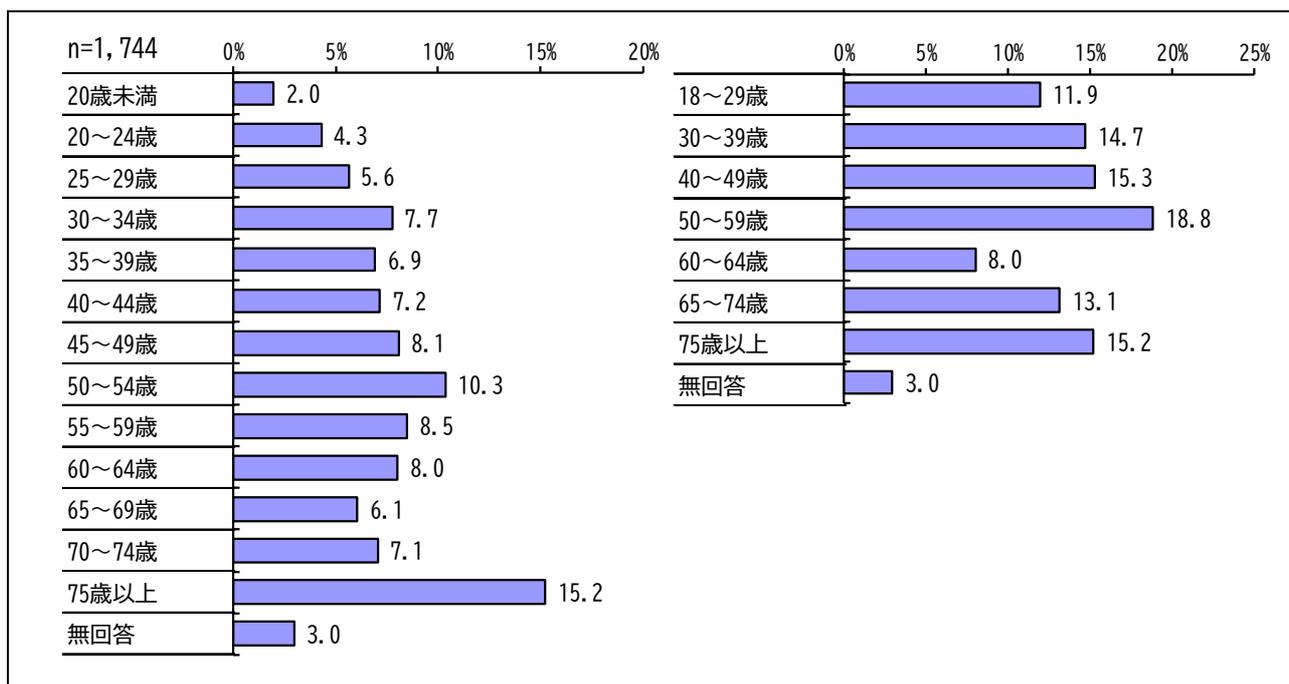
【F 1 性別】



(2) 年齢

回答者の年齢は、「75歳以上」が15.2%で1割半ば、「50～54歳」が10.3%で約1割となっています。

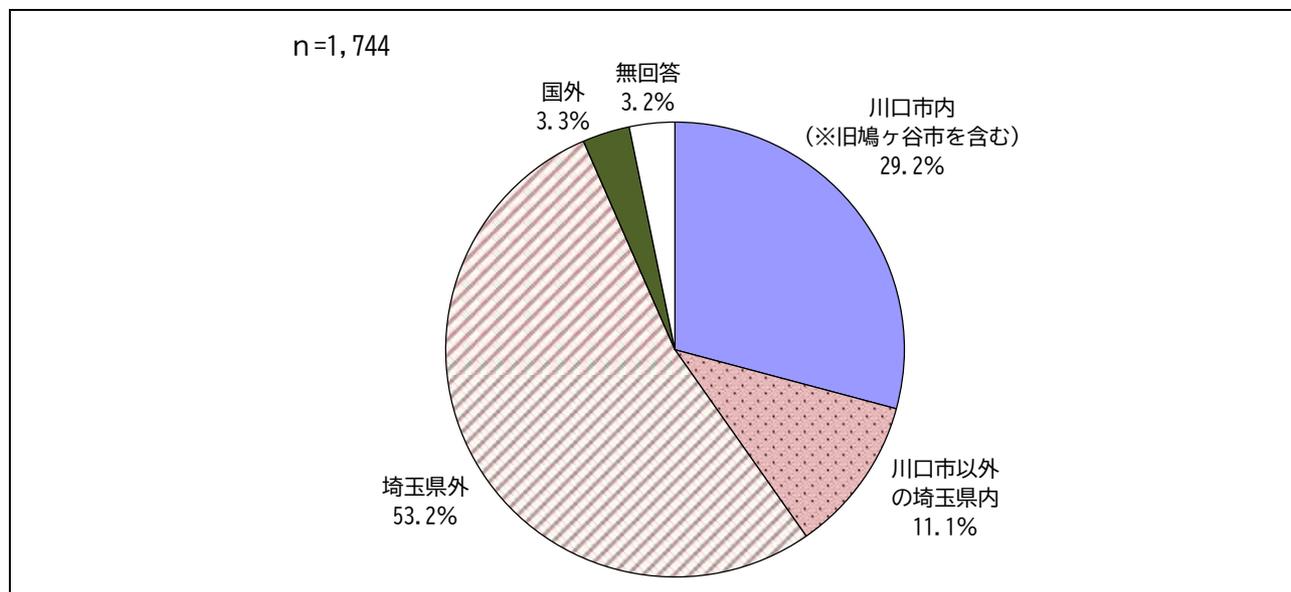
【F 2 年齢】



(3) 出生地

回答者の出生地は、「埼玉県外」が53.2%と5割を超えており、「川口市内(※旧鳩ヶ谷市を含む)」が29.2%と約3割が続いています。

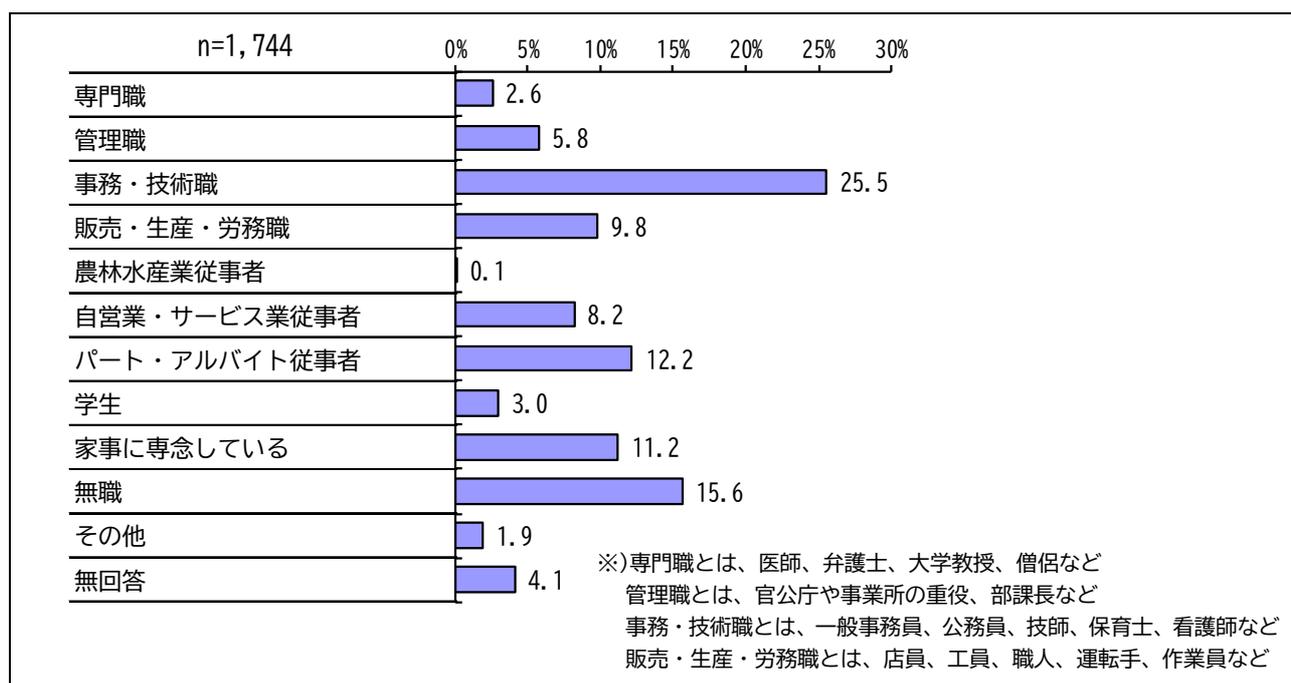
【F3 出生地】



(4) 職業

回答者の職業は、「事務・技術職(一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など)」が25.5%で2割半ばと最も高く、「無職」が15.6%、「パート・アルバイト従事者」が12.2%、「家事に専念している」が11.2%で1割台が続いています。

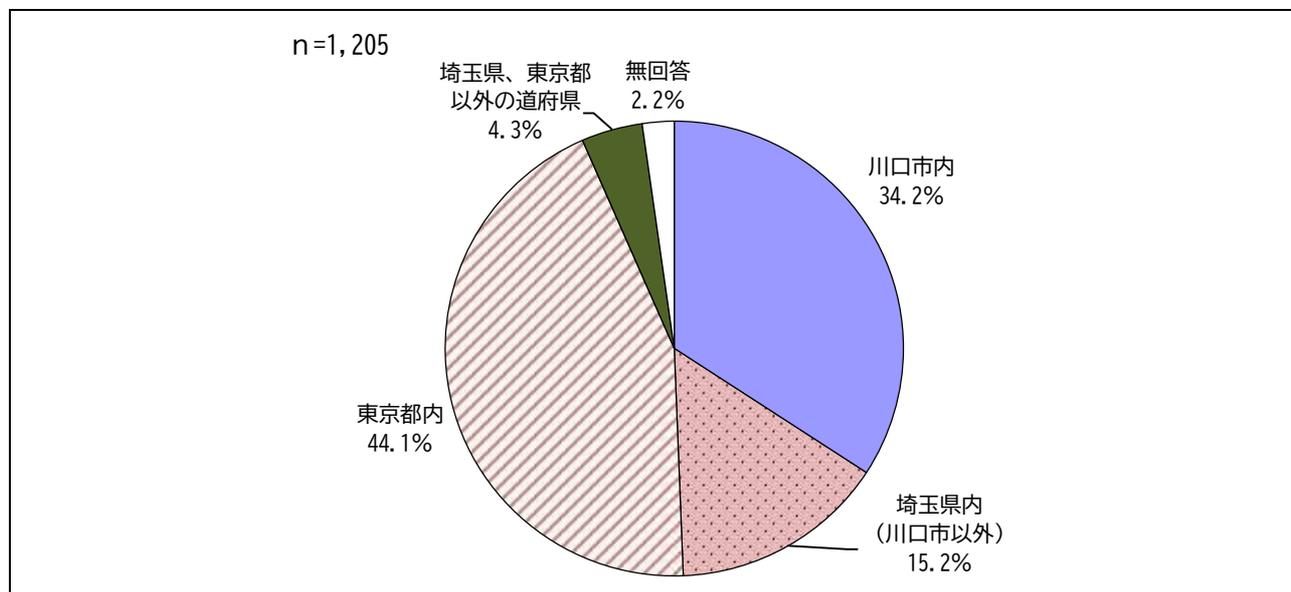
【F4 職業】



(5) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「東京都内」が44.1%と4割半ば近くを占めており、「川口市内」が34.2%と3割半ば近くで続いています。

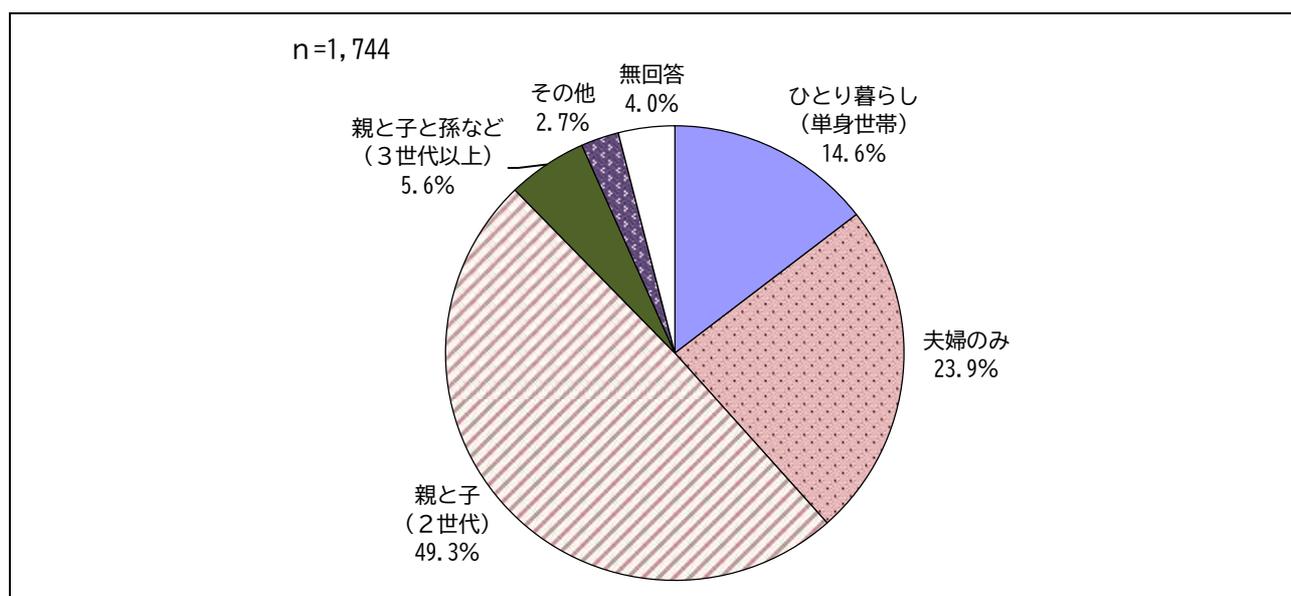
【F 5 通勤・通学先】



(6) 家族構成

回答者の家族構成は、「親と子(2世代)」が49.3%と約5割を占めており、「夫婦のみ」が23.9%、「ひとり暮らし(単身世帯)」が14.6%と続いています。

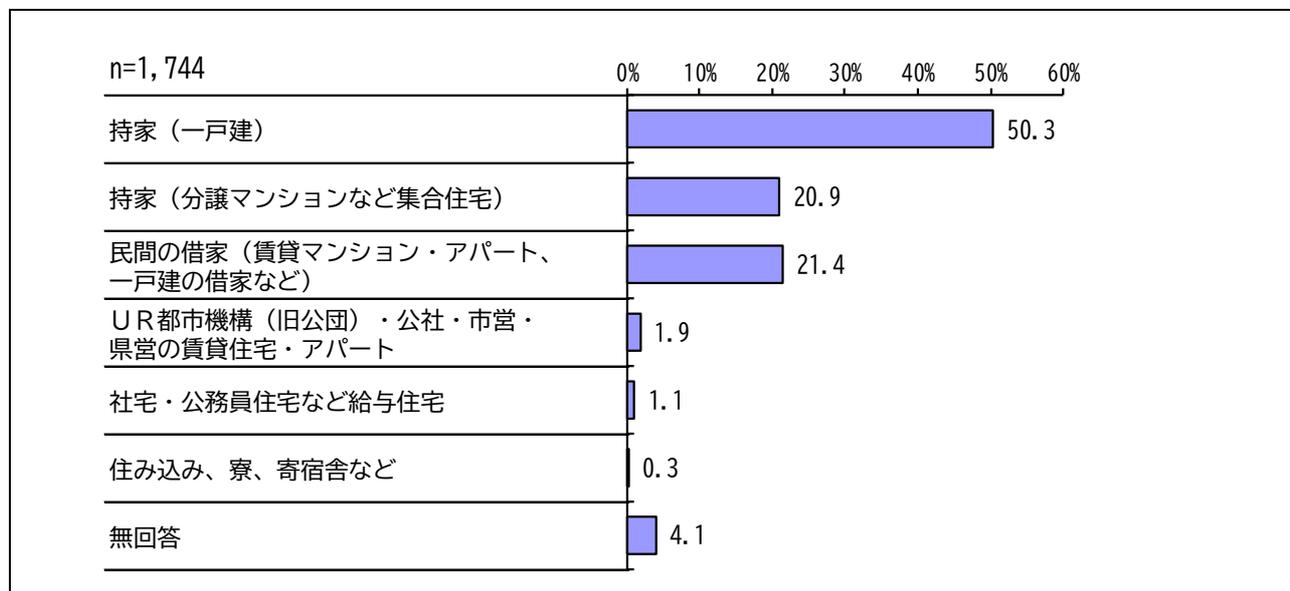
【F 6 家族構成】



(7) 住居形態

回答者の住居形態は、「持家(一戸建)」が50.3%と5割を占めて最も高く、「民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)」が21.4%、「持家(分譲マンションなど集合住宅)」が20.9%と2割程度で続いています。

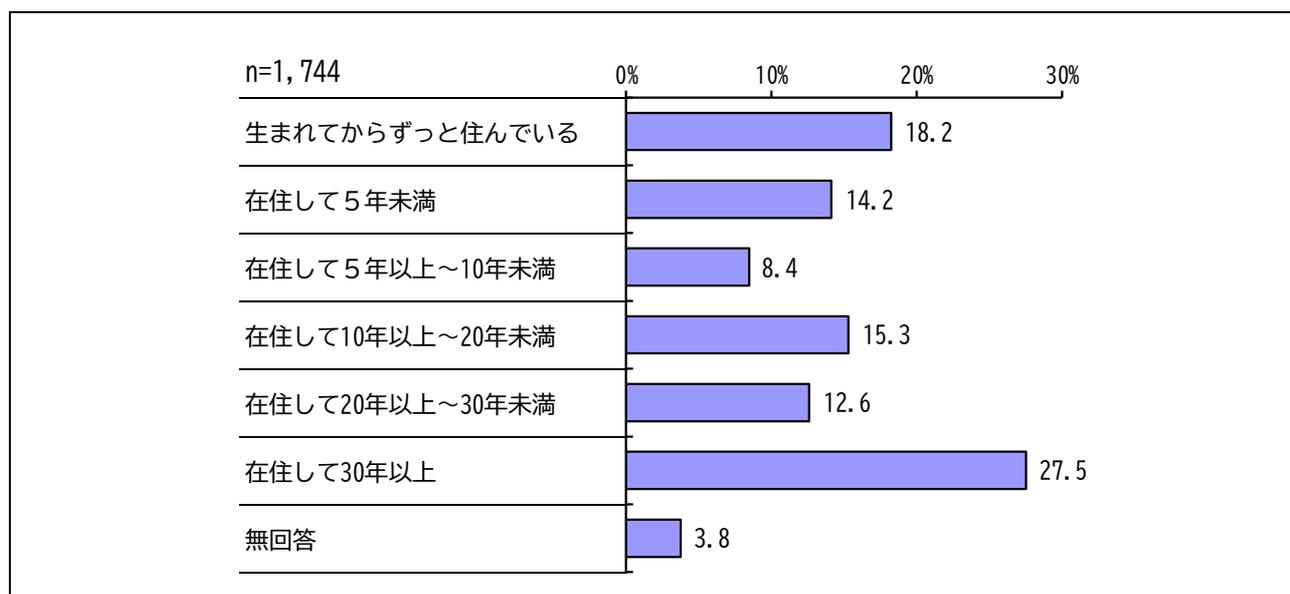
【F7 住居形態】



(8) 居住年数

回答者の居住年数は、「在住して30年以上」が27.5%と2割半ばを超えて最も高く、「生まれてからずっと住んでいる」が18.2%、「在住して10年以上～20年未満」が15.3%、「在住して5年未満」が14.2%と続いています。

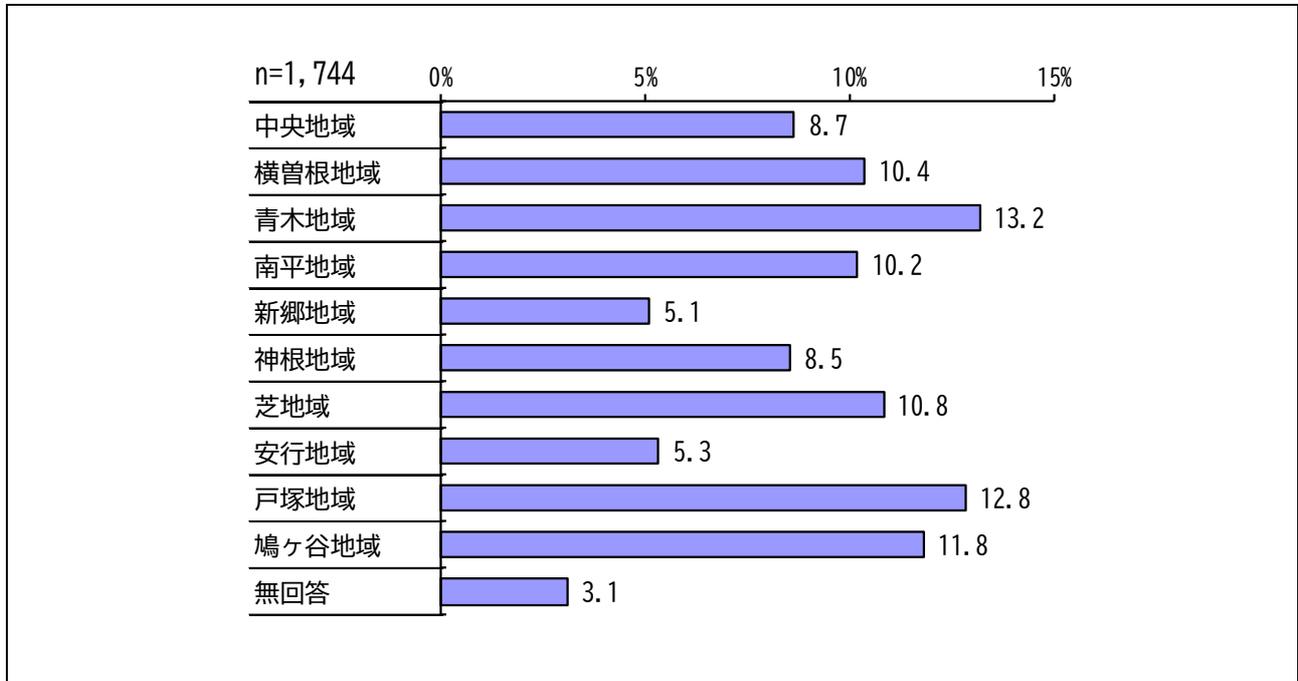
【F8 居住年数】



(9) 居住地域

回答者の居住地域は、「青木地域」が13.2%、「戸塚地域」が12.8%、「鳩ヶ谷地域」が11.8%、「芝地域」が10.8%、「横曽根地域」が10.4%、「南平地域」が10.2%で1割を超えています。

【F9 居住地域】



第2章 調査結果

1 川口市の居住意向

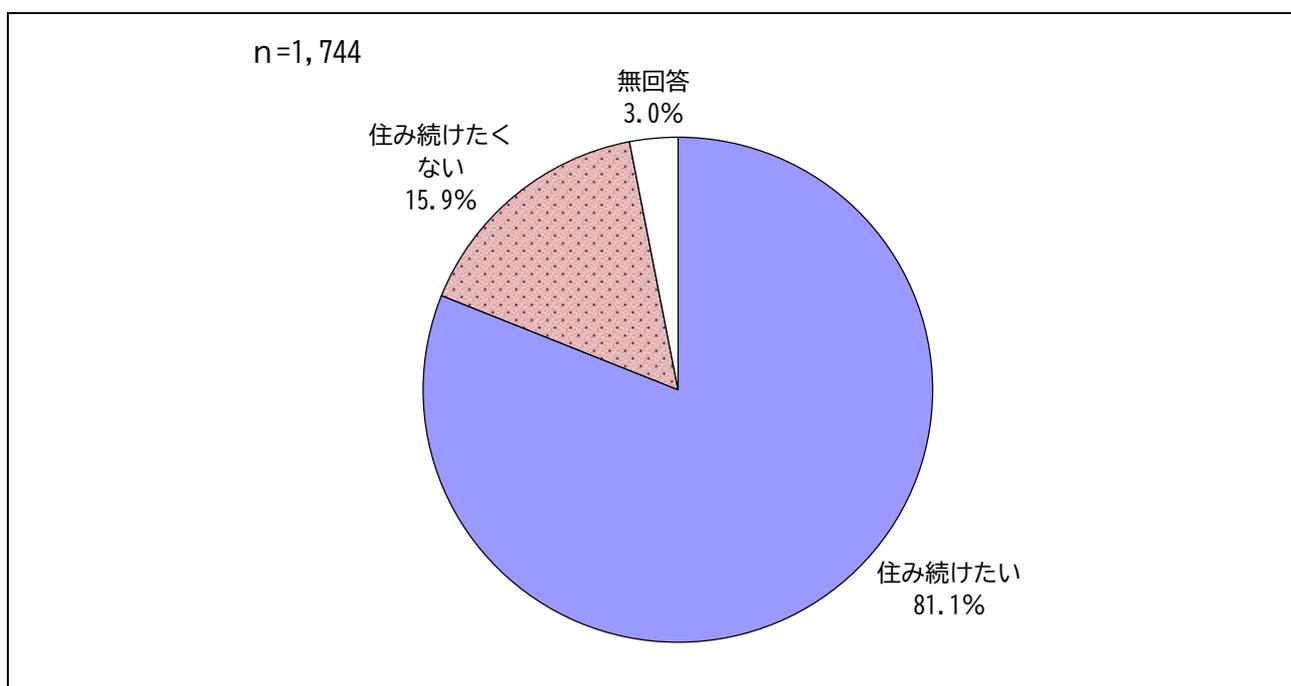
(1) 居住意向

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

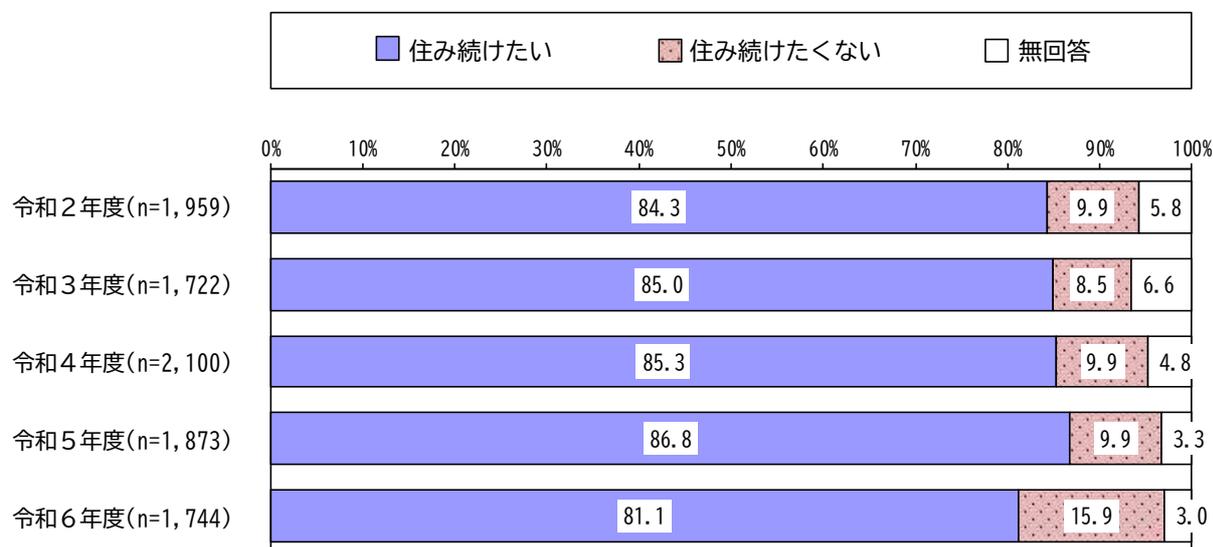
川口市の居住意向は、「住み続けたい」が81.1%で8割を超えており、「住み続けたくない」は15.9%で1割半ばとなっています。

居住意向の推移をみると令和5年度と比べ、「住み続けたい」は5.7ポイント減少しており、反対に「住み続けたくない」は6.0ポイント増加しています。

【居住意向（全体）】



【居住意向の推移】



(2) 居住意向（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女ともに60歳以上で8割半ばを超えており、特に男性60～64歳(88.9%)、男性75歳以上(88.0%)、女性60～64歳(88.1%)、女性65～74歳(89.6%)、女性75歳以上(89.1%)で約9割と高くなっています。

一方、「住みたくない」は男性18～29歳(28.0%)、女性18～29歳(29.8%)で約3割を占めて高くなっています。

【居住意向（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体		1,744	81.1	15.9	3.0
男性		753	81.5	15.8	2.7
女性		930	81.0	15.9	3.1
自由記載		3	★ 33.3	☆ 66.7	0.0
男性	18～29歳	82	▲ 72.0	○ 28.0	0.0
	30～39歳	117	76.1	20.5	3.4
	40～49歳	129	76.7	△ 22.5	0.8
	50～59歳	139	83.5	15.1	1.4
	60～64歳	72	△ 88.9	11.1	0.0
	65～74歳	113	△ 86.7	▲ 8.0	5.3
	75歳以上	100	△ 88.0	● 5.0	7.0
女性	18～29歳	124	● 68.5	○ 29.8	1.6
	30～39歳	134	▲ 73.9	△ 21.6	4.5
	40～49歳	136	79.4	19.1	1.5
	50～59歳	189	80.4	17.5	2.1
	60～64歳	67	△ 88.1	▲ 10.4	1.5
	65～74歳	115	△ 89.6	● 5.2	5.2
	75歳以上	165	△ 89.1	▲ 6.1	4.8

(3) 居住意向（出生地別）

出生地別にみると、「住み続けたい」は国外(94.8%)で9割半ばと高くなっています。

【居住意向（出生地別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
川口市内	509	82.3	13.4	4.3
川口市以外の埼玉県内	194	79.4	18.6	2.1
埼玉県外	927	79.8	17.6	2.6
国外	58	○ 94.8	● 5.2	0.0

(4) 居住意向（職業別）

職業別にみると、「住み続けたい」は無職(87.1%)、管理職(85.1%)で8割半ばを超えて高くなっています。

一方、「住み続けたくない」は学生(25.0%)で2割半ばを占めており、事務・技術職(22.0%)、専門職(20.0%)も2割以上となっています。

【居住意向（職業別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
専門職	45	77.8	20.0	2.2
管理職	101	85.1	14.9	0.0
事務・技術職	445	76.4	△ 22.0	1.6
販売・生産・労務職	171	80.1	18.7	1.2
農林水産業従事者	2	★ 50.0	☆ 50.0	0.0
自営業・サービス業従事者	143	76.9	19.6	3.5
パート・アルバイト従事者	212	84.0	13.7	2.4
学生	52	▲ 71.2	△ 25.0	3.8
家事に専念している	195	84.6	▲ 10.8	4.6
無職	272	△ 87.1	▲ 7.0	5.9
その他	34	79.4	14.7	5.9

(5) 居住意向（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「住み続けたくない」は東京都内(21.7%)と埼玉県内(川口市以外)(21.3%)で2割を超えています。

【居住意向（通勤・通学先別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
川口市内	412	82.0	15.5	2.4
埼玉県内（川口市以外）	183	76.5	△ 21.3	2.2
東京都内	531	77.0	△ 21.7	1.3
埼玉県、東京都以外の道府県	52	82.7	13.5	3.8

(6) 居住意向（家族構成別）

家族構成別にみると、「住み続けたい」、「住み続けたくない」ともに大きな差はありませんでした。

【居住意向（家族構成別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
ひとり暮らし（単身世帯）	254	79.9	16.9	3.1
夫婦のみ	416	82.7	14.7	2.6
親と子（2世代）	860	80.6	16.3	3.1
親と子と孫など（3世代以上）	98	84.7	14.3	1.0
その他	47	78.7	17.0	4.3

(7) 居住意向（住居形態別）

住居形態別にみると、「住み続けたくない」は民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）（26.0%）で2割半ばを超えています。

【居住意向（住居形態別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
持家（一戸建）	878	84.9	11.4	3.8
持家（分譲マンションなど集合住宅）	365	82.2	15.6	2.2
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	373	▲ 72.1	○ 26.0	1.9
UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート	33	▲ 75.8	18.2	6.1
社宅・公務員住宅など給与住宅	19	▲ 73.7	○ 26.3	0.0
住み込み、寮、寄宿舍など	5	★ 60.0	☆ 40.0	0.0

(8) 居住意向（居住年数別）

居住年数別にみると、「住み続けたい」は在住して30年以上（86.8%）で8割半ばを超えて高くなっています。

一方、「住み続けたくない」は在住して5年未満（28.7%）、在住して10年以上～20年未満（21.7%）で2割台となっています。

【居住意向（居住年数別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
生まれてからずっと住んでいる	318	81.8	14.2	4.1
在住して5年未満	247	● 69.2	○ 28.7	2.0
在住して5年以上～10年未満	147	81.0	18.4	0.7
在住して10年以上～20年未満	267	77.5	△ 21.7	0.7
在住して20年以上～30年未満	220	84.5	13.2	2.3
在住して30年以上	479	△ 86.8	▲ 8.1	5.0

(9) 居住意向（居住地域別）

居住地域別にみると、「住み続けたい」は青木地域(87.4%)で8割半ばを超えて高くなっています。一方、「住み続けたくない」は、芝地域(22.2%)で2割を超えて高くなっています。

【居住意向（居住地域別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,744	81.1	15.9	3.0
中央地域	151	80.1	18.5	1.3
横曽根地域	181	81.2	15.5	3.3
青木地域	230	△ 87.4	▲ 10.4	2.2
南平地域	178	80.3	15.2	4.5
新郷地域	89	84.3	11.2	4.5
神根地域	149	76.5	17.4	6.0
芝地域	189	77.2	△ 22.2	0.5
安行地域	93	81.7	16.1	2.2
戸塚地域	224	81.3	16.5	2.2
鳩ヶ谷地域	206	82.5	15.5	1.9

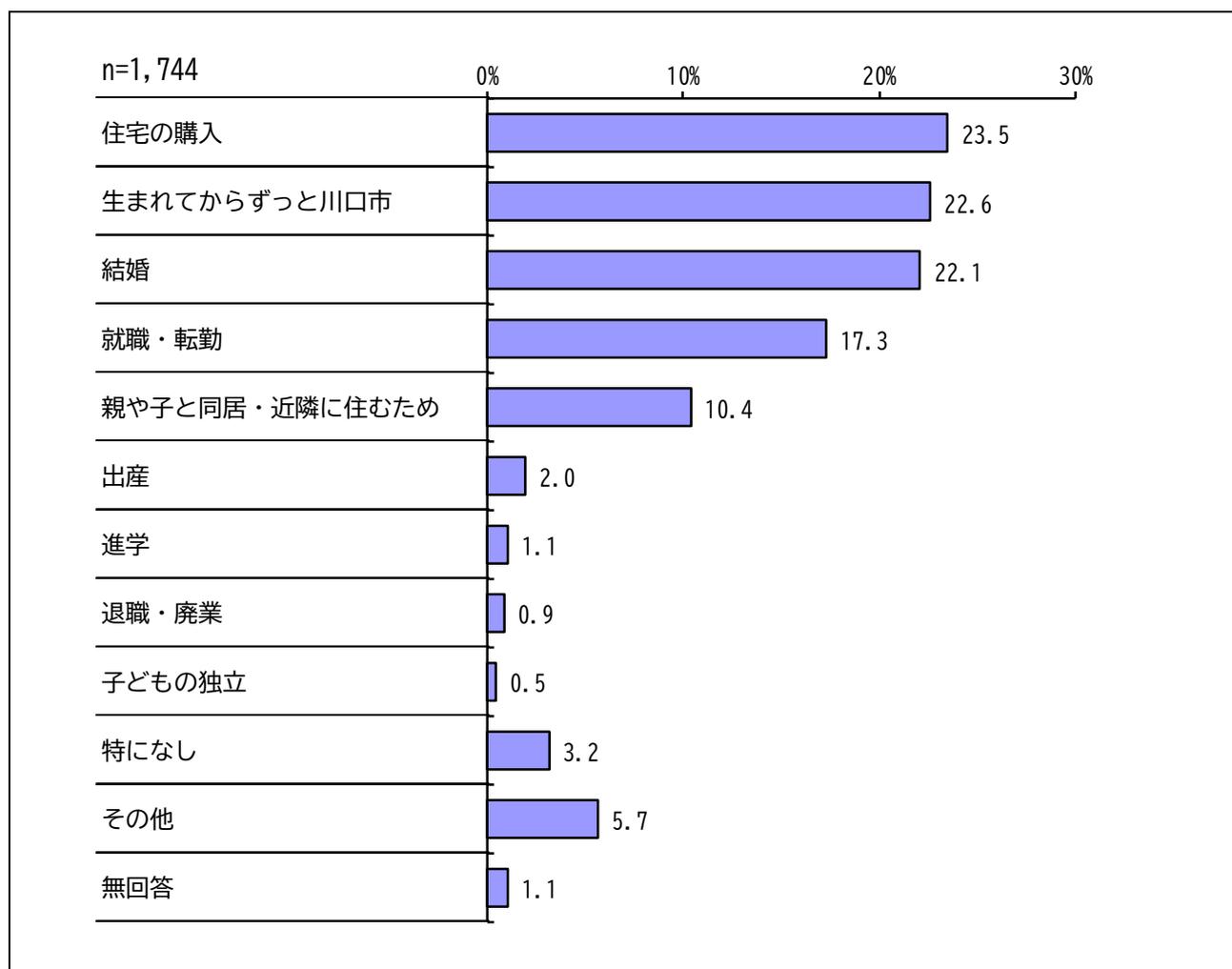
2 川口市に転入したきっかけ

(1) 川口市に転入したきっかけ

問2 あなたが直前に住んでいた市区町村から転入したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

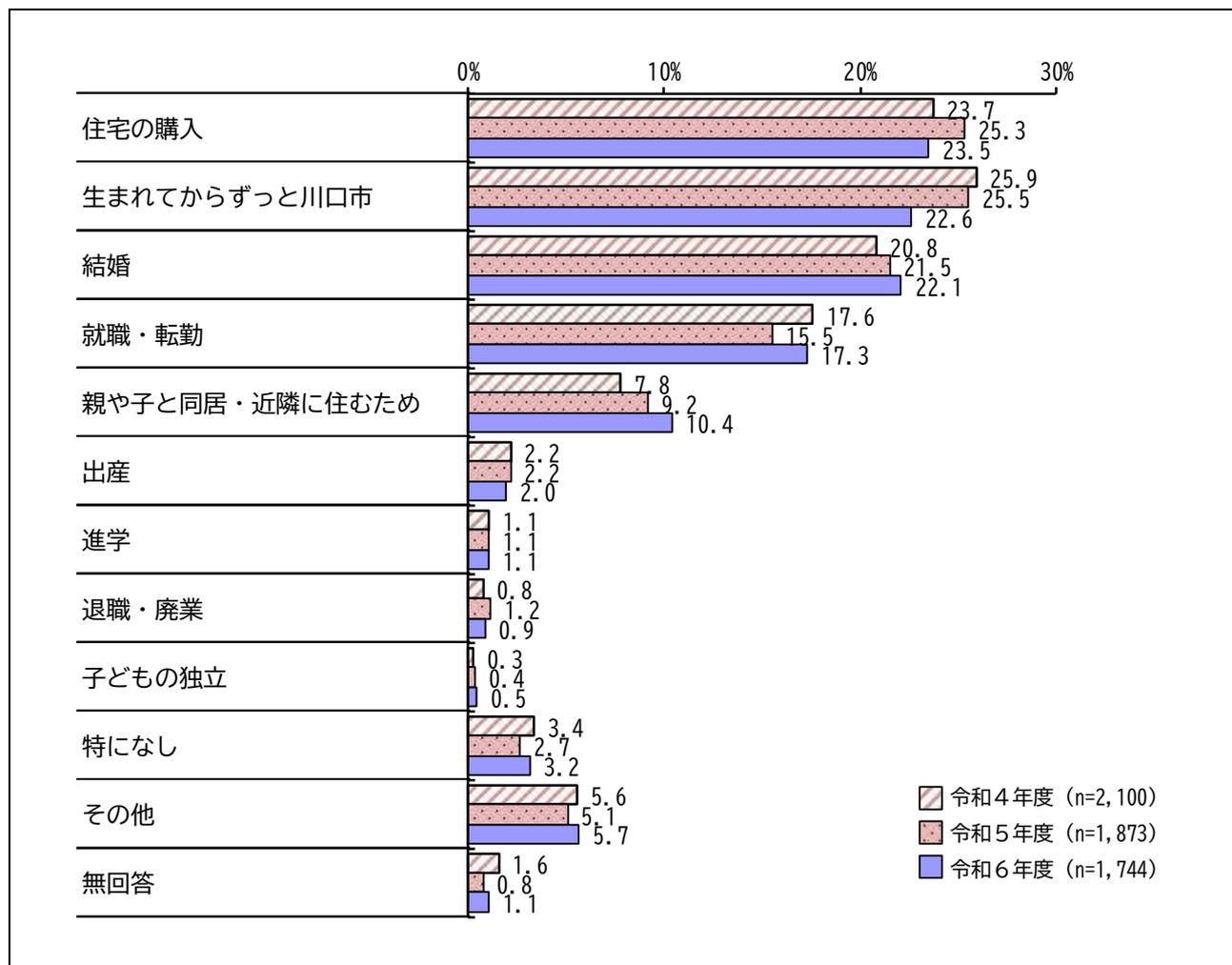
川口市に転入したきっかけは、「住宅の購入」が23.5%、「生まれてからずっと川口市」が22.6%、「結婚」が22.1%と2割台が続いています。

【川口市に転入したきっかけ（全体）】



川口市に転入したきっかけの推移をみると、令和5年度と比べ、「生まれてからずっと川口市」が2.9ポイント減少しています。

【川口市に転入したきっかけの推移】



(2) 川口市に転入したきっかけ (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「住宅の購入」は男性75歳以上(41.0%)で4割を超えて高くなっています。

「生まれてからずっと川口市」は男性18～29歳(45.1%)で4割半ばと最も高く、女性18～29歳(41.1%)も4割を超えて高くなっています。

【川口市に転入したきっかけ (男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
住宅の購入	23.5	★ 4.9	23.1	22.5	25.9	△ 33.3	○ 34.5	☆ 41.0
生まれてからずっと川口市	22.6	☆ 45.1	19.7	21.7	20.1	19.4	21.2	21.0
結婚	22.1	● 7.3	▲ 12.8	20.2	25.2	▲ 13.9	▲ 13.3	★ 6.0
就職・転勤	17.3	△ 23.2	○ 29.1	○ 27.9	19.4	19.4	15.9	18.0
親や子と同居・近隣に住むため	10.4	8.5	9.4	8.5	13.7	12.5	10.6	11.0
出産	2.0	1.2	6.0	0.8	0.7	0.0	0.9	1.0
進学	1.1	1.2	4.3	2.3	0.7	1.4	0.0	0.0
退職・廃業	0.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	2.0
子どもの独立	0.5	0.0	0.9	0.0	0.7	2.8	0.0	0.0
特になし	3.2	2.4	3.4	4.7	1.4	2.8	6.2	2.0
その他	5.7	6.1	2.6	3.9	6.5	4.2	2.7	10.0
無回答	1.1	0.0	0.9	0.8	0.0	1.4	3.5	3.0

【川口市に転入したきっかけ (女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
住宅の購入	23.5	● 8.9	● 13.4	20.6	21.7	28.4	25.2	△ 32.1
生まれてからずっと川口市	22.6	☆ 41.1	26.9	18.4	21.7	17.9	18.3	● 11.5
結婚	22.1	● 9.7	23.9	○ 36.0	△ 30.2	△ 28.4	○ 33.0	△ 30.9
就職・転勤	17.3	19.4	△ 22.4	▲ 8.8	13.8	● 6.0	14.8	▲ 7.9
親や子と同居・近隣に住むため	10.4	10.5	9.0	8.8	9.0	14.9	13.0	10.9
出産	2.0	2.4	4.5	5.1	1.1	1.5	0.9	0.6
進学	1.1	2.4	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.6
退職・廃業	0.9	0.8	0.0	0.0	0.5	1.5	0.0	2.4
子どもの独立	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.2
特になし	3.2	3.2	1.5	5.1	2.1	4.5	4.3	3.0
その他	5.7	4.8	6.7	4.4	7.4	7.5	4.3	7.3
無回答	1.1	0.8	1.5	0.7	0.5	0.0	0.9	1.2

(3) 川口市に転入したきっかけ（出生地別）

出生地別にみると、「住宅の購入」は埼玉県外(31.5%)と国外(29.3%)で3割前後を占めて高くなっています。

「生まれてからずっと川口市」は川口市内(67.4%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「結婚」は川口市以外の埼玉県内(39.2%)で4割近くと最も高く、埼玉県外(26.5%)で2割半ばを超えています。

「就職・転勤」は埼玉県外(24.1%)と国外(22.4%)で2割を超えています。

【川口市に転入したきっかけ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	川口市内 (n=509)	川口市以外 の埼玉県内 (n=194)	埼玉県外 (n=927)	国外 (n=58)
住宅の購入	23.5	★ 7.9	25.8	△ 31.5	△ 29.3
生まれてからずっと川口市	22.6	☆ 67.4	★ 6.2	★ 3.0	★ 0.0
結婚	22.1	● 8.3	☆ 39.2	26.5	19.0
就職・転勤	17.3	● 4.7	17.0	△ 24.1	△ 22.4
親や子と同居・近隣に住むため	10.4	9.4	12.4	10.7	10.3
出産	2.0	1.6	2.6	2.0	3.4
進学	1.1	0.0	0.0	1.5	△ 8.6
退職・廃業	0.9	0.2	1.0	1.1	1.7
子どもの独立	0.5	0.0	0.0	0.9	0.0
特になし	3.2	1.8	3.6	3.6	△ 10.3
その他	5.7	2.4	3.6	7.8	6.9
無回答	1.1	2.0	0.5	0.8	0.0

(4) 川口市に転入したきっかけ（居住地域別）

居住地域別にみると、「住宅の購入」は戸塚地域(29.5%)と中央地域(28.5%)で3割近くと高くなっています。

「生まれてからずっと川口市」は新郷地域(29.2%)と青木地域(29.1%)で約3割と高くなっています。

「就職・転勤」は中央地域(24.5%)で2割半ばを占めて最も高くなっています。

【川口市に転入したきっかけ（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
住宅の購入	23.5	28.5	21.0	▲ 14.8	21.3	27.0	26.8	21.7	25.8	△ 29.5	25.7
生まれてからずっと川口市	22.6	▲ 13.2	▲ 15.5	△ 29.1	27.0	△ 29.2	26.2	18.5	26.9	19.6	23.8
結婚	22.1	22.5	21.5	25.7	22.5	19.1	▲ 16.1	23.8	17.2	20.5	25.7
就職・転勤	17.3	△ 24.5	19.9	14.8	16.3	▲ 9.0	15.4	19.6	▲ 9.7	21.4	15.5
親や子と同居・近隣に住むため	10.4	8.6	11.0	10.0	6.2	11.2	10.7	10.1	12.9	14.3	10.2
出産	2.0	2.6	1.7	3.0	0.6	3.4	0.0	1.1	0.0	3.1	3.4
進学	1.1	4.0	1.7	0.9	0.0	0.0	0.7	1.6	1.1	1.3	0.5
退職・廃業	0.9	0.7	0.6	0.0	2.8	1.1	0.7	0.5	1.1	0.9	1.0
子どもの独立	0.5	0.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	1.1	1.1	0.4	0.0
特になし	3.2	4.6	5.5	3.9	2.8	3.4	2.0	4.2	4.3	1.8	1.0
その他	5.7	2.0	5.5	4.8	5.6	5.6	6.0	9.0	7.5	4.9	6.8
無回答	1.1	0.7	1.7	1.3	1.1	0.0	3.4	1.1	1.1	0.4	0.5

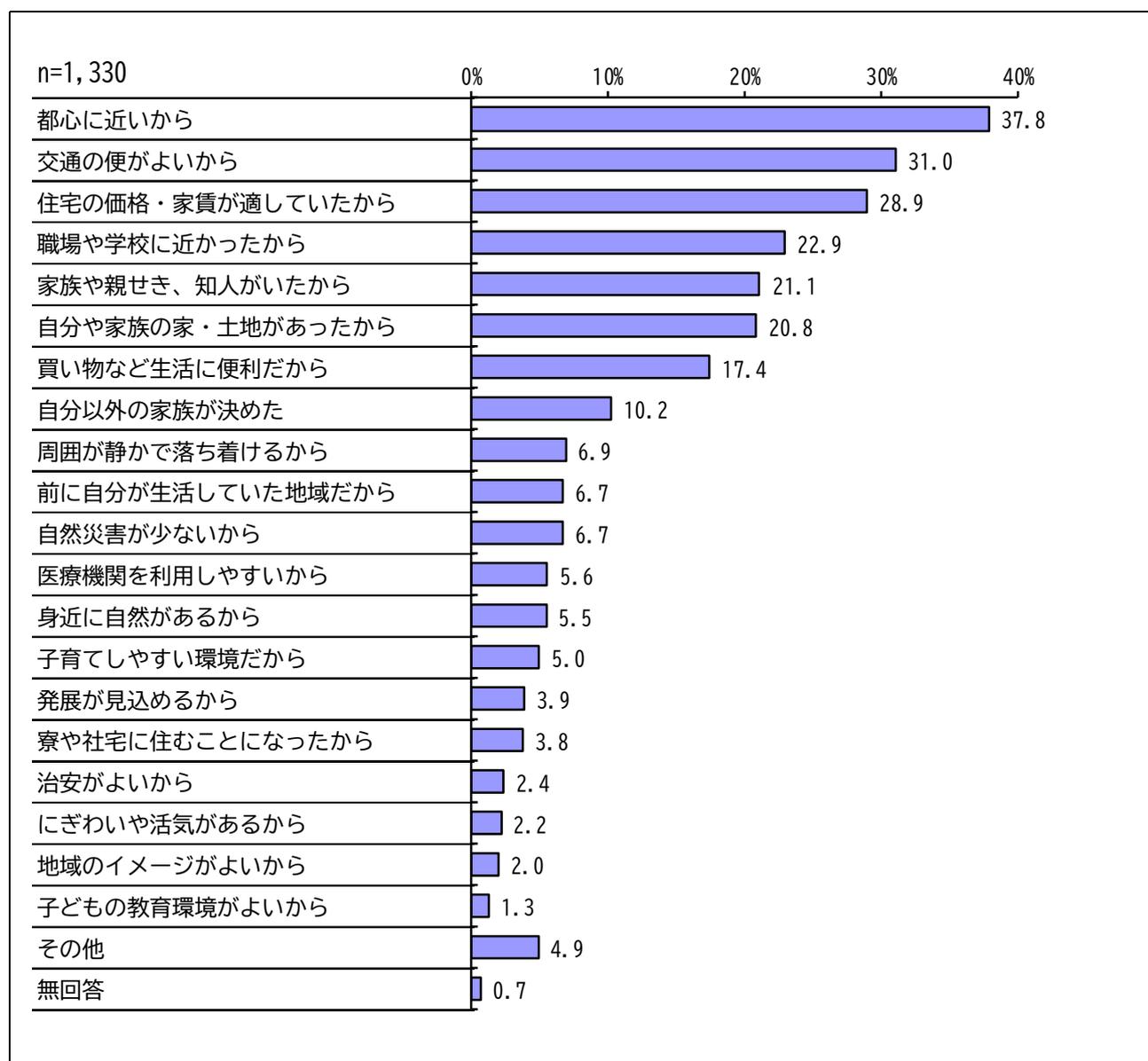
3 川口市を選んだ理由

(1) 川口市を選んだ理由

問3 あなたが川口市を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

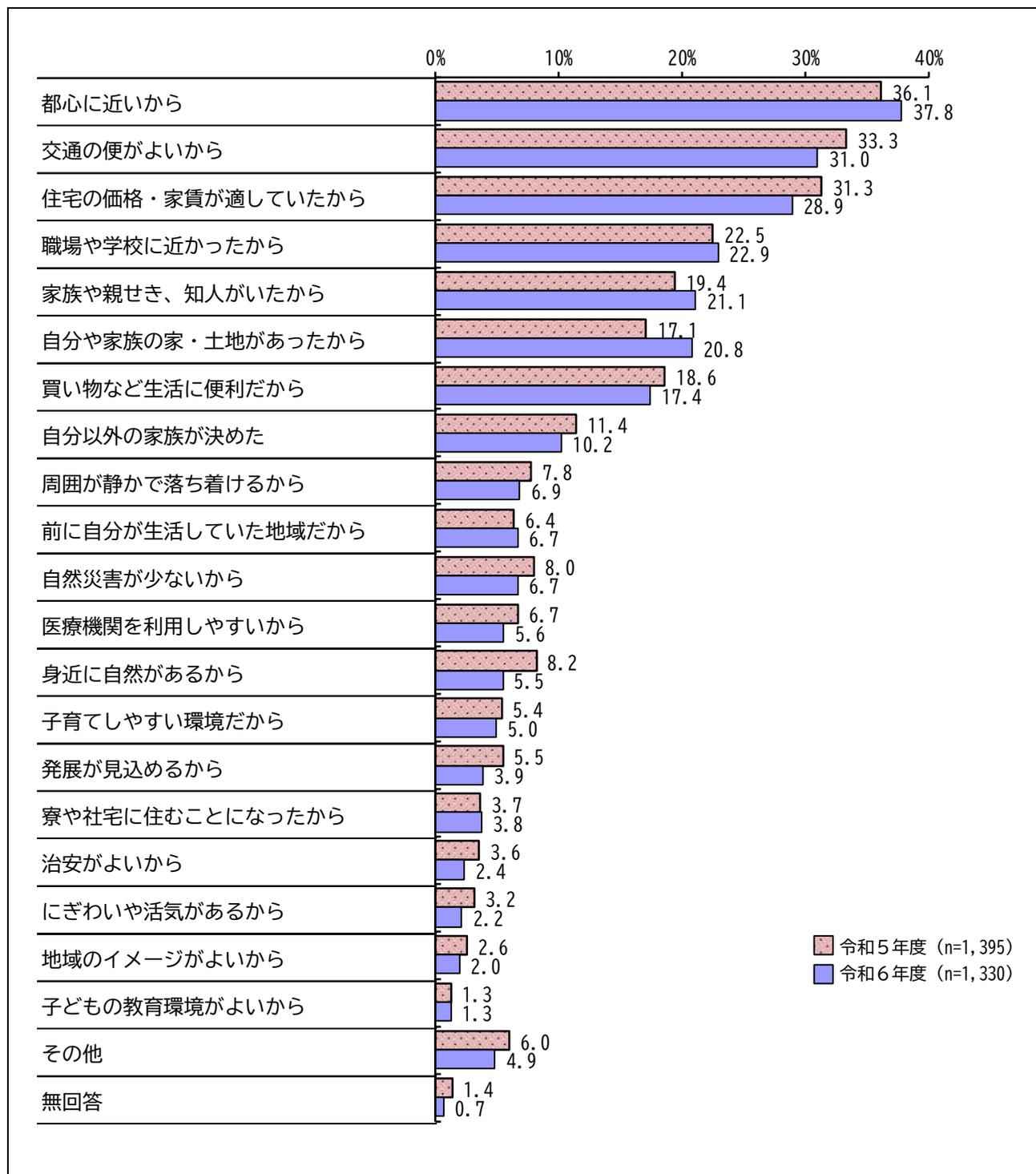
川口市に転入したきっかけで「生まれてからずっと川口市」以外と回答した1,330人の川口市を選んだ理由は、「都心に近いから」が37.8%で3割半ばを超えて最も高く、「交通の便がよいから」が31.0%、「住宅の価格・家賃が適していたから」が28.9%、「職場や学校に近かったから」が22.9%と続いています。

【川口市を選んだ理由（全体）】



川口市に転入したきっかけの推移をみると、令和5年度と比べ、「自分や家族の家・土地があったから」が3.7ポイント増加しています。

【川口市を選んだ理由の推移】



(2) 川口市を選んだ理由（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「都心に近いから」は男性30～39歳(49.5%)で約5割と最も高く、男性60～64歳(47.4%)と男性40～49歳(47.0%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「交通の便がよいから」は男性40～49歳(42.0%)、男性30～39歳(41.9%)、女性40～49歳(40.0%)で4割以上と高くなっています。

「住宅の価格・家賃が適していたから」は男性30～39歳(39.8%)、男性40～49歳(38.0%)、女性30～39歳(35.4%)で3割半ばを超えて高くなっています。

【川口市を選んだ理由（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,330)	男性 (%)						
		18～29歳 (n=45)	30～39歳 (n=93)	40～49歳 (n=100)	50～59歳 (n=111)	60～64歳 (n=57)	65～74歳 (n=85)	75歳以上 (n=76)
都心に近いから	37.8	▲ 28.9	○ 49.5	△ 47.0	△ 43.2	△ 47.4	41.2	38.2
交通の便がよいから	31.0	26.7	○ 41.9	○ 42.0	△ 38.7	29.8	28.2	▲ 23.7
住宅の価格・家賃が適していたから	28.9	● 17.8	○ 39.8	△ 38.0	33.3	33.3	30.6	32.9
職場や学校に近かったから	22.9	△ 31.1	△ 29.0	○ 35.0	20.7	▲ 17.5	△ 29.4	26.3
家族や親せき、知人がいたから	21.1	17.8	20.4	▲ 15.0	22.5	▲ 14.0	23.5	19.7
自分や家族の家・土地があったから	20.8	▲ 13.3	▲ 14.0	▲ 12.0	21.6	19.3	▲ 15.3	21.1
買い物など生活に便利だから	17.4	13.3	21.5	16.0	△ 24.3	14.0	17.6	▲ 9.2
自分以外の家族が決めた	10.2	○ 22.2	5.4	▲ 5.0	▲ 0.9	7.0	11.8	5.3
周囲が静かで落ち着けるから	6.9	4.4	4.3	5.0	3.6	△ 12.3	5.9	10.5
前に自分が生活していた地域だから	6.7	2.2	10.8	8.0	10.8	7.0	4.7	▲ 1.3
自然災害が少ないから	6.7	4.4	3.2	3.0	4.5	3.5	7.1	△ 15.8
医療機関を利用しやすいから	5.6	2.2	3.2	3.0	8.1	1.8	3.5	6.6
身近に自然があるから	5.5	▲ 0.0	▲ 0.0	3.0	6.3	7.0	4.7	6.6
子育てしやすい環境だから	5.0	2.2	6.5	4.0	3.6	5.3	4.7	1.3
発展が見込めるから	3.9	0.0	4.3	4.0	8.1	1.8	4.7	6.6
寮や社宅に住むことになったから	3.8	△ 13.3	4.3	5.0	2.7	3.5	5.9	3.9
治安がよいから	2.4	0.0	1.1	0.0	2.7	0.0	1.2	6.6
にぎわいや活気があるから	2.2	2.2	3.2	1.0	1.8	1.8	2.4	2.6
地域のイメージがよいから	2.0	0.0	1.1	2.0	0.0	△ 8.8	2.4	2.6
子どもの教育環境がよいから	1.3	0.0	0.0	1.0	0.0	1.8	3.5	2.6
その他	4.9	2.2	1.1	3.0	6.3	5.3	3.5	3.9
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	1.3

【川口市を選んだ理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,330)	女性						
		18～29歳 (n=72)	30～39歳 (n=96)	40～49歳 (n=110)	50～59歳 (n=147)	60～64歳 (n=55)	65～74歳 (n=93)	75歳以上 (n=144)
都心に近いから	37.8	● 26.4	40.6	39.1	38.8	● 27.3	▲ 30.1	▲ 28.5
交通の便がよいから	31.0	30.6	35.4	△ 40.0	27.2	● 20.0	▲ 22.6	▲ 21.5
住宅の価格・家賃が適していたから	28.9	27.8	△ 35.4	30.9	▲ 23.8	30.9	● 17.2	● 16.7
職場や学校に近かったから	22.9	△ 30.6	○ 34.4	22.7	▲ 17.7	● 10.9	▲ 16.1	● 11.8
家族や親せき、知人がいたから	21.1	23.6	24.0	25.5	17.7	23.6	△ 28.0	20.1
自分や家族の家・土地があったから	20.8	16.7	20.8	24.5	△ 29.3	△ 29.1	△ 29.0	20.8
買い物など生活に便利だから	17.4	15.3	△ 24.0	△ 23.6	17.0	14.5	15.1	13.2
自分以外の家族が決めた	10.2	△ 16.7	11.5	5.5	10.9	10.9	11.8	△ 18.1
周囲が静かで落ち着けるから	6.9	6.9	5.2	6.4	8.2	10.9	7.5	7.6
前に自分が生活していた地域だから	6.7	8.3	10.4	8.2	4.8	7.3	5.4	4.9
自然災害が少ないから	6.7	▲ 0.0	5.2	2.7	4.1	5.5	△ 12.9	○ 17.4
医療機関を利用しやすいから	5.6	4.2	5.2	4.5	4.1	▲ 0.0	△ 10.8	△ 11.1
身近に自然があるから	5.5	1.4	3.1	4.5	4.1	5.5	9.7	△ 13.9
子育てしやすい環境だから	5.0	2.8	9.4	8.2	5.4	1.8	7.5	3.5
発展が見込めるから	3.9	1.4	4.2	3.6	2.7	7.3	2.2	3.5
寮や社宅に住むことになったから	3.8	5.6	1.0	0.0	3.4	1.8	5.4	2.1
治安がよいから	2.4	1.4	1.0	1.8	1.4	0.0	3.2	5.6
にぎわいや活気があるから	2.2	1.4	0.0	6.4	2.7	0.0	1.1	2.8
地域のイメージがよいから	2.0	0.0	1.0	0.9	1.4	0.0	2.2	4.9
子どもの教育環境がよいから	1.3	2.8	2.1	1.8	0.0	0.0	2.2	0.0
その他	4.9	2.8	6.3	7.3	6.1	9.1	2.2	6.3
無回答	0.7	0.0	0.0	0.9	2.0	0.0	0.0	2.1

(3) 川口市を選んだ理由（出生地別）

出生地別にみると、「都心に近いから」は国外(41.4%)と埼玉県外(40.9%)で4割を超えています。

「交通の便がよいから」は国外(41.4%)で4割を超えて高くなっています。

「住宅の価格・家賃が適していたから」は埼玉県外(32.2%)で3割を超えて高くなっています。

「職場や学校に近かったから」は国外(36.2%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「家族や親せき、知人がいたから」は川口市内(35.9%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「自分や家族の家・土地があったから」は川口市内(46.2%)で4割半ばを超えて高くなっています。

【川口市を選んだ理由（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,330)	川口市内 (n=156)	川口市以外 の埼玉県内 (n=181)	埼玉県外 (n=892)	国外 (n=58)
都心に近いから	37.8	▲ 28.2	▲ 30.9	40.9	41.4
交通の便がよいから	31.0	▲ 25.6	32.6	30.5	○ 41.4
住宅の価格・家賃が適していたから	28.9	● 16.0	24.9	32.2	29.3
職場や学校に近かったから	22.9	● 12.8	26.0	23.8	○ 36.2
家族や親せき、知人がいたから	21.1	○ 35.9	18.2	18.6	△ 27.6
自分や家族の家・土地があったから	20.8	☆ 46.2	△ 26.0	15.9	▲ 13.8
買い物など生活に便利だから	17.4	12.8	18.8	16.9	☆ 32.8
自分以外の家族が決めた	10.2	7.1	7.2	10.9	13.8
周囲が静かで落ち着けるから	6.9	3.8	3.9	7.7	10.3
前に自分が生活していた地域だから	6.7	☆ 24.4	5.5	4.0	5.2
自然災害が少ないから	6.7	7.1	6.1	6.7	6.9
医療機関を利用しやすいから	5.6	4.5	5.5	5.3	10.3
身近に自然があるから	5.5	3.8	3.3	6.3	3.4
子育てしやすい環境だから	5.0	3.2	5.0	4.8	△ 10.3
発展が見込めるから	3.9	3.2	3.9	4.0	5.2
寮や社宅に住むことになったから	3.8	1.3	1.1	4.7	3.4
治安がよいから	2.4	1.3	1.7	2.0	5.2
にぎわいや活気があるから	2.2	0.0	2.8	2.4	5.2
地域のイメージがよいから	2.0	0.0	1.7	2.1	3.4
子どもの教育環境がよいから	1.3	1.3	1.1	1.0	3.4
その他	4.9	3.2	6.1	5.2	0.0
無回答	0.7	1.3	0.6	0.7	0.0

(4) 川口市を選んだ理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「都心に近いから」は中央地域(57.7%)で5割半ばを超えて最も高く、青木地域(51.3%)、横曽根地域(50.7%)でも5割を超えて高くなっています。

「交通の便がよいから」は中央地域(50.0%)で5割に達し最も高く、青木地域(41.3%)、横曽根地域(40.7%)でも4割を超えて高くなっています。

「住宅の価格・家賃が適していたから」は中央地域(41.5%)で4割を超えて最も高くなっています。

「職場や学校に近かったから」は中央地域(33.1%)で3割を超えて最も高くなっています。

【川口市を選んだ理由（居住地域別）】

	全体 (n=1,330)	中央 地域 (n=130)	横曽根 地域 (n=150)	青木 地域 (n=160)	南平 地域 (n=128)	新郷 地域 (n=63)	神根 地域 (n=105)	芝 地域 (n=152)	安行 地域 (n=67)	戸塚 地域 (n=179)	鳩ヶ谷 地域 (n=156)
都心に近いから	37.8	☆ 57.7	○ 50.7	○ 51.3	★ 22.7	★ 22.2	▲ 30.5	36.2	★ 16.4	▲ 29.1	41.0
交通の便がよいから	31.0	☆ 50.0	△ 40.7	○ 41.3	▲ 25.0	★ 11.1	★ 10.5	28.3	● 16.4	35.2	▲ 24.4
住宅の価格・家賃が適していたから	28.9	○ 41.5	30.0	28.1	▲ 23.4	25.4	24.8	27.6	▲ 22.4	26.8	△ 34.0
職場や学校に近かったから	22.9	○ 33.1	23.3	26.3	22.7	▲ 14.3	19.0	18.4	17.9	24.6	21.2
家族や親せき、知人がいたから	21.1	16.2	24.7	△ 26.3	21.1	20.6	17.1	17.1	22.4	22.3	20.5
自分や家族の家・土地があったから	20.8	▲ 13.1	18.7	25.0	16.4	○ 33.3	21.9	20.4	○ 32.8	17.3	23.1
買い物など生活に便利だから	17.4	☆ 36.2	△ 27.3	21.9	14.1	▲ 9.5	▲ 7.6	15.1	▲ 9.0	15.1	● 6.4
自分以外の家族が決めた	10.2	▲ 4.6	7.3	6.3	14.1	△ 15.9	11.4	13.2	13.4	12.3	9.0
周囲が静かで落ち着けるから	6.9	4.6	4.0	3.1	4.7	▲ 1.6	6.7	4.6	10.4	△ 14.0	9.6
前に自分が生活していた地域だから	6.7	6.9	8.7	10.0	5.5	3.2	5.7	7.2	4.5	5.6	7.1
自然災害が少ないから	6.7	4.6	4.7	8.1	2.3	6.3	△ 12.4	9.2	9.0	7.3	4.5
医療機関を利用しやすいから	5.6	6.9	8.7	5.0	4.7	▲ 0.0	7.6	3.9	7.5	5.0	4.5
身近に自然があるから	5.5	1.5	2.7	4.4	0.8	3.2	△ 13.3	0.7	△ 11.9	△ 11.2	5.8
子育てしやすい環境だから	5.0	6.9	6.0	5.6	6.3	1.6	2.9	4.6	4.5	4.5	3.2
発展が見込めるから	3.9	△ 9.2	5.3	3.1	3.1	0.0	1.9	2.0	3.0	6.7	1.3
寮や社宅に住むことになったから	3.8	0.8	4.0	3.1	7.0	6.3	8.6	3.9	1.5	3.4	1.3
治安がよいから	2.4	2.3	1.3	3.1	3.1	1.6	3.8	2.0	3.0	1.7	1.9
にぎわいや活気があるから	2.2	5.4	6.0	2.5	0.8	0.0	0.0	2.0	0.0	1.7	0.0
地域のイメージがよいから	2.0	3.8	2.0	1.3	1.6	1.6	1.9	2.0	0.0	2.2	0.6
子どもの教育環境がよいから	1.3	2.3	0.0	1.9	1.6	3.2	0.0	1.3	1.5	1.1	0.0
その他	4.9	4.6	2.0	7.5	3.1	7.9	6.7	5.9	4.5	4.5	3.8
無回答	0.7	0.0	0.0	0.6	0.8	1.6	0.0	0.0	△ 6.0	0.6	0.6

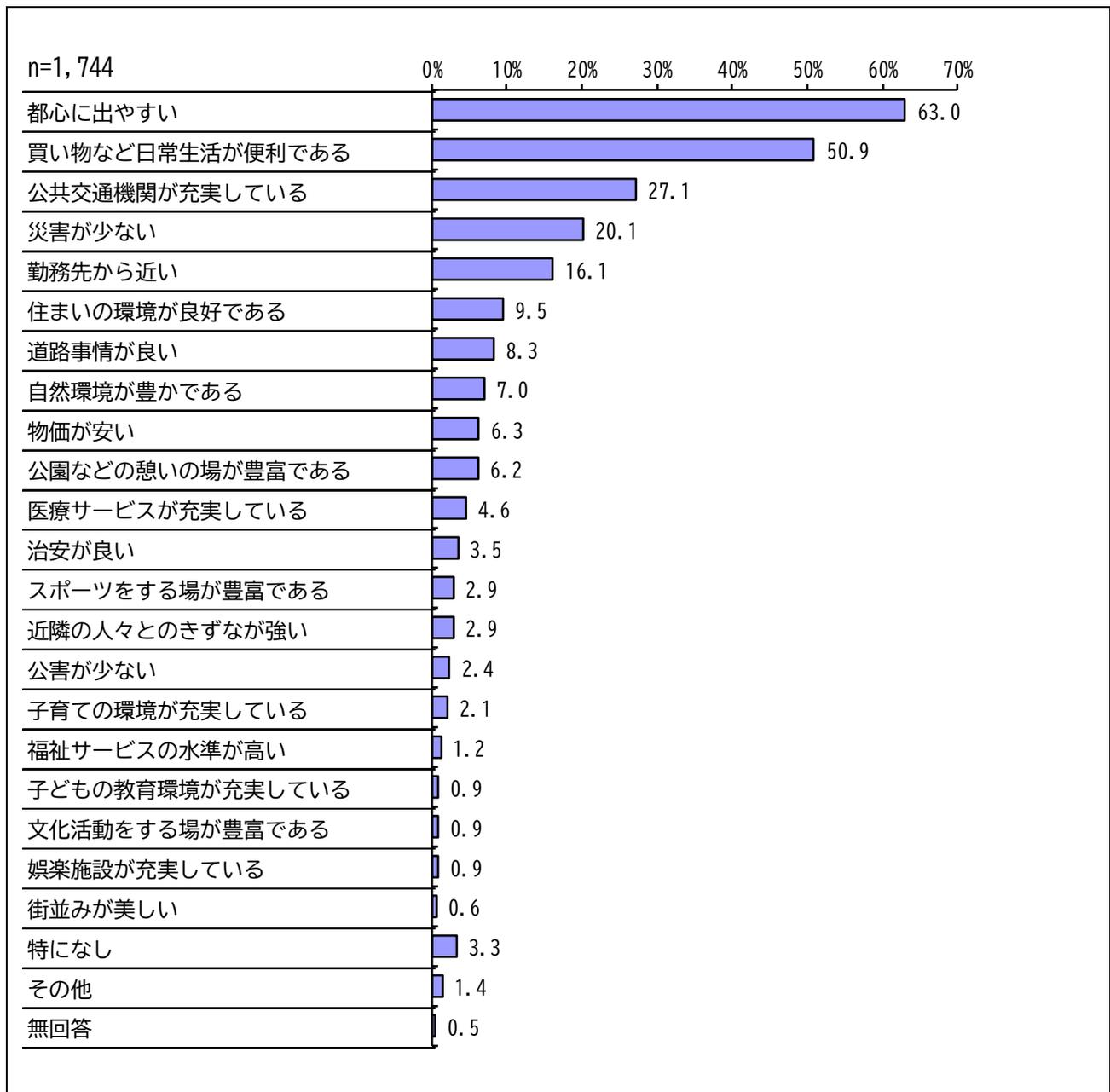
4 川口市の良いところ・好きなところ

(1) 川口市の良いところ・好きなところ

問4 (1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。(〇は3つまで)

川口市の良いところ・好きなところは、「都心に出やすい」が63.0%で6割を超えて最も高く、「買い物など日常生活が便利である」が50.9%、「公共交通機関が充実している」が27.1%、「災害が少ない」が20.1%と続いています。

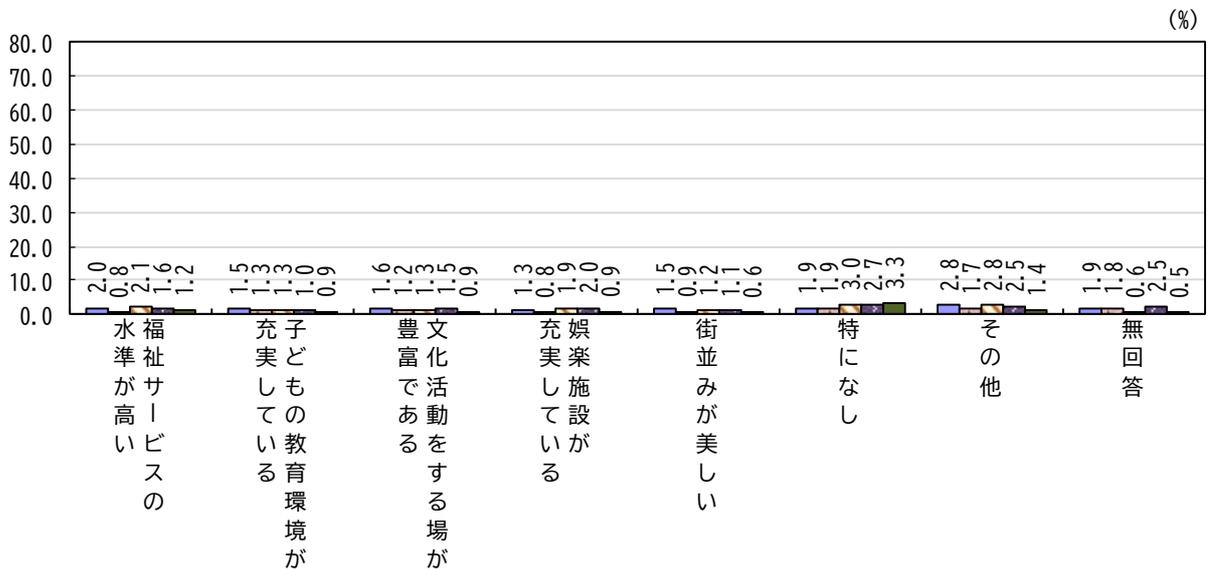
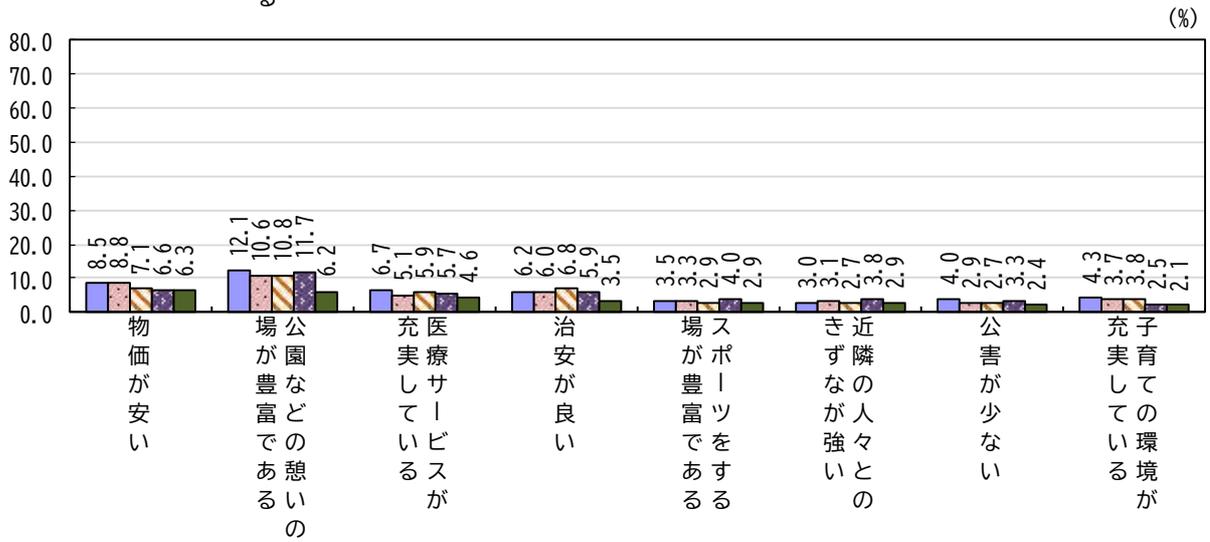
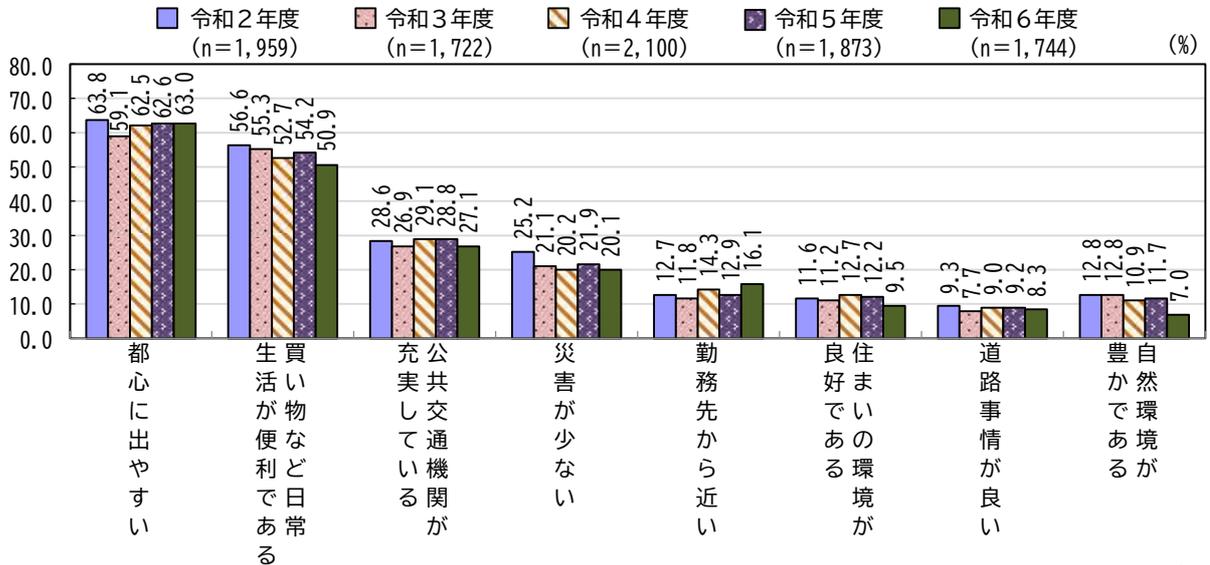
【川口市の良いところ・好きなところ (全体)】



川口市の良いところ・好きなのところの推移をみると、令和2年度と比べ、「勤務先から近い」は3.4ポイント増加しています。

一方、令和2年度と比べ、「公園などの憩いの場が豊富である」は5.9ポイント、「自然環境が豊かである」は5.8ポイント、「買い物など日常生活が便利である」は5.7ポイント、それぞれ減少しています。

【川口市の良いところ・好きなのところの推移】



(2) 川口市の良いところ・好きなところ (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「都心に出やすい」は女性18～29歳(76.6%)で7割半ばを超えて最も高く、女性60～64歳(73.1%)、男性30～39歳(70.9%)、男性18～29歳(70.7%)、女性30～39歳(70.1%)で7割を超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は女性65～74歳(62.6%)、女性30～39歳(61.2%)、女性50～59歳(60.3%)で6割を超えて高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は女性18～29歳(38.7%)、女性40～49歳(36.8%)で3割半ばを超えて高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ (男性・年齢別)】

	全体 (n=1,744)	男性 (%)						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
都心に出やすい	63.0	△ 70.7	△ 70.9	62.0	64.0	63.9	▲ 55.8	★ 45.0
買い物など日常生活が便利である	50.9	51.2	△ 58.1	54.3	47.5	48.6	▲ 42.5	★ 33.0
公共交通機関が充実している	27.1	△ 32.9	29.9	24.8	24.5	29.2	22.1	23.0
災害が少ない	20.1	▲ 14.6	● 6.8	15.5	15.1	15.3	20.4	○ 32.0
勤務先から近い	16.1	14.6	△ 23.1	☆ 31.8	18.0	19.4	17.7	14.0
住まいの環境が良好である	9.5	8.5	12.0	▲ 3.9	10.1	12.5	11.5	12.0
道路事情が良い	8.3	9.8	7.7	10.9	△ 13.7	△ 13.9	△ 15.0	11.0
自然環境が豊かである	7.0	2.4	4.3	5.4	4.3	△ 12.5	8.0	△ 16.0
物価が安い	6.3	▲ 1.2	5.1	3.1	10.1	5.6	9.7	7.0
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	2.4	4.3	4.7	8.6	6.9	6.2	4.0
医療サービスが充実している	4.6	2.4	2.6	3.9	3.6	5.6	4.4	△ 14.0
治安が良い	3.5	1.2	3.4	2.3	4.3	1.4	6.2	7.0
スポーツをする場が豊富である	2.9	1.2	1.7	2.3	6.5	1.4	5.3	5.0
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	4.4	6.0
公害が少ない	2.4	1.2	0.0	1.6	2.2	2.8	2.7	△ 8.0
子育ての環境が充実している	2.1	2.4	3.4	3.9	0.7	0.0	1.8	1.0
福祉サービスの水準が高い	1.2	0.0	0.9	0.0	0.7	2.8	0.0	2.0
子どもの教育環境が充実している	0.9	0.0	0.0	0.8	0.7	0.0	0.0	2.0
文化活動をする場が豊富である	0.9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.0
娯楽施設が充実している	0.9	2.4	0.9	0.8	0.0	1.4	0.0	1.0
街並みが美しい	0.6	2.4	0.9	0.8	1.4	0.0	0.0	1.0
特になし	3.3	4.9	2.6	1.6	3.6	4.2	6.2	3.0
その他	1.4	2.4	0.9	3.9	2.2	0.0	0.0	4.0
無回答	0.5	0.0	0.9	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0

【川口市の良いところ・好きなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
都心に出やすい	63.0	○ 76.6	△ 70.1	△ 69.9	65.6	○ 73.1	▲ 55.7	● 50.9
買い物など日常生活が便利である	50.9	51.6	○ 61.2	△ 56.6	△ 60.3	50.7	○ 62.6	● 37.0
公共交通機関が充実している	27.1	○ 38.7	32.1	△ 36.8	24.9	28.4	▲ 20.9	▲ 17.6
災害が少ない	20.1	▲ 14.5	▲ 10.4	▲ 13.2	22.2	△ 28.4	○ 33.0	☆ 37.0
勤務先から近い	16.1	15.3	20.9	17.6	12.7	▲ 10.4	▲ 10.4	● 2.4
住まいの環境が良好である	9.5	9.7	9.0	9.6	10.6	9.0	6.1	11.5
道路事情が良い	8.3	▲ 1.6	6.0	4.4	8.5	▲ 3.0	10.4	3.6
自然環境が豊かである	7.0	3.2	3.7	4.4	6.3	△ 14.9	8.7	10.3
物価が安い	6.3	3.2	5.2	3.7	7.4	△ 11.9	6.1	7.3
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	4.8	7.5	8.1	4.8	9.0	4.3	8.5
医療サービスが充実している	4.6	0.8	3.0	1.5	4.8	1.5	6.1	9.1
治安が良い	3.5	2.4	0.7	0.0	1.6	6.0	5.2	6.1
スポーツをする場が豊富である	2.9	1.6	1.5	0.7	2.6	3.0	6.1	2.4
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	0.0	1.5	0.0	3.7	1.5	1.7	△ 12.7
公害が少ない	2.4	1.6	1.5	0.7	1.6	1.5	3.5	4.8
子育ての環境が充実している	2.1	1.6	6.0	5.1	0.5	1.5	0.9	1.2
福祉サービスの水準が高い	1.2	0.8	0.0	0.0	2.1	0.0	3.5	2.4
子どもの教育環境が充実している	0.9	0.8	1.5	0.7	1.1	0.0	2.6	0.6
文化活動をする場が豊富である	0.9	0.0	0.0	0.7	0.5	0.0	0.0	4.2
娯楽施設が充実している	0.9	2.4	2.2	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0
街並みが美しい	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.2
特になし	3.3	4.0	1.5	0.7	2.6	1.5	0.9	4.8
その他	1.4	0.0	0.7	0.7	1.1	0.0	0.9	3.0
無回答	0.5	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	1.8

(3) 川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）

出生地別にみると、「都心に出やすい」はいずれも6割台となっています。

「買い物など日常生活が便利である」は国外(69.0%)で7割近くと最も高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は川口市内(31.6%)で3割を超えて高くなっています。

「災害が少ない」は川口市内(25.9%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「勤務先から近い」は国外(24.1%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	川口市内 (n=509)	川口市以外 の埼玉県内 (n=194)	埼玉県外 (n=927)	国外 (n=58)
都心に出やすい	63.0	66.6	61.3	62.4	63.8
買い物など日常生活が便利である	50.9	47.9	55.7	51.1	☆ 69.0
公共交通機関が充実している	27.1	31.6	24.2	25.4	24.1
災害が少ない	20.1	△ 25.9	21.6	16.8	● 8.6
勤務先から近い	16.1	15.3	17.5	15.5	△ 24.1
住まいの環境が良好である	9.5	7.5	9.3	10.6	13.8
道路事情が良い	8.3	9.8	7.7	7.9	5.2
自然環境が豊かである	7.0	6.3	7.7	7.3	6.9
物価が安い	6.3	3.9	7.2	6.7	△ 13.8
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	5.1	4.6	7.1	3.4
医療サービスが充実している	4.6	4.1	4.6	4.6	6.9
治安が良い	3.5	4.3	2.1	3.2	1.7
スポーツをする場が豊富である	2.9	3.5	3.6	2.6	1.7
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	2.6	2.1	3.1	0.0
公害が少ない	2.4	3.1	1.0	2.2	3.4
子育ての環境が充実している	2.1	0.8	2.6	2.8	1.7
福祉サービスの水準が高い	1.2	1.2	0.5	1.3	0.0
子どもの教育環境が充実している	0.9	0.8	1.0	0.8	1.7
文化活動をする場が豊富である	0.9	0.4	1.0	0.9	0.0
娯楽施設が充実している	0.9	0.8	0.5	1.1	0.0
街並みが美しい	0.6	0.6	0.5	0.6	0.0
特になし	3.3	2.8	3.6	3.6	0.0
その他	1.4	1.0	0.5	1.8	3.4
無回答	0.5	0.6	0.5	0.4	0.0

(4) 川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「都心に出やすい」は東京都内(75.5%)で7割半ばを超えて最も高く、埼玉県、東京都以外の道府県(71.2%)も7割を超えています。

「買い物など日常生活が便利である」は埼玉県、東京都以外の道府県(57.7%)と5割半ばを超えて高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は埼玉県、東京都以外の道府県(36.5%)と埼玉県内(川口市以外)(36.1%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「勤務先から近い」は川口市内(30.8%)で3割を占めて最も高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	川口市内 (n=412)	埼玉県内 (川口市以外) (n=183)	東京都内 (n=531)	埼玉県、東京都 以外の道府県 (n=52)
都心に出やすい	63.0	59.2	61.2	○ 75.5	△ 71.2
買い物など日常生活が便利である	50.9	54.9	54.6	53.3	△ 57.7
公共交通機関が充実している	27.1	27.7	△ 36.1	29.4	△ 36.5
災害が少ない	20.1	21.8	▲ 14.2	▲ 11.5	● 9.6
勤務先から近い	16.1	○ 30.8	16.4	15.3	● 3.8
住まいの環境が良好である	9.5	8.0	9.3	9.4	○ 23.1
道路事情が良い	8.3	8.3	△ 13.7	7.9	7.7
自然環境が豊かである	7.0	6.6	5.5	4.9	▲ 1.9
物価が安い	6.3	4.6	6.0	7.0	1.9
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	5.8	7.1	5.5	5.8
医療サービスが充実している	4.6	4.6	2.2	2.1	1.9
治安が良い	3.5	2.4	2.2	2.6	1.9
スポーツをする場が豊富である	2.9	1.7	1.6	3.6	1.9
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	1.7	0.0	0.8	1.9
公害が少ない	2.4	1.5	0.5	1.5	3.8
子育ての環境が充実している	2.1	1.5	3.8	3.0	3.8
福祉サービスの水準が高い	1.2	0.0	1.6	0.2	0.0
子どもの教育環境が充実している	0.9	0.5	0.0	1.1	0.0
文化活動をする場が豊富である	0.9	0.2	0.0	0.2	0.0
娯楽施設が充実している	0.9	0.2	2.7	0.9	1.9
街並みが美しい	0.6	0.0	1.1	0.8	0.0
特になし	3.3	2.7	3.3	2.6	5.8
その他	1.4	1.5	1.6	1.1	0.0
無回答	0.5	0.2	0.5	0.2	0.0

(5) 川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）

住居形態別にみると、「都心に出やすい」はUR都市機構(旧公団)・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート(72.7%)と持家(分譲マンションなど集合住宅)(71.5%)で7割を超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は持家(分譲マンションなど集合住宅)(58.9%)で6割近くと最も高くなっています。

「災害が少ない」はUR都市機構(旧公団)・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート(27.3%)と持家(一戸建)(27.1%)で2割半ばを超えています。

【川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	持家 (一戸建) (n=878)	持家(分譲 マンション など集合住 宅) (n=365)	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など) (n=373)	UR都市機 構(旧公 団)・公 社・市営・ 県営の賃 貸住宅・ア パート (n=33)	社宅・公務 員住宅など 給与住宅 (n=19)	住み込み、 寮、寄宿舍 など (n=5)
都心に出やすい	63.0	▲ 57.4	△ 71.5	△ 69.7	△ 72.7	△ 68.4	☆ 100.0
買い物など日常生活が便利である	50.9	48.9	△ 58.9	53.9	★ 33.3	● 36.8	★ 20.0
公共交通機関が充実している	27.1	26.2	27.4	29.2	▲ 21.2	26.3	○ 40.0
災害が少ない	20.1	△ 27.1	● 9.3	▲ 14.2	△ 27.3	★ 0.0	20.0
勤務先から近い	16.1	12.6	16.2	△ 22.3	15.2	☆ 52.6	20.0
住まいの環境が良好である	9.5	9.6	11.2	8.3	12.1	5.3	▲ 0.0
道路事情が良い	8.3	10.6	4.7	6.4	9.1	5.3	○ 20.0
自然環境が豊かである	7.0	9.6	3.6	3.5	○ 18.2	▲ 0.0	▲ 0.0
物価が安い	6.3	6.0	8.8	4.0	6.1	▲ 0.0	▲ 0.0
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	6.2	6.8	5.6	6.1	▲ 0.0	▲ 0.0
医療サービスが充実している	4.6	5.1	4.7	3.2	0.0	0.0	0.0
治安が良い	3.5	3.9	1.9	3.8	3.0	0.0	0.0
スポーツをする場が豊富である	2.9	3.9	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	4.2	1.1	0.3	6.1	0.0	☆ 20.0
公害が少ない	2.4	3.1	1.1	1.9	3.0	0.0	0.0
子育ての環境が充実している	2.1	1.9	3.3	2.1	0.0	0.0	0.0
福祉サービスの水準が高い	1.2	0.6	1.9	1.1	0.0	0.0	0.0
子どもの教育環境が充実している	0.9	0.8	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0
文化活動をする場が豊富である	0.9	1.0	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0
娯楽施設が充実している	0.9	1.1	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0
街並みが美しい	0.6	0.3	0.8	0.8	3.0	0.0	0.0
特になし	3.3	3.2	2.7	3.2	3.0	5.3	0.0
その他	1.4	1.3	1.6	1.3	0.0	5.3	0.0
無回答	0.5	0.8	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0

(6) 川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）

居住地域別にみると、「都心に出やすい」は中央地域(80.1%)で8割に達し最も高く、横曽根地域(76.8%)で7割半ばを超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は横曽根地域(68.0%)で6割半ばを超えて最も高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は戸塚地域(33.5%)で3割を超えて最も高くなっています。

「災害が少ない」は神根地域(38.3%)と新郷地域(36.0%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「勤務先から近い」は南平地域(22.5%)で2割を超えて最も高くなっています。

「自然環境が豊かである」は神根地域(17.4%)と安行地域(17.2%)で1割半ばを超えて高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
都心に出やすい	63.0	☆ 80.1	○ 76.8	65.7	60.1	● 51.7	● 50.3	60.3	● 51.6	▲ 56.3	△ 70.4
買い物など日常生活が便利である	50.9	○ 61.6	☆ 68.0	○ 61.3	47.2	★ 34.8	★ 32.2	51.9	● 37.6	48.7	50.5
公共交通機関が充実している	27.1	24.5	29.8	31.7	28.1	● 13.5	● 15.4	△ 33.3	▲ 17.2	△ 33.5	24.8
災害が少ない	20.1	● 7.3	● 9.4	17.4	15.2	☆ 36.0	☆ 38.3	○ 30.2	△ 29.0	▲ 14.3	19.4
勤務先から近い	16.1	19.2	18.8	18.3	△ 22.5	18.0	14.8	12.7	▲ 9.7	14.3	13.6
住まいの環境が良好である	9.5	△ 15.2	5.5	6.5	11.2	7.9	9.4	10.6	11.8	9.8	9.2
道路事情が良い	8.3	▲ 2.6	5.5	8.7	6.2	4.5	11.4	6.3	10.8	12.1	12.1
自然環境が豊かである	7.0	2.0	3.3	▲ 0.4	3.4	10.1	○ 17.4	3.2	○ 17.2	△ 13.4	6.8
物価が安い	6.3	6.6	8.8	9.6	5.1	11.2	▲ 0.7	4.8	6.5	6.3	3.9
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	5.3	3.3	6.5	5.6	9.0	4.7	2.1	6.5	10.7	6.8
医療サービスが充実している	4.6	4.6	4.4	7.8	3.4	6.7	8.1	3.2	1.1	4.5	1.9
治安が良い	3.5	0.7	1.1	1.7	5.1	7.9	2.7	3.7	3.2	4.0	3.4
スポーツをする場が豊富である	2.9	3.3	1.7	3.0	5.1	2.2	5.4	2.6	3.2	2.2	1.0
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	0.7	0.6	1.3	6.2	5.6	5.4	3.7	3.2	0.9	3.4
公害が少ない	2.4	1.3	2.2	1.7	1.7	4.5	2.0	4.2	3.2	3.6	1.5
子育ての環境が充実している	2.1	2.0	3.9	3.5	1.1	1.1	1.3	0.5	2.2	1.8	3.4
福祉サービスの水準が高い	1.2	1.3	0.6	1.3	0.6	1.1	0.7	1.1	1.1	0.9	2.4
子どもの教育環境が充実している	0.9	0.7	0.6	1.7	1.1	1.1	0.0	0.5	2.2	0.4	0.0
文化活動をする場が豊富である	0.9	0.7	0.0	1.3	0.6	1.1	0.7	1.1	1.1	0.0	1.5
娯楽施設が充実している	0.9	0.7	1.1	0.9	0.0	2.2	2.0	0.0	2.2	0.4	1.0
街並みが美しい	0.6	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	2.7	0.0
特になし	3.3	2.6	1.1	1.3	2.2	5.6	6.0	3.2	5.4	4.5	2.9
その他	1.4	1.3	1.7	0.4	2.2	2.2	3.4	2.1	0.0	1.3	0.5
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.7	1.1	0.0	0.0	1.0

(7) 川口市の良いところ・好きなところ（居留意向別）

居留意向別にみると、「買い物など日常生活が便利である」は住みたい(54.5%)が5割半ば近くで、住みたくない(36.5%)より18.0ポイント高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は住みたい(28.9%)が3割近くで、住みたくない(21.3%)より7.6ポイント高くなっています。

「住まいの環境が良好である」は住みたい(10.5%)が1割を超えて、住みたくない(3.6%)より6.9ポイント高くなっています。

【川口市の良いところ・好きなところ（居留意向別）】

	全体 (n=1,744)	住みたい (n=1,414)	住みたくない (n=277)
都心に出やすい	63.0	62.7	66.8
買い物など日常生活が便利である	50.9	54.5	● 36.5
公共交通機関が充実している	27.1	28.9	▲ 21.3
災害が少ない	20.1	20.9	15.2
勤務先から近い	16.1	16.3	16.2
住まいの環境が良好である	9.5	10.5	▲ 3.6
道路事情が良い	8.3	9.1	5.4
自然環境が豊かである	7.0	7.9	2.5
物価が安い	6.3	5.7	7.9
公園などの憩いの場が豊富である	6.2	6.3	5.4
医療サービスが充実している	4.6	4.7	2.5
治安が良い	3.5	4.0	0.4
スポーツをする場が豊富である	2.9	3.3	0.7
近隣の人々とのきずなが強い	2.9	3.2	0.7
公害が少ない	2.4	2.5	1.1
子育ての環境が充実している	2.1	2.4	0.7
福祉サービスの水準が高い	1.2	1.3	0.7
子どもの教育環境が充実している	0.9	1.0	0.4
文化活動をする場が豊富である	0.9	1.0	0.0
娯楽施設が充実している	0.9	1.0	0.4
街並みが美しい	0.6	0.6	0.4
特になし	3.3	1.8	△ 10.1
その他	1.4	1.4	1.8
無回答	0.5	0.4	0.4

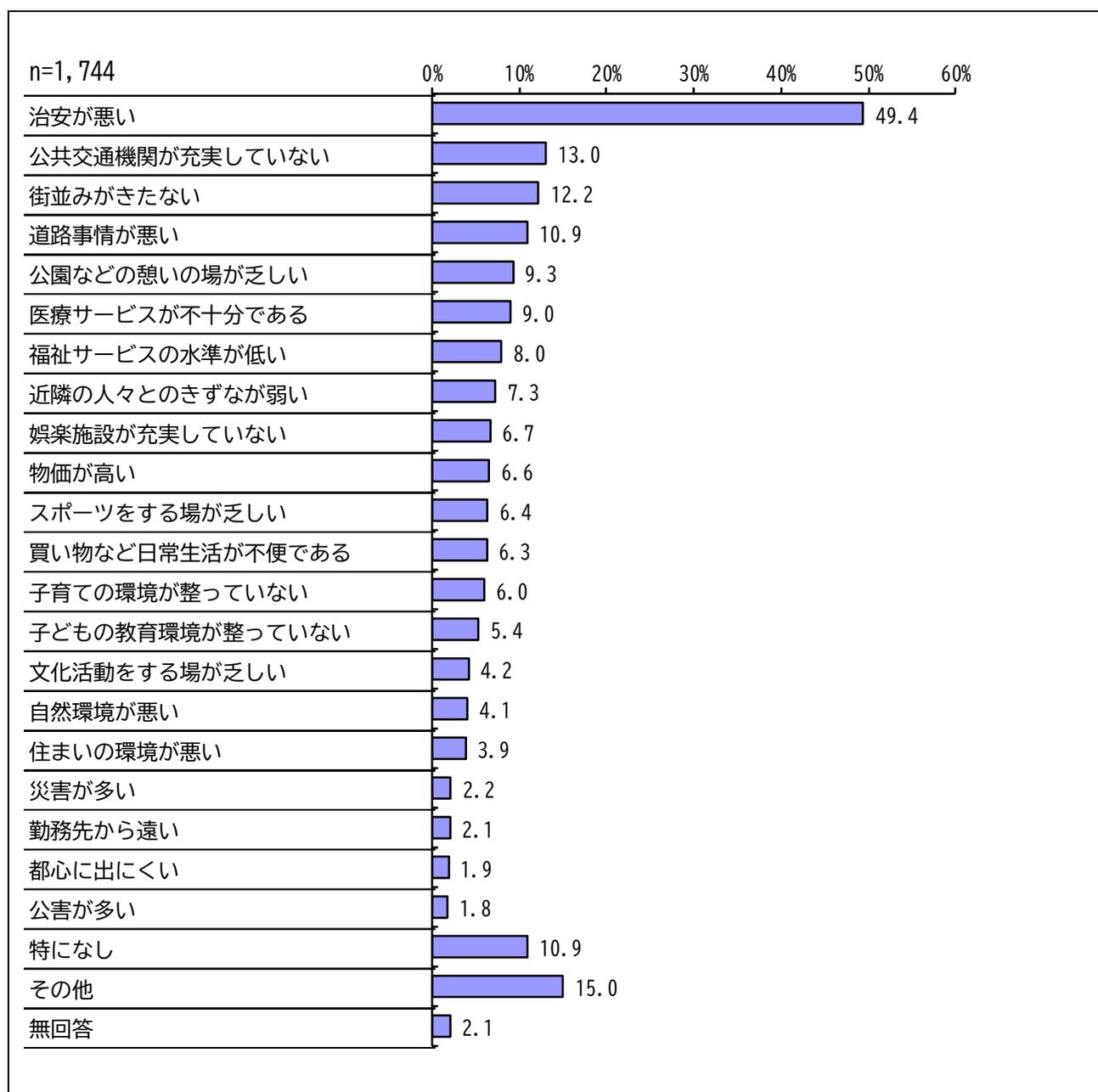
5 川口市の良いところ・嫌いなところ

(1) 川口市の良いところ・嫌いなところ

問4 (2) 川口市の良いところ、嫌いなところは何ですか。(○は3つまで)

川口市の良いところ・嫌いなところは、「治安が悪い」が49.4%で約5割と最も高く、「公共交通機関が充実していない」が13.0%、「街並みがきたない」が12.2%、「道路事情が悪い」が10.9%、「公園などの憩いの場が乏しい」が9.3%と続いています。

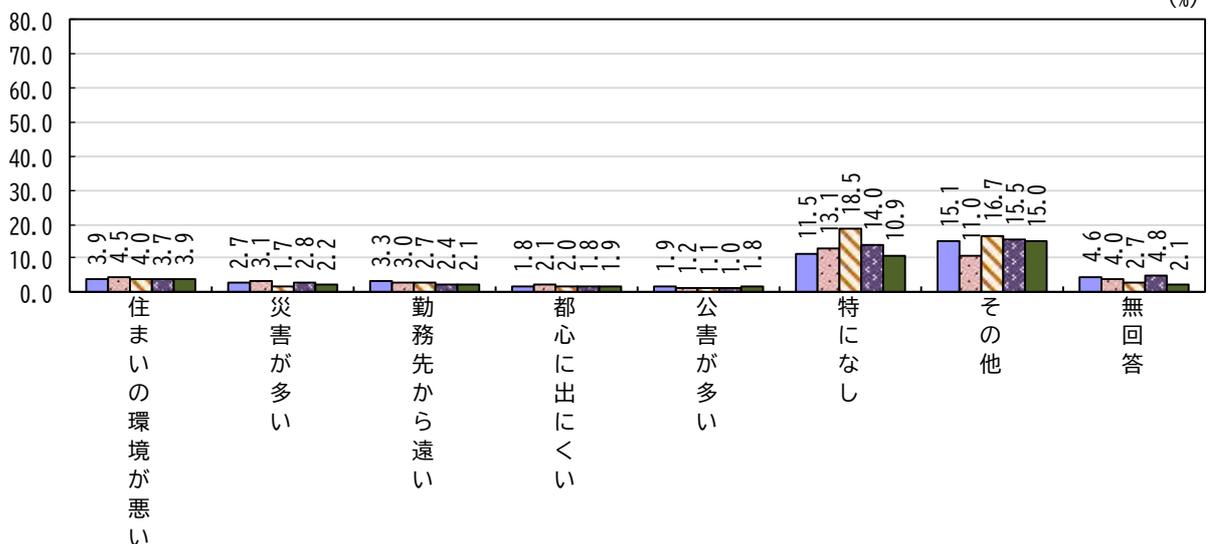
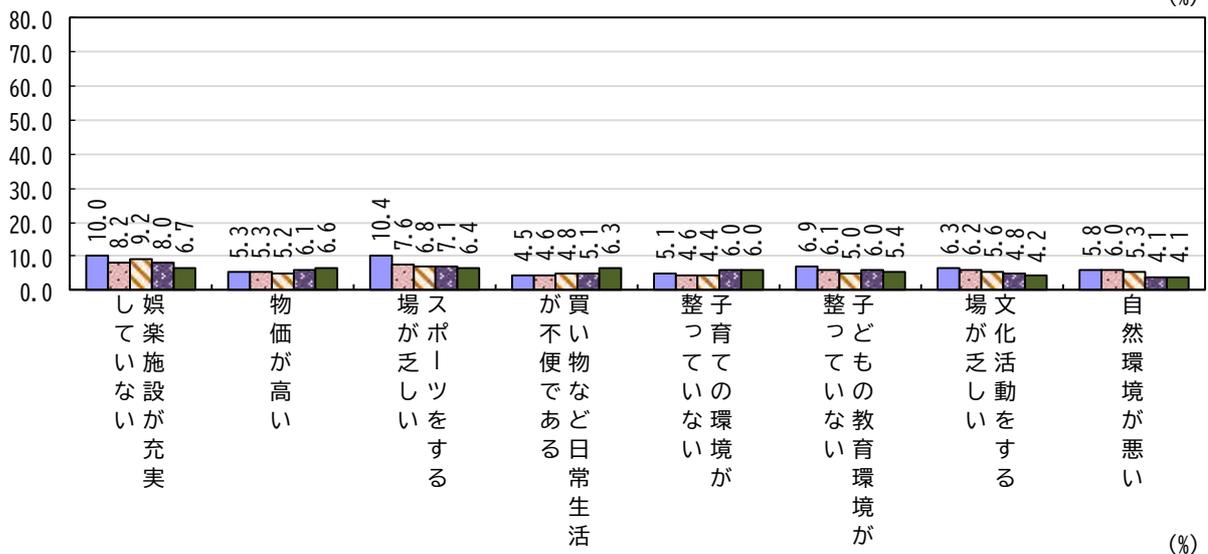
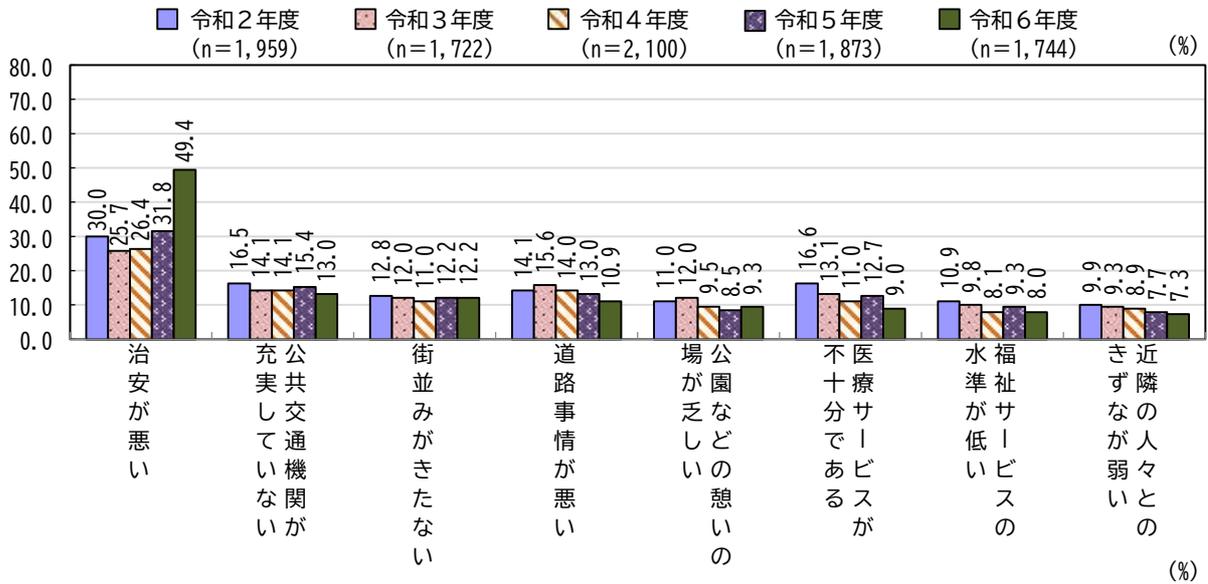
【川口市の良いところ・嫌いなところ (全体)】



川口市の良くないところ・嫌いなところの推移をみると、令和2年度と比べ、「医療サービスが不十分である」は7.6ポイント、「スポーツをする場が乏しい」は4.0ポイント、「公共交通機関が充実していない」は3.5ポイント、それぞれ減少しています。

一方、「治安が悪い」は19.4ポイント増加しています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところの推移】



(2) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「治安が悪い」は女性18～29歳(74.2%)と男性40～49歳(72.1%)で7割を超えて高く、男女ともに60歳未満の年齢で5割を超えています。

「街並みがきたない」は女性18～29歳(23.4%)と男性30～39歳(21.4%)で2割を超えて高くなっています。

「子育ての環境が整っていない」は女性30～39歳(19.4%)と男性30～39歳(16.2%)で1割半ばを超えて高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	男性 (%)						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
治安が悪い	49.4	☆ 67.1	○ 63.2	☆ 72.1	△ 56.1	▲ 43.1	● 34.5	★ 16.0
公共交通機関が充実していない	13.0	12.2	12.8	12.4	12.2	11.1	15.0	8.0
街並みがきたない	12.2	17.1	△ 21.4	12.4	7.2	11.1	10.6	12.0
道路事情が悪い	10.9	15.9	12.0	△ 16.3	12.9	12.5	7.1	△ 16.0
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	9.8	9.4	▲ 3.9	7.2	6.9	8.8	14.0
医療サービスが不十分である	9.0	▲ 2.4	5.1	5.4	9.4	9.7	△ 14.2	6.0
福祉サービスの水準が低い	8.0	▲ 2.4	▲ 1.7	7.8	5.0	8.3	12.4	12.0
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	3.7	3.4	3.9	10.8	11.1	10.6	11.0
娯楽施設が充実していない	6.7	6.1	9.4	8.5	5.8	2.8	10.6	7.0
物価が高い	6.6	△ 14.6	6.8	6.2	4.3	4.2	7.1	2.0
スポーツをする場が乏しい	6.4	△ 14.6	6.8	6.2	5.0	2.8	6.2	11.0
買い物など日常生活が不便である	6.3	▲ 1.2	4.3	3.1	2.9	5.6	5.3	11.0
子育ての環境が整っていない	6.0	4.9	○ 16.2	△ 11.6	4.3	▲ 0.0	2.7	▲ 0.0
子どもの教育環境が整っていない	5.4	2.4	△ 12.0	8.5	5.0	1.4	▲ 0.0	▲ 0.0
文化活動をする場が乏しい	4.2	0.0	3.4	1.6	2.2	8.3	3.5	9.0
自然環境が悪い	4.1	3.7	3.4	2.3	4.3	5.6	7.1	5.0
住まいの環境が悪い	3.9	2.4	1.7	5.4	6.5	5.6	4.4	5.0
災害が多い	2.2	0.0	1.7	7.0	3.6	2.8	0.9	0.0
勤務先から遠い	2.1	2.4	1.7	0.8	5.0	5.6	2.7	1.0
都心に出にくい	1.9	0.0	1.7	0.8	2.2	4.2	1.8	4.0
公害が多い	1.8	2.4	1.7	3.1	0.7	1.4	0.9	1.0
特になし	10.9	7.3	9.4	▲ 4.7	14.4	12.5	15.0	△ 18.0
その他	15.0	12.2	▲ 9.4	15.5	18.0	12.5	▲ 8.8	20.0
無回答	2.1	0.0	0.9	0.0	0.7	2.8	3.5	4.0

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
治安が悪い	49.4	☆ 74.2	☆ 67.9	△ 58.8	52.9	44.8	★ 28.7	★ 12.1
公共交通機関が充実していない	13.0	11.3	▲ 4.5	11.8	15.9	9.0	16.5	△ 20.6
街並みがきたない	12.2	○ 23.4	15.7	10.3	▲ 6.9	11.9	8.7	▲ 6.1
道路事情が悪い	10.9	8.1	9.7	6.6	9.0	13.4	▲ 5.2	12.7
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	12.9	9.7	11.8	5.3	7.5	10.4	△ 14.5
医療サービスが不十分である	9.0	▲ 2.4	9.7	9.6	12.7	△ 17.9	11.3	10.9
福祉サービスの水準が低い	8.0	▲ 2.4	3.0	7.4	11.1	11.9	△ 14.8	12.1
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	5.6	4.5	8.1	3.2	4.5	10.4	10.3
娯楽施設が充実していない	6.7	8.1	4.5	6.6	6.9	4.5	2.6	7.3
物価が高い	6.6	8.9	9.0	7.4	4.2	7.5	4.3	7.9
スポーツをする場が乏しい	6.4	10.5	5.2	6.6	5.3	3.0	5.2	3.0
買い物など日常生活が不便である	6.3	7.3	1.5	2.9	5.3	10.4	7.0	○ 17.6
子育ての環境が整っていない	6.0	5.6	○ 19.4	10.3	2.6	1.5	2.6	▲ 0.6
子どもの教育環境が整っていない	5.4	2.4	△ 14.2	△ 12.5	4.2	4.5	2.6	3.6
文化活動をする場が乏しい	4.2	0.8	2.2	3.7	4.8	7.5	8.7	5.5
自然環境が悪い	4.1	5.6	2.2	5.9	4.2	1.5	4.3	3.6
住まいの環境が悪い	3.9	0.8	1.5	4.4	5.3	3.0	5.2	2.4
災害が多い	2.2	0.0	6.0	2.9	2.1	3.0	0.0	0.0
勤務先から遠い	2.1	1.6	3.7	1.5	2.6	0.0	1.7	0.0
都心に出にくい	1.9	1.6	0.7	1.5	2.1	0.0	1.7	4.2
公害が多い	1.8	4.0	0.7	0.7	2.1	0.0	1.7	2.4
特になし	10.9	▲ 5.6	▲ 2.2	7.4	12.7	7.5	15.7	△ 17.0
その他	15.0	17.7	12.7	18.4	16.9	17.9	17.4	12.1
無回答	2.1	0.0	3.0	0.7	0.5	3.0	5.2	5.5

(3) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）

出生地別にみると、「治安が悪い」は川口市以外の埼玉県内(55.7%)で5割半ばと高くなっています。「特になし」は国外(29.3%)で3割近くと高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	川口市内 (n=509)	川口市以外 の埼玉県内 (n=194)	埼玉県外 (n=927)	国外 (n=58)
治安が悪い	49.4	50.1	△ 55.7	49.1	★ 27.6
公共交通機関が充実していない	13.0	13.0	14.4	12.9	8.6
街並みがきたない	12.2	9.8	10.8	13.7	8.6
道路事情が悪い	10.9	9.8	10.8	11.7	10.3
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	12.4	8.8	8.2	6.9
医療サービスが不十分である	9.0	10.2	9.3	8.5	6.9
福祉サービスの水準が低い	8.0	7.9	7.2	8.1	10.3
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.5	5.2	7.4	5.2
娯楽施設が充実していない	6.7	6.3	6.2	6.7	10.3
物価が高い	6.6	8.8	7.2	5.3	3.4
スポーツをする場が乏しい	6.4	7.1	3.6	6.4	8.6
買い物など日常生活が不便である	6.3	4.3	6.2	7.6	1.7
子育ての環境が整っていない	6.0	7.5	7.7	5.1	6.9
子どもの教育環境が整っていない	5.4	5.9	5.7	5.5	3.4
文化活動をする場が乏しい	4.2	3.3	5.7	4.0	8.6
自然環境が悪い	4.1	4.3	5.2	4.0	3.4
住まいの環境が悪い	3.9	3.7	6.2	3.7	1.7
災害が多い	2.2	2.4	0.5	2.6	1.7
勤務先から遠い	2.1	2.6	0.5	2.3	1.7
都心に出にくい	1.9	2.0	3.6	1.8	0.0
公害が多い	1.8	2.0	2.1	1.6	0.0
特になし	10.9	10.6	7.7	10.5	☆ 29.3
その他	15.0	15.1	△ 20.6	14.6	● 3.4
無回答	2.1	2.0	1.5	2.3	1.7

(4) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「治安が悪い」は埼玉県内(川口市以外)(63.4%)と東京都内(61.0%)で6割を超えて高く、埼玉県、東京都以外の道府県(55.8%)で5割半ばと高くなっています。

「街並みがきたない」は埼玉県内(川口市以外)(17.5%)で1割半ばを超えて高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	川口市内 (n=412)	埼玉県内 (川口市以外) (n=183)	東京都内 (n=531)	埼玉県、東京都 以外の道府県 (n=52)
治安が悪い	49.4	53.4	○ 63.4	○ 61.0	△ 55.8
公共交通機関が充実していない	13.0	11.7	8.2	12.6	11.5
街並みがきたない	12.2	9.0	△ 17.5	14.3	15.4
道路事情が悪い	10.9	11.2	10.9	10.2	13.5
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	9.7	7.7	7.5	9.6
医療サービスが不十分である	9.0	11.2	4.9	7.2	11.5
福祉サービスの水準が低い	8.0	10.2	6.0	5.1	▲ 1.9
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	4.9	7.1	6.0	9.6
娯楽施設が充実していない	6.7	6.8	4.4	7.9	7.7
物価が高い	6.6	9.0	6.6	5.8	7.7
スポーツをする場が乏しい	6.4	6.1	6.6	8.1	3.8
買い物など日常生活が不便である	6.3	5.8	3.8	3.8	7.7
子育ての環境が整っていない	6.0	6.1	7.1	7.7	3.8
子どもの教育環境が整っていない	5.4	7.5	3.8	6.4	3.8
文化活動をする場が乏しい	4.2	3.4	3.8	2.8	3.8
自然環境が悪い	4.1	3.6	5.5	4.1	1.9
住まいの環境が悪い	3.9	3.9	4.9	4.3	1.9
災害が多い	2.2	2.2	1.1	3.4	0.0
勤務先から遠い	2.1	0.2	1.6	4.3	5.8
都心に出にくい	1.9	2.4	0.5	0.6	3.8
公害が多い	1.8	1.5	1.1	1.7	0.0
特になし	10.9	11.9	7.1	8.5	13.5
その他	15.0	13.6	△ 21.9	12.6	△ 23.1
無回答	2.1	1.7	2.2	0.9	0.0

(5) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（住居形態別）

住居形態別にみると、「治安が悪い」は民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）（58.7%）で6割近くと高く、持家（分譲マンションなど集合住宅）（50.7%）も5割に達しています。

「公共交通機関が充実していない」はUR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート（27.3%）で2割半ばを超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が不便である」はUR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート（24.2%）で2割半ばと高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（住居形態別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	持家 (一戸建) (n=878)	持家（分譲 マンション など集合住 宅） (n=365)	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など) (n=373)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃 貸住宅・ア パート (n=33)	社宅・公務 員住宅など 給与住宅 (n=19)	住み込み、 寮、寄宿舍 など (n=5)
治安が悪い	49.4	45.6	50.7	△ 58.7	▲ 39.4	☆ 73.7	▲ 40.0
公共交通機関が充実していない	13.0	13.7	14.2	9.7	○ 27.3	▲ 5.3	● 0.0
街並みがきたない	12.2	11.0	12.9	13.9	▲ 6.1	△ 21.1	● 0.0
道路事情が悪い	10.9	10.9	11.2	10.5	15.2	15.8	● 0.0
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	10.5	9.9	6.4	6.1	10.5	▲ 0.0
医療サービスが不十分である	9.0	10.1	10.7	6.2	▲ 3.0	▲ 0.0	▲ 0.0
福祉サービスの水準が低い	8.0	9.3	10.1	4.0	3.0	▲ 0.0	○ 20.0
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.9	6.8	5.9	9.1	5.3	▲ 0.0
娯楽施設が充実していない	6.7	6.6	8.5	5.4	▲ 0.0	5.3	▲ 0.0
物価が高い	6.6	4.7	6.8	9.4	△ 12.1	○ 21.1	☆ 40.0
スポーツをする場が乏しい	6.4	5.8	6.6	7.0	▲ 0.0	10.5	○ 20.0
買い物など日常生活が不便である	6.3	6.4	4.7	5.9	☆ 24.2	10.5	▲ 0.0
子育ての環境が整っていない	6.0	5.0	7.9	7.5	3.0	10.5	▲ 0.0
子どもの教育環境が整っていない	5.4	6.2	5.5	4.6	3.0	△ 10.5	▲ 0.0
文化活動をする場が乏しい	4.2	4.6	4.1	3.5	0.0	5.3	0.0
自然環境が悪い	4.1	4.7	5.2	2.9	0.0	0.0	0.0
住まいの環境が悪い	3.9	4.3	3.6	3.2	3.0	0.0	☆ 20.0
災害が多い	2.2	2.5	1.9	1.9	3.0	5.3	0.0
勤務先から遠い	2.1	1.9	2.5	1.9	3.0	5.3	0.0
都心に出にくい	1.9	3.1	0.5	0.8	6.1	0.0	0.0
公害が多い	1.8	1.8	1.9	1.3	0.0	5.3	0.0
特になし	10.9	10.7	9.3	11.8	△ 18.2	● 0.0	● 0.0
その他	15.0	14.7	18.1	13.1	18.2	▲ 5.3	20.0
無回答	2.1	2.3	1.4	2.4	0.0	0.0	0.0

(6) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住地域別）

居住地域別にみると、「治安が悪い」は中央地域(55.6%)、横曽根地域(55.2%)で5割半ばに達し高くなっています。

「公共交通機関が充実していない」は新郷地域(28.1%)、安行地域(26.9%)、神根地域(25.5%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「医療サービスが不十分である」は新郷地域(19.1%)で2割近くと高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（居住地域別）】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
治安が悪い	49.4	△ 55.6	△ 55.2	53.9	47.8	▲ 41.6	▲ 44.3	49.2	45.2	47.3	49.5
公共交通機関が充実していない	13.0	13.9	9.4	▲ 7.4	15.2	☆ 28.1	○ 25.5	▲ 5.3	○ 26.9	8.5	9.7
街並みがきたない	12.2	15.2	△ 19.3	11.3	8.4	10.1	8.1	△ 18.0	▲ 5.4	10.7	10.7
道路事情が悪い	10.9	9.9	6.6	7.4	15.7	△ 16.9	14.1	6.9	14.0	10.7	12.6
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	11.3	7.7	13.5	5.6	4.5	12.1	10.1	6.5	4.9	13.6
医療サービスが不十分である	9.0	7.9	11.6	7.0	6.7	○ 19.1	6.7	7.9	11.8	9.8	8.3
福祉サービスの水準が低い	8.0	6.0	3.9	8.3	9.0	10.1	7.4	10.6	9.7	8.9	8.3
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.3	8.8	6.5	9.0	4.5	4.7	6.3	7.5	9.4	7.8
娯楽施設が充実していない	6.7	9.9	5.5	6.5	6.2	6.7	6.7	4.8	7.5	5.8	8.7
物価が高い	6.6	8.6	6.1	8.3	5.6	2.2	7.4	8.5	7.5	6.3	4.4
スポーツをする場が乏しい	6.4	2.6	8.3	8.3	4.5	9.0	3.4	8.5	5.4	3.6	9.7
買い物など日常生活が不便である	6.3	4.0	2.8	3.0	7.3	9.0	△ 16.1	9.0	7.5	4.0	5.8
子育ての環境が整っていない	6.0	10.6	5.5	5.2	6.2	4.5	▲ 0.7	4.8	9.7	8.5	5.8
子どもの教育環境が整っていない	5.4	4.6	4.4	5.7	4.5	5.6	4.7	5.8	6.5	7.6	6.3
文化活動をする場が乏しい	4.2	4.0	2.2	5.2	1.1	4.5	3.4	4.2	2.2	8.0	4.9
自然環境が悪い	4.1	2.6	6.6	5.2	3.4	1.1	2.7	6.9	0.0	3.1	5.3
住まいの環境が悪い	3.9	4.0	7.7	3.0	2.2	△ 9.0	4.7	5.8	1.1	2.2	1.0
災害が多い	2.2	4.0	2.8	2.6	4.5	1.1	0.7	0.0	0.0	1.3	3.4
勤務先から遠い	2.1	0.7	0.6	1.7	2.8	1.1	1.3	2.1	3.2	5.4	1.9
都心に出にくい	1.9	0.7	0.6	0.9	1.1	6.7	5.4	1.6	5.4	1.8	0.0
公害が多い	1.8	0.7	1.7	1.3	5.1	1.1	1.3	0.5	2.2	2.2	1.5
特になし	10.9	9.3	7.7	13.5	11.2	7.9	8.7	12.2	7.5	12.5	12.1
その他	15.0	15.9	18.8	15.7	15.7	▲ 9.0	15.4	13.2	17.2	15.2	12.6
無回答	2.1	1.3	2.2	2.6	1.7	1.1	0.7	3.7	1.1	1.8	1.9

(7) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居注意向別）

居注意向別にみると、「治安が悪い」は住み続けたくない(74.7%)が7割半ばと、住み続けたい(45.3%)より29.4ポイント高くなっています。

「街並みがきたない」は住み続けたくない(23.1%)が2割を超えて、住み続けたい(10.5%)より12.6ポイント高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（居注意向別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	住み続けたい (n=1,414)	住み続けたくない (n=277)
治安が悪い	49.4	45.3	☆ 74.7
公共交通機関が充実していない	13.0	12.7	13.4
街並みがきたない	12.2	10.5	○ 23.1
道路事情が悪い	10.9	10.5	13.0
公園などの憩いの場が乏しい	9.3	9.7	7.2
医療サービスが不十分である	9.0	9.0	8.3
福祉サービスの水準が低い	8.0	8.4	5.8
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.9	5.1
娯楽施設が充実していない	6.7	7.4	2.2
物価が高い	6.6	6.4	7.2
スポーツをする場が乏しい	6.4	6.7	4.7
買い物など日常生活が不便である	6.3	6.0	7.2
子育ての環境が整っていない	6.0	4.8	△ 12.3
子どもの教育環境が整っていない	5.4	4.9	9.0
文化活動をする場が乏しい	4.2	4.5	2.9
自然環境が悪い	4.1	3.7	6.5
住まいの環境が悪い	3.9	3.4	6.1
災害が多い	2.2	2.3	2.2
勤務先から遠い	2.1	2.3	1.4
都心に出にくい	1.9	2.1	1.1
公害が多い	1.8	2.0	1.1
特になし	10.9	12.7	▲ 2.5
その他	15.0	13.6	19.9
無回答	2.1	2.3	0.4

6 川口市に住むことを勧めたいか

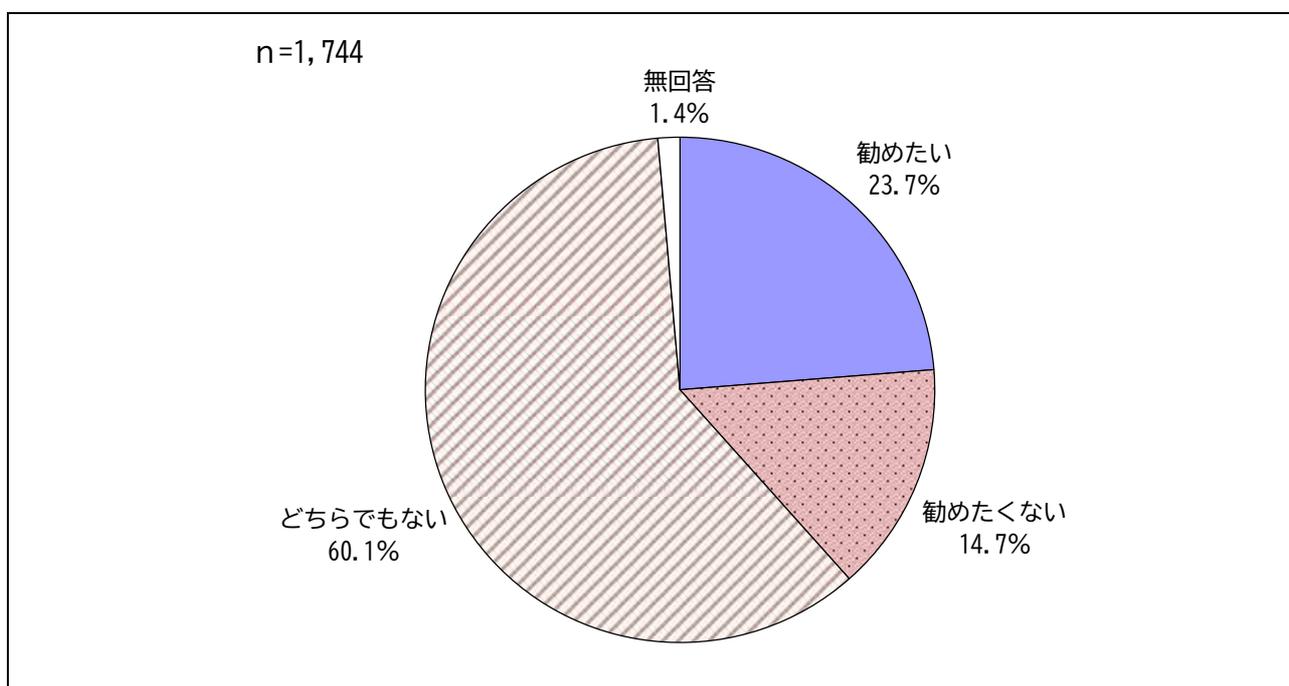
(1) 川口市に住むことを勧めたいか

問4 (3) 友人や知人に川口市に住むことを勧めたいですか。(○は1つ)

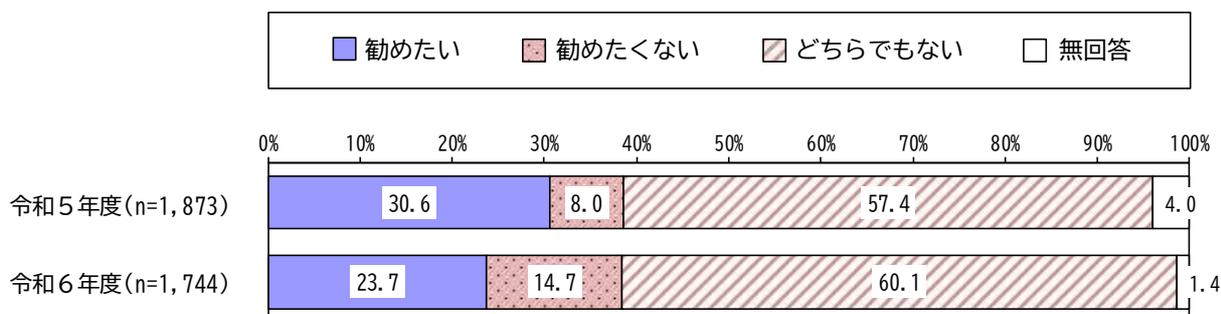
川口市に住むことを勧めたいか聞いたところ、「勧めたい」が23.7%で2割を超えています。一方、「勧めたくない」が14.7%で1割半ば、「どちらでもない」が60.1%で約6割を占めています。

川口市に住むことを勧めたいかの推移をみると令和5年度と比べ、「勧めたい」は6.9ポイント減少しており、反対に「勧めたくない」は6.7ポイント増加しています。

【川口市に住むことを勧めたいか (全体)】



【川口市に住むことを勧めたいかの推移】



(2) 川口市に住むことを勧めたいか（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「勧めたい」は男性60～64歳(34.7%)で3割半ばと最も高く、男性18～29歳(29.3%)で3割近くと高くなっています。

「勧めたくない」は男性40～49歳(26.4%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

【川口市に住むことを勧めたいか（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体		1,744	23.7	14.7	60.1	1.4
男性		753	24.0	16.6	58.0	1.3
女性		930	23.7	13.1	61.8	1.4
自由記載		3	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	0.0
男 性	18～29歳	82	△ 29.3	△ 24.4	● 46.3	0.0
	30～39歳	117	25.6	△ 21.4	● 49.6	3.4
	40～49歳	129	▲ 17.1	○ 26.4	56.6	0.0
	50～59歳	139	28.1	11.5	59.7	0.7
	60～64歳	72	○ 34.7	13.9	● 47.2	4.2
	65～74歳	113	● 12.4	13.3	○ 73.5	0.9
	75歳以上	100	27.0	● 4.0	△ 68.0	1.0
女 性	18～29歳	124	25.8	△ 22.6	● 50.0	1.6
	30～39歳	134	26.1	18.7	▲ 54.5	0.7
	40～49歳	136	27.9	14.0	57.4	0.7
	50～59歳	189	20.1	14.3	64.6	1.1
	60～64歳	67	25.4	▲ 9.0	△ 65.7	0.0
	65～74歳	115	▲ 16.5	▲ 5.2	☆ 77.4	0.9
	75歳以上	165	24.8	▲ 6.7	64.8	3.6

(3) 川口市に住むことを勧めたいか（出生地別）

出生地別にみると、「勧めたい」は国外(51.7%)で5割を超えて最も高くなっています。
「勧めたくない」は川口市以外の埼玉県内(20.1%)で約2割となっています。

【川口市に住むことを勧めたいか（出生地別）】

	(人)				(%)	
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答	
全体	1,744	23.7	14.7	60.1	1.4	
川口市内	509	27.9	13.9	57.0	1.2	
川口市以外の埼玉県内	194	20.1	△ 20.1	58.2	1.5	
埼玉県外	927	20.7	14.3	63.5	1.4	
国外	58	☆ 51.7	▲ 6.9	★ 39.7	1.7	

(4) 川口市に住むことを勧めたいか（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「勧めたい」は埼玉県、東京都以外の道府県(34.6%)で3割半ばと高くなっています。

【川口市に住むことを勧めたいか（通勤・通学先別）】

	(人)				(%)
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体	1,744	23.7	14.7	60.1	1.4
川口市内	412	23.5	13.3	62.1	1.0
埼玉県内（川口市以外）	183	23.5	19.7	55.7	1.1
東京都内	531	25.6	18.8	▲ 54.8	0.8
埼玉県、東京都以外の道府県	52	○ 34.6	▲ 7.7	57.7	0.0

(5) 川口市に住むことを勧めたいか（居住年数別）

居住年数別にみると、「勧めたくない」は在住して5年未満(23.1%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市に住むことを勧めたいか（居住年数別）】

	(人)				(%)	
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答	
全体	1,744	23.7	14.7	60.1	1.4	
生まれてからずっと住んでいる	318	27.7	14.5	56.9	0.9	
在住して5年未満	247	22.3	△ 23.1	▲ 53.0	1.6	
在住して5年以上～10年未満	147	25.2	14.3	59.2	1.4	
在住して10年以上～20年未満	267	22.8	18.7	57.3	1.1	
在住して20年以上～30年未満	220	23.6	12.3	63.2	0.9	
在住して30年以上	479	21.9	▲ 9.6	△ 66.6	1.9	

(6) 川口市に住むことを勧めたいか（居住地域別）

居住地域別にみると、「勧めたい」は中央地域(29.1%)で3割近くと最も高くなっています。

【川口市に住むことを勧めたいか（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体	1,744	23.7	14.7	60.1	1.4
中央地域	151	△ 29.1	17.9	▲ 53.0	0.0
横曽根地域	181	26.5	▲ 8.3	62.4	2.8
青木地域	230	20.0	15.2	63.5	1.3
南平地域	178	26.4	13.5	59.6	0.6
新郷地域	89	● 13.5	14.6	△ 69.7	2.2
神根地域	149	19.5	16.1	61.1	3.4
芝地域	189	22.2	16.9	59.8	1.1
安行地域	93	26.9	10.8	62.4	0.0
戸塚地域	224	26.8	16.5	55.4	1.3
鳩ヶ谷地域	206	22.8	13.6	62.1	1.5

7 川口市に愛着や誇りを持っているか

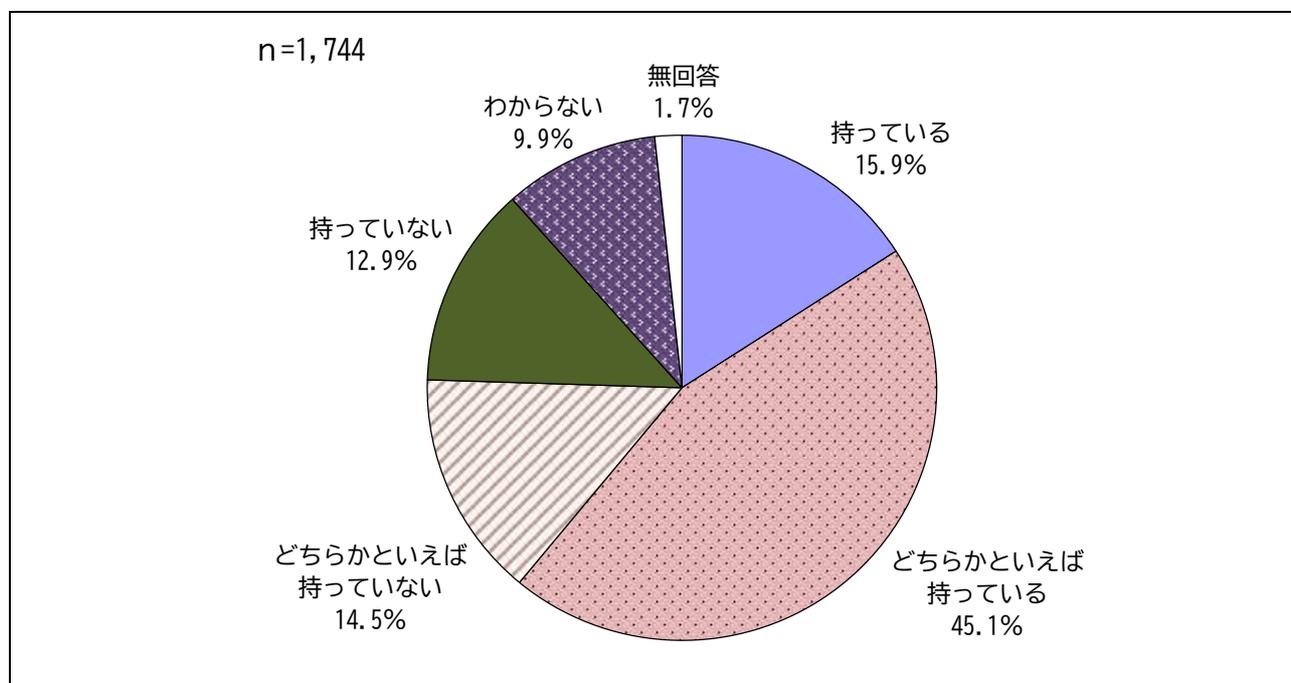
(1) 川口市に愛着や誇りを持っているか

問4 (4) 川口市やお住まいの地域に愛着や誇りを持っていますか。(○は1つ)

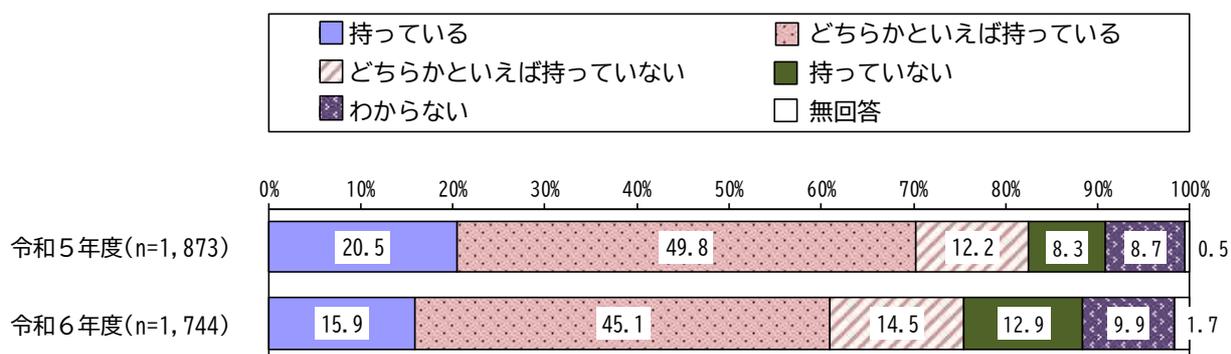
川口市に愛着や誇りを持っているかを聞いたところ、「持っている」(15.9%)と「どちらかといえば持っている」(45.1%)を合わせた『持っている』は61.0%で6割を超えています。一方、「どちらかといえば持っていない」(14.5%)と「持っていない」(12.9%)を合わせた『持っていない』は27.4%で2割半ばを超えています。

川口市に愛着や誇りを持っているかの推移をみると令和5年度と比べ、『持っている』は9.3ポイント減少しています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか (全体)】



【川口市に愛着や誇りを持っているかの推移】



(2) 川口市に愛着や誇りを持っているか（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「持っている」は男性75歳以上(26.0%)で2割半ばを超えて最も高く、女性75歳以上(22.4%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（性別、性・年齢別）】

		(人)			(%)			
		合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば持っ ていない	持って いない	わからない	無回答
全体		1,744	15.9	45.1	14.5	12.9	9.9	1.7
男性		753	16.2	43.3	15.8	15.3	8.5	0.9
女性		930	15.7	46.5	13.4	11.2	11.1	2.2
自由記載		3	★ 0.0	★ 0.0	☆ 33.3	☆ 33.3	☆ 33.3	0.0
男 性	18～29歳	82	19.5	● 30.5	12.2	○ 26.8	11.0	0.0
	30～39歳	117	11.1	● 34.2	△ 22.2	○ 23.9	7.7	0.9
	40～49歳	129	13.2	41.1	17.1	△ 21.7	6.2	0.8
	50～59歳	139	16.5	46.8	12.9	12.9	9.4	1.4
	60～64歳	72	△ 22.2	43.1	11.1	9.7	13.9	0.0
	65～74歳	113	▲ 9.7	△ 54.0	17.7	9.7	7.1	1.8
	75歳以上	100	○ 26.0	50.0	15.0	● 1.0	7.0	1.0
女 性	18～29歳	124	▲ 8.9	41.1	19.4	△ 19.4	9.7	1.6
	30～39歳	134	16.4	45.5	12.7	15.7	7.5	2.2
	40～49歳	136	12.5	49.3	12.5	16.2	8.1	1.5
	50～59歳	189	16.4	45.5	15.3	10.1	12.7	0.0
	60～64歳	67	14.9	○ 56.7	10.4	● 1.5	△ 16.4	0.0
	65～74歳	115	15.7	△ 51.3	▲ 7.8	▲ 7.8	13.0	4.3
	75歳以上	165	△ 22.4	42.4	13.3	▲ 4.8	12.1	4.8

(3) 川口市に愛着や誇りを持っているか（出生地別）

出生地別にみると、「持っている」は国外(29.3%)で3割近くと最も高く、川口市内(22.6%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（出生地別）】

	(人)				(%)		
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば持 っていない	持っ てい ない	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,744	15.9	45.1	14.5	12.9	9.9	1.7
川口市内	509	△ 22.6	47.7	10.6	8.1	9.2	1.8
川口市以外の埼玉県内	194	16.0	41.8	17.5	12.9	10.8	1.0
埼玉県外	927	11.3	44.2	16.4	15.7	10.6	1.7
国外	58	○ 29.3	41.4	10.3	12.1	6.9	0.0

(4) 川口市に愛着や誇りを持っているか（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「持っている」は埼玉県、東京都以外の道府県(21.2%)で2割を超えて高くなっています。

また、「持っていない」は、東京都内(20.5%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（通勤・通学先別）】

	(人)				(%)		
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば持 っていない	持っ てい ない	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,744	15.9	45.1	14.5	12.9	9.9	1.7
川口市内	412	16.0	47.1	13.8	11.7	9.5	1.9
埼玉県内（川口市以外）	183	16.9	40.4	△ 21.3	11.5	9.3	0.5
東京都内	531	12.6	43.5	14.7	△ 20.5	8.1	0.6
埼玉県、東京都以外の道府県	52	△ 21.2	46.2	15.4	11.5	5.8	0.0

(5) 川口市に愛着や誇りを持っているか（居住年数別）

居住年数別にみると、「持っている」は生まれてからずっと住んでいる(25.2%)で2割半ばと高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（居住年数別）】

	(人)				(%)		
	合計	持っている	どちらか と い え ば 持 っ て い る	どちらか と い え ば 持 っ て い な い	持っ て い な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,744	15.9	45.1	14.5	12.9	9.9	1.7
生まれてからずっと住んでいる	318	△ 25.2	47.5	10.1	▲ 7.5	7.5	2.2
在住して5年未満	247	● 5.3	● 34.0	17.4	○ 27.9	14.2	1.2
在住して5年以上～10年未満	147	12.9	40.1	16.3	△ 19.0	10.9	0.7
在住して10年以上～20年未満	267	12.0	43.4	17.6	16.9	9.4	0.7
在住して20年以上～30年未満	220	13.6	48.6	15.0	8.6	13.2	0.9
在住して30年以上	479	18.4	49.9	13.6	▲ 7.3	8.4	2.5

(6) 川口市に愛着や誇りを持っているか（居住地域別）

居住地域別にみると、「持っている」は中央地域(21.9%)で2割を超えて最も高くなっています。また、「わからない」は安行地域(21.5%)で2割を超えて最も高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（居住地域別）】

	(人)				(%)		
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば持っ ていない	持って いない	わからない	無回答
全体	1,744	15.9	45.1	14.5	12.9	9.9	1.7
中央地域	151	△ 21.9	49.7	12.6	10.6	▲ 4.0	1.3
横曽根地域	181	19.9	42.5	16.6	9.9	9.4	1.7
青木地域	230	19.1	47.4	12.2	12.2	7.4	1.7
南平地域	178	15.7	42.1	18.0	12.4	9.6	2.2
新郷地域	89	▲ 10.1	▲ 37.1	△ 23.6	10.1	△ 15.7	3.4
神根地域	149	16.1	41.6	16.1	12.1	12.1	2.0
芝地域	189	14.3	46.0	10.1	△ 18.0	11.1	0.5
安行地域	93	11.8	45.2	9.7	10.8	○ 21.5	1.1
戸塚地域	224	13.8	44.2	16.1	15.6	8.9	1.3
鳩ヶ谷地域	206	11.2	49.5	15.5	14.6	8.3	1.0

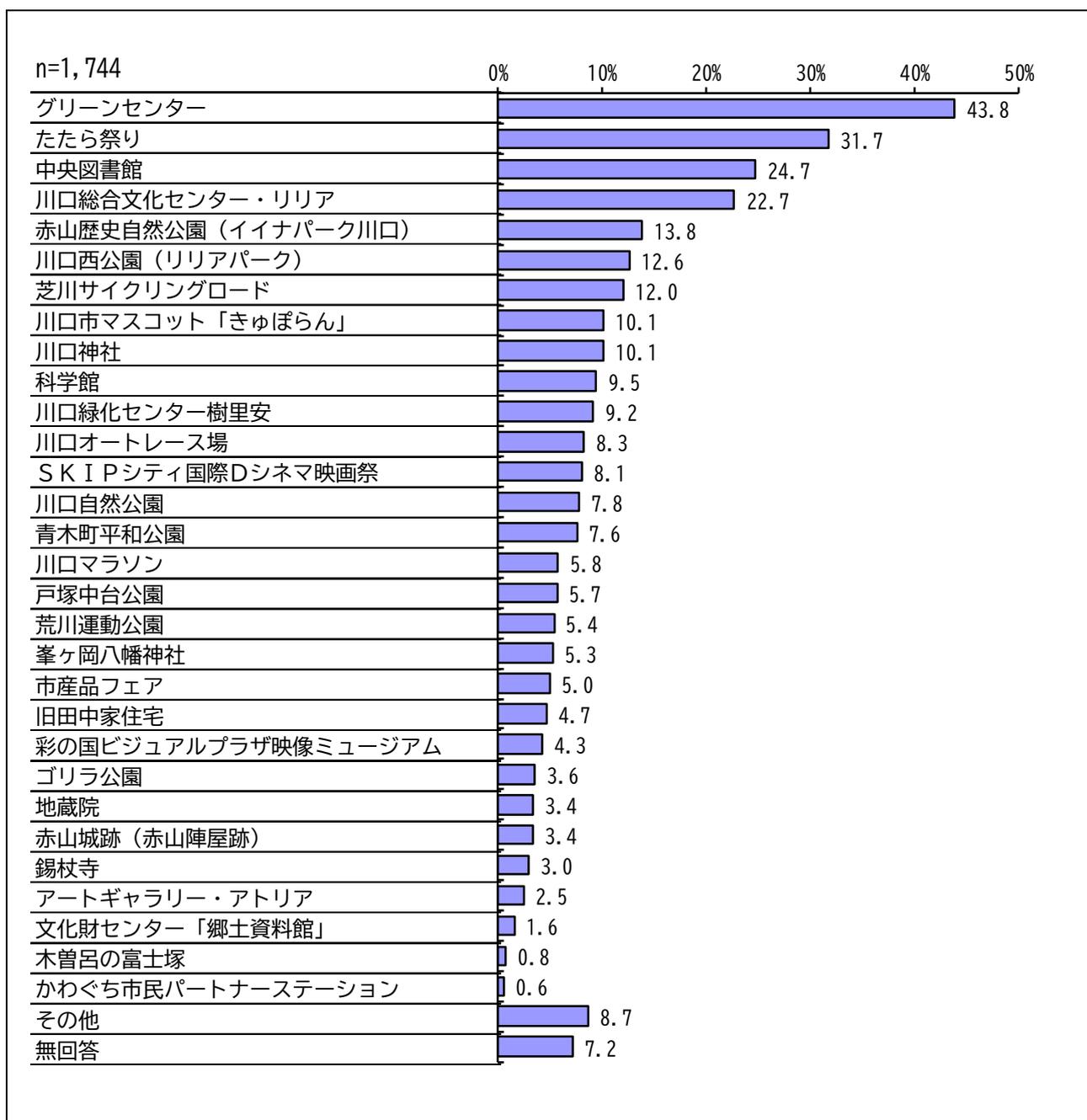
8 川口市の好きな場所、もの、行事

(1) 川口市の好きな場所、もの、行事

問5 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。(〇はいくつでも)

川口市の好きな場所、もの、行事は、「グリーンセンター」が43.8%で4割を超えて最も高く、「たたら祭り」が31.7%、「中央図書館」が24.7%、「川口総合文化センター・リリア」が22.7%と続いています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（全体）】



(2) 川口市の好きな場所、もの、行事（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「グリーンセンター」は女性65～74歳(57.4%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

「川口総合文化センター・リリア」は女性75歳以上(40.6%)で4割を超えて最も高く、男性75歳以上(34.0%)で3割半ば近くと高くなっています。

「川口緑化センター樹里安」は女性75歳以上(26.1%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
グリーンセンター	43.8	★ 19.5	● 32.5	△ 49.6	38.8	△ 50.0	46.9	47.0
たたら祭り	31.7	32.9	28.2	△ 37.2	36.7	34.7	27.4	36.0
中央図書館	24.7	20.7	21.4	27.9	23.0	▲ 18.1	▲ 18.6	▲ 15.0
川口総合文化センター・リリア	22.7	● 11.0	● 9.4	18.6	▲ 15.1	19.4	23.0	○ 34.0
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	13.8	● 3.7	13.7	13.2	16.5	▲ 8.3	11.5	15.0
川口西公園（リリアパーク）	12.6	▲ 7.3	14.5	14.7	▲ 7.2	▲ 5.6	12.4	10.0
芝川サイクリングロード	12.0	12.2	13.7	16.3	△ 18.7	13.9	9.7	14.0
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	12.2	6.0	12.4	13.7	6.9	● 0.0	▲ 3.0
川口神社	10.1	8.5	5.1	8.5	12.9	12.5	8.0	11.0
科学館	9.5	13.4	8.5	△ 14.7	11.5	▲ 4.2	7.1	6.0
川口緑化センター樹里安	9.2	▲ 2.4	▲ 2.6	5.4	7.2	8.3	9.7	△ 18.0
川口オートレース場	8.3	11.0	9.4	7.8	12.9	△ 18.1	9.7	13.0
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	6.1	3.4	7.0	8.6	12.5	9.7	13.0
川口自然公園	7.8	8.5	6.8	10.9	4.3	11.1	12.4	5.0
青木町平和公園	7.6	6.1	6.0	3.9	9.4	5.6	12.4	△ 13.0
川口マラソン	5.8	2.4	2.6	6.2	9.4	4.2	3.5	10.0
戸塚中台公園	5.7	3.7	6.0	7.8	5.0	6.9	3.5	6.0
荒川運動公園	5.4	2.4	4.3	10.1	10.1	2.8	3.5	7.0
峯ヶ岡八幡神社	5.3	3.7	4.3	5.4	3.6	6.9	3.5	7.0
市産品フェア	5.0	1.2	3.4	2.3	8.6	2.8	5.3	△ 12.0
旧田中家住宅	4.7	3.7	1.7	3.9	4.3	2.8	5.3	8.0
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.3	2.4	2.6	6.2	4.3	6.9	0.9	2.0
ゴリラ公園	3.6	4.9	6.0	4.7	5.0	0.0	0.9	1.0
地藏院	3.4	1.2	1.7	2.3	6.5	2.8	2.7	1.0
赤山城跡（赤山陣屋跡）	3.4	1.2	1.7	2.3	5.8	2.8	6.2	△ 9.0
錫杖寺	3.0	3.7	0.9	3.9	2.9	1.4	5.3	2.0
アートギャラリー・アトリア	2.5	1.2	0.0	3.1	2.9	1.4	2.7	2.0
文化財センター「郷土資料館」	1.6	3.7	0.0	0.8	1.4	4.2	2.7	1.0
木曽呂の富士塚	0.8	1.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	3.0
かわぐち市民パートナーステーション	0.6	1.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	0.0
その他	8.7	3.7	5.1	8.5	11.5	4.2	7.1	10.0
無回答	7.2	○ 22.0	11.1	9.3	3.6	▲ 0.0	6.2	6.0

【川口市の好きな場所、もの、行事（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
グリーンセンター	43.8	★ 26.6	44.8	△ 51.5	43.4	△ 49.3	○ 57.4	△ 51.5
たたら祭り	31.7	○ 41.9	32.8	35.3	27.0	▲ 23.9	▲ 22.6	26.7
中央図書館	24.7	△ 29.8	△ 34.3	27.9	29.6	23.9	24.3	21.2
川口総合文化センター・リリア	22.7	22.6	▲ 15.7	22.1	25.4	22.4	△ 29.6	☆ 40.6
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	13.8	▲ 8.1	△ 20.9	△ 19.9	9.5	△ 20.9	17.4	14.5
川口西公園（リリアパーク）	12.6	8.9	14.2	14.7	12.2	16.4	△ 19.1	15.8
芝川サイクリングロード	12.0	▲ 5.6	▲ 6.0	▲ 6.6	12.2	11.9	14.8	13.9
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	12.1	9.0	○ 22.1	14.8	7.5	9.6	6.7
川口神社	10.1	7.3	6.7	12.5	10.1	△ 16.4	11.3	13.3
科学館	9.5	8.9	11.2	△ 18.4	12.2	4.5	6.1	▲ 3.0
川口緑化センター樹里安	9.2	4.8	▲ 3.7	6.6	9.0	10.4	11.3	☆ 26.1
川口オートレース場	8.3	4.0	9.7	5.9	7.9	▲ 3.0	▲ 2.6	3.6
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	8.1	3.7	7.4	7.4	6.0	7.8	10.3
川口自然公園	7.8	7.3	4.5	6.6	7.4	△ 13.4	8.7	9.1
青木町平和公園	7.6	5.6	▲ 2.2	2.9	7.4	9.0	△ 13.0	9.7
川口マラソン	5.8	4.8	1.5	5.9	5.3	6.0	9.6	7.3
戸塚中台公園	5.7	6.5	6.7	5.9	7.4	6.0	4.3	4.8
荒川運動公園	5.4	4.0	3.7	5.9	6.3	6.0	3.5	3.6
峯ヶ岡八幡神社	5.3	1.6	3.0	2.9	9.5	△ 10.4	5.2	6.7
市産品フェア	5.0	0.8	6.0	7.4	4.8	4.5	7.8	3.6
旧田中家住宅	4.7	0.8	3.0	1.5	5.8	4.5	7.8	9.7
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.3	7.3	6.0	5.1	3.7	4.5	3.5	4.8
ゴリラ公園	3.6	3.2	7.5	3.7	2.1	6.0	1.7	3.0
地藏院	3.4	2.4	0.7	1.5	6.3	1.5	7.8	5.5
赤山城跡（赤山陣屋跡）	3.4	0.8	0.0	1.5	3.7	7.5	3.5	4.8
錫杖寺	3.0	0.0	0.0	0.7	4.8	3.0	5.2	6.1
アートギャラリー・アトリア	2.5	1.6	2.2	3.7	3.7	3.0	3.5	2.4
文化財センター「郷土資料館」	1.6	0.8	0.7	1.5	1.6	0.0	1.7	3.0
木曾呂の富士塚	0.8	0.0	0.7	0.0	1.1	3.0	0.9	0.6
かわぐち市民パートナーステーション	0.6	0.0	0.0	1.5	0.5	0.0	1.7	1.8
その他	8.7	8.1	8.2	8.8	11.1	9.0	11.3	9.1
無回答	7.2	4.8	5.2	7.4	6.3	7.5	9.6	6.7

(3) 川口市の好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「グリーンセンター」は川口市内(46.6%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「たたら祭り」は埼玉県、東京都以外の道府県(42.3%)で4割を超えて高くなっています。

「川口市マスコット「きゅぼらん」」は埼玉県、東京都以外の道府県(21.2%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）】

	全体 (n=1,744)	川口市内 (n=412)	埼玉県内 (川口市以外) (n=183)	東京都内 (n=531)	埼玉県、東京都 以外の道府県 (n=52)
グリーンセンター	43.8	46.6	42.6	▲ 38.2	● 32.7
たたら祭り	31.7	34.0	30.6	31.3	○ 42.3
中央図書館	24.7	21.6	19.7	△ 31.3	▲ 19.2
川口総合文化センター・リリア	22.7	18.7	▲ 17.5	18.5	▲ 17.3
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	13.8	17.2	12.0	11.1	11.5
川口西公園（リリアパーク）	12.6	10.9	▲ 6.6	13.2	9.6
芝川サイクリングロード	12.0	14.1	12.0	11.5	11.5
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	12.9	9.8	10.7	○ 21.2
川口神社	10.1	9.7	7.1	9.6	△ 17.3
科学館	9.5	10.0	9.8	10.2	13.5
川口緑化センター樹里安	9.2	8.3	5.5	4.9	9.6
川口オートレース場	8.3	10.0	11.5	7.5	5.8
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	8.0	6.6	6.4	11.5
川口自然公園	7.8	11.4	8.7	4.9	5.8
青木町平和公園	7.6	6.8	6.6	5.3	7.7
川口マラソン	5.8	5.1	4.9	5.5	3.8
戸塚中台公園	5.7	7.3	8.2	4.7	5.8
荒川運動公園	5.4	4.1	4.9	7.0	5.8
峯ヶ岡八幡神社	5.3	7.0	6.0	3.2	3.8
市産品フェア	5.0	7.5	3.3	2.8	1.9
旧田中家住宅	4.7	5.1	2.2	3.4	1.9
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.3	5.8	3.3	3.6	1.9
ゴリラ公園	3.6	3.4	△ 10.4	2.6	3.8
地藏院	3.4	3.9	1.1	2.8	0.0
赤山城跡（赤山陣屋跡）	3.4	3.9	2.7	1.5	5.8
錫杖寺	3.0	3.4	1.1	2.1	3.8
アートギャラリー・アトリア	2.5	3.6	2.7	1.3	3.8
文化財センター「郷土資料館」	1.6	1.2	0.0	1.7	0.0
木曾呂の富士塚	0.8	0.5	1.6	0.0	0.0
かわぐち市民パートナーズステーション	0.6	1.0	0.0	0.4	0.0
その他	8.7	6.3	13.7	7.3	3.8
無回答	7.2	7.8	4.9	9.4	3.8

(4) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）

居住地域別にみると、「グリーンセンター」は神根地域(59.7%)で6割近くと最も高く、鳩ヶ谷地域(51.0%)で5割を超えて高くなっています。

「たたら祭り」は青木地域(51.7%)で5割を超えて最も高くなっています。

「中央図書館」は中央地域(53.6%)で5割を超えて最も高く、横曽根地域(42.0%)で4割を超えて高くなっています。

「川口西公園(リリアパーク)」は横曽根地域(41.4%)で4割を超えて最も高く、中央地域(35.8%)で3割半ばと高くなっています。

「川口神社」は中央地域(35.1%)で3割半ばと最も高くなっています。

「青木町平和公園」は青木地域(25.2%)で2割半ばと最も高くなっています。

「戸塚中台公園」は戸塚地域(27.2%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「峯ヶ岡八幡神社」は新郷地域(29.2%)で3割近くと最も高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
グリーンセンター	43.8	● 33.1	● 30.9	48.7	▲ 36.0	39.3	☆ 59.7	45.5	43.0	43.3	△ 51.0
たたら祭り	31.7	▲ 24.5	▲ 22.1	☆ 51.7	△ 37.1	△ 41.6	29.5	● 20.1	31.2	▲ 22.3	36.4
中央図書館	24.7	☆ 53.6	☆ 42.0	○ 34.8	△ 33.1	★ 7.9	● 12.8	▲ 15.3	★ 7.5	● 12.9	▲ 16.5
川口総合文化センター・リリア	22.7	○ 34.4	○ 35.4	△ 29.1	27.5	▲ 16.9	18.1	▲ 17.5	▲ 16.1	● 12.5	▲ 13.6
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	13.8	▲ 7.3	9.4	11.3	9.0	△ 21.3	○ 25.5	▲ 5.3	△ 19.4	18.8	16.5
川口西公園（リリアパーク）	12.6	☆ 35.8	☆ 41.4	10.4	12.4	● 1.1	▲ 3.4	7.9	9.7	▲ 3.6	● 1.0
芝川サイクリングロード	12.0	▲ 6.0	▲ 5.5	△ 19.6	13.5	▲ 5.6	14.1	10.6	▲ 6.5	8.5	○ 22.3
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	11.3	12.2	13.0	10.7	7.9	7.4	11.1	11.8	5.8	10.7
川口神社	10.1	☆ 35.1	△ 19.9	7.0	△ 15.2	▲ 4.5	5.4	6.9	▲ 3.2	▲ 1.8	▲ 2.9
科学館	9.5	6.6	6.1	△ 16.5	10.7	△ 15.7	7.4	7.4	▲ 4.3	9.8	8.3
川口緑化センター樹里安	9.2	▲ 3.3	6.6	4.3	9.6	13.5	13.4	5.3	○ 22.6	11.6	9.2
川口オートレース場	8.3	5.3	7.7	△ 14.3	8.4	11.2	7.4	5.8	9.7	4.5	8.3
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	6.0	5.0	12.6	9.6	3.4	7.4	6.9	6.5	8.5	8.3
川口自然公園	7.8	▲ 2.6	3.3	7.0	5.1	▲ 1.1	△ 16.8	5.3	7.5	○ 20.5	2.9
青木町平和公園	7.6	2.6	10.5	☆ 25.2	2.8	▲ 2.2	4.0	6.9	4.3	3.6	2.9
川口マラソン	5.8	2.6	4.4	△ 12.2	5.1	1.1	10.1	6.3	3.2	4.9	2.9
戸塚中台公園	5.7	1.3	1.7	1.7	▲ 0.0	3.4	4.7	1.6	△ 12.9	☆ 27.2	1.0
荒川運動公園	5.4	△ 10.6	○ 16.0	4.8	5.6	1.1	0.7	5.3	6.5	1.8	1.5
峯ヶ岡八幡神社	5.3	2.0	1.1	3.0	3.4	☆ 29.2	4.0	1.1	○ 18.3	4.5	4.4
市産品フェア	5.0	5.3	4.4	△ 10.9	3.4	4.5	4.0	2.1	6.5	2.7	4.9
旧田中家住宅	4.7	4.6	2.2	5.2	△ 10.1	4.5	4.7	2.1	1.1	3.6	7.3
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.3	1.3	3.3	△ 10.0	5.6	4.5	2.7	1.1	1.1	3.1	6.8
ゴリラ公園	3.6	0.0	3.9	3.9	1.1	2.2	4.0	△ 13.2	2.2	2.2	0.5
地藏院	3.4	0.7	1.1	4.3	3.9	4.5	2.0	2.1	3.2	2.2	△ 8.7
赤山城跡（赤山陣屋跡）	3.4	0.7	0.6	3.0	2.2	6.7	4.7	1.6	5.4	4.9	6.3
錫杖寺	3.0	△ 9.3	3.9	4.3	6.2	0.0	0.7	0.5	0.0	0.9	2.4
アートギャラリー・アトリア	2.5	1.3	1.7	5.2	3.4	1.1	1.3	2.1	1.1	2.2	2.9
文化財センター「郷土資料館」	1.6	2.0	0.0	1.7	2.2	3.4	0.7	0.5	0.0	0.4	4.9
木曽呂の富士塚	0.8	0.0	0.0	0.9	0.0	1.1	2.7	1.6	1.1	0.0	1.0
かわぐち市民パートナーズステーション	0.6	1.3	0.0	2.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.7	7.3	6.6	9.1	7.9	9.0	6.0	10.6	9.7	10.3	8.7
無回答	7.2	4.0	8.3	3.0	9.0	11.2	7.4	8.5	10.8	8.5	6.3

(5) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）

居住意向別にみると、「グリーンセンター」は住み続けたい(47.9%)が4割半ばを超えて、住み続けたくない(26.4%)より21.5ポイント高くなっています。

「たたら祭り」は住み続けたい(33.7%)が3割を超えて、住み続けたくない(22.0%)より11.7ポイント高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）】

	全体 (n=1,744)	住み続けたい (n=1,414)	住み続けたくない (n=277)
グリーンセンター	43.8	47.9	★ 26.4
たたら祭り	31.7	33.7	▲ 22.0
中央図書館	24.7	25.7	22.4
川口総合文化センター・リリア	22.7	24.5	▲ 14.8
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	13.8	14.1	11.2
川口西公園（リリアパーク）	12.6	13.3	9.0
芝川サイクリングロード	12.0	13.0	7.6
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	10.8	7.2
川口神社	10.1	11.0	6.9
科学館	9.5	10.0	7.6
川口緑化センター樹里安	9.2	10.0	6.1
川口オートレース場	8.3	9.0	4.7
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.1	8.9	4.0
川口自然公園	7.8	8.7	4.3
青木町平和公園	7.6	8.6	3.6
川口マラソン	5.8	6.3	3.2
戸塚中台公園	5.7	6.2	4.0
荒川運動公園	5.4	6.0	3.6
峯ヶ岡八幡神社	5.3	5.7	3.6
市産品フェア	5.0	5.7	2.5
旧田中家住宅	4.7	5.4	1.8
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	4.3	4.5	3.2
ゴリラ公園	3.6	3.7	3.6
地藏院	3.4	3.5	4.0
赤山城跡（赤山陣屋跡）	3.4	3.7	1.8
錫杖寺	3.0	3.3	2.2
アートギャラリー・アトリア	2.5	2.5	1.4
文化財センター「郷土資料館」	1.6	1.8	0.7
木曾呂の富士塚	0.8	0.8	0.0
かわぐち市民パートナーステーション	0.6	0.8	0.0
その他	8.7	8.3	10.8
無回答	7.2	5.7	△ 13.0

9 川口市の状況や取り組みについての実感

(1) 川口市の状況や取り組みについての実感

問6 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。(それぞれに○は1つ)

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、報告書中では下記の表のように表記します。

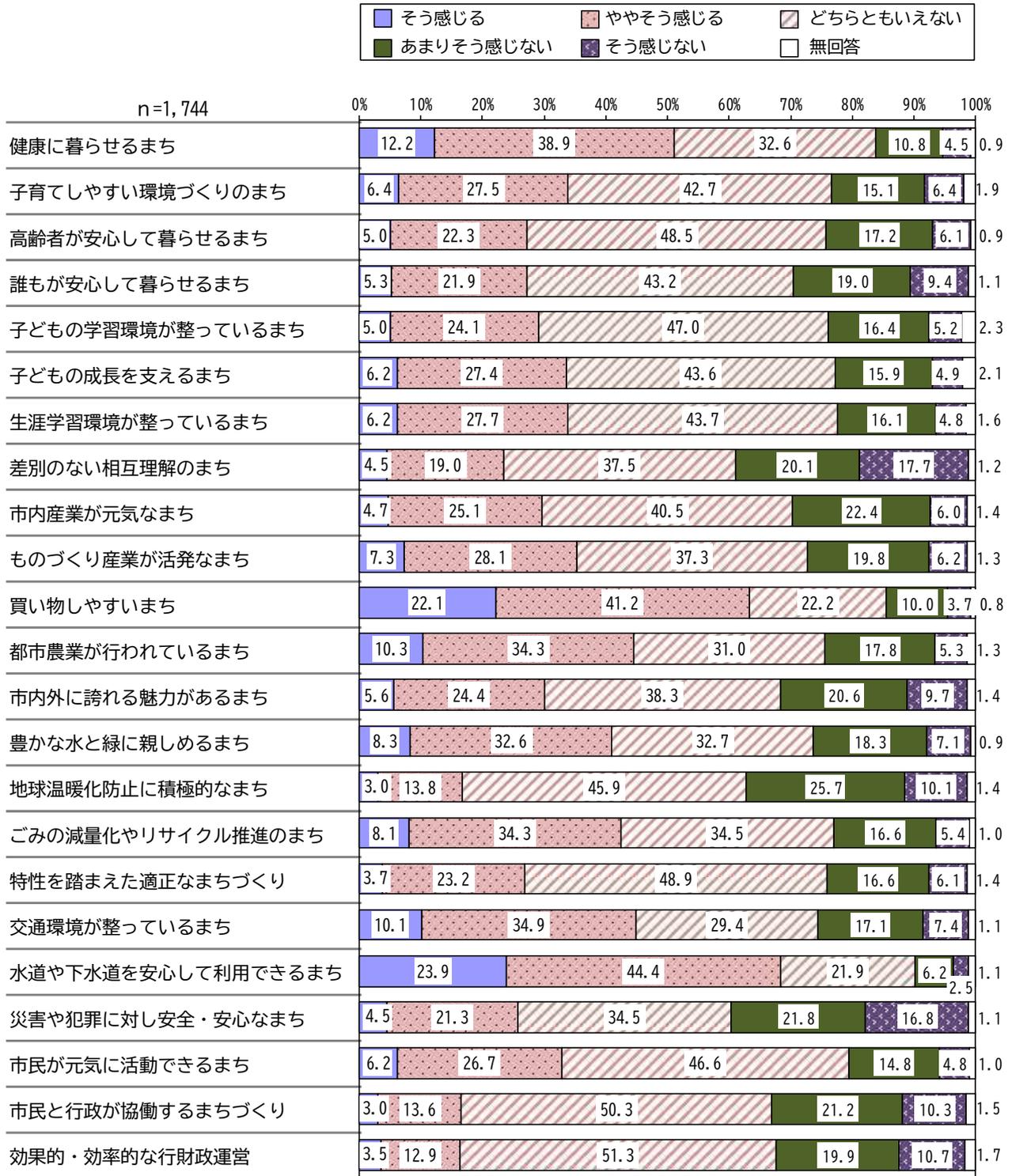
No.	まちづくりの基本的な方向性を示す状況や取り組み	報告書中の表記
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	健康に暮らせるまち
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	子育てしやすい環境づくりのまち
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	高齢者が安心して暮らせるまち
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	誰もが安心して暮らせるまち
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	子どもの学習環境が整っているまち
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	子どもの成長を支えるまち
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	生涯学習環境が整っているまち
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	差別のない相互理解のまち
9	市内産業が元気なまち	市内産業が元気なまち
10	ものづくり産業が活発なまち	ものづくり産業が活発なまち
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	買い物しやすいまち
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	都市農業が行われているまち
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	市内外に誇れる魅力があるまち
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	豊かな水と緑に親しめるまち
15	省エネ・再エネなど地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に行っているまち	地球温暖化防止に積極的なまち
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	ごみの減量化やリサイクル推進のまち
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	特性を踏まえた適正なまちづくり
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	交通環境が整っているまち
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	水道や下水道を安心して利用できるまち
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	災害や犯罪に対し安全・安心なまち
21	ボランティアや地域活動など(町会・自治会など)、市民が元気に活動できるまち	市民が元気に活動できるまち
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	市民と行政が協働するまちづくり
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	効果的・効率的な行財政運営

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』は、「水道や下水道を安心して利用できるまち」が68.3%、「買い物しやすいまち」が63.3%と6割を超えており、「健康に暮らせるまち」が51.1%と5割を超えています。

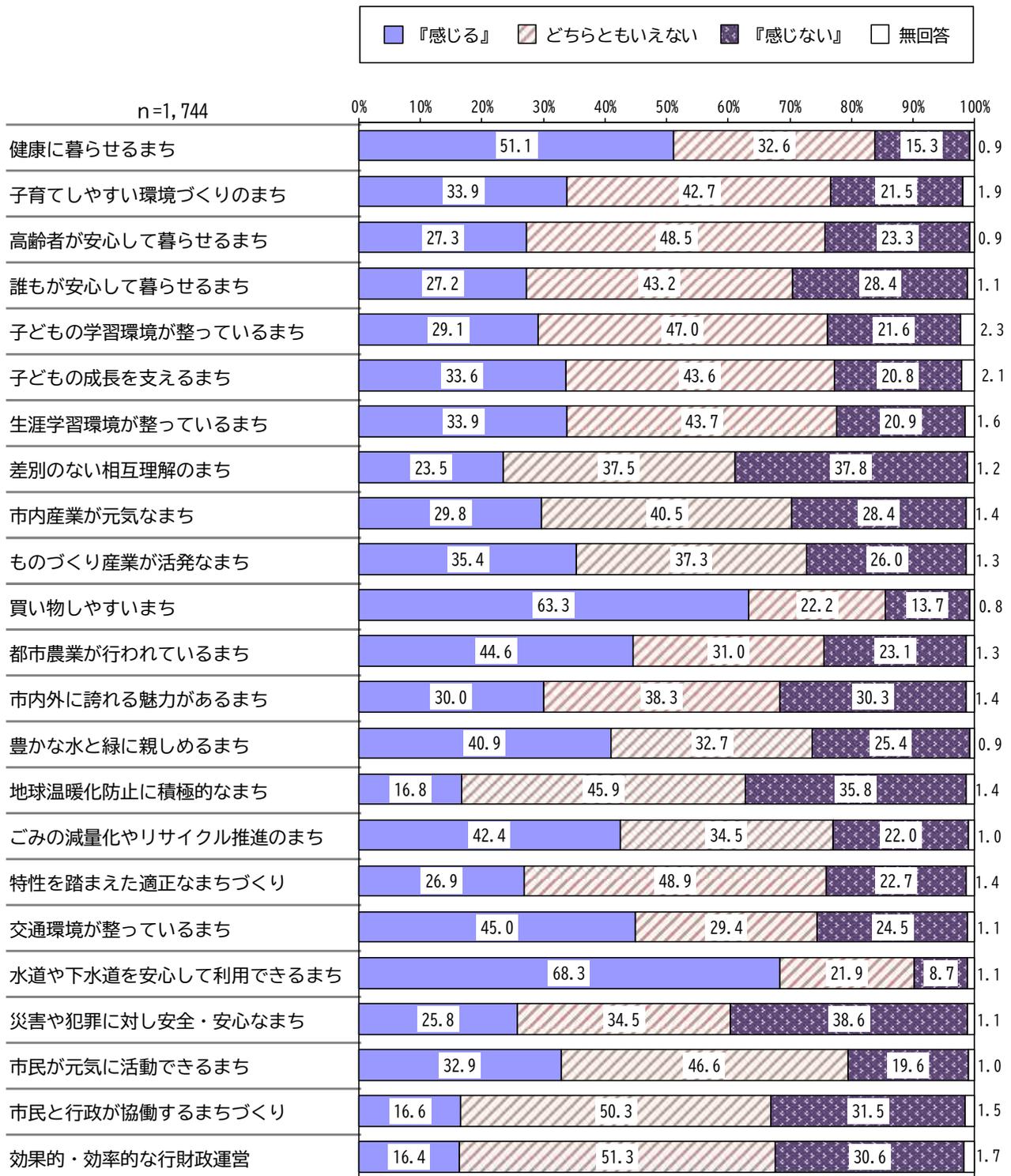
「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『感じない』は、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」が38.6%、「差別のない相互理解のまち」が37.8%、「地球温暖化防止に積極的なまち」が35.8%と3割半ばを超えています。

No.	まちづくりの基本的な方向性を示す状況や取り組み	『感じる』	『感じない』
1	健康に暮らせるまち	51.1%	15.3%
2	子育てしやすい環境づくりのまち	33.9%	21.5%
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.3%	23.3%
4	誰もが安心して暮らせるまち	27.2%	28.4%
5	子どもの学習環境が整っているまち	29.1%	21.6%
6	子どもの成長を支えるまち	33.6%	20.8%
7	生涯学習環境が整っているまち	33.9%	20.9%
8	差別のない相互理解のまち	23.5%	37.8%
9	市内産業が元気なまち	29.8%	28.4%
10	ものづくり産業が活発なまち	35.4%	26.0%
11	買い物しやすいまち	63.3%	13.7%
12	都市農業が行われているまち	44.6%	23.1%
13	市内外に誇れる魅力があるまち	30.0%	30.3%
14	豊かな水と緑に親しめるまち	40.9%	25.4%
15	地球温暖化防止に積極的なまち	16.8%	35.8%
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	42.4%	22.0%
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	26.9%	22.7%
18	交通環境が整っているまち	45.0%	24.5%
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	68.3%	8.7%
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	25.8%	38.6%
21	市民が元気に活動できるまち	32.9%	19.6%
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6%	31.5%
23	効果的・効率的な行財政運営	16.4%	30.6%

【川口市の状況や取り組みについての実感（全体）】



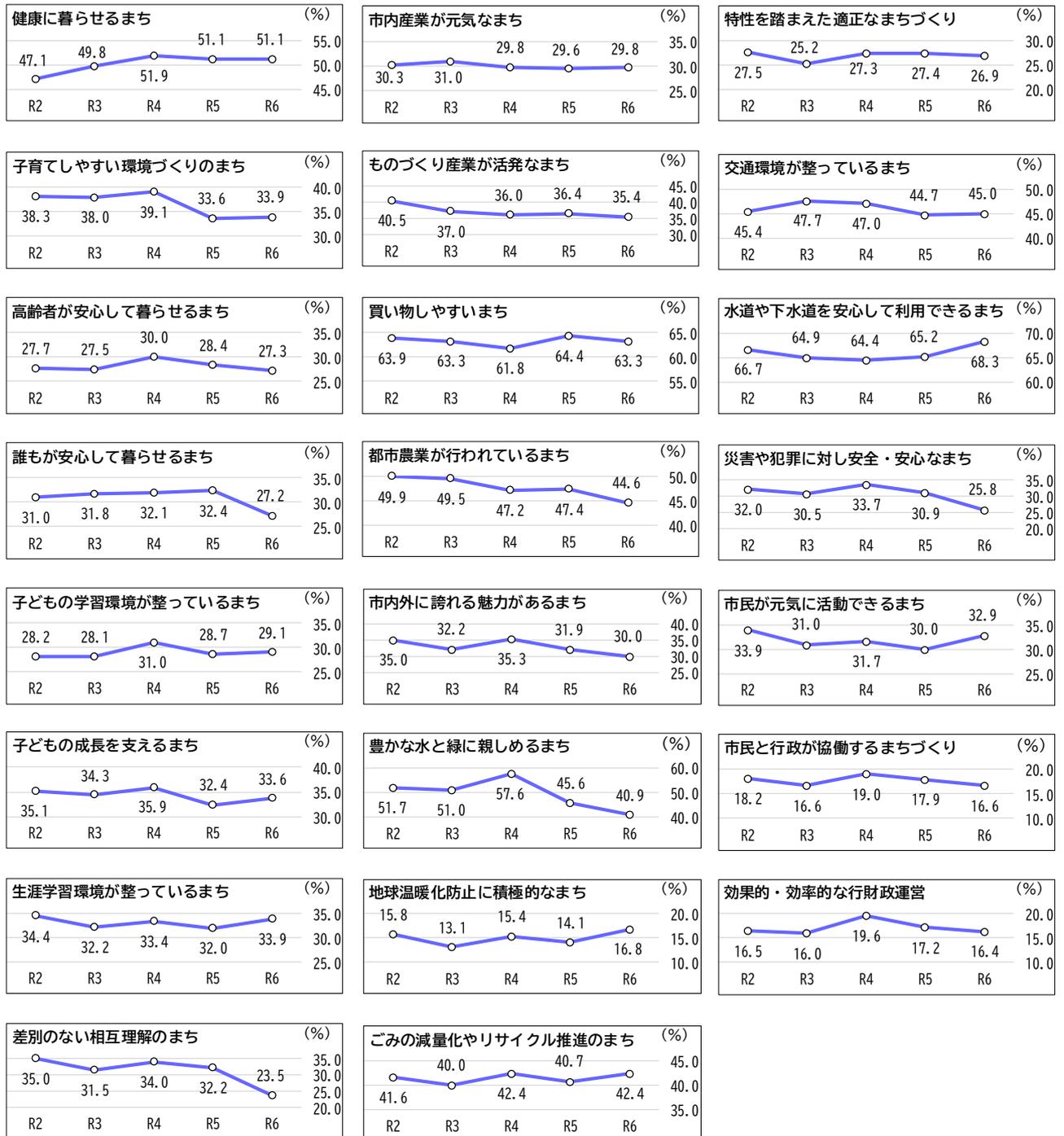
【川口市の状況や取り組みについての実感（全体・3区分）】



川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』の推移をみると、令和2年度と比べ、「健康に暮らせるまち」が4.0ポイント増加しています。

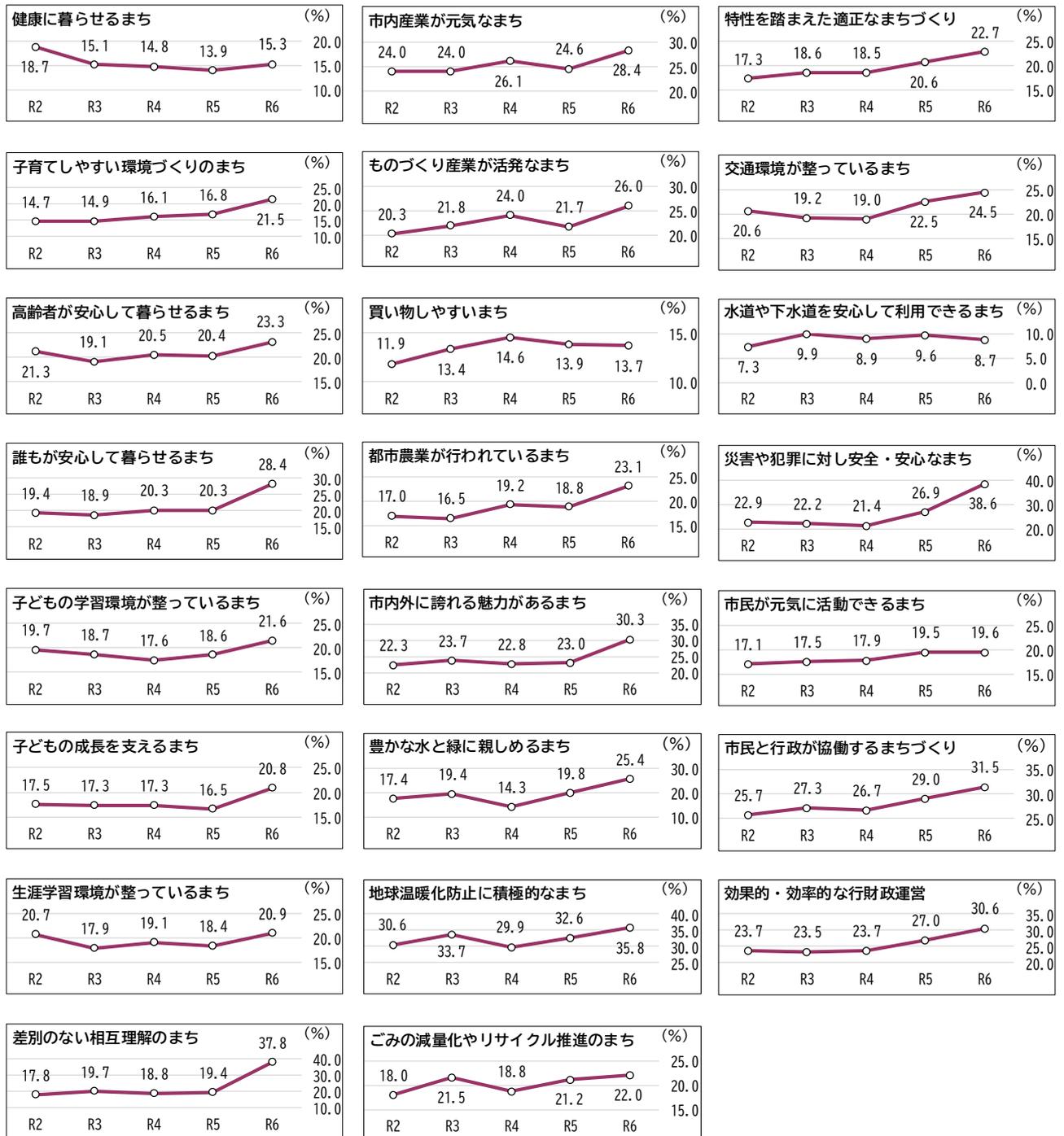
一方、「差別のない相互理解のまち」は11.5ポイント、「豊かな水と緑に親しめるまち」は10.8ポイント、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は6.2ポイント、それぞれ減少しています。

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合の推移】



川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『感じない』の推移をみると、令和2年度と比べ、「差別のない相互理解のまち」は20.0ポイント、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は15.7ポイント、「誰もが安心して暮らせるまち」は9.0ポイント、「市内外に誇れる魅力があるまち」と「豊かな水と緑に親しめるまち」はともに8.0ポイント、それぞれ増加しています。

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じない』割合の推移】



(2) 川口市の状況や取り組みについての実感（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』が40%以上である項目の数は、男性18～29歳で11項目、女性18～29歳と女性75歳以上が10項目と多くなっています。

『感じる』の割合が40%以上の項目数			
男性 18～29 歳	11	女性 18～29 歳	10
男性 30～39 歳	4	女性 30～39 歳	5
男性 40～49 歳	4	女性 40～49 歳	6
男性 50～59 歳	8	女性 50～59 歳	6
男性 60～64 歳	5	女性 60～64 歳	7
男性 65～74 歳	4	女性 65～74 歳	6
男性 75 歳以上	9	女性 75 歳以上	10

「健康に暮らせるまち」は女性18～29歳(60.5%)で6割に達し最も高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は男性50～59歳(40.3%)で4割に達し最も高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は女性18～29歳(42.0%)、女性75歳以上(40.0%)で4割以上と高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は男性75歳以上(40.0%)で4割に達し最も高く、女性18～29歳(34.6%)、女性75歳以上(33.9%)、男性18～29歳(32.9%)で3割を超えて高くなっています。

「子どもの学習環境が整っているまち」は男性18～29歳(46.3%)、女性18～29歳(43.6%)で4割半ば前後と高くなっています。

「子どもの成長を支えるまち」は女性18～29歳(44.4%)、男性18～29歳(40.3%)で4割を超えて高くなっています。

「生涯学習環境が整っているまち」は男性18～29歳(50.0%)で5割に達し最も高く、女性18～29歳(46.0%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「差別のない相互理解のまち」は女性75歳以上(33.3%)、男性75歳以上(33.0%)、女性30～39歳(29.9%)で3割前後と高くなっています。

「市内産業が元気なまち」は男性18～29歳(48.7%)で5割近くと最も高く、女性18～29歳と50～59歳(ともに35.5%)で3割半ばと高くなっています。

「ものづくり産業が活発なまち」は男性18～29歳(42.7%)、女性40～49歳(42.6%)、男性50～59歳(41.7%)で4割を超えて高くなっています。

「買い物しやすいまち」は女性30～39歳(85.1%)で8割半ばと最も高く、男性40～49歳(76.0%)、男性18～29歳(74.4%)、女性18～29歳(74.2%)で7割半ば前後と高くなっています。

「都市農業が行われているまち」は女性60～64歳(59.7%)で6割近くと最も高く、女性50～59歳(54.5%)、男性50～59歳(53.9%)、男性60～64歳(52.8%)で5割を超えて高くなっています。

「市内外に誇れる魅力があるまち」は女性75歳以上(38.2%)、女性60～64歳(37.3%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は女性60～64歳(53.8%)、女性75歳以上(49.1%)で5割前後と高くなっています。

「地球温暖化防止に積極的なまち」は男性18～29歳(28.0%)、女性75歳以上(27.2%)で2割半ばを超えて高く、男性75歳以上(24.0%)で2割半ば近くとなっています。

「ごみの減量化やリサイクル推進のまち」は女性75歳以上(64.2%)、男性75歳以上(61.0%)で6割を超えて高くなっています。

「特性を踏まえた適正なまちづくり」は男性75歳以上(34.0%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は男性18～29歳(56.1%)、女性18～29歳(54.0%)で5割半ば前後と高くなっています。

「水道や下水道を安心して利用できるまち」は女性60～64歳(76.1%)、男性40～49歳(76.0%)、男性75歳以上(75.0%)、女性75歳以上(74.0%)で7割半ば前後と高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は男性75歳以上(48.0%)で4割半ばを超えて最も高く、女性75歳以上(41.2%)で4割を超えて高くなっています。

「市民が元気に活動できるまち」は女性75歳以上(45.4%)で4割半ばと最も高く、男性18～29歳(41.5%)で4割を超えて高くなっています。

「市民と行政が協働するまちづくり」は男性18～29歳(26.9%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は男性75歳以上(30.0%)で3割に達し最も高く、女性75歳以上(23.1%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合（男性・年齢別）】

(%)

No.	実感を『感じる』取り組み	全体 (n=1,744)	男性						
			18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
1	健康に暮らせるまち	51.1	56.1	55.5	50.4	50.4	50.0	46.9	56.0
2	子育てしやすい環境づくりのまち	33.9	31.7	35.1	29.5	△ 40.3	29.2	32.8	35.0
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.3	△ 34.2	▲ 22.2	▲ 20.2	25.2	25.0	25.7	31.0
4	誰もが安心して暮らせるまち	27.2	△ 32.9	23.1	▲ 20.9	29.5	25.0	▲ 19.4	○ 40.0
5	子どもの学習環境が整っているまち	29.1	☆ 46.3	▲ 23.9	25.6	29.5	27.8	27.4	27.0
6	子どもの成長を支えるまち	33.6	△ 40.3	▲ 23.9	29.5	36.7	▲ 26.4	30.0	31.0
7	生涯学習環境が整っているまち	33.9	☆ 50.0	● 23.0	30.3	△ 39.6	32.0	▲ 23.9	29.0
8	差別のない相互理解のまち	23.5	26.8	22.2	20.9	25.2	▲ 13.9	▲ 17.7	△ 33.0
9	市内産業が元気なまち	29.8	☆ 48.7	29.9	30.3	32.4	● 15.3	● 18.5	25.0
10	ものづくり産業が活発なまち	35.4	△ 42.7	35.1	39.5	△ 41.7	▲ 29.2	★ 19.5	32.0
11	買い物しやすいまち	63.3	○ 74.4	67.5	○ 76.0	66.9	58.4	● 53.1	★ 48.0
12	都市農業が行われているまち	44.6	▲ 39.0	● 30.7	▲ 38.8	△ 53.9	△ 52.8	▲ 38.1	46.0
13	市内外に誇れる魅力があるまち	30.0	▲ 24.4	▲ 21.3	▲ 24.9	33.8	▲ 20.9	25.6	33.0
14	豊かな水と緑に親しめるまち	40.9	37.8	● 30.8	37.2	46.0	▲ 33.3	● 27.4	44.0
15	地球温暖化防止に積極的なまち	16.8	○ 28.0	▲ 9.4	12.4	16.5	● 5.6	12.4	△ 24.0
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	42.4	42.6	★ 25.7	▲ 33.4	38.9	43.1	44.2	☆ 61.0
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	26.9	31.7	22.2	24.8	25.9	▲ 20.9	23.0	△ 34.0
18	交通環境が整っているまち	45.0	○ 56.1	47.0	43.5	46.7	● 34.8	▲ 37.1	45.0
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	68.3	73.1	▲ 59.8	△ 76.0	65.5	● 55.6	66.4	△ 75.0
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	25.8	29.3	▲ 16.3	24.0	▲ 18.7	20.9	▲ 20.3	☆ 48.0
21	市民が元気に活動できるまち	32.9	△ 41.5	● 22.2	36.4	▲ 25.9	● 22.3	▲ 26.6	28.0
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6	○ 26.9	▲ 7.7	▲ 10.9	17.3	▲ 11.1	14.2	21.0
23	効果的・効率的な行財政運営	16.4	20.8	▲ 9.4	15.5	12.9	12.5	16.9	○ 30.0

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合（女性・年齢別）】

(%)

No.	実感を『感じる』取り組み	全体 (n=1,744)	女性						
			18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
1	健康に暮らせるまち	51.1	△ 60.5	47.8	▲ 44.9	50.8	▲ 41.8	49.6	50.9
2	子育てしやすい環境づくりのまち	33.9	38.8	36.5	30.9	37.1	▲ 25.4	▲ 28.7	32.1
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.3	○ 42.0	28.3	▲ 22.1	22.7	▲ 19.4	▲ 20.9	○ 40.0
4	誰もが安心して暮らせるまち	27.2	△ 34.6	26.9	▲ 19.1	25.9	23.9	23.5	△ 33.9
5	子どもの学習環境が整っているまち	29.1	○ 43.6	30.6	29.5	28.0	● 16.4	▲ 20.9	29.6
6	子どもの成長を支えるまち	33.6	○ 44.4	29.1	34.6	33.9	37.4	29.6	36.4
7	生涯学習環境が整っているまち	33.9	○ 46.0	34.4	35.3	35.4	29.9	▲ 27.0	35.8
8	差別のない相互理解のまち	23.5	23.4	△ 29.9	▲ 16.9	20.6	20.9	19.1	△ 33.3
9	市内産業が元気なまち	29.8	△ 35.5	29.1	33.8	△ 35.5	31.4	▲ 24.4	▲ 24.2
10	ものづくり産業が活発なまち	35.4	36.3	36.5	△ 42.6	39.1	38.8	▲ 27.0	▲ 30.3
11	買い物しやすいまち	63.3	○ 74.2	☆ 85.1	67.7	67.2	59.7	★ 46.1	★ 42.4
12	都市農業が行われているまち	44.6	▲ 37.9	43.3	45.6	△ 54.5	☆ 59.7	44.4	46.0
13	市内外に誇れる魅力があるまち	30.0	32.2	29.1	28.6	32.8	△ 37.3	27.8	△ 38.2
14	豊かな水と緑に親しめるまち	40.9	43.6	39.5	37.5	46.0	○ 53.8	39.1	△ 49.1
15	地球温暖化防止に積極的なまち	16.8	19.3	11.9	14.0	15.4	13.4	16.5	○ 27.2
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	42.4	42.0	● 32.1	★ 27.3	38.6	○ 53.8	△ 52.1	☆ 64.2
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	26.9	31.4	28.4	23.6	28.5	28.4	▲ 19.1	31.5
18	交通環境が整っているまち	45.0	△ 54.0	47.0	44.1	43.9	46.3	43.5	42.4
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	68.3	▲ 62.9	64.2	70.6	66.7	△ 76.1	73.1	△ 74.0
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	25.8	▲ 17.7	23.9	▲ 20.6	22.8	29.9	△ 33.1	☆ 41.2
21	市民が元気に活動できるまち	32.9	△ 38.7	32.1	36.8	△ 38.1	▲ 25.4	28.7	○ 45.4
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6	15.3	18.7	17.7	20.1	▲ 10.5	13.0	20.6
23	効果的・効率的な行財政運営	16.4	13.7	▲ 11.2	13.9	15.9	▲ 10.5	19.1	△ 23.1

(3) 川口市の状況や取り組みについての実感（居住地域別）

居住地域別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』が40%以上である項目の数は、南平地域で8項目と最も多くなっています。

『感じる』の割合が40%以上の項目数			
中央地域	4	神根地域	7
横曽根地域	5	芝地域	5
青木地域	6	安行地域	6
南平地域	8	戸塚地域	6
新郷地域	6	鳩ヶ谷地域	7

「健康に暮らせるまち」は神根地域(57.1%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は神根地域(39.6%)、戸塚地域(38.4%)で4割近くと高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は芝地域(32.8%)で最も高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は大きな差はありませんでした。

「子どもの学習環境が整っているまち」は神根地域と安行地域(ともに32.3%)で最も高くなっています。

「子どもの成長を支えるまち」は大きな差はありませんでした。

「生涯学習環境が整っているまち」は中央地域(38.4%)、横曽根地域(38.1%)で4割近くと高くなっています。

「差別のない相互理解のまち」は横曽根地域(28.8%)で3割近くと最も高くなっています。

「市内産業が元気なまち」は南平地域(37.1%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「ものづくり産業が活発なまち」は南平地域(42.7%)で4割を超えて最も高くなっています。

「買い物しやすいまち」は青木地域(71.8%)、鳩ヶ谷地域(69.4%)で7割前後と高くなっています。

「都市農業が行われているまち」は安行地域(58.0%)で6割近くと最も高く、戸塚地域(54.1%)で5割半ば近くと高くなっています。

「市内外に誇れる魅力があるまち」は神根地域(36.2%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は安行地域(49.4%)で約5割と最も高く、神根地域(47.7%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「地球温暖化防止に積極的なまち」は南平地域(27.5%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「ごみの減量化やリサイクル推進のまち」は南平地域(55.6%)で5割半ばと最も高く、神根地域(49.0%)、芝地域(48.2%)で5割近くと高くなっています。

「特性を踏まえた適正なまちづくり」は安行地域(35.5%)で3割半ばと最も高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は鳩ヶ谷地域(49.5%)で約5割と最も高くなっています。

「水道や下水道を安心して利用できるまち」は芝地域(76.2%)で7割半ばを超えて最も高く、鳩ヶ谷地域(74.3%)、南平地域(73.6%)で7割を超えて高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は大きな差はありませんでした。

「市民が元気に活動できるまち」は南平地域(40.4%)、青木地域(40.0%)で4割に達し高くなっています。

「市民と行政が協働するまちづくり」は大きな差はありませんでした。

「効果的・効率的な行財政運営」は南平地域(21.3%)、芝地域(20.7%)で2割に達し高くなっています。

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合（居住地域別）】

(%)

No.	実感を『感じる』取り組み	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横首根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
1	健康に暮らせるまち	51.1	54.3	49.7	53.0	▲44.9	49.4	△57.1	48.6	46.2	50.0	52.4
2	子育てしやすい環境づくりのまち	33.9	35.7	35.9	32.6	34.8	▲26.9	△39.6	32.3	▲25.8	38.4	▲27.6
3	高齢者が安心して暮らせるまち	27.3	23.2	26.0	29.6	24.2	24.7	30.2	△32.8	30.2	28.1	▲21.9
4	誰もが安心して暮らせるまち	27.2	26.5	26.6	26.9	28.1	25.8	22.8	27.5	31.2	26.8	26.2
5	子どもの学習環境が整っているまち	29.1	29.8	31.5	29.5	28.7	27.0	32.3	29.1	32.3	30.3	▲21.3
6	子どもの成長を支えるまち	33.6	34.4	35.3	35.3	29.8	31.5	36.9	35.4	32.3	32.6	28.6
7	生涯学習環境が整っているまち	33.9	38.4	38.1	35.2	32.1	●23.5	36.9	36.5	29.1	34.8	▲26.7
8	差別のない相互理解のまち	23.5	22.5	△28.8	20.9	22.5	22.5	22.1	26.4	24.7	22.7	20.9
9	市内産業が元気なまち	29.8	31.1	27.0	30.8	△37.1	33.7	32.9	24.9	29.1	29.0	25.3
10	ものづくり産業が活発なまち	35.4	33.1	36.5	38.3	△42.7	37.0	34.3	▲25.9	34.5	35.7	34.5
11	買い物しやすいまち	63.3	65.5	64.6	△71.8	▲56.7	59.6	▲57.7	60.3	▲57.0	61.7	△69.4
12	都市農業が行われているまち	44.6	39.7	▲35.3	44.8	43.8	46.0	48.4	▲35.0	○58.0	△54.1	47.6
13	市内外に誇れる魅力があるまち	30.0	28.5	25.9	30.4	30.4	28.1	△36.2	28.6	31.2	29.0	29.6
14	豊かな水と緑に親しめるまち	40.9	39.1	44.2	▲31.3	39.9	41.6	△47.7	▲33.9	△49.4	44.2	42.7
15	地球温暖化防止に積極的なまち	16.8	11.9	16.0	▲11.7	○27.5	16.9	17.4	19.6	21.5	14.3	12.2
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	42.4	●30.5	39.2	▲37.0	○55.6	40.4	△49.0	△48.2	44.1	38.4	42.7
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	26.9	29.8	22.1	▲21.3	29.2	22.4	28.2	25.9	△35.5	30.4	24.3
18	交通環境が整っているまち	45.0	43.1	46.4	47.8	41.6	●31.4	41.6	48.7	●34.4	48.2	49.5
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	68.3	▲62.2	65.7	69.1	△73.6	▲59.6	69.2	△76.2	●54.9	66.1	△74.3
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	25.8	23.8	22.7	22.6	30.3	21.4	28.1	30.1	27.9	25.9	22.3
21	市民が元気に活動できるまち	32.9	▲23.9	34.3	△40.0	△40.4	●21.3	32.2	36.5	▲26.9	30.8	28.2
22	市民と行政が協働するまちづくり	16.6	15.9	19.9	16.1	20.8	15.7	15.4	19.0	13.0	13.4	12.2
23	効果的・効率的な行財政運営	16.4	15.2	18.2	15.2	21.3	▲10.1	19.5	20.7	16.2	13.0	▲10.7

10 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

(1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

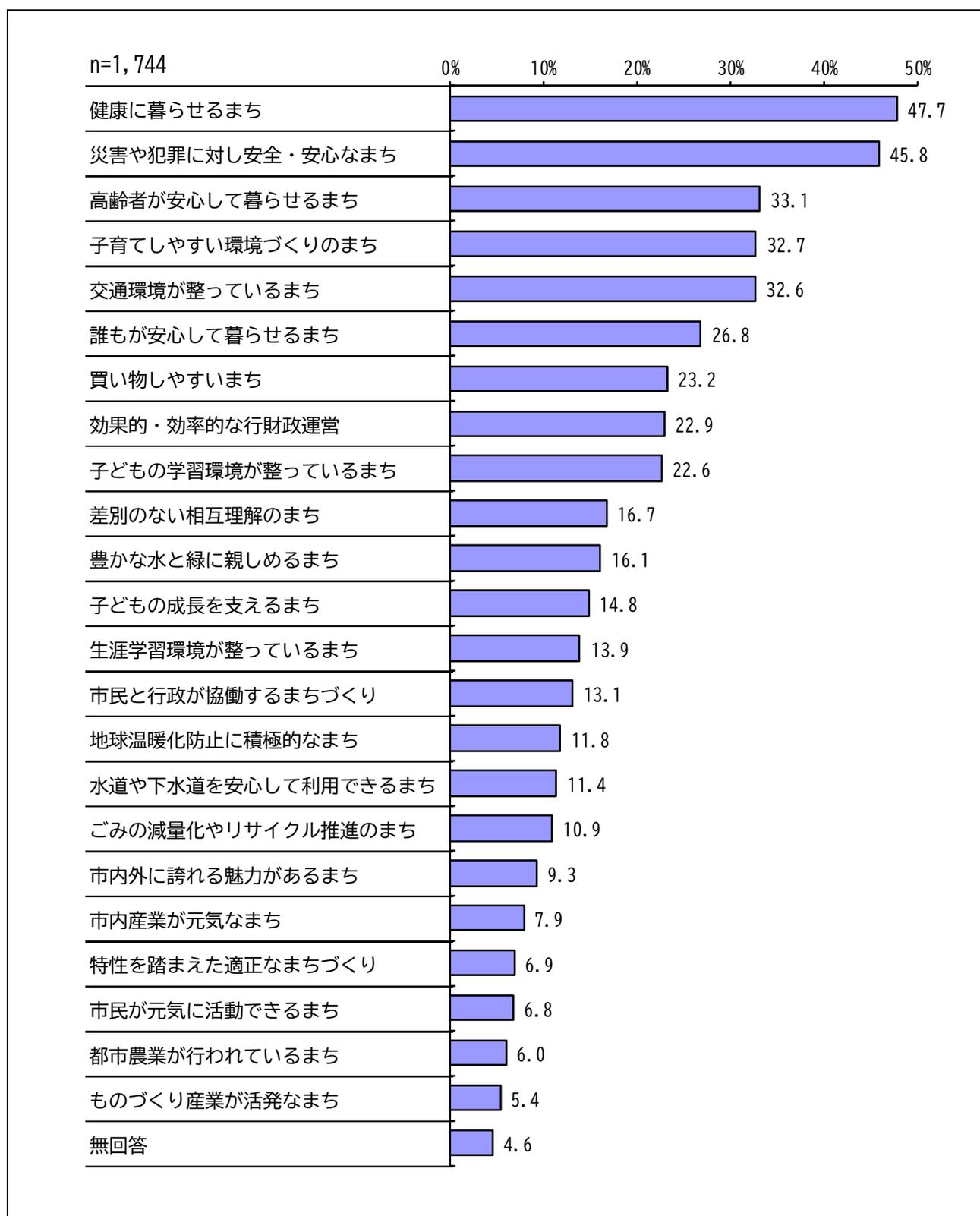
問7 あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものは何ですか。
（上位5つ）

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みのうち、今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものは、「健康に暮らせるまち」が47.7%、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」が45.8%、「高齢者が安心して暮らせるまち」が33.1%、「子育てしやすい環境づくりのまち」が32.7%、「交通環境が整っているまち」が32.6%と、上位5項目となっています。

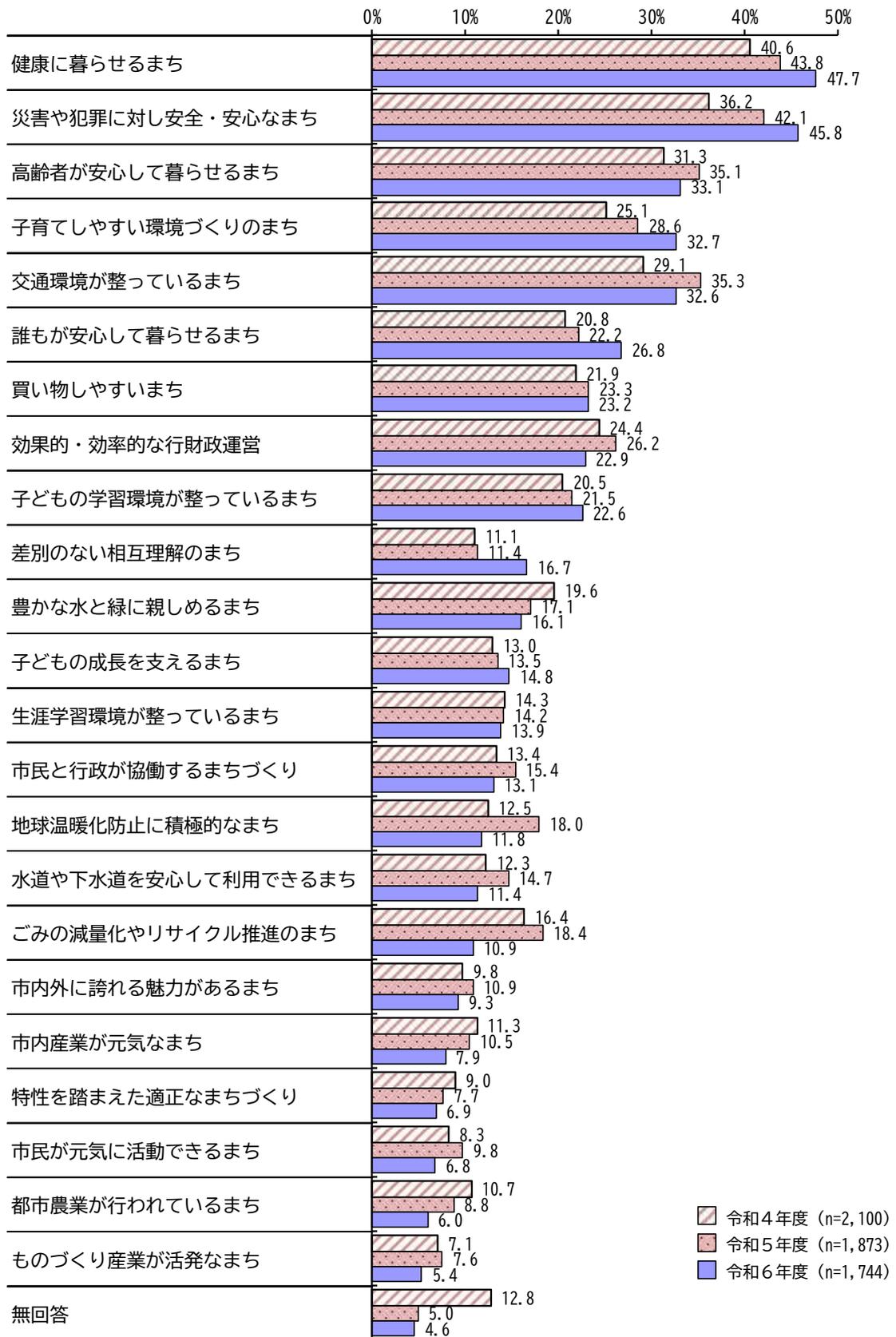
今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものの推移をみると令和5年度と比べ、「差別のない相互理解のまち」は5.3ポイント増加しています。

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	%
1	健康に暮らせるまち	47.7
2	子育てしやすい環境づくりのまち	32.7
3	高齢者が安心して暮らせるまち	33.1
4	誰もが安心して暮らせるまち	26.8
5	子どもの学習環境が整っているまち	22.6
6	子どもの成長を支えるまち	14.8
7	生涯学習環境が整っているまち	13.9
8	差別のない相互理解のまち	16.7
9	市内産業が元気なまち	7.9
10	ものづくり産業が活発なまち	5.4
11	買い物しやすいまち	23.2
12	都市農業が行われているまち	6.0
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.3
14	豊かな水と緑に親しめるまち	16.1
15	地球温暖化防止に積極的なまち	11.8
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	10.9
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	6.9
18	交通環境が整っているまち	32.6
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	11.4
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	45.8
21	市民が元気に活動できるまち	6.8
22	市民と行政が協働するまちづくり	13.1
23	効果的・効率的な行財政運営	22.9

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（全体）】



【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものの推移】



(2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）

性別にみると、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は女性(48.4%)が男性(42.9%)より5.5ポイント高くなっています。

一方、「生涯学習環境が整っているまち」は男性(16.6%)が女性(11.9%)より4.7ポイント、「差別のない相互理解のまち」は男性(18.3%)が女性(14.8%)より3.5ポイント、「ものづくり産業が活発なまち」は男性(7.4%)が女性(3.9%)より3.5ポイント、それぞれ高くなっています。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）】

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい 取り組み	(%)		
		全体 (n=1,744)	男性 (n=753)	女性 (n=930)
1	健康に暮らせるまち	47.7	46.1	48.9
2	子育てしやすい環境づくりのまち	32.7	33.7	32.3
3	高齢者が安心して暮らせるまち	33.1	31.7	34.1
4	誰もが安心して暮らせるまち	26.8	27.6	26.5
5	子どもの学習環境が整っているまち	22.6	23.1	22.7
6	子どもの成長を支えるまち	14.8	14.7	14.9
7	生涯学習環境が整っているまち	13.9	16.6	11.9
8	差別のない相互理解のまち	16.7	18.3	14.8
9	市内産業が元気なまち	7.9	9.3	6.5
10	ものづくり産業が活発なまち	5.4	7.4	3.9
11	買い物しやすいまち	23.2	23.5	23.3
12	都市農業が行われているまち	6.0	5.4	6.3
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.3	10.2	8.7
14	豊かな水と緑に親しめるまち	16.1	17.1	15.5
15	地球温暖化防止に積極的なまち	11.8	10.9	12.3
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	10.9	10.4	11.3
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	6.9	7.0	6.9
18	交通環境が整っているまち	32.6	32.5	32.5
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	11.4	10.4	12.3
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	45.8	42.9	48.4
21	市民が元気に活動できるまち	6.8	7.0	6.7
22	市民と行政が協働するまちづくり	13.1	14.3	11.8
23	効果的・効率的な行財政運営	22.9	23.4	23.1
	無回答	4.6	3.6	5.3

(3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「健康に暮らせるまち」は女性60～64歳(62.7%)で6割を超えて最も高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は女性30～39歳(68.7%)で7割近くと最も高く、男性30～39歳(65.0%)で6割半ばと高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は女性60～64歳(52.2%)、男性60～64歳(51.4%)、男性75歳以上(49.0%)で5割前後と高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は女性60～64歳(41.8%)で4割を超えて最も高くなっています。

「子どもの学習環境が整っているまち」は男性30～39歳(44.4%)で4割半ば近くと最も高く、女性30～39歳(42.5%)、女性40～49歳(39.7%)で4割前後と高くなっています。

「子どもの成長を支えるまち」は女性30～39歳(34.3%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は男性65～74歳(26.5%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は男性18～29歳(43.9%)、女性50～59歳(40.2%)で4割を超えて高くなっています。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（男性・年齢別）】

(%)

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい取り組み	全体 (n=1,744)	男性						
			18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
1	健康に暮らせるまち	47.7	● 34.1	● 35.9	△ 55.8	△ 54.0	△ 54.2	50.4	● 34.0
2	子育てしやすい環境づくりのまち	32.7	34.1	☆ 65.0	○ 46.5	30.9	● 19.4	● 20.4	★ 10.0
3	高齢者が安心して暮らせるまち	33.1	★ 7.3	★ 11.1	● 22.5	37.4	☆ 51.4	○ 46.9	☆ 49.0
4	誰もが安心して暮らせるまち	26.8	22.0	▲ 21.4	29.5	△ 34.5	26.4	△ 35.4	▲ 20.0
5	子どもの学習環境が整っているまち	22.6	△ 29.3	☆ 44.4	△ 27.9	18.0	● 12.5	▲ 13.3	▲ 13.0
6	子どもの成長を支えるまち	14.8	△ 22.0	△ 23.9	16.3	▲ 8.6	12.5	▲ 8.8	13.0
7	生涯学習環境が整っているまち	13.9	18.3	15.4	14.7	15.1	△ 20.8	△ 19.5	15.0
8	差別のない相互理解のまち	16.7	△ 22.0	15.4	△ 25.6	15.8	18.1	18.6	13.0
9	市内産業が元気なまち	7.9	4.9	6.8	7.0	11.5	11.1	8.8	△ 15.0
10	ものづくり産業が活発なまち	5.4	4.9	6.8	5.4	10.1	5.6	9.7	8.0
11	買い物しやすいまち	23.2	25.6	26.5	22.5	26.6	△ 29.2	▲ 15.0	21.0
12	都市農業が行われているまち	6.0	7.3	6.0	3.1	5.8	6.9	5.3	5.0
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.3	13.4	6.0	7.8	10.8	△ 16.7	11.5	9.0
14	豊かな水と緑に親しめるまち	16.1	▲ 11.0	16.2	15.5	18.7	19.4	○ 26.5	▲ 11.0
15	地球温暖化防止に積極的なまち	11.8	7.3	6.8	8.5	10.8	13.9	11.5	△ 19.0
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	10.9	7.3	6.0	9.3	8.6	9.7	△ 17.7	14.0
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	6.9	3.7	▲ 1.7	3.9	7.9	8.3	8.8	△ 16.0
18	交通環境が整っているまち	32.6	○ 43.9	△ 38.5	27.9	30.9	31.9	31.0	▲ 27.0
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	11.4	9.8	6.8	14.7	11.5	9.7	8.0	11.0
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	45.8	▲ 40.2	43.6	44.2	48.2	43.1	46.9	● 31.0
21	市民が元気に活動できるまち	6.8	3.7	2.6	5.4	6.5	6.9	8.8	△ 16.0
22	市民と行政が協働するまちづくり	13.1	12.2	14.5	14.7	11.5	15.3	14.2	△ 19.0
23	効果的・効率的な行財政運営	22.9	25.6	19.7	27.9	23.7	25.0	21.2	21.0
	無回答	4.6	0.0	0.9	0.8	2.2	1.4	6.2	△ 13.0

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（女性・年齢別）】

(%)

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい取り組み	全体 (n=1,744)	女性						
			18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
1	健康に暮らせるまち	47.7	42.7	50.0	50.0	△ 57.7	○ 62.7	▲ 42.6	▲ 40.6
2	子育てしやすい環境づくりのまち	32.7	△ 42.7	☆ 68.7	○ 45.6	● 20.1	● 19.4	★ 17.4	★ 13.3
3	高齢者が安心して暮らせるまち	33.1	★ 10.5	★ 11.2	31.6	○ 46.0	☆ 52.2	○ 45.2	○ 43.6
4	誰もが安心して暮らせるまち	26.8	△ 32.3	30.6	22.1	25.9	○ 41.8	23.5	▲ 18.8
5	子どもの学習環境が整っているまち	22.6	△ 29.8	☆ 42.5	☆ 39.7	▲ 12.7	★ 7.5	● 10.4	▲ 13.3
6	子どもの成長を支えるまち	14.8	16.9	☆ 34.3	△ 24.3	10.1	10.4	▲ 7.0	● 3.0
7	生涯学習環境が整っているまち	13.9	17.7	▲ 8.2	13.2	12.7	13.4	13.9	▲ 6.7
8	差別のない相互理解のまち	16.7	△ 25.0	18.7	12.5	14.3	19.4	14.8	● 4.8
9	市内産業が元気なまち	7.9	4.8	4.5	6.6	5.3	7.5	6.1	10.3
10	ものづくり産業が活発なまち	5.4	4.0	1.5	3.7	1.6	1.5	5.2	8.5
11	買い物しやすいまち	23.2	22.6	▲ 16.4	22.1	△ 28.6	△ 28.4	20.0	24.8
12	都市農業が行われているまち	6.0	4.0	3.0	3.7	8.5	6.0	8.7	9.1
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.3	7.3	8.2	7.4	9.5	11.9	8.7	9.1
14	豊かな水と緑に親しめるまち	16.1	16.1	14.9	14.7	16.9	16.4	17.4	12.7
15	地球温暖化防止に積極的なまち	11.8	8.1	▲ 6.0	11.8	12.7	16.4	15.7	16.4
16	ごみの減量化やりサイクル推進のまち	10.9	6.5	▲ 5.2	14.7	9.0	14.9	11.3	△ 18.2
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	6.9	5.6	3.7	2.9	3.7	9.0	11.3	△ 13.3
18	交通環境が整っているまち	32.6	33.1	31.3	▲ 25.0	△ 40.2	34.3	▲ 26.1	33.9
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	11.4	10.5	9.7	13.2	12.2	9.0	14.8	14.5
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	45.8	△ 51.6	△ 51.5	50.7	△ 52.4	△ 53.7	47.8	● 35.2
21	市民が元気に活動できるまち	6.8	4.0	▲ 1.5	3.7	5.3	7.5	9.6	△ 14.5
22	市民と行政が協働するまちづくり	13.1	11.3	9.7	11.8	10.6	13.4	10.4	15.8
23	効果的・効率的な行財政運営	22.9	23.4	23.1	27.2	24.3	22.4	▲ 16.5	23.0
	無回答	4.6	1.6	0.0	0.7	2.6	1.5	△ 13.0	○ 15.2

(4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）

居住地域別にみると、「健康に暮らせるまち」は新郷地域(53.9%)で5割を超えて最も高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりのまち」は戸塚地域(40.6%)、新郷地域(40.4%)、安行地域(39.8%)で4割前後高くなっています。

「高齢者が安心して暮らせるまち」は神根地域(43.6%)で4割を超えて最も高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は神根地域(34.2%)、中央地域(33.1%)で3割を超えて高くなっています。

「子どもの学習環境が整っているまち」は新郷地域(29.2%)で3割近くと高くなっています。

「生涯学習環境が整っているまち」は鳩ヶ谷地域(19.4%)、中央地域(19.2%)で2割近くと高くなっています。

「買い物しやすいまち」は中央地域と横曽根地域(ともに29.8%)で約3割と高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は神根地域(43.0%)で4割を超えて最も高くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は新郷地域(30.3%)、鳩ヶ谷地域(28.2%)で3割前後と高くなっています。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）】

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい取り組み	(%)										
		全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
1	健康に暮らせるまち	47.7	44.4	47.0	45.7	51.1	△ 53.9	46.3	47.1	48.4	51.8	46.1
2	子育てしやすい環境づくりのまち	32.7	29.1	32.0	31.7	28.1	△ 40.4	30.9	▲ 26.5	△ 39.8	△ 40.6	35.9
3	高齢者が安心して暮らせるまち	33.1	30.5	▲ 27.6	33.0	36.0	32.6	○ 43.6	31.7	▲ 28.0	37.1	30.6
4	誰もが安心して暮らせるまち	26.8	△ 33.1	24.9	29.6	▲ 20.2	23.6	△ 34.2	22.2	▲ 20.4	28.6	27.7
5	子どもの学習環境が整っているまち	22.6	25.8	22.7	22.6	▲ 17.4	△ 29.2	20.1	21.7	22.6	24.1	24.3
6	子どもの成長を支えるまち	14.8	13.2	15.5	13.5	15.7	15.7	11.4	17.5	14.0	17.9	14.1
7	生涯学習環境が整っているまち	13.9	△ 19.2	16.0	16.1	▲ 7.3	10.1	10.1	12.2	11.8	13.4	△ 19.4
8	差別のない相互理解のまち	16.7	15.2	17.7	20.4	12.4	13.5	18.8	18.5	11.8	13.4	19.4
9	市内産業が元気なまち	7.9	4.6	7.7	9.1	9.0	10.1	7.4	7.4	11.8	6.7	7.8
10	ものづくり産業が活発なまち	5.4	4.0	2.8	5.7	5.6	9.0	6.0	5.8	9.7	3.6	5.8
11	買い物しやすいまち	23.2	△ 29.8	△ 29.8	18.3	24.2	23.6	21.5	25.4	19.4	21.4	20.9
12	都市農業が行われているまち	6.0	4.0	4.4	4.3	5.6	6.7	8.7	7.4	9.7	8.0	3.4
13	市内外に誇れる魅力があるまち	9.3	8.6	8.8	9.6	12.4	5.6	10.1	7.4	8.6	10.3	10.2
14	豊かな水と緑に親しめるまち	16.1	12.6	11.6	20.0	14.0	11.2	16.1	16.4	17.2	18.8	18.9
15	地球温暖化防止に積極的なまち	11.8	7.9	14.9	13.9	8.4	11.2	15.4	15.9	10.8	8.9	8.7
16	ごみの減量化やリサイクル推進のまち	10.9	9.9	10.5	6.1	12.9	10.1	12.1	15.3	9.7	10.7	12.6
17	特性を踏まえた適正なまちづくり	6.9	9.3	6.6	5.2	△ 12.9	6.7	6.0	4.8	7.5	6.7	5.3
18	交通環境が整っているまち	32.6	36.4	31.5	27.8	37.6	34.8	○ 43.0	32.3	37.6	29.9	▲ 26.2
19	水道や下水道を安心して利用できるまち	11.4	7.9	11.0	9.6	11.2	15.7	12.1	15.3	16.1	12.1	6.8
20	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	45.8	47.0	49.7	49.6	42.7	41.6	46.3	46.0	★ 29.0	50.0	47.1
21	市民が元気に活動できるまち	6.8	7.9	7.7	7.0	3.9	6.7	4.7	8.5	9.7	6.3	6.3
22	市民と行政が協働するまちづくり	13.1	15.2	12.7	14.8	14.6	10.1	▲ 7.4	17.5	11.8	9.8	14.1
23	効果的・効率的な行財政運営	22.9	22.5	26.0	21.3	24.2	△ 30.3	▲ 14.8	20.6	24.7	21.9	△ 28.2
	無回答	4.6	4.0	2.8	6.5	6.2	3.4	3.4	4.8	5.4	3.6	3.4

11 川口市の都市整備に対する満足度

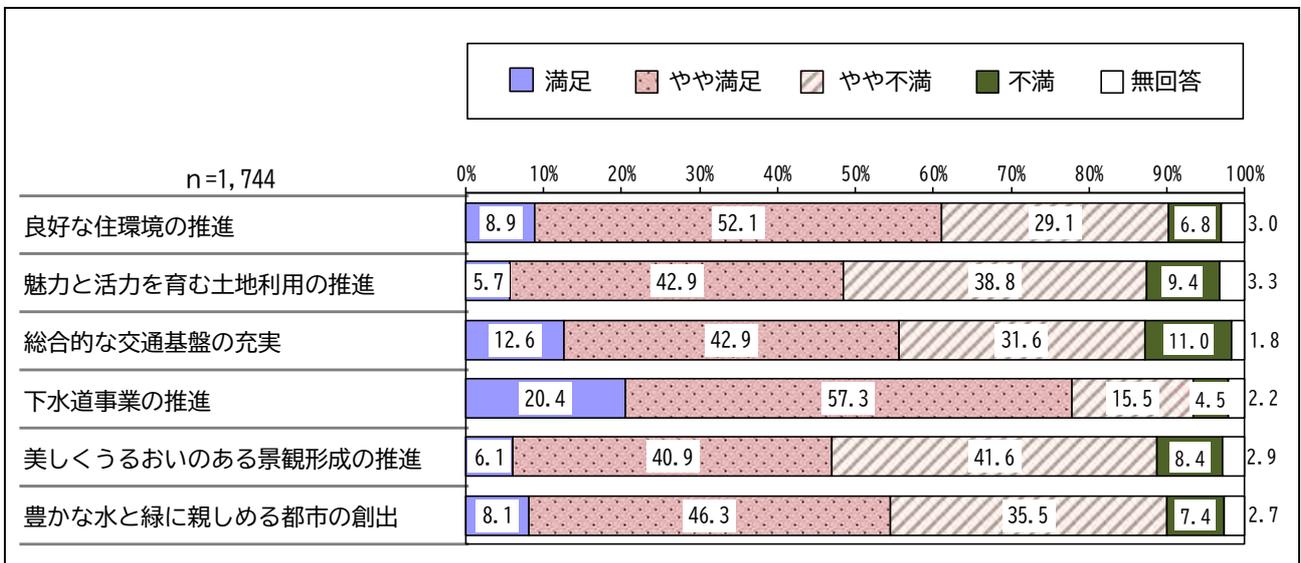
(1) 川口市の都市整備に対する満足度

問8 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。
(それぞれ○は1つ)

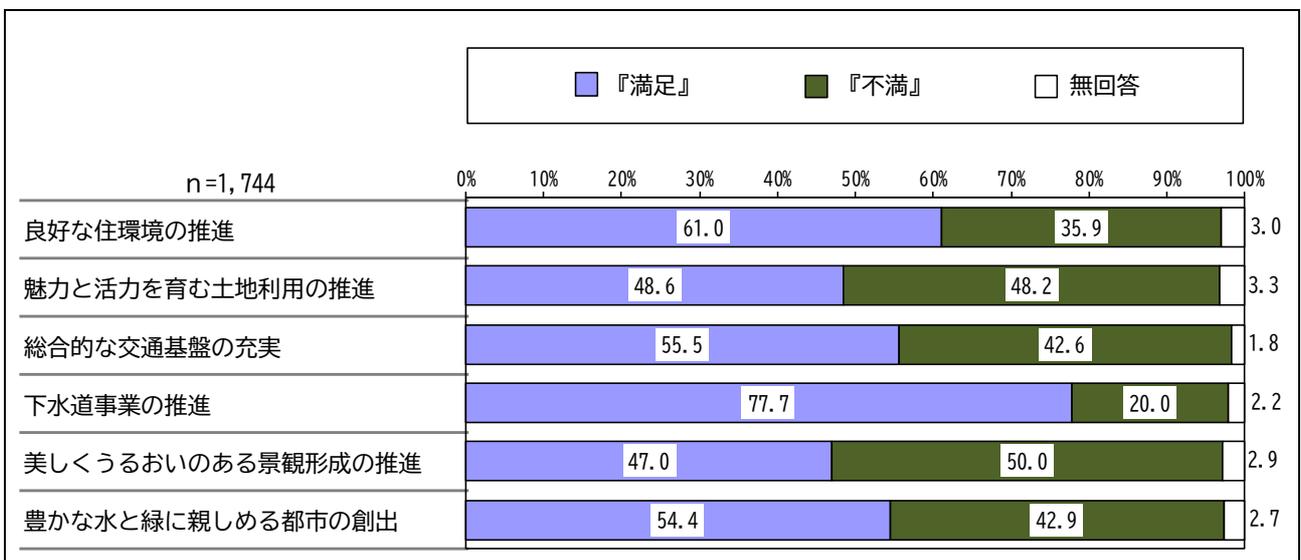
川口市の都市整備6施策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「下水道事業の推進」が77.7%で7割半ばを超えて最も高く、「良好な住環境の推進」が61.0%で6割を超えています。

「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「美しくうるおいのある景観形成の推進」が50.0%で5割と『満足』を上回りました。

【川口市の都市整備に対する満足度（全体）】



【川口市の都市整備に対する満足度（全体・2区分）】



(2) 川口市の都市整備に対する満足度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』について、「良好な住環境の推進」は女性30～39歳(69.4%)、女性18～29歳(69.3%)、男性18～29歳(68.3%)、女性60～64歳(67.2%)で7割近くと高くなっています。

「魅力と活力を育む土地利用の推進」は男性18～29歳(64.7%)で6割半ばと最も高く、女性30～39歳(58.9%)、女性18～29歳(58.1%)で6割近くと高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」は女性18～29歳(73.4%)で7割を超えて最も高く、女性30～39歳(68.7%)、男性18～29歳(67.0%)で7割近くと高くなっています。

「下水道事業の推進」は男性40～49歳(84.5%)、男性50～59歳(84.2%)で8割半ば近くと高くなっています。

「美しくうるおいのある景観形成の推進」は男性18～29歳(59.8%)で約6割と最も高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」は女性60～64歳(67.2%)で6割半ばを超えて最も高く、女性50～59歳(61.9%)、男性40～49歳(59.7%)で6割前後と高くなっています。

【川口市の都市整備に対する満足度（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
良好な住環境の推進	61.0	△ 68.3	58.1	58.9	61.9	57.0	● 49.5	57.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	48.6	☆ 64.7	50.4	△ 55.0	▲ 43.1	▲ 43.1	▲ 39.9	47.0
総合的な交通基盤の充実	55.5	○ 67.0	△ 62.4	60.5	51.1	▲ 47.3	● 45.1	▲ 47.0
下水道事業の推進	77.7	△ 82.9	82.1	△ 84.5	△ 84.2	● 63.9	76.1	△ 83.0
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.0	○ 59.8	48.7	45.8	43.8	● 33.4	▲ 39.0	43.0
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	54.4	56.1	55.6	△ 59.7	51.1	▲ 44.5	● 39.8	53.0

【川口市の都市整備に対する満足度（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
良好な住環境の推進	61.0	△ 69.3	△ 69.4	65.5	60.9	△ 67.2	61.8	57.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	48.6	△ 58.1	○ 58.9	51.5	51.3	▲ 40.3	● 38.2	▲ 40.0
総合的な交通基盤の充実	55.5	☆ 73.4	○ 68.7	△ 61.0	53.0	▲ 49.3	▲ 48.7	● 44.8
下水道事業の推進	77.7	79.8	△ 83.5	80.9	75.7	82.1	▲ 72.1	● 67.3
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.0	△ 52.4	47.0	50.0	△ 52.3	△ 53.8	43.5	43.7
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	54.4	54.0	55.9	56.6	△ 61.9	○ 67.2	▲ 48.7	52.1

(3) 川口市の都市整備に対する満足度（居住地域別）

居住地域別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』について、「良好な住環境の推進」は戸塚地域(68.8%)で7割近くと高くなっています。

「魅力と活力を育む土地利用の推進」は安行地域(53.8%)、芝地域(53.5%)、戸塚地域(52.6%)、青木地域(50.9%)で5割を超えて高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」は青木地域(68.7%)で7割近くと最も高く、横曽根地域(62.4%)で6割を超えて高くなっています。

「下水道事業の推進」は鳩ヶ谷地域(83.9%)、青木地域(83.5%)、横曽根地域(83.4%)、中央地域(80.8%)で8割を超えて高くなっています。

「美しくうるおいのある景観形成の推進」は戸塚地域(55.3%)で5割半ば、横曽根地域(50.8%)で5割を超えて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」は安行地域(61.3%)で6割を超えて最も高くなっています。

【川口市の都市整備に対する満足度（居住地域別）】

	(%)										
	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
良好な住環境の推進	61.0	60.2	64.1	63.5	57.4	● 48.3	56.4	64.0	59.1	△ 68.8	58.3
魅力と活力を育む土地利用の推進	48.6	49.6	49.7	50.9	45.0	● 33.7	47.0	53.5	△ 53.8	52.6	▲ 42.3
総合的な交通基盤の充実	55.5	59.0	△ 62.4	○ 68.7	▲ 49.5	★ 38.2	● 42.9	59.2	★ 38.7	57.2	56.8
下水道事業の推進	77.7	80.8	△ 83.4	△ 83.5	75.8	★ 61.8	▲ 67.8	78.3	▲ 68.8	79.9	△ 83.9
美しくうるおいのある景観形成の推進	47.0	45.7	50.8	45.7	45.0	▲ 40.5	45.7	45.5	49.5	△ 55.3	▲ 41.7
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	54.4	55.0	55.8	56.9	49.4	50.6	53.7	49.7	△ 61.3	59.0	50.5

12 消火器設置の有無

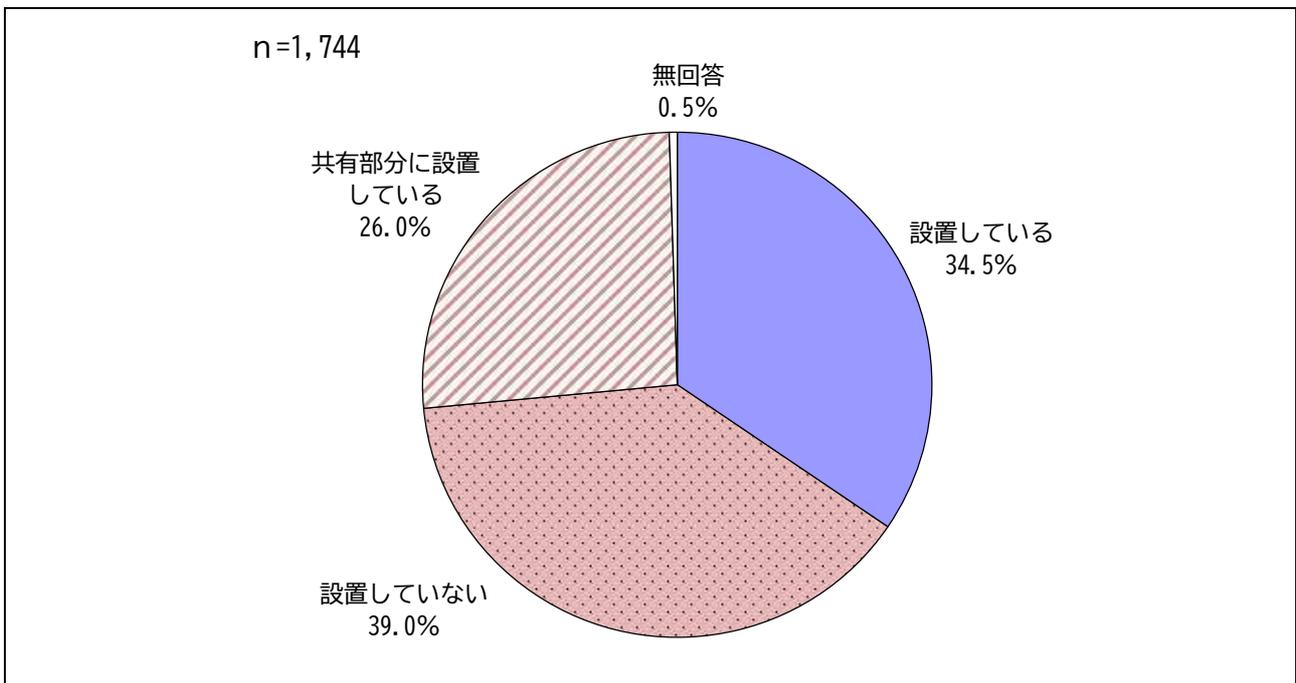
(1) 消火器設置の有無

問9 火災時の備えとして、消火器を設置していますか。(○は1つ)

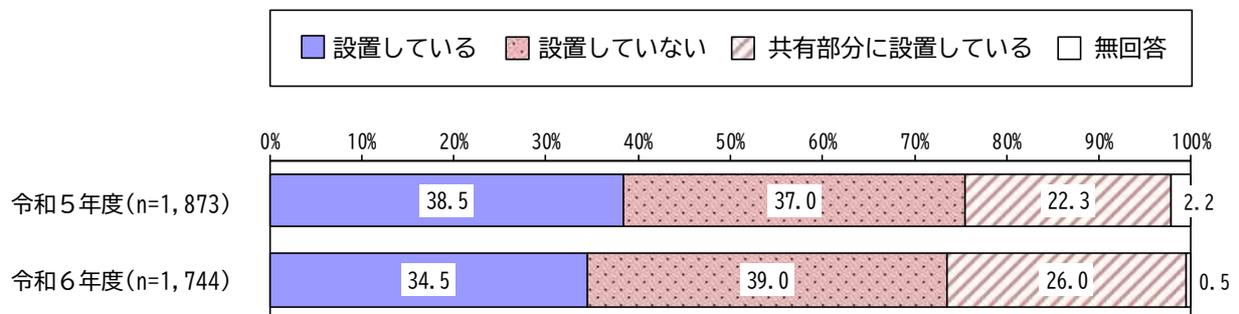
消火器設置の有無について、「設置している」(34.5%)と「共有部分に設置している」(26.0%)を合わせた『設置している』は60.5%で約6割を占めています。一方、「設置していない」は39.0%で4割近くを占めています。

消火器設置の有無の推移をみると『設置している』は令和5年度と大きな差はありません。

【消火器設置の有無 (全体)】



【消火器設置の有無の推移】



(2) 消火器設置の有無（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「設置している」は男性75歳以上(57.0%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。「共有部分に設置している」は男性30～39歳(38.5%)、男性18～29歳(37.8%)で3割半ばを超えて高くなっています。

一方、「設置していない」は女性30～39歳(47.8%)、男性60～64歳(47.2%)、男性40～49歳(46.5%)、女性40～49歳(46.3%)で4割半ばを超えて高くなっています。

【消火器設置の有無（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	設置している	設置していない	共有部分に設置している	無回答
全体		1,744	34.5	39.0	26.0	0.5
男性		753	35.9	38.6	25.0	0.5
女性		930	32.9	39.2	27.4	0.4
自由記載		3	33.3	▲ 33.3	△ 33.3	0.0
男性	18～29歳	82	● 24.4	37.8	○ 37.8	0.0
	30～39歳	117	▲ 26.5	34.2	○ 38.5	0.9
	40～49歳	129	▲ 25.6	△ 46.5	27.9	0.0
	50～59歳	139	36.0	39.6	24.5	0.0
	60～64歳	72	34.7	△ 47.2	▲ 16.7	1.4
	65～74歳	113	○ 46.9	35.4	▲ 16.8	0.9
	75歳以上	100	☆ 57.0	▲ 31.0	● 11.0	1.0
女性	18～29歳	124	▲ 25.0	41.1	△ 33.9	0.0
	30～39歳	134	● 20.9	△ 47.8	△ 31.3	0.0
	40～49歳	136	● 21.3	△ 46.3	△ 32.4	0.0
	50～59歳	189	34.9	38.1	26.5	0.5
	60～64歳	67	△ 43.3	34.3	22.4	0.0
	65～74歳	115	○ 46.1	● 26.1	27.8	0.0
	75歳以上	165	△ 42.4	37.6	▲ 18.2	1.8

(3) 消火器設置の有無（居住地域別）

居住地域別にみると、「設置している」は南平地域(42.7%)、横曽根地域(39.8%)で4割前後と高くなっています。「共有部分に設置している」は中央地域(47.0%)で4割半ばを超えて最も高くなっています。

一方、「設置していない」は安行地域(63.4%)で6割を超えて最も高く、新郷地域(56.2%)、戸塚地域(50.0%)で5割台と高くなっています。

【消火器設置の有無（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	設置している	設置していない	共有部分に 設置している	無回答
全体	1,744	34.5	39.0	26.0	0.5
中央地域	151	36.4	★ 16.6	☆ 47.0	0.0
横曽根地域	181	△ 39.8	▲ 29.3	30.9	0.0
青木地域	230	37.0	35.7	27.0	0.4
南平地域	178	△ 42.7	▲ 33.7	22.5	1.1
新郷地域	89	30.3	☆ 56.2	● 11.2	2.2
神根地域	149	34.2	△ 45.0	▲ 20.8	0.0
芝地域	189	34.9	34.9	29.6	0.5
安行地域	93	▲ 24.7	☆ 63.4	★ 10.8	1.1
戸塚地域	224	▲ 25.4	○ 50.0	23.7	0.9
鳩ヶ谷地域	206	32.0	40.8	27.2	0.0

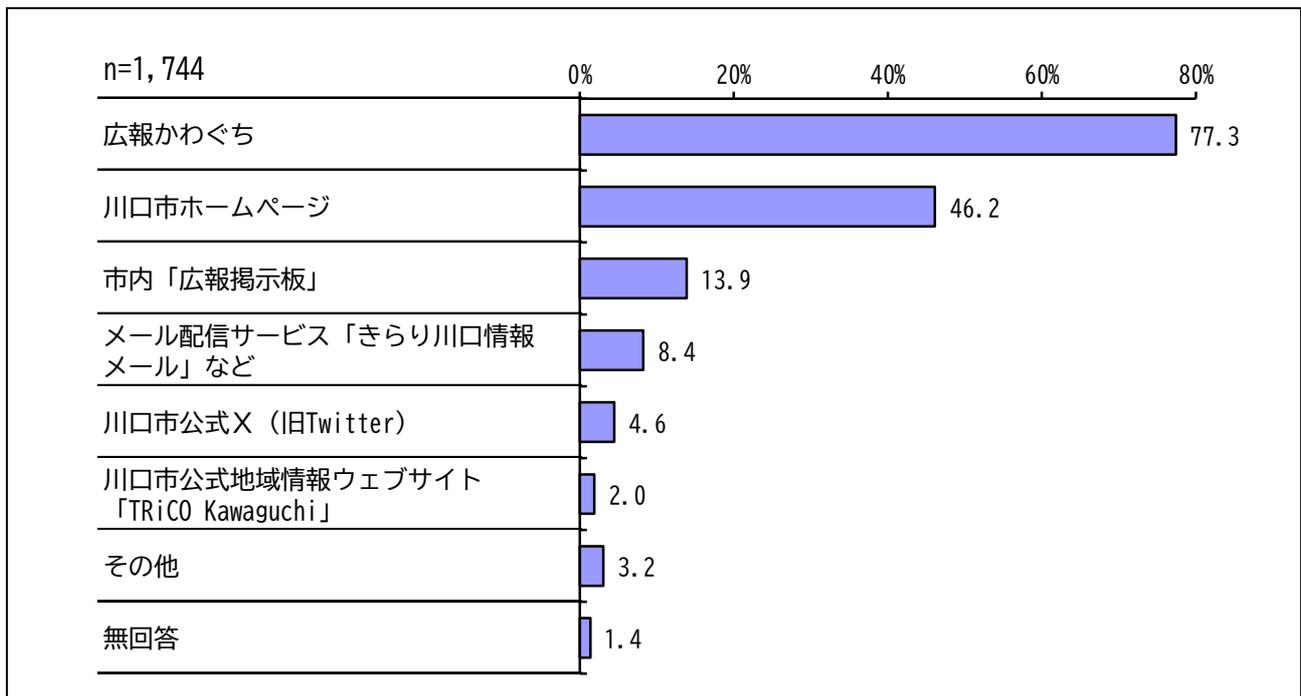
13 市の行政情報を確認する方法

(1) 市の行政情報を確認する方法

問 10 市の行政情報を確認する方法は何ですか。(〇はいくつでも)

市の行政情報を確認する方法について、「広報かわぐち」が77.3%で7割半ばを超えて最も高く、「川口市ホームページ」が46.2%、「市内「広報掲示板」」が13.9%、「メール配信サービス「きらり川口情報メール」など」が8.4%と続いています。

【市の行政情報を確認する方法（全体）】



(2) 市の行政情報を確認する方法（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「広報かわぐち」は女性65～74歳(96.5%)で9割半ばを超えて最も高く、男性75歳以上(94.0%)、女性75歳以上(92.7%)、女性60～64歳(92.5%)、男性65～74歳(90.3%)で9割以上と高くなっています。

【市の行政情報を確認する方法（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
広報かわぐち	77.3	★ 48.8	★ 49.6	▲ 72.1	77.7	△ 86.1	○ 90.3	☆ 94.0
川口市ホームページ	46.2	△ 53.7	○ 56.4	○ 56.6	○ 58.3	50.0	42.5	★ 19.0
市内「広報掲示板」	13.9	▲ 7.3	9.4	13.2	12.2	9.7	14.2	☆ 34.0
メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	8.4	▲ 2.4	8.5	9.3	12.2	▲ 2.8	▲ 1.8	▲ 1.0
川口市公式X（旧Twitter）	4.6	△ 12.2	8.5	△ 10.1	2.9	1.4	0.9	0.0
川口市公式地域情報ウェブサイト 「TRiCO Kawaguchi」	2.0	0.0	3.4	2.3	1.4	1.4	0.9	1.0
その他	3.2	3.7	5.1	5.4	2.9	1.4	0.9	2.0
無回答	1.4	2.4	2.6	0.8	0.7	0.0	2.7	0.0

【市の行政情報を確認する方法（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
広報かわぐち	77.3	★ 60.5	● 64.2	75.0	81.5	☆ 92.5	☆ 96.5	☆ 92.7
川口市ホームページ	46.2	49.2	○ 59.0	○ 60.3	△ 52.4	△ 52.2	★ 30.4	★ 15.2
市内「広報掲示板」	13.9	▲ 6.5	▲ 6.0	▲ 8.1	▲ 7.9	14.9	△ 20.0	☆ 30.9
メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	8.4	4.8	13.4	△ 16.2	13.2	13.4	5.2	5.5
川口市公式X（旧Twitter）	4.6	△ 9.7	6.0	4.4	2.6	3.0	2.6	0.6
川口市公式地域情報ウェブサイト 「TRiCO Kawaguchi」	2.0	1.6	2.2	1.5	4.2	1.5	1.7	1.8
その他	3.2	1.6	3.7	5.9	3.2	1.5	1.7	3.0
無回答	1.4	4.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8

(3) 市の行政情報を確認する方法（居住地域別）

居住地域別にみると、「広報かわぐち」は鳩ヶ谷地域(83.5%)、青木地域と南平地域(ともに82.6%)、中央地域(82.1%)で8割を超えて高くなっています。

「川口市ホームページ」は戸塚地域(56.7%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

【市の行政情報を確認する方法（居住地域別）】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
広報かわぐち	77.3	82.1	▲ 71.3	△ 82.6	△ 82.6	▲ 71.9	78.5	76.7	▲ 69.9	● 66.1	△ 83.5
川口市ホームページ	46.2	47.0	47.5	47.4	42.1	▲ 40.4	43.6	42.3	45.2	○ 56.7	46.1
市内「広報掲示板」	13.9	13.2	12.7	17.0	18.0	11.2	14.8	12.2	15.1	12.1	12.6
メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	8.4	9.3	8.3	13.0	11.8	5.6	4.0	4.8	6.5	8.9	9.2
川口市公式X（旧Twitter）	4.6	5.3	5.5	2.6	5.1	4.5	3.4	4.2	6.5	6.3	4.4
川口市公式地域情報ウェブサイト 「TRiCO Kawaguchi」	2.0	4.6	3.3	2.2	1.7	2.2	0.0	1.1	2.2	2.2	1.5
その他	3.2	4.0	2.2	3.5	2.2	5.6	2.7	3.7	4.3	2.7	2.9
無回答	1.4	1.3	0.6	2.2	0.6	2.2	0.7	1.1	3.2	2.2	0.5

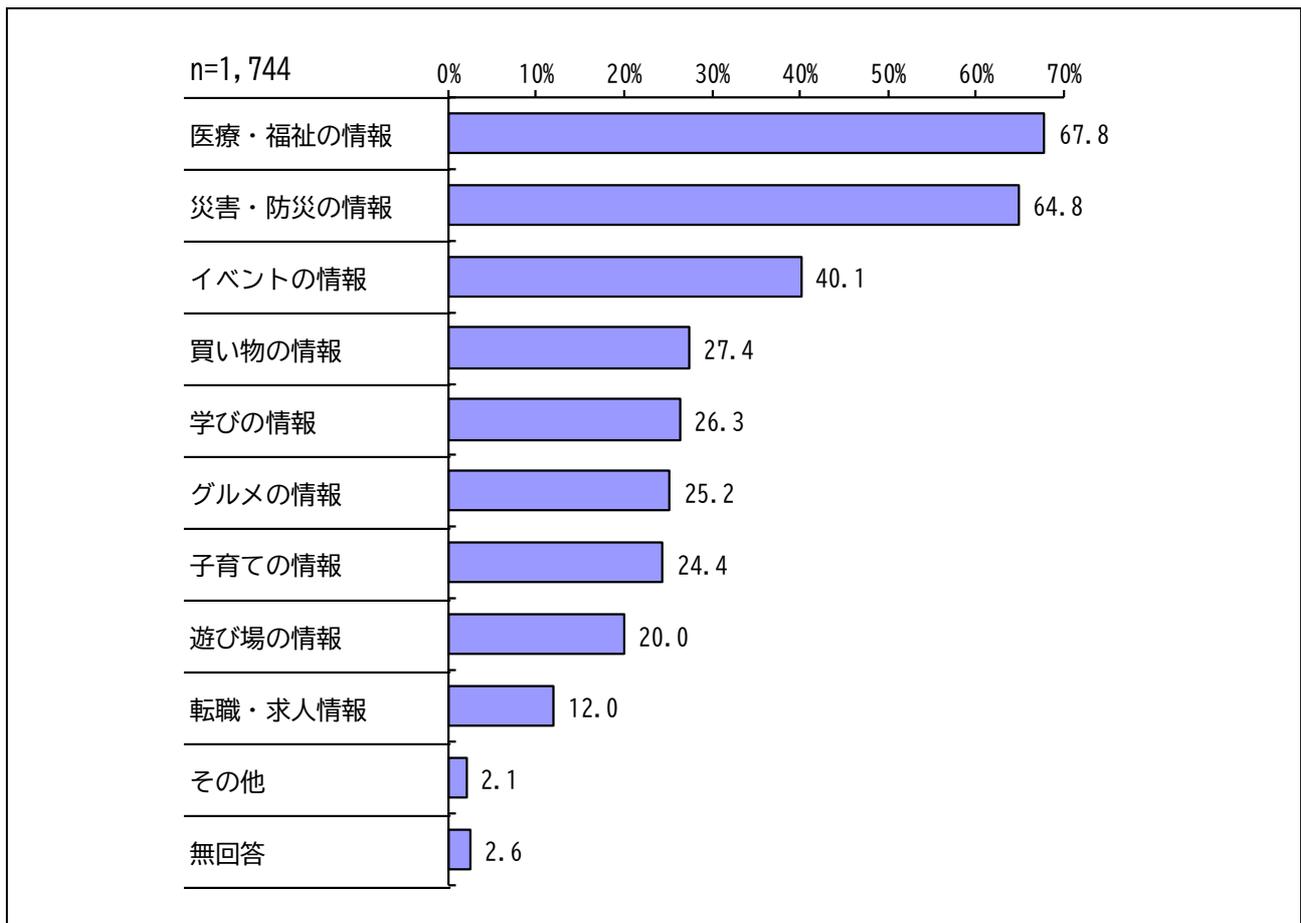
14 市に関する欲しい情報

(1) 市に関する欲しい情報

問11 市に関するどんな情報が欲しいですか。(〇はいくつでも)

市に関する欲しい情報について、「医療・福祉の情報」が67.8%で6割半ばを超えて最も高く、「災害・防災の情報」が64.8%、「イベントの情報」が40.1%、「買い物の情報」が27.4%と続いています。

【市に関する欲しい情報（全体）】



(2) 市に関する欲しい情報（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「医療・福祉の情報」は女性60～64歳(85.1%)で8割半ばを超えて最も高く、女性75歳以上(80.0%)で8割に達し高くなっています。

「災害・防災の情報」は女性60～64歳(77.6%)、女性50～59歳(77.2%)で7割半ばを超えて高くなっています。

「イベントの情報」は女性40～49歳(50.7%)で5割に達し最も高くなっています。

「買い物の情報」は女性30～39歳(39.6%)で約4割と最も高くなっています。

「学びの情報」は女性40～49歳(41.9%)で4割を超えて最も高くなっています。

「グルメの情報」は男性50～59歳(36.7%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「子育ての情報」は女性30～39歳(65.7%)で6割半ばと最も高く、男性30～39歳(56.4%)、女性40～49歳(50.0%)で5割以上、男性40～49歳(44.2%)で4割半ば近くと高くなっています。

「遊び場の情報」は女性30～39歳(50.0%)で5割に達し最も高く、男性30～39歳(40.2%)で約4割、女性40～49歳(36.8%)で3割半ばを超えて高くなっています。

【市に関する欲しい情報（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
医療・福祉の情報	67.8	★ 41.5	★ 47.9	65.9	66.9	△ 77.8	△ 73.5	△ 76.0
災害・防災の情報	64.8	★ 47.6	★ 47.9	67.4	△ 74.1	65.3	65.5	64.0
イベントの情報	40.1	36.6	△ 47.0	△ 45.7	△ 45.3	▲ 30.6	36.3	▲ 35.0
買い物の情報	27.4	30.5	△ 32.5	31.0	▲ 22.3	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 19.0
学びの情報	26.3	24.4	△ 35.0	△ 35.7	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 19.5	● 13.0
グルメの情報	25.2	28.0	△ 35.0	27.1	○ 36.7	20.8	● 14.2	● 11.0
子育ての情報	24.4	24.4	☆ 56.4	☆ 44.2	▲ 14.4	● 9.7	★ 4.4	★ 6.0
遊び場の情報	20.0	24.4	☆ 40.2	△ 28.7	▲ 14.4	● 6.9	● 8.0	● 6.0
転職・求人情報	12.0	△ 22.0	10.3	10.1	12.9	9.7	8.0	▲ 4.0
その他	2.1	2.4	0.9	7.0	3.6	1.4	2.7	2.0
無回答	2.6	4.9	2.6	0.0	0.7	0.0	3.5	7.0

【市に関する欲しい情報（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
医療・福祉の情報	67.8	★ 47.6	63.4	69.1	△ 75.1	☆ 85.1	△ 76.5	○ 80.0
災害・防災の情報	64.8	▲ 57.3	60.4	62.5	○ 77.2	○ 77.6	△ 71.3	61.8
イベントの情報	40.1	△ 46.8	△ 47.8	○ 50.7	42.9	37.3	▲ 34.8	★ 20.6
買い物の情報	27.4	△ 33.1	○ 39.6	30.1	27.5	28.4	▲ 21.7	23.0
学びの情報	26.3	26.6	△ 32.8	☆ 41.9	29.1	28.4	28.7	● 15.8
グルメの情報	25.2	△ 32.3	△ 34.3	△ 32.4	25.9	22.4	● 14.8	● 12.1
子育ての情報	24.4	○ 36.3	☆ 65.7	☆ 50.0	★ 6.9	● 10.4	★ 7.8	★ 1.2
遊び場の情報	20.0	△ 29.8	☆ 50.0	☆ 36.8	▲ 12.7	● 7.5	● 8.7	★ 1.8
転職・求人情報	12.0	△ 21.0	15.7	16.2	15.9	△ 17.9	9.6	● 1.8
その他	2.1	2.4	0.7	0.0	1.1	3.0	1.7	2.4
無回答	2.6	1.6	0.0	1.5	2.1	1.5	3.5	7.3

(3) 市に関する欲しい情報（居住地域別）

居住地域別にみると、「イベントの情報」は青木地域(47.8%)、中央地域(47.7%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「買い物の情報」は中央地域(33.1%)、横曽根地域(32.6%)で3割を超えて高くなっています。

「グルメの情報」は青木地域(30.4%)で3割に達し高くなっています。

「子育ての情報」は戸塚地域(30.8%)で3割に達し高くなっています。

「遊び場の情報」は安行地域(25.8%)で2割半ばに達し高くなっています。

【市に関する欲しい情報（居住地域別）】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
医療・福祉の情報	67.8	63.6	69.6	66.1	70.2	65.2	71.8	68.8	65.6	65.2	70.9
災害・防災の情報	64.8	64.9	64.6	66.5	64.0	▲ 59.6	69.1	65.1	▲ 59.1	65.2	68.0
イベントの情報	40.1	△ 47.7	36.5	△ 47.8	35.4	37.1	39.6	43.4	40.9	37.5	35.9
買い物の情報	27.4	△ 33.1	△ 32.6	28.7	28.7	28.1	26.8	22.8	30.1	25.0	22.8
学びの情報	26.3	28.5	29.8	26.1	24.2	▲ 18.0	25.5	24.9	21.5	30.8	27.2
グルメの情報	25.2	29.8	26.5	△ 30.4	22.5	27.0	26.8	21.2	26.9	21.4	22.8
子育ての情報	24.4	23.8	23.8	25.7	20.8	29.2	▲ 18.8	22.2	29.0	△ 30.8	22.8
遊び場の情報	20.0	17.9	21.5	22.6	16.3	24.7	15.4	19.6	△ 25.8	20.1	19.9
転職・求人情報	12.0	12.6	13.3	13.9	8.4	15.7	12.1	10.6	11.8	12.9	11.2
その他	2.1	0.7	1.1	0.9	2.2	2.2	2.7	4.2	2.2	0.9	3.4
無回答	2.6	1.3	2.8	1.3	4.5	1.1	2.0	3.7	1.1	3.1	3.4

15 スポーツ等の頻度

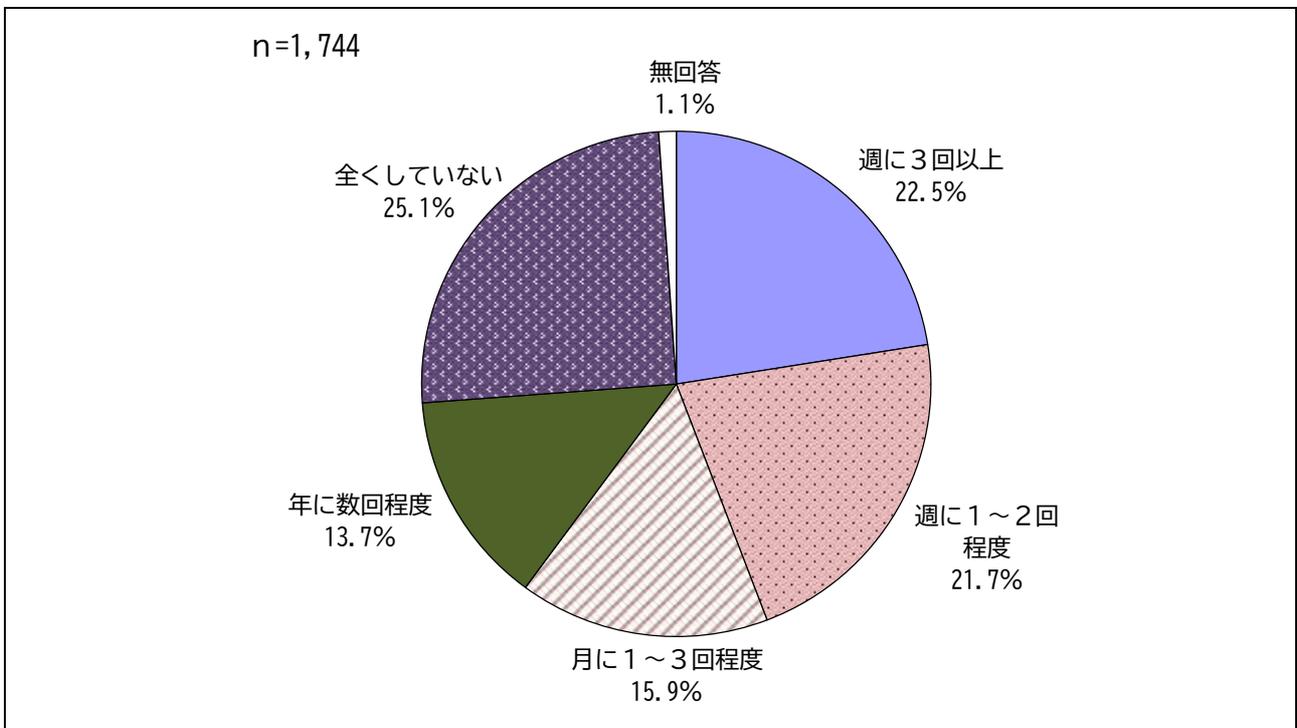
(1) スポーツ等の頻度

問12 過去1年間に運動やスポーツ・レクリエーション活動をする機会がどの程度ありましたか。(〇は1つ)

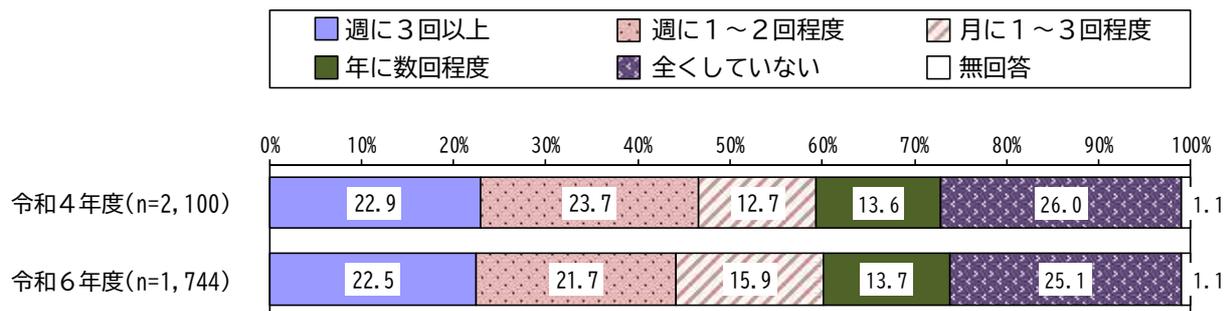
過去1年間のスポーツ等の頻度について、「全くしていない」が25.1%で2割半ばを占めて最も高く、「週に3回以上」が22.5%、「週に1～2回程度」が21.7%、「月に1～3回程度」が15.9%、「年に数回程度」が13.7%と続いています。

過去1年間のスポーツ等の頻度の推移をみると、前回調査した令和4年度と比べ、「月に1～3回程度」は3.2ポイント増加しています。一方、「週に1～2回程度」は2.0ポイント減少しています。

【スポーツ等の頻度（全体）】



【スポーツ等の頻度の推移】



(2) スポーツ等の頻度 (性別、性・年齢別)

性・年齢別にみると、「週に3回以上」は女性75歳以上(33.9%)、男性65～74歳(33.6%)、男性75歳以上(33.0%)、女性65～74歳(32.2%)で3割を超えて高くなっています。

一方、「全くしていない」は女性30～39歳(38.1%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

【スポーツ等の頻度 (性別、性・年齢別)】

		(人)						(%)
		合計	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	全くしていない	無回答
全体		1,744	22.5	21.7	15.9	13.7	25.1	1.1
男性		753	21.5	23.4	17.4	14.6	★ 23.0	0.1
女性		930	22.7	20.9	15.3	12.9	26.6	1.7
自由記載		3	★ 0.0	○ 33.3	★ 0.0	● 0.0	☆ 66.7	0.0
男性	18～29歳	82	18.3	24.4	20.7	12.2	24.4	0.0
	30～39歳	117	● 11.1	24.8	19.7	11.1	△ 33.3	0.0
	40～49歳	129	▲ 14.0	19.4	△ 23.3	18.6	24.8	0.0
	50～59歳	139	20.9	24.5	20.9	17.3	▲ 16.5	0.0
	60～64歳	72	22.2	26.4	11.1	18.1	22.2	0.0
	65～74歳	113	○ 33.6	23.0	11.5	13.3	▲ 17.7	0.9
	75歳以上	100	○ 33.0	22.0	11.0	11.0	23.0	0.0
女性	18～29歳	124	19.4	18.5	△ 23.4	16.9	21.8	0.0
	30～39歳	134	▲ 13.4	▲ 16.4	11.9	△ 20.1	○ 38.1	0.0
	40～49歳	136	● 9.6	24.3	△ 24.3	16.9	25.0	0.0
	50～59歳	189	22.8	22.2	17.5	12.7	23.8	1.1
	60～64歳	67	△ 29.9	19.4	▲ 10.4	14.9	25.4	0.0
	65～74歳	115	△ 32.2	▲ 15.7	▲ 9.6	8.7	△ 31.3	2.6
	75歳以上	165	○ 33.9	26.1	▲ 7.9	● 3.0	22.4	△ 6.7

(3) スポーツ等の頻度（居住地域別）

居住地域別にみると、「週に3回以上」は南平地域(29.2%)で3割近くと最も高くなっています。

「週に1～2回程度」は戸塚地域(26.8%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

一方、「全くしていない」は安行地域(35.5%)で3割半ばを超えて最も高く、新郷地域(31.5%)で3割を超えて高くなっています。

【スポーツ等の頻度（居住地域別）】

	(人)	(%)					
	合計	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	全くしていない	無回答
全体	1,744	22.5	21.7	15.9	13.7	25.1	1.1
中央地域	151	25.8	24.5	11.9	12.6	24.5	0.7
横曽根地域	181	18.2	22.1	17.7	14.4	26.5	1.1
青木地域	230	25.2	20.4	17.0	15.2	21.3	0.9
南平地域	178	△ 29.2	19.7	12.4	12.4	23.6	2.8
新郷地域	89	19.1	16.9	18.0	14.6	△ 31.5	0.0
神根地域	149	23.5	23.5	▲ 10.7	14.1	27.5	0.7
芝地域	189	22.8	25.9	14.8	10.6	24.3	1.6
安行地域	93	19.4	▲ 14.0	16.1	15.1	○ 35.5	0.0
戸塚地域	224	20.1	△ 26.8	16.5	14.7	21.0	0.9
鳩ヶ谷地域	206	18.9	18.4	20.9	13.6	26.7	1.5

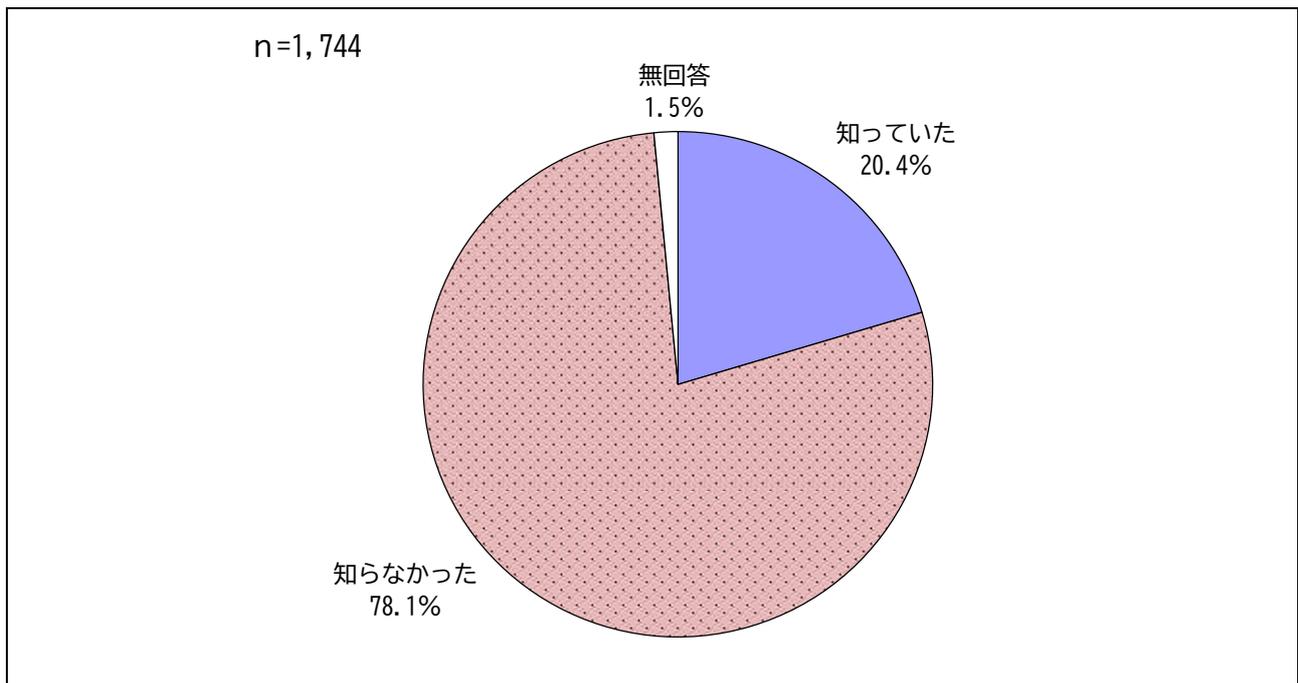
16 協働によるまちづくりの認知度

(1) 協働によるまちづくりの認知度

問13 あなたは、川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを知っていましたか。(○は1つ)

川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを、「知っていた」が20.4%で約2割を占めており、「知らなかった」は78.1%で8割近くとなっています。

【市民・行政の協働によるまちづくりの認知度（全体）】



(2) 協働によるまちづくりの認知度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「知っていた」は男性75歳以上(39.0%)、女性75歳以上(38.2%)で4割近く、女性65～74歳(35.7%)で3割半ばを超えて高くなっています。

一方、「知らなかった」は女性30～39歳(91.8%)、男性40～49歳(91.5%)、男性30～39歳(88.9%)で9割前後と高くなっています。

【協働によるまちづくりの認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,744	20.4	78.1	1.5
男性		753	18.6	80.5	0.9
女性		930	22.0	76.1	1.8
自由記載		3	○ 33.3	● 66.7	0.0
男 性	18～29歳	82	▲ 12.2	△ 87.8	0.0
	30～39歳	117	● 9.4	○ 88.9	1.7
	40～49歳	129	● 8.5	○ 91.5	0.0
	50～59歳	139	19.4	79.9	0.7
	60～64歳	72	20.8	77.8	1.4
	65～74歳	113	23.0	75.2	1.8
	75歳以上	100	☆ 39.0	★ 60.0	1.0
女 性	18～29歳	124	▲ 12.9	△ 86.3	0.8
	30～39歳	134	● 8.2	○ 91.8	0.0
	40～49歳	136	▲ 14.0	△ 86.0	0.0
	50～59歳	189	19.6	77.2	3.2
	60～64歳	67	△ 26.9	73.1	0.0
	65～74歳	115	☆ 35.7	● 63.5	0.9
	75歳以上	165	☆ 38.2	★ 56.4	5.5

(3) 協働によるまちづくりの認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、「知っていた」は新郷地域(27.0%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。一方、「知らなかった」は中央地域(84.1%)で8割半ばと最も高くなっています。

【協働によるまちづくりの認知度（居住地域別）】

	(人)		(%)	
	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,744	20.4	78.1	1.5
中央地域	151	15.9	△ 84.1	0.0
横曽根地域	181	19.9	79.6	0.6
青木地域	230	19.1	80.0	0.9
南平地域	178	24.7	▲ 72.5	2.8
新郷地域	89	△ 27.0	▲ 70.8	2.2
神根地域	149	24.8	73.8	1.3
芝地域	189	23.3	74.6	2.1
安行地域	93	▲ 14.0	82.8	3.2
戸塚地域	224	17.9	81.3	0.9
鳩ヶ谷地域	206	18.9	78.6	2.4

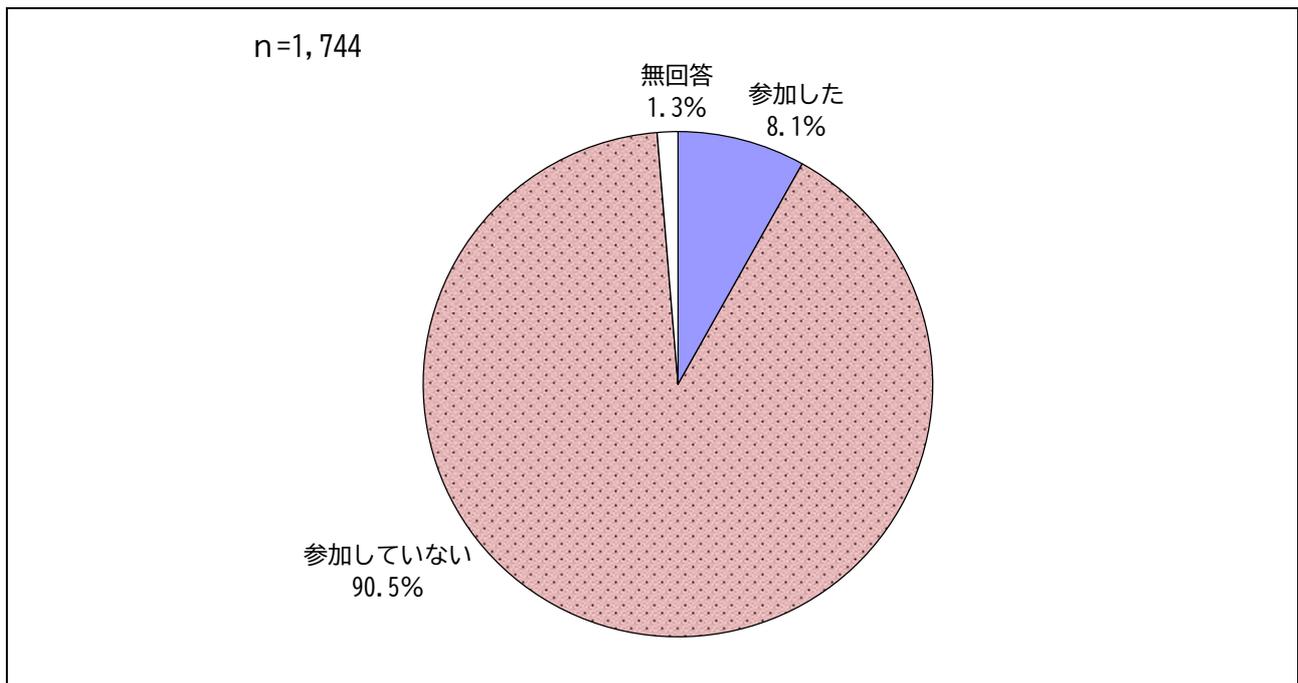
17 協働によるまちづくりの参加状況

(1) 協働によるまちづくりの参加状況

問 14 あなたは、1年以内に、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加しましたか。
(○は1つ)

過去1年以内に、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したかについて、「参加した」が8.1%となっており、「参加していない」は90.5%で約9割を占めています。

【協働によるまちづくりの参加状況（全体）】



(2) 協働によるまちづくりの参加状況（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「参加した」は男性75歳以上(14.0%)、女性65～74歳(13.9%)、女性75歳以上(13.3%)、男性65～74歳(11.5%)で1割を超えて高くなっています。

一方、「参加していない」は女性30～39歳(97.8%)、女性18～29歳(96.8%)、男性40～49歳(95.3%)で9割半ばを超えて高くなっています。

【協働によるまちづくりの参加状況（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	参加した	参加していない	無回答
全体		1,744	8.1	90.5	1.3
男性		753	8.0	91.1	0.9
女性		930	8.3	90.3	1.4
自由記載		3	▲ 0.0	△ 100.0	0.0
男 性	18～29歳	82	6.1	92.7	1.2
	30～39歳	117	▲ 2.6	94.9	2.6
	40～49歳	129	4.7	95.3	0.0
	50～59歳	139	9.4	90.6	0.0
	60～64歳	72	8.3	91.7	0.0
	65～74歳	113	11.5	87.6	0.9
	75歳以上	100	△ 14.0	▲ 84.0	2.0
女 性	18～29歳	124	3.2	△ 96.8	0.0
	30～39歳	134	▲ 2.2	△ 97.8	0.0
	40～49歳	136	6.6	92.6	0.7
	50～59歳	189	9.5	88.9	1.6
	60～64歳	67	7.5	92.5	0.0
	65～74歳	115	△ 13.9	▲ 84.3	1.7
	75歳以上	165	△ 13.3	▲ 82.4	4.2

(3) 協働によるまちづくりの参加状況（居住地域別）

居住地域別にみると、「参加していない」は横曽根地域(96.7%)で9割半ばを超えて最も高くなっています。

【協働によるまちづくりの参加状況（居住地域別）】

	(人)			(%)
	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,744	8.1	90.5	1.3
中央地域	151	5.3	94.7	0.0
横曽根地域	181	▲ 2.8	△ 96.7	0.6
青木地域	230	10.0	89.1	0.9
南平地域	178	8.4	88.8	2.8
新郷地域	89	12.4	87.6	0.0
神根地域	149	12.1	87.9	0.0
芝地域	189	11.1	87.3	1.6
安行地域	93	11.8	▲ 84.9	3.2
戸塚地域	224	7.6	91.5	0.9
鳩ヶ谷地域	206	5.3	91.7	2.9

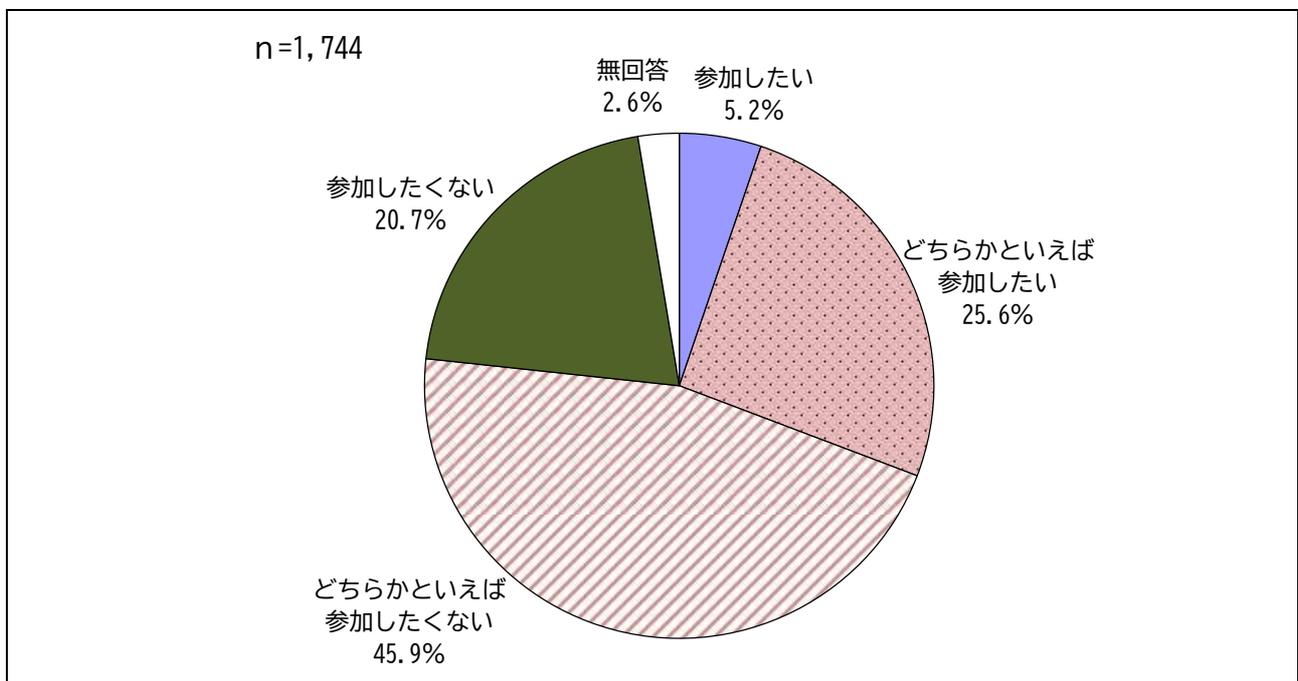
18 協働によるまちづくりへの参加意向

(1) 協働によるまちづくりへの参加意向

問 15 あなたは、今後、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したいと思いますか。
(○は1つ)

今後、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したいかについて、「参加したい」(5.2%)と「どちらかといえば参加したい」(25.6%)を合わせた『参加したい』は30.8%で約3割を占めています。一方、「どちらかといえば参加したくない」(45.9%)と「参加したくない」(20.7%)を合わせた『参加したくない』は66.6%で6割半ばを超えています。

【協働によるまちづくりへの参加意向 (全体)】



(2) 協働によるまちづくりへの参加意向（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「どちらかといえば参加したい」は男性60～64歳(34.7%)、女性50～59歳(31.7%)で3割を超えて高くなっています。

一方、「どちらかといえば参加したくない」は女性60～64歳(61.2%)で6割を超えて最も高く、「参加したくない」は男性30～39歳(29.9%)、女性30～39歳(26.9%)、男性18～29歳(25.6%)で2割半ばを超えて高くなっています。

【協働によるまちづくりへの参加意向（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)				
		合計	参加したい	どちらか といえば 参加したい	どちらか といえば 参加 したくない	参加 したくない	無回答
全体		1,744	5.2	25.6	45.9	20.7	2.6
男性		753	5.8	27.0	44.5	★ 21.0	1.7
女性		930	4.7	24.1	47.4	20.6	3.1
自由記載		3	▲ 0.0	△ 33.3	● 33.3	○ 33.3	0.0
男 性	18～29歳	82	4.9	29.3	▲ 40.2	25.6	0.0
	30～39歳	117	3.4	24.8	▲ 40.2	△ 29.9	1.7
	40～49歳	129	7.0	24.8	46.5	21.7	0.0
	50～59歳	139	6.5	25.9	50.4	16.5	0.7
	60～64歳	72	▲ 0.0	△ 34.7	48.6	16.7	0.0
	65～74歳	113	7.1	24.8	48.7	16.8	2.7
	75歳以上	100	9.0	29.0	● 35.0	20.0	7.0
女 性	18～29歳	124	7.3	▲ 19.4	50.8	21.8	0.8
	30～39歳	134	4.5	▲ 17.2	△ 51.5	△ 26.9	0.0
	40～49歳	136	5.1	21.3	△ 55.1	16.2	2.2
	50～59歳	189	3.2	△ 31.7	43.4	20.6	1.1
	60～64歳	67	1.5	23.9	☆ 61.2	▲ 11.9	1.5
	65～74歳	115	3.5	24.3	47.8	20.0	4.3
	75歳以上	165	6.7	26.7	● 33.9	22.4	△ 10.3

(3) 協働によるまちづくりへの参加意向（居住地域別）

居住地域別にみると、「どちらかといえば参加したい」は中央地域(34.4%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

一方、「どちらかといえば参加したくない」は神根地域(52.3%)、横曽根地域(51.9%)、新郷地域(51.7%)で5割を超えて高く、「参加したくない」は南平地域(28.1%)、安行地域(25.8%)で2割半ばを超えて高くなっています。

【協働によるまちづくりへの参加意向（居住地域別）】

	(人)		(%)			
	合計	参加したい	どちらか といえば 参加したい	どちらか といえば参加 したくない	参加 したくない	無回答
全体	1,744	5.2	25.6	45.9	20.7	2.6
中央地域	151	4.0	△ 34.4	43.0	17.2	1.3
横曽根地域	181	3.3	23.8	△ 51.9	17.1	3.9
青木地域	230	6.5	24.8	44.8	20.9	3.0
南平地域	178	7.9	27.0	● 33.7	△ 28.1	3.4
新郷地域	89	5.6	▲ 16.9	△ 51.7	23.6	2.2
神根地域	149	4.7	26.8	△ 52.3	▲ 15.4	0.7
芝地域	189	5.8	25.9	46.0	18.0	4.2
安行地域	93	7.5	▲ 20.4	43.0	△ 25.8	3.2
戸塚地域	224	3.6	25.9	46.4	21.4	2.7
鳩ヶ谷地域	206	3.9	24.8	49.0	21.4	1.0

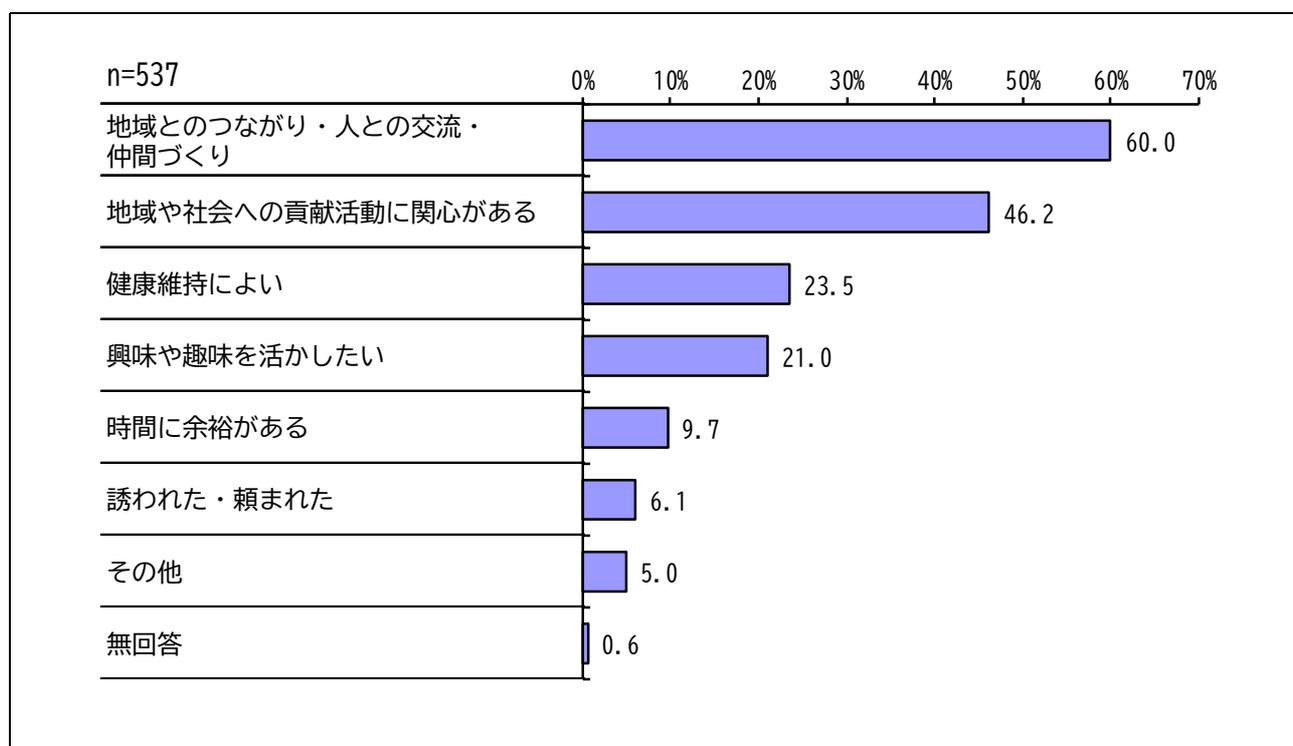
19 協働によるまちづくりに参加したい理由

(1) 協働によるまちづくりに参加したい理由

問 15 で「参加したい」か「どちらかといえば参加したい」と回答した方
問 16 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

協働によるまちづくりに『参加したい』と回答した537人の参加したい理由は、「地域とのつながり・人との交流・仲間づくり」が60.0%で6割に達し最も高く、「地域や社会への貢献活動に関心がある」が46.2%、「健康維持によい」が23.5%、「興味や趣味を活かしたい」が21.0%と続いています。

【協働によるまちづくりに参加したい理由 (全体)】



(2) 協働によるまちづくりに参加したい理由（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「地域や社会への貢献活動に関心がある」は男性40～49歳(70.7%)で約7割と最も高く、男性18～29歳(64.3%)で6割半ば近くと高くなっています。

「時間に余裕がある」は女性65～74歳(25.0%)で2割半ばと最も高くなっています。

【協働によるまちづくりに参加したい理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=537)	男性						
		18～29歳 (n=28)	30～39歳 (n=33)	40～49歳 (n=41)	50～59歳 (n=45)	60～64歳 (n=25)	65～74歳 (n=36)	75歳以上 (n=38)
地域とのつながり・人との交流・仲間づくり	60.0	64.3	● 48.5	▲ 53.7	64.4	64.0	58.3	△ 65.8
地域や社会への貢献活動に関心がある	46.2	☆ 64.3	○ 57.6	☆ 70.7	△ 55.6	★ 28.0	44.4	△ 52.6
健康維持によい	23.5	21.4	▲ 15.2	22.0	20.0	24.0	25.0	○ 34.2
興味や趣味を活かしたい	21.0	▲ 14.3	△ 30.3	19.5	17.8	20.0	22.2	▲ 13.2
時間に余裕がある	9.7	▲ 3.6	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	○ 20.0	△ 19.4	△ 15.8
誘われた・頼まれた	6.1	▲ 0.0	3.0	4.9	11.1	4.0	5.6	10.5
その他	5.0	3.6	9.1	4.9	4.4	4.0	2.8	0.0
無回答	0.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【協働によるまちづくりに参加したい理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=537)	女性						
		18～29歳 (n=33)	30～39歳 (n=29)	40～49歳 (n=36)	50～59歳 (n=66)	60～64歳 (n=17)	65～74歳 (n=32)	75歳以上 (n=55)
地域とのつながり・人との交流・仲間づくり	60.0	▲ 54.5	△ 65.5	▲ 52.8	62.1	58.8	△ 68.8	△ 65.5
地域や社会への貢献活動に関心がある	46.2	△ 51.5	44.8	○ 61.1	42.4	★ 17.6	● 31.3	★ 27.3
健康維持によい	23.5	21.2	▲ 17.2	▲ 13.9	▲ 16.7	▲ 17.6	28.1	○ 36.4
興味や趣味を活かしたい	21.0	△ 30.3	20.7	16.7	19.7	23.5	21.9	△ 27.3
時間に余裕がある	9.7	9.1	▲ 3.4	5.6	6.1	△ 17.6	☆ 25.0	△ 18.2
誘われた・頼まれた	6.1	▲ 0.0	▲ 0.0	5.6	6.1	5.9	△ 15.6	9.1
その他	5.0	9.1	6.9	△ 11.1	1.5	△ 11.8	0.0	9.1
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0

(3) 協働によるまちづくりに参加したい理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「地域とのつながり・人との交流・仲間づくり」は鳩ヶ谷地域(71.2%)で7割を超えて最も高くなっています。

「地域や社会への貢献活動に関心がある」は中央地域(60.3%)、青木地域(58.3%)で6割前後と高くなっています。

【協働によるまちづくりに参加したい理由（居住地域別）】

	全体 (n=537)	中央 地域 (n=58)	横曽根 地域 (n=49)	青木 地域 (n=72)	南平 地域 (n=62)	新郷 地域 (n=20)	神根 地域 (n=47)	芝 地域 (n=60)	安行 地域 (n=26)	戸塚 地域 (n=66)	鳩ヶ谷 地域 (n=59)
地域とのつながり・人との交流・仲間づくり	60.0	56.9	△ 65.3	63.9	△ 66.1	▲ 50.0	△ 66.0	55.0	▲ 53.8	● 45.5	○ 71.2
地域や社会への貢献活動に関心がある	46.2	○ 60.3	49.0	○ 58.3	▲ 40.3	▲ 40.0	● 34.0	41.7	42.3	50.0	● 35.6
健康維持によい	23.5	24.1	22.4	22.2	▲ 16.1	● 10.0	△ 29.8	25.0	☆ 46.2	22.7	18.6
興味や趣味を活かしたい	21.0	25.9	24.5	△ 26.4	17.7	▲ 15.0	▲ 14.9	△ 28.3	▲ 11.5	18.2	20.3
時間に余裕がある	9.7	13.8	△ 16.3	11.1	12.9	5.0	10.6	8.3	▲ 3.8	▲ 4.5	5.1
誘われた・頼まれた	6.1	3.4	▲ 0.0	9.7	4.8	10.0	8.5	△ 11.7	7.7	6.1	3.4
その他	5.0	1.7	4.1	2.8	4.8	10.0	6.4	5.0	△ 11.5	7.6	3.4
無回答	0.6	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7

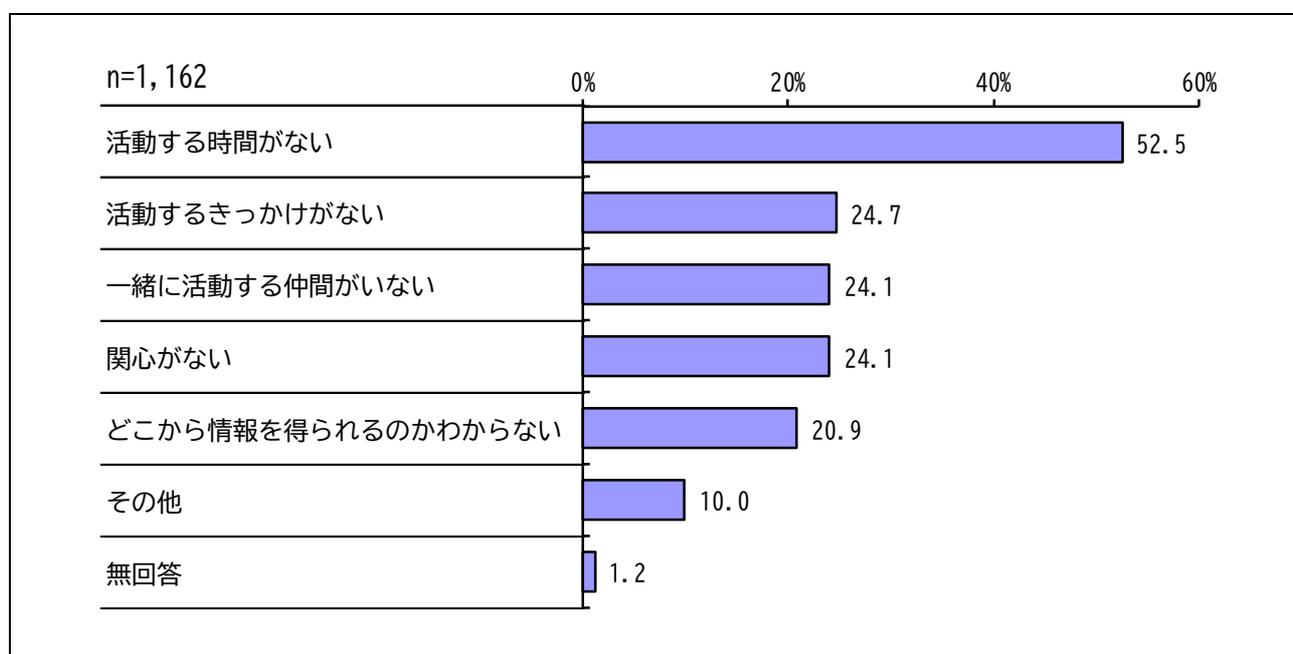
20 協働によるまちづくりに参加したくない理由

(1) 協働によるまちづくりに参加したくない理由

問15で「どちらかといえば参加したくない」か「参加したくない」と回答した方
問17 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

協働によるまちづくりに『参加したくない』と回答した1,162人の参加したくない理由は、「活動する時間がない」が52.5%で5割を超えて最も高く、「活動するきっかけがない」が24.7%、「一緒に活動する仲間がない」と「関心がない」がともに24.1%、「どこから情報を得られるのかわからない」が20.9%と続いています。

【協働によるまちづくりに参加したくない理由（全体）】



(2) 協働によるまちづくりに参加したくない理由（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「活動する時間がない」は女性30～39歳(72.4%)、女性40～49歳(70.1%)で7割、男性40～49歳(69.3%)、男性50～59歳(67.7%)で6割半ばを超えて高くなっています。

【協働によるまちづくりに参加したくない理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,162)	男性						
		18～29歳 (n=54)	30～39歳 (n=82)	40～49歳 (n=88)	50～59歳 (n=93)	60～64歳 (n=47)	65～74歳 (n=74)	75歳以上 (n=55)
活動する時間がない	52.5	○ 63.0	△ 59.8	☆ 69.3	☆ 67.7	48.9	★ 27.0	★ 10.9
活動するきっかけがない	24.7	25.9	△ 30.5	29.5	▲ 17.2	21.3	27.0	20.0
一緒に活動する仲間がいない	24.1	27.8	26.8	26.1	19.4	25.5	△ 31.1	21.8
関心がない	24.1	○ 37.0	☆ 43.9	25.0	▲ 18.3	△ 29.8	△ 32.4	21.8
どこから情報を得られるのかわからない	20.9	16.7	20.7	22.7	17.2	23.4	23.0	21.8
その他	10.0	▲ 1.9	▲ 1.2	9.1	▲ 4.3	8.5	10.8	☆ 29.1
無回答	1.2	5.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	3.6

【協働によるまちづくりに参加したくない理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,162)	女性						
		18～29歳 (n=90)	30～39歳 (n=105)	40～49歳 (n=97)	50～59歳 (n=121)	60～64歳 (n=49)	65～74歳 (n=78)	75歳以上 (n=93)
活動する時間がない	52.5	△ 62.2	☆ 72.4	☆ 70.1	△ 60.3	△ 61.2	★ 28.2	★ 9.7
活動するきっかけがない	24.7	△ 30.0	28.6	△ 29.9	24.8	28.6	23.1	● 10.8
一緒に活動する仲間がいない	24.1	28.9	23.8	23.7	19.8	28.6	20.5	▲ 18.3
関心がない	24.1	26.7	22.9	● 11.3	23.1	● 12.2	26.9	● 12.9
どこから情報を得られるのかわからない	20.9	23.3	21.0	25.8	▲ 15.7	22.4	25.6	17.2
その他	10.0	▲ 3.3	▲ 4.8	▲ 3.1	5.0	12.2	9.0	☆ 46.2
無回答	1.2	1.1	0.0	1.0	0.0	0.0	2.6	3.2

(3) 協働によるまちづくりに参加したくない理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「活動する時間がない」は横曽根地域(58.4%)、安行地域(57.8%)、鳩ヶ谷地域(57.2%)で5割半ばを超えて高くなっています。

「関心がない」は新郷地域(34.3%)で3割半ばと最も高くなっています。

「どこから情報を得られるのかわからない」は新郷地域(29.9%)、芝地域(27.3%)で2割半ばを超えて高くなっています。

【協働によるまちづくりに参加したくない理由（居住地域別）】

	全体 (n=1,162)	中央 地域 (n=91)	横曽根 地域 (n=125)	青木 地域 (n=151)	南平 地域 (n=110)	新郷 地域 (n=67)	神根 地域 (n=101)	芝 地域 (n=121)	安行 地域 (n=64)	戸塚 地域 (n=152)	鳩ヶ谷 地域 (n=145)
活動する時間がない	52.5	53.8	△ 58.4	49.0	▲ 47.3	▲ 46.3	49.5	50.4	△ 57.8	53.9	57.2
活動するきっかけがない	24.7	19.8	24.0	27.8	27.3	26.9	26.7	24.0	23.4	28.3	21.4
一緒に活動する仲間がない	24.1	27.5	24.0	24.5	29.1	19.4	20.8	24.8	23.4	25.0	24.1
関心がない	24.1	▲ 17.6	▲ 18.4	19.2	25.5	○ 34.3	27.7	28.1	23.4	27.0	22.8
どこから情報を得られるのかわからない	20.9	24.2	20.0	19.9	24.5	△ 29.9	17.8	△ 27.3	▲ 14.1	20.4	16.6
その他	10.0	9.9	8.8	9.9	10.0	10.4	11.9	11.6	10.9	5.9	12.4
無回答	1.2	0.0	1.6	2.0	0.9	1.5	0.0	0.8	0.0	0.7	2.1

21 「ごみ有料化」の賛否

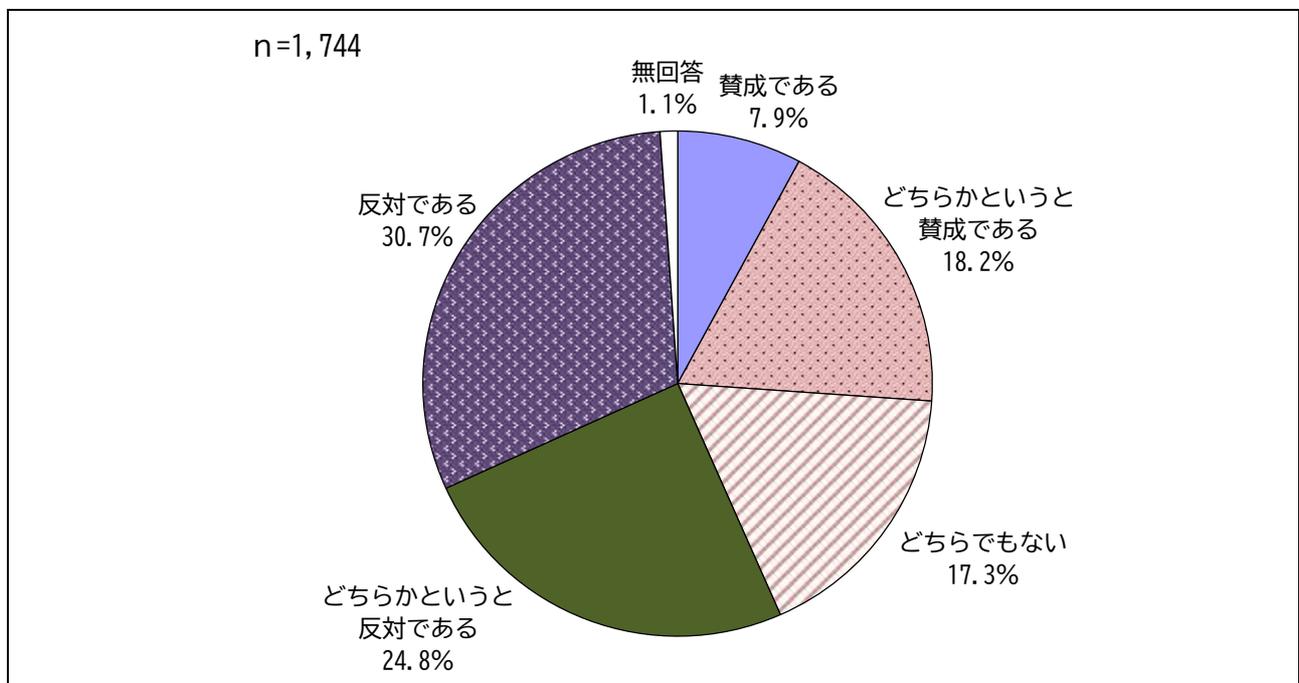
(1) 「ごみ有料化」の賛否

問 18 ごみの量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみの有料化」についてあなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

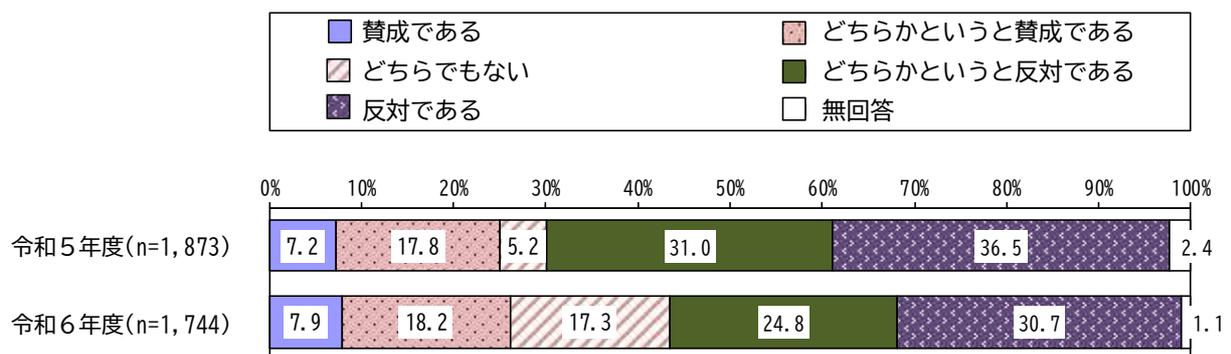
「ごみ有料化」の賛否について、「賛成である」(7.9%)と「どちらかという賛成である」(18.2%)を合わせた『賛成である』は26.1%で2割半ばを超えています。一方、「どちらかという反対である」(24.8%)と「反対である」(30.7%)を合わせた『反対である』は55.5%で5割半ば占めています。

「ごみ有料化」の賛否の推移をみると、令和5年度と比べ、『反対である』は12.0ポイント減少しています。一方、「どちらでもない」は12.1ポイント増加しています。

【「ごみ有料化」の賛否 (全体)】



【「ごみ有料化」の賛否の推移】



(2) 「ごみ有料化」の賛否（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「反対である」は女性18～29歳(54.8%)で5割半ば近くと最も高く、女性30～39歳(45.5%)、男性18～29歳(43.9%)、男性30～39歳(41.9%)で4割を超えて高くなっています。

「どちらかという反対である」は女性60～64歳(37.3%)で3割半ばを超えて最も高く、男性60～64歳(30.6%)で約3割と高くなっています。

一方、「どちらかという賛成である」は男性75歳以上(27.0%)で2割半ばを超えて最も高く、女性65～74歳(24.3%)、男性50～59歳(23.7%)で2割を超えて高くなっています。「賛成である」は男性75歳以上(13.0%)で高くなっています。

【「ごみ有料化」の賛否（性別、性・年齢別）】

		(人)			(%)			
	合計	賛成である	どちらかという賛成である	どちらでもない	どちらかという反対である	反対である	無回答	
全体	1,744	7.9	18.2	17.3	24.8	30.7	1.1	
男性	753	9.4	19.9	16.2	24.2	★ 29.6	0.7	
女性	930	6.3	17.1	17.6	26.0	31.6	1.3	
自由記載	3	▲ 0.0	☆ 33.3	★ 0.0	★ 0.0	☆ 66.7	0.0	
男性	18～29歳	82	11.0	▲ 12.2	13.4	▲ 19.5	○ 43.9	0.0
	30～39歳	117	5.1	▲ 12.0	14.5	24.8	○ 41.9	1.7
	40～49歳	129	10.1	18.6	17.1	▲ 15.5	△ 38.8	0.0
	50～59歳	139	10.1	△ 23.7	15.8	27.3	▲ 22.3	0.7
	60～64歳	72	8.3	22.2	12.5	△ 30.6	26.4	0.0
	65～74歳	113	8.8	23.0	△ 23.0	24.8	● 18.6	1.8
	75歳以上	100	△ 13.0	△ 27.0	15.0	28.0	● 17.0	0.0
女性	18～29歳	124	4.8	▲ 8.9	▲ 11.3	20.2	☆ 54.8	0.0
	30～39歳	134	7.5	▲ 10.4	15.7	20.1	○ 45.5	0.7
	40～49歳	136	5.1	19.9	16.2	27.2	31.6	0.0
	50～59歳	189	5.3	17.5	16.9	29.1	29.6	1.6
	60～64歳	67	3.0	13.4	19.4	○ 37.3	26.9	0.0
	65～74歳	115	5.2	△ 24.3	17.4	27.0	▲ 22.6	3.5
	75歳以上	165	10.9	22.4	△ 25.5	25.5	★ 13.3	2.4

(3) 「ごみ有料化」の賛否（居住地域別）

居住地域別にみると、「反対である」は安行地域(39.8%)で約4割と高くなっています。

【「ごみ有料化」の賛否（居住地域別）】

	(人)						(%)
	合計	賛成である	どちらかという と賛成である	どちらでも ない	どちらかという と反対である	反対である	無回答
全体	1,744	7.9	18.2	17.3	24.8	30.7	1.1
中央地域	151	10.6	19.2	16.6	21.9	31.8	0.0
横曽根地域	181	6.1	21.0	18.2	29.8	▲ 22.7	2.2
青木地域	230	8.3	18.3	▲ 12.2	27.8	33.0	0.4
南平地域	178	8.4	16.9	14.6	21.9	35.4	2.8
新郷地域	89	6.7	▲ 12.4	21.3	27.0	32.6	0.0
神根地域	149	8.1	22.1	21.5	24.8	▲ 22.8	0.7
芝地域	189	8.5	16.4	△ 24.3	23.3	26.5	1.1
安行地域	93	7.5	▲ 11.8	19.4	20.4	△ 39.8	1.1
戸塚地域	224	7.6	21.4	13.4	21.9	34.8	0.9
鳩ヶ谷地域	206	6.3	17.0	18.4	26.2	30.6	1.5

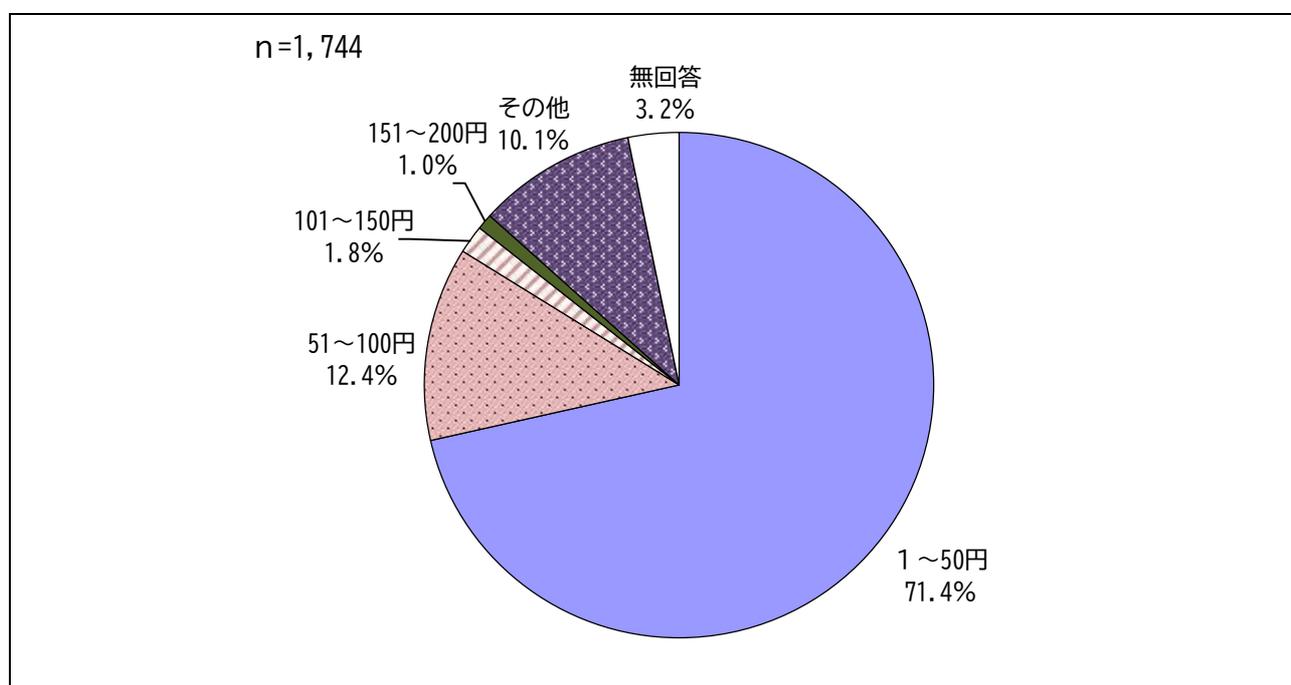
22 「ごみ有料化」の際の負担の許容額

(1) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額

問19 あなたは「ごみの有料化」を指定袋により実施した場合、1枚あたりどの程度の金額であれば負担してもよいと思いますか。(〇は1つ)

「ごみ有料化」を指定袋により実施した場合の負担の許容額について、「1～50円」が71.4%と7割を超えており、「51～100円」が12.4%と1割を超えて、二つを合わせた『100円以下』が83.8%と8割を超えています。

【「ごみ有料化」の際の負担の許容額（全体）】



(2) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「1～50円」は女性30～39歳(85.1%)で8割半ばを占めて最も高く、女性18～29歳(78.2%)、女性50～59歳(77.8%)、女性40～49歳(77.2%)で7割半ばを超えて高くなっています。

「51～100円」は男性75歳以上(21.0%)、女性75歳以上(20.0%)で2割以上と高くなっています。

【「ごみ有料化」の際の負担の許容額（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)
		合計	1～50円	51～100円	101～150円	151～200円	その他	無回答
全体		1,744	71.4	12.4	1.8	1.0	10.1	3.2
男性		753	67.9	14.9	2.1	1.3	10.9	2.9
女性		930	74.6	10.6	1.5	0.5	9.6	3.1
自由記載		3	66.7	● 0.0	0.0	0.0	☆ 33.3	0.0
男 性	18～29歳	82	73.2	8.5	6.1	1.2	11.0	0.0
	30～39歳	117	71.8	15.4	0.0	0.9	10.3	1.7
	40～49歳	129	69.8	14.0	0.0	0.8	△ 15.5	0.0
	50～59歳	139	71.2	12.9	2.2	2.9	7.9	2.9
	60～64歳	72	68.1	12.5	2.8	0.0	△ 15.3	1.4
	65～74歳	113	67.3	△ 17.7	1.8	2.7	7.1	3.5
	75歳以上	100	★ 53.0	△ 21.0	4.0	0.0	11.0	△ 11.0
女 性	18～29歳	124	△ 78.2	▲ 7.3	1.6	0.0	12.9	0.0
	30～39歳	134	○ 85.1	9.0	0.7	0.7	▲ 3.7	0.7
	40～49歳	136	△ 77.2	9.6	0.0	0.7	12.5	0.0
	50～59歳	189	△ 77.8	▲ 6.9	1.1	0.5	13.2	0.5
	60～64歳	67	73.1	9.0	1.5	0.0	14.9	1.5
	65～74歳	115	73.0	11.3	1.7	0.0	7.0	7.0
	75歳以上	165	● 59.4	△ 20.0	3.6	1.2	▲ 4.8	△ 10.9

(3) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額（居住地域別）

居住地域別にみると、「1～50円」は鳩ヶ谷地域(75.7%)で7割半ばを超えて最も高くなっています。

【「ごみ有料化」の際の負担の許容額（居住地域別）】

	(人)						(%)
	合計	1～50円	51～100円	101～150円	151～200円	その他	無回答
全体	1,744	71.4	12.4	1.8	1.0	10.1	3.2
中央地域	151	74.2	11.9	0.7	2.6	9.3	1.3
横曽根地域	181	74.6	13.3	1.7	0.0	6.6	3.9
青木地域	230	67.0	15.7	1.3	1.3	10.4	4.3
南平地域	178	71.9	12.4	1.1	0.6	9.0	5.1
新郷地域	89	▲ 65.2	14.6	3.4	1.1	13.5	2.2
神根地域	149	73.8	12.1	1.3	0.7	9.4	2.7
芝地域	189	73.0	8.5	2.6	1.1	12.7	2.1
安行地域	93	▲ 63.4	15.1	4.3	0.0	12.9	4.3
戸塚地域	224	73.2	12.9	1.8	0.4	9.8	1.8
鳩ヶ谷地域	206	75.7	10.2	1.9	0.5	10.2	1.5

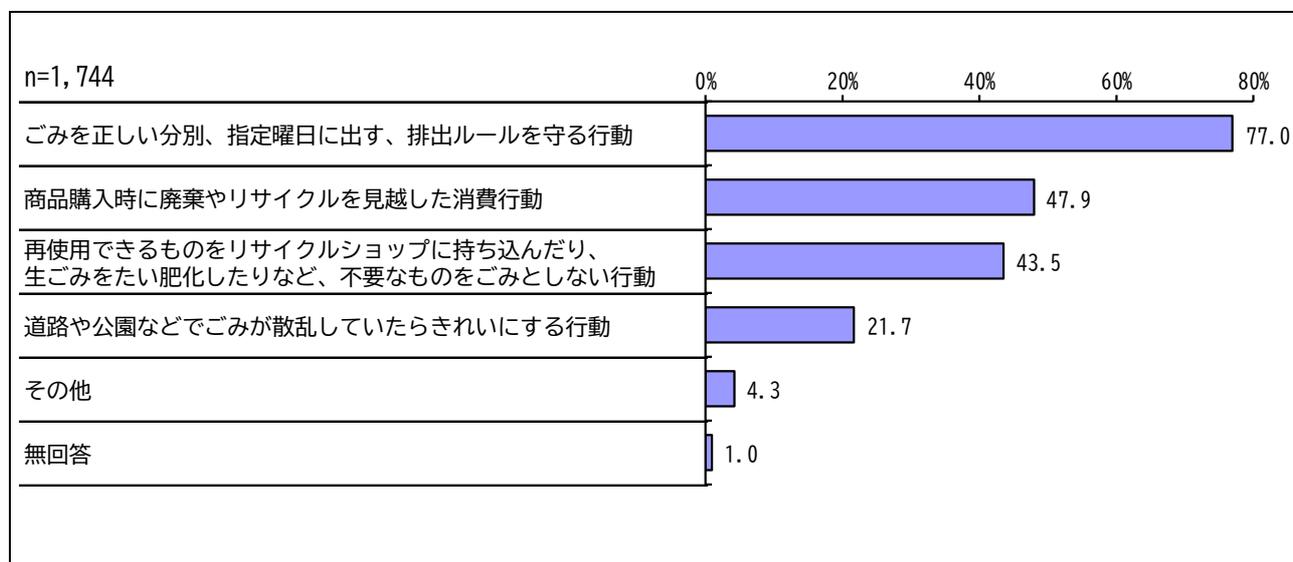
23 ごみ処理費用を抑えるために必要な行動

(1) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動

問 20 ごみ処理費用をできるだけ抑えるために、市民一人ひとりがどんな行動をする必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

ごみ処理費用を抑えるために必要な市民一人ひとりの行動について、「ごみを正しい分別、指定曜日に出す、排出ルールを守る行動」が77.0%で7割半ばを超えて最も高く、「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」が47.9%、「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、不要なものをゴミとしない行動」が43.5%、「道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動」が21.7%と続いています。

【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（全体）】



(2) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」は女性50～59歳(61.9%)、女性60～64歳(61.2%)で6割を超えて高くなっています。

「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、不要なものをごみとしない行動」は女性50～59歳(57.1%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
ごみを正しい分別、指定曜日に出す、 排出ルールを守る行動	77.0	▲ 68.3	● 65.8	74.4	77.0	75.0	△ 82.3	△ 87.0
商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した 消費行動	47.9	48.8	47.0	47.3	48.9	50.0	▲ 40.7	● 33.0
再使用できるものをリサイクルショップに 持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、 不要なものをごみとしない行動	43.5	40.2	40.2	46.5	46.8	44.4	● 31.0	● 30.0
道路や公園などでごみが散乱していたら きれいにする行動	21.7	19.5	20.5	25.6	21.6	● 9.7	22.1	20.0
その他	4.3	3.7	6.8	9.3	1.4	1.4	5.3	2.0
無回答	1.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.9	2.0

【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
ごみを正しい分別、指定曜日に出す、 排出ルールを守る行動	77.0	▲ 70.2	73.9	75.0	78.8	△ 83.6	△ 82.6	△ 86.7
商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した 消費行動	47.9	49.2	52.2	△ 55.9	○ 61.9	○ 61.2	43.5	● 34.5
再使用できるものをリサイクルショップに 持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、 不要なものをごみとしない行動	43.5	44.4	46.3	47.1	○ 57.1	△ 52.2	40.9	▲ 38.2
道路や公園などでごみが散乱していたら きれいにする行動	21.7	△ 29.0	22.4	22.1	19.0	22.4	20.9	23.6
その他	4.3	4.0	5.2	3.7	5.3	4.5	6.1	1.2
無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.7	1.8

(3) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（居住地域別）

居住地域別にみると、「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、不要なものをゴミとしない行動」は新郷地域(49.4%)で5割近くと最も高くなっています。

【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（居住地域別）】

	(%)										
	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
ごみを正しい分別、指定曜日に出す、 排出ルールを守る行動	77.0	72.8	80.7	80.0	80.9	76.4	75.2	79.9	72.0	75.0	76.7
商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した 消費行動	47.9	52.3	47.5	50.4	43.3	● 36.0	48.3	▲ 41.8	51.6	51.8	48.5
再使用できるものをリサイクルショップに 持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、 不要なものをゴミとしない行動	43.5	▲ 37.1	▲ 36.5	44.8	44.9	△ 49.4	40.3	43.4	45.2	47.3	47.1
道路や公園などでごみが散乱していたら きれいにする行動	21.7	21.9	20.4	23.5	19.1	22.5	22.1	20.1	22.6	22.8	20.4
その他	4.3	4.6	2.8	4.8	3.9	4.5	4.7	3.7	4.3	4.0	4.9
無回答	1.0	0.0	0.6	0.9	1.1	0.0	1.3	1.1	1.1	0.4	0.5

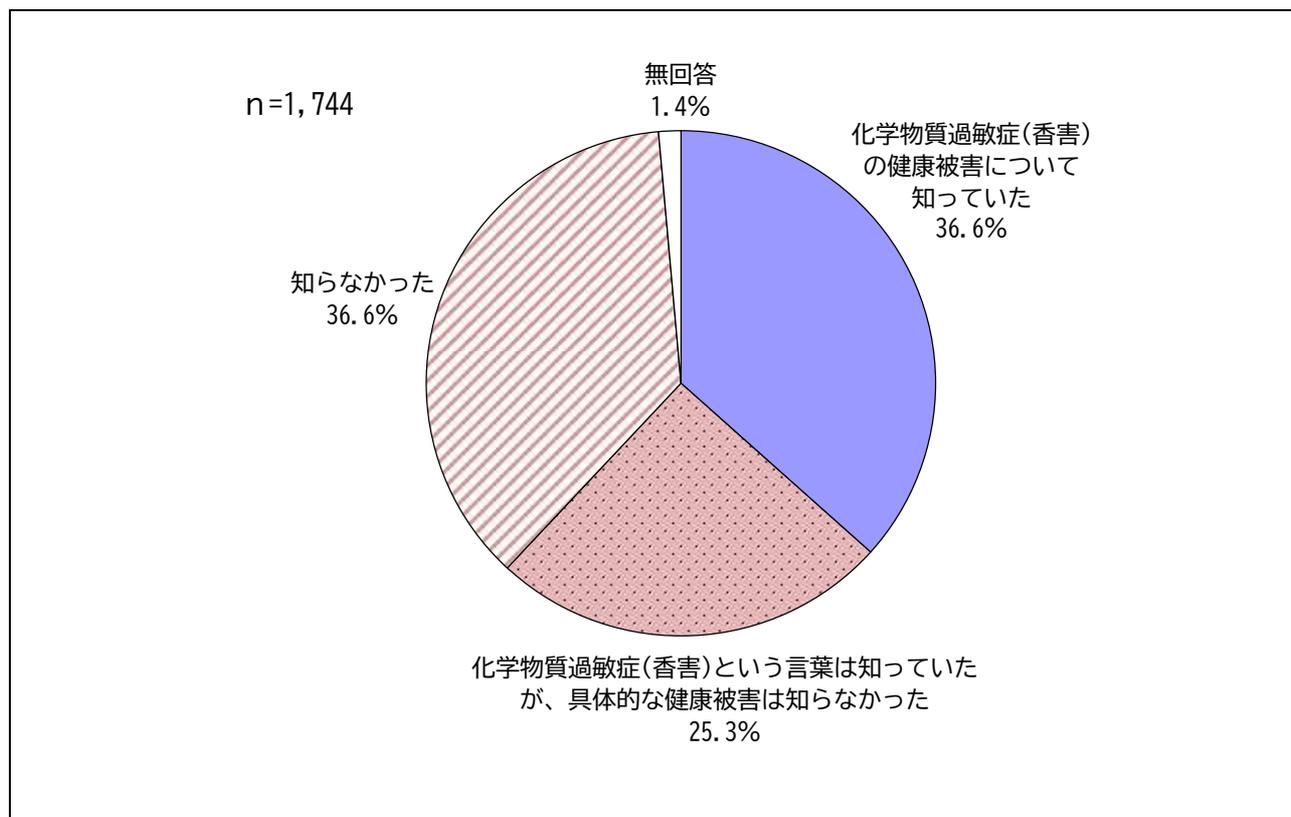
24 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度

(1) 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度

問 21 あなたは「化学物質過敏症（香害）」の健康被害について知っていましたか。（○は1つ）

「化学物質過敏症（香害）」の健康被害について、「化学物質過敏症（香害）の健康被害について知っていた」と「知らなかった」がともに36.6%で3割半ばを超えており、「化学物質過敏症（香害）」という言葉は知っていたが、具体的な健康被害は知らなかった」が25.3%で2割半ばを占めています。

【「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度（全体）】



(2) 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「化学物質過敏症(香害)の健康被害について知っていた」は女性50～59歳(55.6%)で5割半ばを超えて最も高く、女性30～39歳と女性40～49歳(ともに50.7%)で約5割と高くなっています。

「化学物質過敏症(香害)」という言葉は知っていたが、具体的な健康被害は知らなかった」は女性75歳以上(43.6%)、男性75歳以上(41.0%)で4割を超えて高くなっています。

一方、「知らなかった」は男性18～29歳(57.3%)で5割半ばを超えて最も高く、男性30～39歳(52.1%)で5割を超えて高くなっています。

【「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)		(%)	
	合計	化学物質過敏症 (香害)の健康被害 について知っていた	化学物質過敏症 (香害)という言葉 は知っていたが、 具体的な健康被害は 知らなかった	知らなかった	無回答
全体	1,744	36.6	25.3	36.6	1.4
男性	753	▲ 28.6	25.5	△ 45.6	▲ 0.4
女性	930	△ 43.8	25.4	▲ 29.1	1.7
自由記載	3	☆ 66.7	△ 33.3	★ 0.0	0.0
男 性	18～29歳	● 24.4	▲ 18.3	☆ 57.3	0.0
	30～39歳	▲ 29.9	▲ 17.1	☆ 52.1	0.9
	40～49歳	36.4	20.9	△ 42.6	0.0
	50～59歳	△ 41.7	21.6	36.7	0.0
	60～64歳	● 23.6	△ 30.6	△ 45.8	0.0
	65～74歳	★ 17.7	△ 31.9	○ 49.6	0.9
	75歳以上	★ 18.0	☆ 41.0	40.0	1.0
女 性	18～29歳	35.5	▲ 16.1	○ 46.8	1.6
	30～39歳	○ 50.7	20.9	▲ 28.4	0.0
	40～49歳	○ 50.7	22.8	● 25.7	0.7
	50～59歳	☆ 55.6	▲ 19.0	● 25.4	0.0
	60～64歳	△ 44.8	26.9	▲ 28.4	0.0
	65～74歳	△ 41.7	27.0	▲ 28.7	2.6
	75歳以上	● 26.1	☆ 43.6	● 24.2	6.1

(3) 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度（居住地域別）

居住地域別にみると「化学物質過敏症（香害）の健康被害について知っていた」は鳩ヶ谷地域（43.2%）、戸塚地域（40.6%）で4割を超えて高くなっています。

一方、「知らなかった」は安行地域（44.1%）で4割半ば近くと最も高くなっています。

【「化学物質過敏症（香害）」の健康被害の認知度（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	化学物質過敏症 （香害）の健康被害 について知っていた	化学物質過敏症 （香害）という言葉 は知っていたが、 具体的な健康被害は 知らなかった	知らなかった	無回答
全体	1,744	36.6	25.3	36.6	1.4
中央地域	151	39.7	21.2	38.4	0.7
横曽根地域	181	37.0	24.3	36.5	2.2
青木地域	230	37.0	24.3	36.5	2.2
南平地域	178	32.6	27.5	38.8	1.1
新郷地域	89	33.7	29.2	37.1	0.0
神根地域	149	33.6	26.2	36.9	3.4
芝地域	189	36.5	28.6	33.3	1.6
安行地域	93	▲ 26.9	28.0	△ 44.1	1.1
戸塚地域	224	40.6	24.6	34.4	0.4
鳩ヶ谷地域	206	△ 43.2	23.3	33.5	0.0

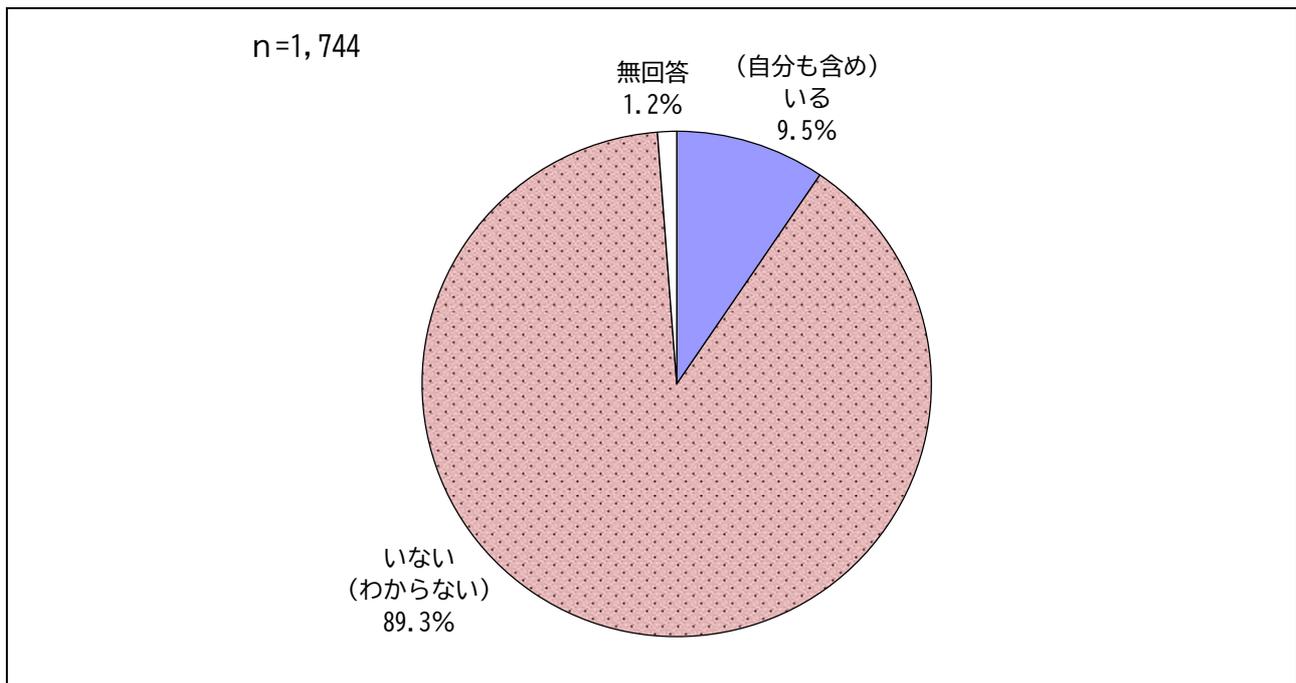
25 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無

(1) 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無

問 22 あなた、またはあなたの周囲に、「化学物質過敏症（香害）」の健康被害で悩んでいる方がいますか。（○は1つ）

自分や自分の周囲に、「化学物質過敏症（香害）」の健康被害で悩んでいる方がいるかについて、「(自分も含め)いる」が9.5%、「いない(わからない)」は89.3%となっています。

【「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無（全体）】



(2) 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「(自分も含め)いる」は女性60～64歳(20.9%)で2割を超えて最も高く、女性65～74歳(17.4%)、女性75歳以上(15.8%)で1割半ばを超えて高くなっています。

一方、「いない(わからない)」は男性50～59歳(95.0%)、男性40～49歳(94.6%)で9割半ば程度と高くなっています。

【「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	(自分も含め) いる	いない (わからない)	無回答
全体		1,744	9.5	89.3	1.2
男性		753	5.7	93.4	0.9
女性		930	12.6	86.3	1.1
自由記載		3	☆ 33.3	★ 33.3	☆ 33.3
男 性	18～29歳	82	6.1	92.7	1.2
	30～39歳	117	7.7	91.5	0.9
	40～49歳	129	4.7	△ 94.6	0.8
	50～59歳	139	5.0	△ 95.0	0.0
	60～64歳	72	6.9	93.1	0.0
	65～74歳	113	5.3	92.9	1.8
	75歳以上	100	5.0	93.0	2.0
女 性	18～29歳	124	7.3	92.7	0.0
	30～39歳	134	7.5	92.5	0.0
	40～49歳	136	8.1	91.9	0.0
	50～59歳	189	14.3	85.7	0.0
	60～64歳	67	○ 20.9	● 79.1	0.0
	65～74歳	115	△ 17.4	▲ 80.0	2.6
	75歳以上	165	△ 15.8	▲ 80.0	4.2

(3) 「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無（居住地域別）

居住地域別にみると、「いない(わからない)」は安行地域(98.9%)で約10割と最も高くなっています。

【「化学物質過敏症（香害）」の健康被害者の有無（居住地域別）】

	(人)			(%)
	合計	(自分も含め) いる	いない (わからない)	無回答
全体	1,744	9.5	89.3	1.2
中央地域	151	10.6	87.4	2.0
横曽根地域	181	9.4	89.5	1.1
青木地域	230	11.3	87.4	1.3
南平地域	178	6.7	92.1	1.1
新郷地域	89	10.1	88.8	1.1
神根地域	149	9.4	88.6	2.0
芝地域	189	10.6	87.3	2.1
安行地域	93	▲ 0.0	△ 98.9	1.1
戸塚地域	224	8.9	90.6	0.4
鳩ヶ谷地域	206	14.1	85.9	0.0

26 「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因

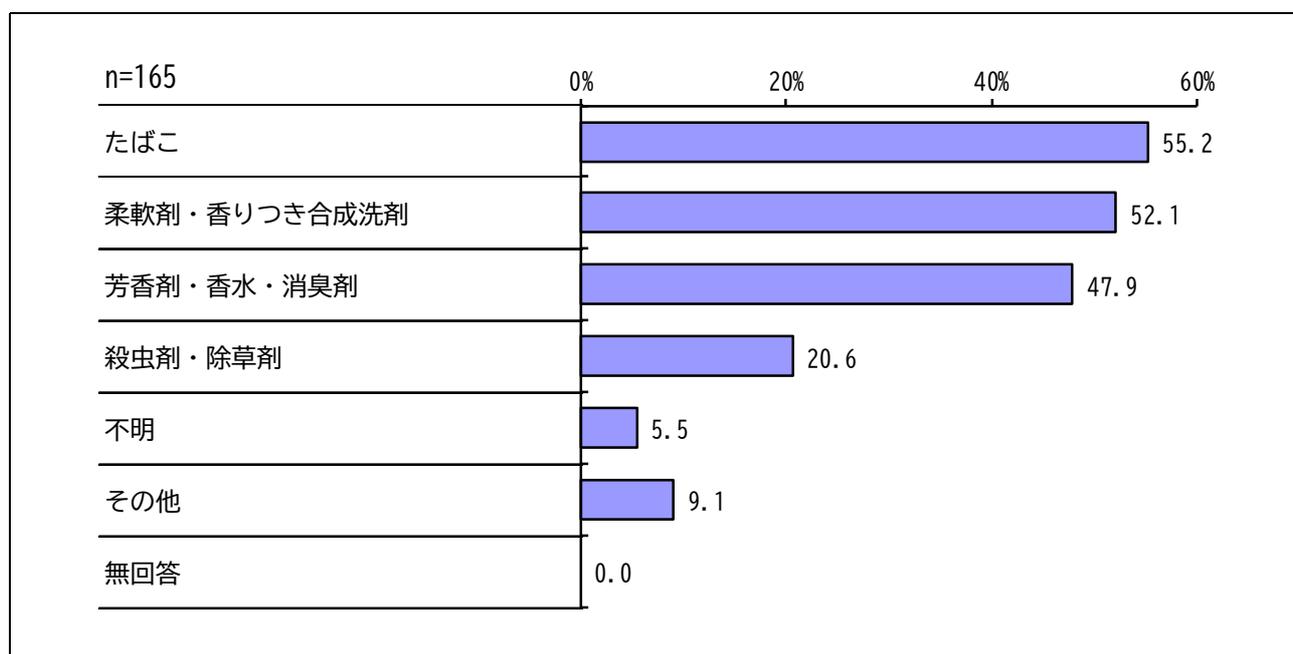
(1) 「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因

問 22 で1 「(自分も含め) いる」と回答した方

問 23 原因と考えられる製品は何ですか。(〇はいくつでも)

「化学物質過敏症(香害)」による健康被害が「(自分も含め)いる」と回答した165人の化学物質過敏症(香害)の原因と考えられる製品は、「たばこ」が55.2%で5割半ばと最も高く、「柔軟剤・香りつき合成洗剤」が52.1%、「芳香剤・香水・消臭剤」が47.9%、「殺虫剤・除草剤」が20.6%と続いています。

【「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因（全体）】



(2) 「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因（性・年齢別）

【「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=165)	男性						
		18～29歳 (n=5)	30～39歳 (n=9)	40～49歳 (n=6)	50～59歳 (n=7)	60～64歳 (n=5)	65～74歳 (n=6)	75歳以上 (n=5)
たばこ	55.2	☆ 80.0	○ 66.7	★ 33.3	● 42.9	★ 40.0	★ 33.3	60.0
柔軟剤・香りつき合成洗剤	52.1	★ 20.0	★ 33.3	☆ 83.3	☆ 71.4	△ 60.0	★ 33.3	● 40.0
芳香剤・香水・消臭剤	47.9	★ 20.0	● 33.3	● 33.3	△ 57.1	▲ 40.0	● 33.3	★ 20.0
殺虫剤・除草剤	20.6	20.0	★ 0.0	16.7	★ 0.0	☆ 40.0	★ 0.0	20.0
不明	5.5	▲ 0.0	▲ 0.0	○ 16.7	▲ 0.0	▲ 0.0	☆ 33.3	▲ 0.0
その他	9.1	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	△ 14.3	○ 20.0	△ 16.7	▲ 0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=165)	女性						
		18～29歳 (n=9)	30～39歳 (n=10)	40～49歳 (n=11)	50～59歳 (n=27)	60～64歳 (n=14)	65～74歳 (n=20)	75歳以上 (n=26)
たばこ	55.2	55.6	○ 70.0	54.5	59.3	☆ 71.4	55.0	▲ 46.2
柔軟剤・香りつき合成洗剤	52.1	○ 66.7	△ 60.0	▲ 45.5	55.6	★ 28.6	50.0	△ 57.7
芳香剤・香水・消臭剤	47.9	☆ 77.8	○ 60.0	△ 54.5	△ 55.6	△ 57.1	△ 55.0	▲ 38.5
殺虫剤・除草剤	20.6	★ 0.0	★ 0.0	☆ 36.4	▲ 14.8	△ 28.6	25.0	☆ 42.3
不明	5.5	▲ 0.0	▲ 0.0	9.1	7.4	7.1	▲ 0.0	3.8
その他	9.1	▲ 0.0	▲ 0.0	△ 18.2	▲ 3.7	△ 14.3	○ 20.0	11.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因（居住地域別）

【「化学物質過敏症（香害）」による健康被害の原因（居住地域別）】

	全体 (n=165)	中央 地域 (n=16)	横曽根 地域 (n=17)	青木 地域 (n=26)	南平 地域 (n=12)	新郷 地域 (n=9)	神根 地域 (n=14)	芝 地域 (n=20)	安行 地域 (n=0)	戸塚 地域 (n=20)	鳩ヶ谷 地域 (n=29)
たばこ	55.2	△ 62.5	△ 64.7	53.8	▲ 50.0	★ 22.2	▲ 50.0	▲ 50.0	★ 0.0	○ 70.0	55.2
柔軟剤・香りつき合成洗剤	52.1	○ 62.5	52.9	△ 57.7	★ 25.0	▲ 44.4	57.1	○ 65.0	★ 0.0	★ 35.0	51.7
芳香剤・香水・消臭剤	47.9	43.8	▲ 41.2	50.0	▲ 41.7	44.4	△ 57.1	★ 30.0	★ 0.0	☆ 65.0	△ 55.2
殺虫剤・除草剤	20.6	● 6.3	○ 35.3	19.2	○ 33.3	▲ 11.1	☆ 35.7	20.0	★ 0.0	20.0	● 10.3
不明	5.5	6.3	5.9	▲ 0.0	8.3	☆ 22.2	7.1	5.0	▲ 0.0	▲ 0.0	6.9
その他	9.1	12.5	5.9	△ 15.4	☆ 25.0	11.1	7.1	▲ 0.0	▲ 0.0	10.0	▲ 3.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

27 他人とのつながりの認識状況

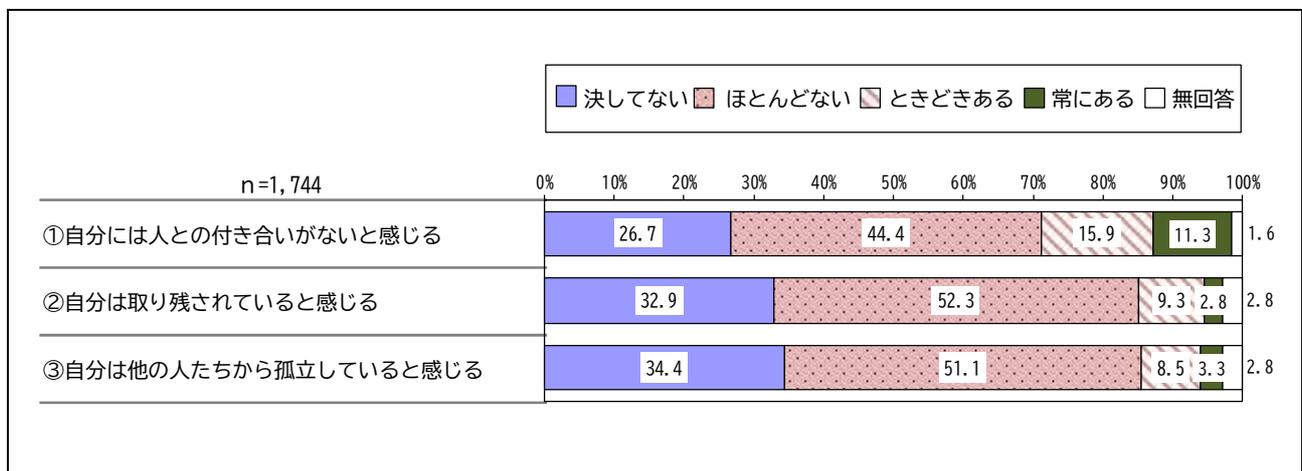
(1) 他人とのつながりの認識状況

問 24 あなたは、次の①～③の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか。
(それぞれ〇は1つ)

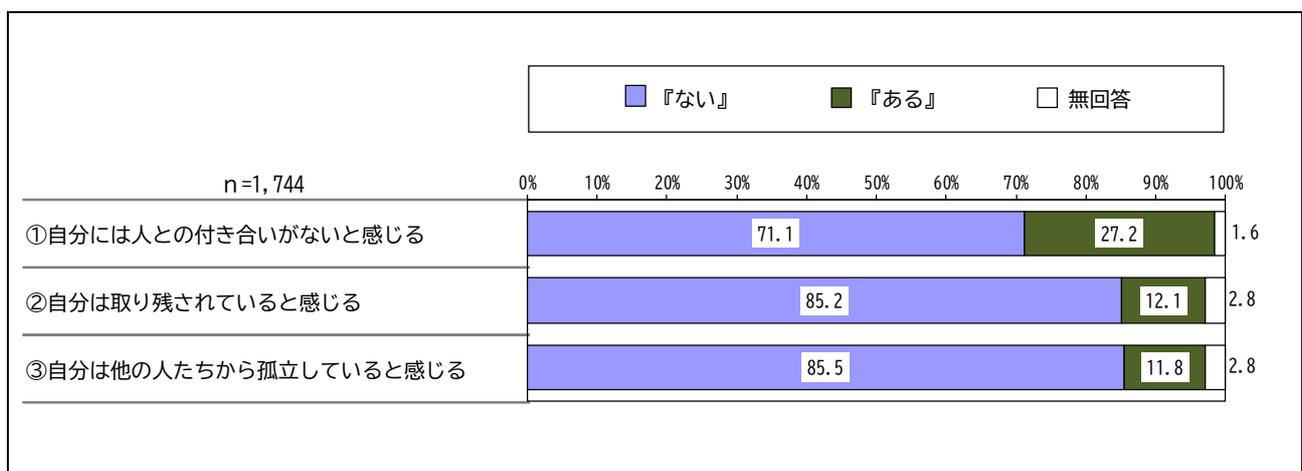
他人とのつながり3項目の認識状況について、「決してない」と「ほとんどない」を合わせた『ない』は、「自分には他の人たちから孤立していると感じる」が85.5%、「自分は取り残されていると感じる」が85.2%と8割半ばで高く、「自分には人との付き合いがないと感じる」が71.1%で7割を超えています。

「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』は、「自分には人との付き合いがないと感じる」が27.2%で2割半ばを超えて高くなっています。

【他人とのつながりの認識状況（全体）】



【他人とのつながりの認識状況（全体・2区分）】



(2) 他人とのつながりの認識状況（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』について、「自分には人との付き合いがないと感じる」は女性65～74歳(34.8%)、女性60～64歳(34.3%)で3割半ば近くと高くなっています。

「自分は取り残されていると感じる」は男性65～74歳(18.6%)で2割近くと最も高くなっています。

「自分は他の人たちから孤立していると感じる」は男性65～74歳(21.2%)で2割を超えて最も高くなっています。

【他人とのつながりの認識状況（男性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	男性 (%)						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
①自分には人との付き合いがないと感じる	27.2	● 13.4	▲ 21.3	23.3	23.7	26.4	△ 33.6	32.0
②自分は取り残されていると感じる	12.1	7.3	9.4	7.8	9.4	11.1	△ 18.6	8.0
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	11.8	7.3	9.4	10.9	8.6	8.3	△ 21.2	9.0

【他人とのつながりの認識状況（女性・年齢別）】

	全体 (n=1,744)	女性 (%)						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
①自分には人との付き合いがないと感じる	27.2	▲ 21.0	24.6	▲ 21.4	30.7	△ 34.3	△ 34.8	△ 32.7
②自分は取り残されていると感じる	12.1	10.5	11.2	13.2	15.9	13.4	8.7	15.7
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	11.8	9.6	9.7	8.8	16.4	13.4	8.7	12.7

(3) 他人とのつながりの認識状況（居住地域別）

居住地域別にみると、「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』について、「自分には人との付き合いがないと感じる」は神根地域(32.8%)で3割を超えて最も高くなっています。

「自分は取り残されていると感じる」は大きな差はありませんでした。

「自分は他の人たちから孤立していると感じる」は新郷地域(18.0%)で2割近くと最も高くなっています。

【他人とのつながりの認識状況（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
①自分には人との付き合いがないと感じる	27.2	24.5	29.9	26.5	30.9	31.5	△ 32.8	23.9	25.8	24.1	23.3
②自分は取り残されていると感じる	12.1	11.2	15.5	12.1	12.3	16.9	12.7	7.4	14.0	10.7	10.6
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	11.8	11.2	13.2	14.4	14.1	△ 18.0	12.1	7.4	9.7	10.3	9.2

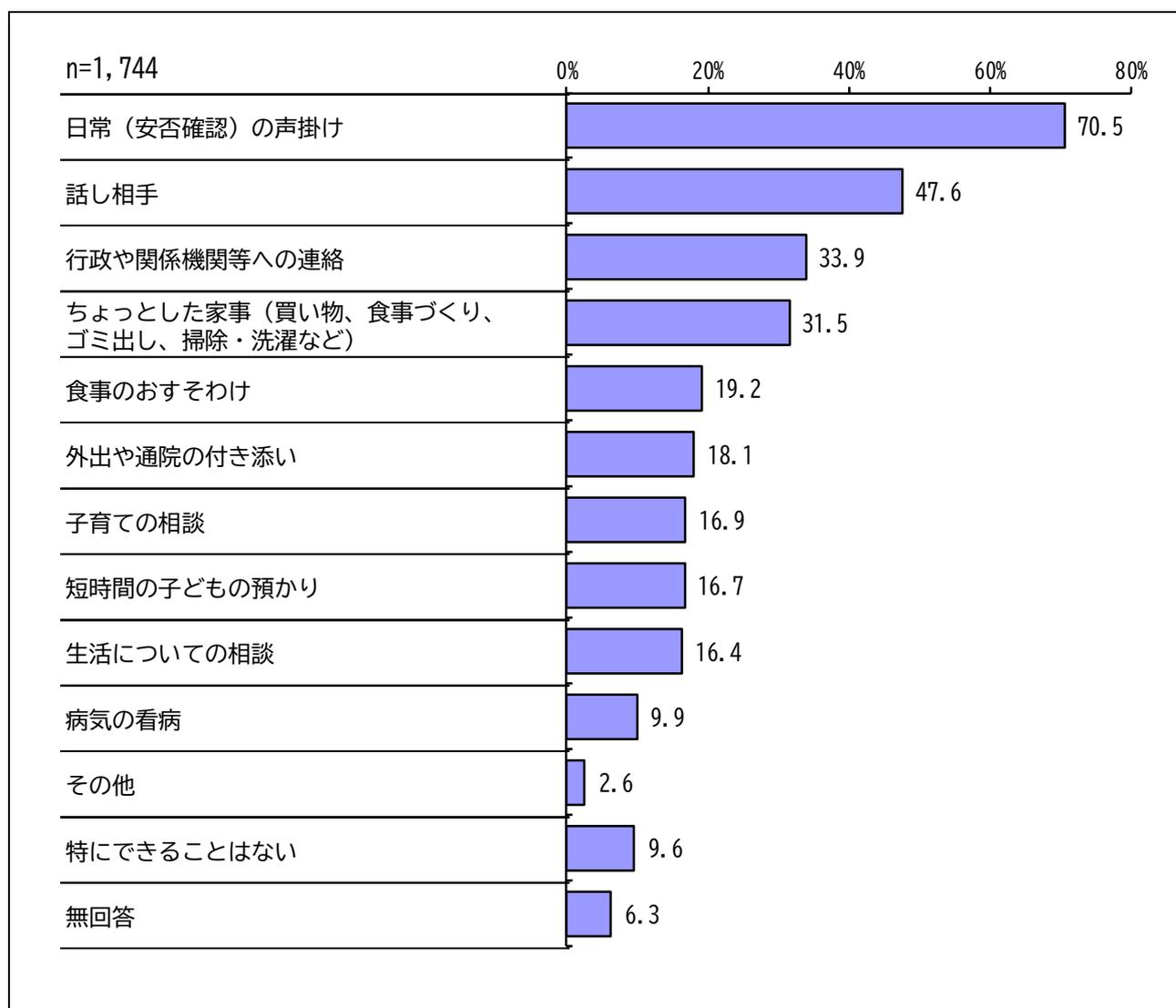
28 近所の困っている方に「あなたができること」

(1) 近所の困っている方に「あなたができること」

問 25 近所に困っている方がいる場合、「あなたができること」は何ですか。(〇はいくつでも)

近所の困っている方に「あなたができること」は、「日常(安否確認)の声掛け」が70.5%と7割に達し最も高く、「話し相手」が47.6%、「行政や関係機関等への連絡」が33.9%、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が31.5%、「食事のおすそわけ」が19.2%と続いています。

【近所の困っている方に「あなたができること」(全体)】



(2) 近所の困っている方に「あなたができること」(性・年齢別)

性・年齢別にみると、「日常(安否確認)の声掛け」は女性65～74歳(84.3%)で8割半ば近くと最も高くなっています。

「話し相手」は女性75歳以上(58.8%)で6割近くと最も高くなっています。

「行政や関係機関等への連絡」は男性50～59歳(45.3%)で4割半ばと最も高くなっています。

「食事のおすそわけ」は女性75歳以上(32.7%)で3割を超えて最も高くなっています。

「子育ての相談」は女性30～39歳(27.6%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

【近所の困っている方に「あなたができること」(男性・年齢別)】

	全体 (n=1,744)	男性 (%)						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
日常(安否確認)の声掛け	70.5	● 56.1	★ 51.3	68.2	70.5	▲ 65.3	△ 77.9	72.0
話し相手	47.6	43.9	● 36.8	▲ 39.5	● 37.4	▲ 40.3	51.3	49.0
行政や関係機関等への連絡	33.9	● 23.2	29.9	△ 41.9	○ 45.3	△ 40.3	35.4	▲ 26.0
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	31.5	35.4	▲ 22.2	29.5	26.6	▲ 23.6	32.7	36.0
食事のおすそわけ	19.2	17.1	15.4	18.6	▲ 12.9	▲ 11.1	14.2	▲ 14.0
外出や通院の付き添い	18.1	15.9	16.2	18.6	14.4	13.9	17.7	15.0
子育ての相談	16.9	12.2	18.8	△ 22.5	12.9	12.5	▲ 8.0	● 6.0
短時間の子どもの預かり	16.7	18.3	20.5	21.7	18.7	▲ 9.7	▲ 10.6	▲ 9.0
生活についての相談	16.4	20.7	19.7	△ 24.0	17.3	19.4	▲ 10.6	▲ 11.0
病気の看病	9.9	12.2	11.1	11.6	7.9	5.6	9.7	10.0
その他	2.6	3.7	1.7	3.9	2.2	2.8	2.7	5.0
特にできることはない	9.6	○ 24.4	△ 17.1	11.6	10.8	9.7	5.3	▲ 3.0
無回答	6.3	3.7	7.7	3.1	2.9	8.3	5.3	○ 18.0

【近所の困っている方に「あなたができること」(女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18~29歳 (n=124)	30~39歳 (n=134)	40~49歳 (n=136)	50~59歳 (n=189)	60~64歳 (n=67)	65~74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
日常(安否確認)の声掛け	70.5	● 59.7	73.1	△ 79.4	△ 79.4	67.2	○ 84.3	71.5
話し相手	47.6	△ 55.6	51.5	△ 55.9	43.9	44.8	52.2	○ 58.8
行政や関係機関等への連絡	33.9	32.3	33.6	36.0	35.4	29.9	33.0	▲ 27.9
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	31.5	26.6	28.4	31.6	△ 38.1	32.8	36.5	34.5
食事のおすそわけ	19.2	20.2	18.7	18.4	20.6	▲ 13.4	△ 25.2	○ 32.7
外出や通院の付き添い	18.1	21.0	18.7	18.4	16.9	▲ 10.4	△ 27.8	18.2
子育ての相談	16.9	17.7	○ 27.6	△ 23.5	18.5	▲ 10.4	20.0	13.3
短時間の子どもの預かり	16.7	△ 23.4	△ 23.1	△ 22.8	15.3	● 6.0	15.7	▲ 8.5
生活についての相談	16.4	17.7	△ 21.6	16.2	▲ 11.1	● 6.0	13.9	15.2
病気の看病	9.9	△ 17.7	14.2	7.4	▲ 4.8	▲ 0.0	11.3	10.3
その他	2.6	5.6	2.2	2.2	2.1	0.0	1.7	1.8
特にできることはない	9.6	△ 17.7	10.4	6.6	7.4	11.9	▲ 3.5	▲ 3.6
無回答	6.3	1.6	2.2	3.7	2.1	7.5	8.7	△ 13.9

(3) 近所の困っている方に「あなたができること」(居住地域別)

居住地域別にみると、「話し相手」は新郷地域(59.6%)で約6割と最も高くなっています。

「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」は新郷地域(44.9%)で4割半ばと最も高くなっています。

「食事のおすそわけ」は新郷地域(31.5%)で3割を超えて最も高くなっています。

「外出や通院の付き添い」は新郷地域(31.5%)で3割を超えて最も高くなっています。

「子育ての相談」は新郷地域(28.1%)で3割近くと最も高くなっています。

【近所の困っている方に「あなたができること」(居住地域別)】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
日常(安否確認)の声掛け	70.5	67.5	▲ 64.1	73.9	72.5	70.8	69.1	71.4	72.0	71.0	70.4
話し相手	47.6	▲ 41.7	△ 53.6	43.9	48.9	○ 59.6	49.0	49.2	48.4	47.8	▲ 41.3
行政や関係機関等への連絡	33.9	△ 39.7	33.7	△ 40.4	▲ 27.0	30.3	29.5	37.6	31.2	31.3	32.5
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	31.5	▲ 22.5	33.7	30.4	31.5	○ 44.9	31.5	32.3	△ 38.7	34.4	▲ 24.3
食事のおすそわけ	19.2	14.6	17.1	19.6	22.5	○ 31.5	19.5	16.4	18.3	20.5	15.0
外出や通院の付き添い	18.1	15.9	19.9	15.7	19.7	○ 31.5	18.1	15.9	18.3	16.1	15.5
子育ての相談	16.9	15.2	14.4	19.1	16.3	○ 28.1	16.8	13.2	16.1	18.3	14.1
短時間の子どもの預かり	16.7	13.9	20.4	19.1	12.9	△ 23.6	14.1	14.3	12.9	21.0	11.7
生活についての相談	16.4	▲ 10.6	17.7	19.1	12.9	18.0	15.4	17.5	11.8	19.6	15.0
病気の看病	9.9	7.9	13.3	8.7	7.3	△ 15.7	12.8	8.5	11.8	9.8	6.3
その他	2.6	1.3	3.9	2.6	1.7	3.4	2.0	2.6	0.0	4.0	2.4
特にできることはない	9.6	12.6	8.8	10.9	10.1	6.7	7.4	10.1	6.5	11.2	9.7
無回答	6.3	5.3	6.6	5.2	7.9	5.6	8.7	6.3	5.4	3.6	6.3

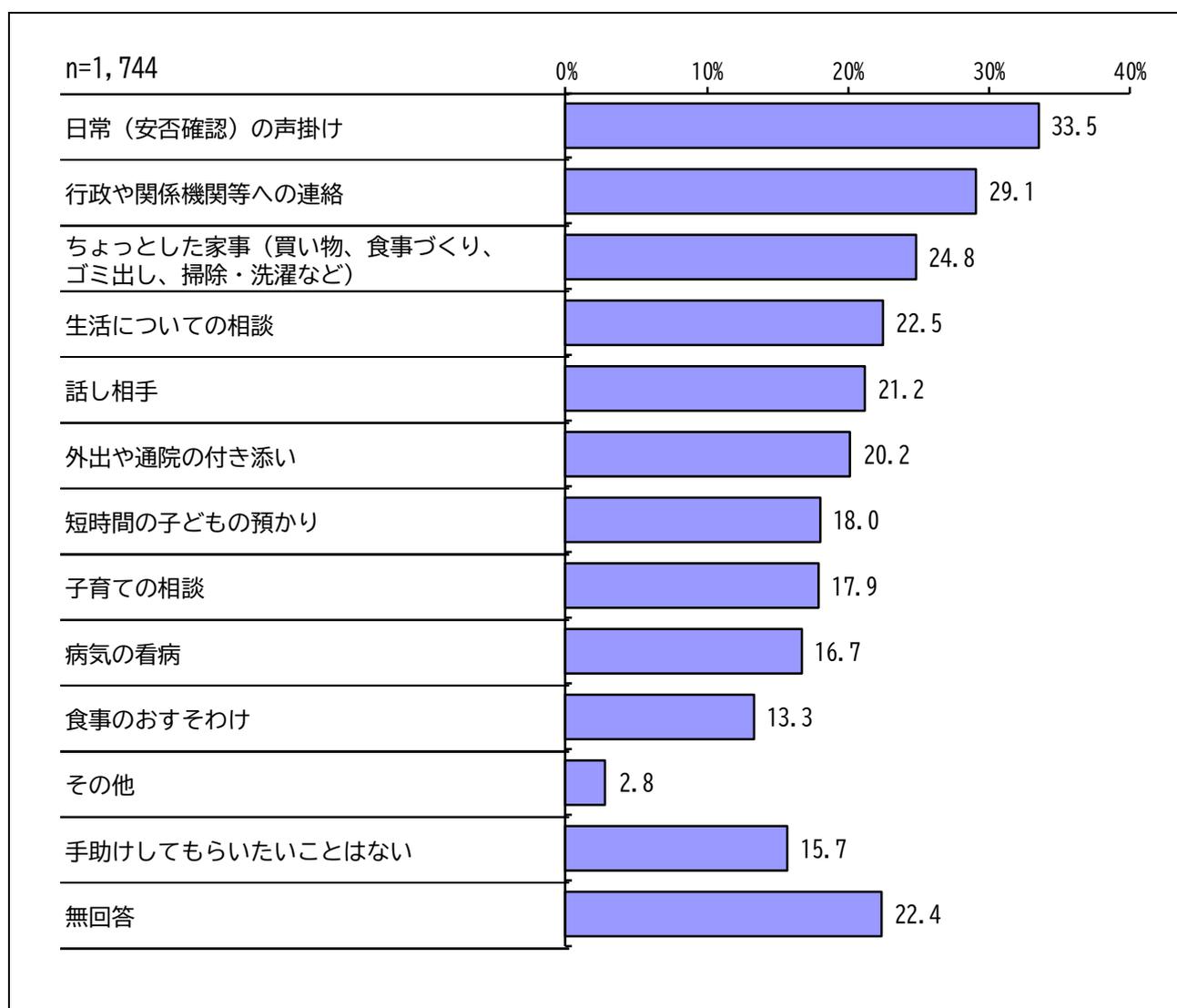
29 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」

(1) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」

問 25 あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は何ですか。(〇はいくつでも)

日常生活を送るうえで不自由な状態になった際にあなたが「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は、「日常(安否確認)の声掛け」が33.5%と3割を超えて最も高く、「行政や関係機関等への連絡」が29.1%、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が24.8%、「生活についての相談」が22.5%、「話し相手」が21.2%と続いています。

【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(全体)】



(2) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(性・年齢別)

性・年齢別にみると、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」は女性30～39歳(35.8%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「生活についての相談」は女性40～49歳(33.1%)、女性30～39歳(32.8%)、女性18～29歳(32.3%)で3割を超えて高くなっています。

「短時間の子どもの預かり」は女性30～39歳(38.8%)で4割近くと最も高く、男性30～39歳(32.5%)、女性40～49歳(31.6%)で3割を超えて高くなっています。

「子育ての相談」は男性30～39歳(36.8%)、女性18～29歳(35.5%)、女性30～39歳(35.1%)で3割半ばを超えて高く、女性40～49歳(29.4%)で約3割と高くなっています。

「手助けしてもらいたいことはない」は男性18～29歳(32.9%)で3割を超えて最も高く、女性18～29歳(26.6%)で2割半ばを超えて高くなっています。

【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(男性・年齢別)】

	全体 (n=1,744)	男性 (%)						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
日常(安否確認)の声掛け	33.5	▲ 24.4	32.5	34.1	△ 39.6	30.6	36.3	▲ 24.0
行政や関係機関等への連絡	29.1	▲ 23.2	29.1	31.0	△ 35.3	▲ 23.6	▲ 23.9	▲ 23.0
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	24.8	● 12.2	20.5	▲ 18.6	27.3	20.8	▲ 18.6	▲ 16.0
生活についての相談	22.5	24.4	21.4	25.6	26.6	18.1	▲ 13.3	▲ 13.0
話し相手	21.2	17.1	17.1	20.9	19.4	▲ 13.9	18.6	▲ 16.0
外出や通院の付き添い	20.2	▲ 14.6	16.2	▲ 14.0	24.5	15.3	16.8	16.0
短時間の子どもの預かり	18.0	17.1	○ 32.5	20.2	15.8	16.7	▲ 9.7	● 7.0
子育ての相談	17.9	20.7	☆ 36.8	14.7	17.3	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 9.0
病気の看病	16.7	14.6	△ 23.1	14.0	△ 22.3	19.4	▲ 11.5	▲ 10.0
食事のおすそわけ	13.3	15.9	14.5	13.2	16.5	13.9	8.8	9.0
その他	2.8	2.4	4.3	3.1	2.9	4.2	2.7	1.0
手助けしてもらいたいことはない	15.7	☆ 32.9	20.5	△ 22.5	18.7	△ 22.2	14.2	● 5.0
無回答	22.4	23.2	▲ 13.7	17.8	▲ 14.4	20.8	△ 31.0	☆ 47.0

【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
日常(安否確認)の声掛け	33.5	29.0	35.8	36.8	△ 40.2	△ 38.8	32.2	32.7
行政や関係機関等への連絡	29.1	32.3	30.6	△ 38.2	32.3	28.4	▲ 23.5	27.3
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	24.8	22.6	○ 35.8	△ 32.4	28.6	△ 31.3	24.3	△ 30.3
生活についての相談	22.5	△ 32.3	○ 32.8	○ 33.1	22.2	● 10.4	▲ 14.8	18.2
話し相手	21.2	△ 26.6	△ 28.4	△ 26.5	21.2	19.4	26.1	20.6
外出や通院の付き添い	20.2	25.0	23.9	○ 30.9	20.6	16.4	20.9	23.0
短時間の子どもの預かり	18.0	△ 25.0	☆ 38.8	○ 31.6	▲ 11.6	● 6.0	● 7.8	▲ 10.9
子育ての相談	17.9	☆ 35.5	☆ 35.1	○ 29.4	▲ 11.1	● 6.0	● 6.1	▲ 7.9
病気の看病	16.7	18.5	△ 23.1	20.6	14.8	▲ 10.4	▲ 9.6	17.6
食事のおすそわけ	13.3	16.9	△ 22.4	17.6	11.6	▲ 4.5	8.7	10.9
その他	2.8	6.5	1.5	4.4	2.1	1.5	2.6	0.6
手助けしてもらいたいことはない	15.7	○ 26.6	12.7	▲ 10.3	17.5	△ 22.4	▲ 8.7	● 3.0
無回答	22.4	● 9.7	▲ 13.4	20.6	▲ 13.2	▲ 16.4	△ 32.2	○ 35.2

(3) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(居住地域別)

居住地域別にみると、「日常(安否確認)の声掛け」は鳩ヶ谷地域(41.7%)、青木地域(39.1%)で4割前後と高くなっています。

「外出や通院の付き添い」は新郷地域(27.0%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「短時間の子どもの預かり」は新郷地域(25.8%)で2割半ばを超えて最も高く、横曽根地域(23.8%)で2割を超えて高くなっています。

「手助けしてもらいたいことはない」は中央地域(22.5%)で2割を超えて最も高くなっています。

【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(居住地域別)】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
日常(安否確認)の声掛け	33.5	▲ 27.2	29.8	△ 39.1	30.3	31.5	29.5	31.7	33.3	33.5	△ 41.7
行政や関係機関等への連絡	29.1	25.8	28.2	33.0	32.6	33.7	28.2	30.2	30.1	25.0	26.2
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	24.8	21.2	23.2	29.1	29.2	27.0	27.5	20.1	21.5	22.8	25.7
生活についての相談	22.5	17.9	23.8	24.3	25.3	25.8	21.5	▲ 15.3	26.9	24.1	23.3
話し相手	21.2	▲ 14.6	22.7	21.7	24.7	19.1	19.5	18.0	19.4	21.4	24.3
外出や通院の付き添い	20.2	17.9	19.3	24.8	24.7	△ 27.0	20.1	18.5	▲ 12.9	16.5	20.9
短時間の子どもの預かり	18.0	19.2	△ 23.8	13.9	18.5	△ 25.8	14.8	14.3	20.4	17.0	20.9
子育ての相談	17.9	19.2	20.4	15.7	18.5	22.5	20.1	13.8	16.1	16.5	21.4
病気の看病	16.7	16.6	19.3	17.0	19.1	21.3	14.1	14.3	16.1	14.3	17.0
食事のおすそわけ	13.3	9.9	13.8	12.2	16.3	16.9	11.4	11.6	12.9	12.9	17.0
その他	2.8	4.0	3.9	2.6	1.1	2.2	2.0	2.6	1.1	4.0	2.4
手助けしてもらいたいことはない	15.7	△ 22.5	19.3	15.7	11.8	11.2	18.1	15.9	15.1	15.6	14.6
無回答	22.4	19.2	24.3	▲ 14.8	23.6	21.3	22.8	24.3	26.9	24.6	20.9

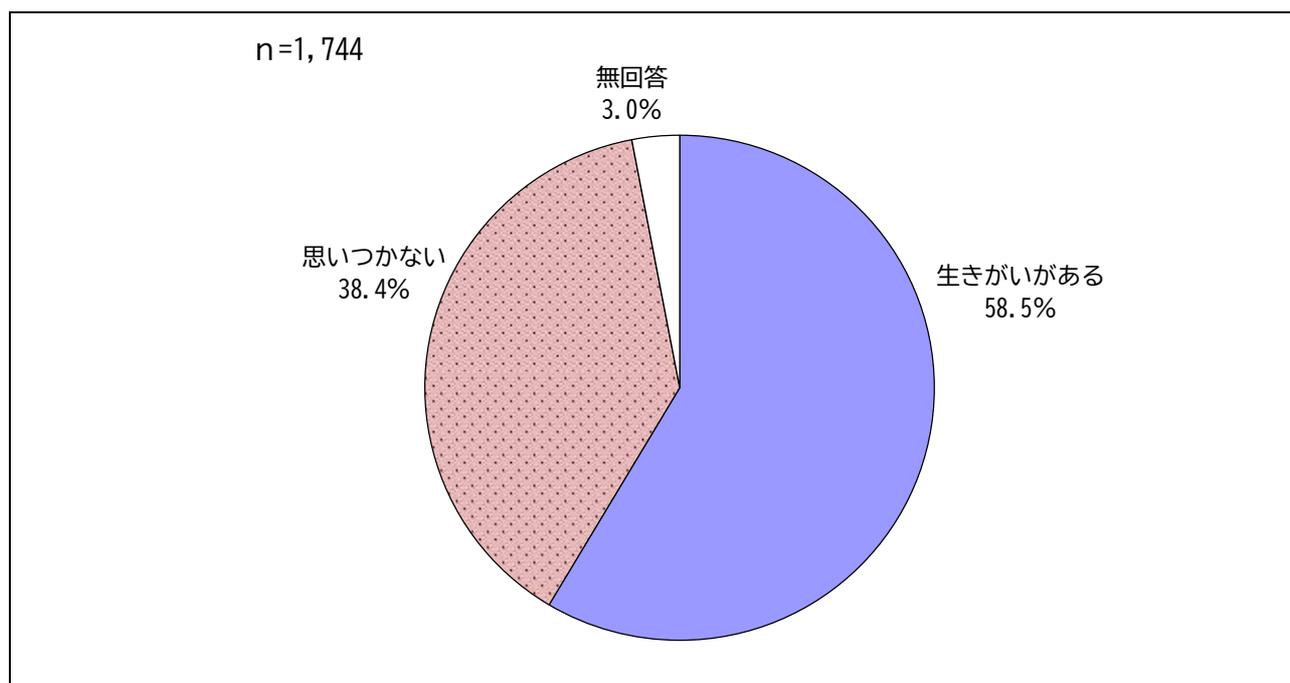
30 生きがいの有無

(1) 生きがいの有無

問 26 日常生活に生きがいはありますか。(○は1つ)

日常生活の生きがいについて、「生きがいがある」は58.5%で6割近く、「思いつかない」は38.4%で4割近くとなっています。

【生きがいの有無（全体）】



【主な生きがいの内容】

・ 家族、家族と過ごすこと	・ 仕事
・ 趣味（読書、映画や演劇鑑賞、園芸、俳句等）	・ スポーツ・運動
・ 子育て	・ 子どもや孫の成長
・ 地域や社会への貢献活動、ボランティア活動	・ 町会活動
・ 人との交流	・ 旅行
・ 友人	

(2) 生きがいの有無（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「生きがいがある」は女性30～39歳(74.6%)で7割半ばと最も高く、女性40～49歳(70.6%)で約7割と高くなっています。

一方、「思いつかない」は男性50～59歳(48.2%)、男性65～74歳(46.0%)、男性60～64歳(45.8%)、女性75歳以上(45.5%)で4割半ばを超えて高くなっています。

【生きがいの有無（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	生きがいがある	思いつかない	無回答
全体		1,744	58.5	38.4	3.0
男性		753	54.3	43.4	2.3
女性		930	62.6	34.1	3.3
自由記載		3	△ 66.7	▲ 33.3	0.0
男性	18～29歳	82	56.1	△ 43.9	0.0
	30～39歳	117	61.5	36.8	1.7
	40～49歳	129	59.7	40.3	0.0
	50～59歳	139	▲ 50.4	△ 48.2	1.4
	60～64歳	72	▲ 50.0	△ 45.8	4.2
	65～74歳	113	▲ 52.2	△ 46.0	1.8
	75歳以上	100	● 48.0	△ 44.0	8.0
女性	18～29歳	124	△ 66.1	33.9	0.0
	30～39歳	134	☆ 74.6	● 25.4	0.0
	40～49歳	136	○ 70.6	▲ 28.7	0.7
	50～59歳	189	61.4	36.0	2.6
	60～64歳	67	56.7	38.8	4.5
	65～74歳	115	63.5	▲ 28.7	7.8
	75歳以上	165	● 46.7	△ 45.5	7.9

(3) 生きがいの有無（居住地域別）

居住地域別にみると、「生きがいがある」は中央地域(62.9%)、青木地域(61.7%)で6割を超えて高くなっています。

一方、「思いつかない」は新郷地域(43.8%)で最も高くなっています。

【生きがいの有無（居住地域別）】

	(人)		(%)	
	合計	生きがいがある	思いつかない	無回答
全体	1,744	58.5	38.4	3.0
中央地域	151	62.9	35.1	2.0
横曽根地域	181	56.9	42.0	1.1
青木地域	230	61.7	35.2	3.0
南平地域	178	57.3	37.1	5.6
新郷地域	89	▲ 52.8	△ 43.8	3.4
神根地域	149	57.7	39.6	2.7
芝地域	189	58.7	38.6	2.6
安行地域	93	57.0	39.8	3.2
戸塚地域	224	57.6	37.9	4.5
鳩ヶ谷地域	206	58.7	40.3	1.0

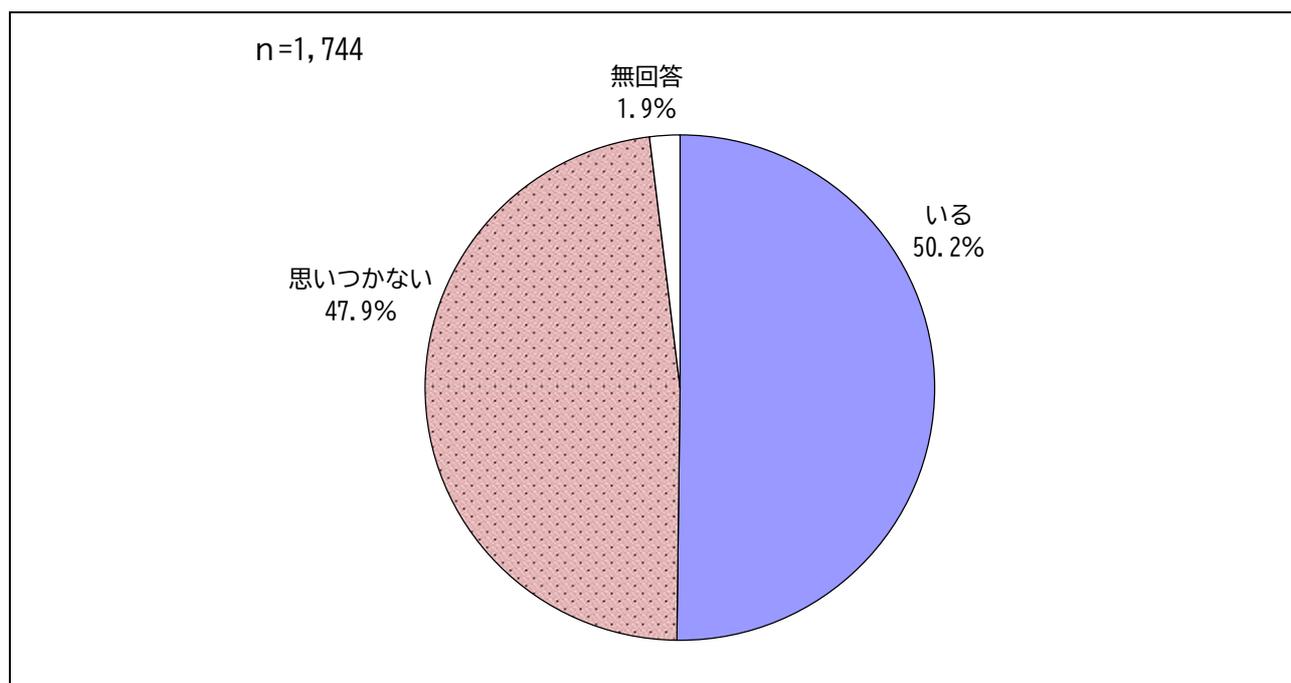
31 家族や友人・知人以外の相談相手の有無

(1) 家族や友人・知人以外の相談相手の有無

問 27 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はいますか。(○は1つ)

家族や友人・知人以外の相談相手がいるかについて、「いる」は50.2%で約5割を占めており、「思いつかない」は47.9%で4割半ばを超えています。

【家族や友人・知人以外の相談相手の有無 (全体)】



(2) 家族や友人・知人以外の相談相手の有無（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「いる」は女性30～39歳(61.9%)、男性18～29歳(61.0%)で6割を超えて高くなっています。

一方、「思いつかない」は男性65～74歳(60.2%)で6割を占めて最も高くなっています。

【家族や友人・知人以外の相談相手の有無（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	いる	思いつかない	無回答
全体		1,744	50.2	47.9	1.9
男性		753	47.3	51.3	1.5
女性		930	52.3	45.9	1.8
自由記載		3	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
男 性	18～29歳	82	○ 61.0	▲ 39.0	0.0
	30～39歳	117	▲ 44.4	△ 53.0	2.6
	40～49歳	129	49.6	49.6	0.8
	50～59歳	139	▲ 41.7	△ 57.6	0.7
	60～64歳	72	47.2	48.6	4.2
	65～74歳	113	● 39.8	○ 60.2	0.0
	75歳以上	100	52.0	45.0	3.0
女 性	18～29歳	124	54.0	46.0	0.0
	30～39歳	134	○ 61.9	▲ 38.1	0.0
	40～49歳	136	52.2	47.1	0.7
	50～59歳	189	▲ 43.9	△ 53.4	2.6
	60～64歳	67	▲ 44.8	△ 53.7	1.5
	65～74歳	115	50.4	46.1	3.5
	75歳以上	165	△ 57.0	▲ 39.4	3.6

(3) 家族や友人・知人以外の相談相手の有無（居住地域別）

居住地域別にみると、「いる」は青木地域(56.5%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。一方、「思いつかない」は鳩ヶ谷地域(55.3%)で5割半ばを占めて最も高くなっています。

【家族や友人・知人以外の相談相手の有無（居住地域別）】

	(人)			(%)
	合計	いる	思いつかない	無回答
全体	1,744	50.2	47.9	1.9
中央地域	151	50.3	48.3	1.3
横曽根地域	181	49.2	49.7	1.1
青木地域	230	△ 56.5	▲ 41.7	1.7
南平地域	178	51.7	45.5	2.8
新郷地域	89	49.4	48.3	2.2
神根地域	149	47.0	51.7	1.3
芝地域	189	54.0	44.4	1.6
安行地域	93	49.5	48.4	2.2
戸塚地域	224	48.7	50.0	1.3
鳩ヶ谷地域	206	▲ 42.7	△ 55.3	1.9

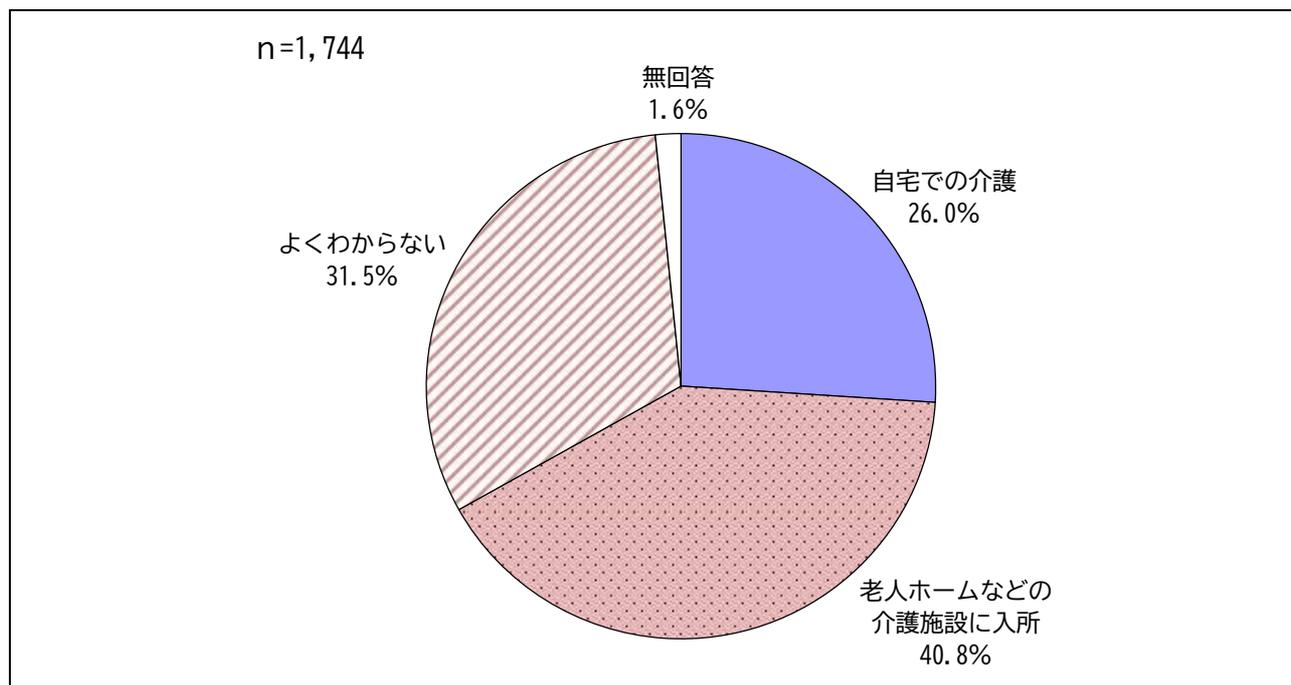
32 希望する介護

(1) 希望する介護

問 28 あなたに介護が必要な状態になった場合、どのような介護を望めますか。(○は1つ)

自分に介護が必要な状態になった際に希望する介護について、「自宅での介護」が26.0%と2割半ばを超えており、「老人ホームなどの介護施設に入所」が40.8%と約4割を占めて、「よくわからない」が31.5%と3割を超えています。

【希望する介護（全体）】



(2) 希望する介護（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「自宅での介護」は男性75歳以上(46.0%)で4割半ばを超えて最も高く、女性75歳以上(40.0%)で4割を占めて高くなっています。

「老人ホームなどの介護施設に入所」は女性30～39歳(56.7%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

【希望する介護（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	自宅での介護	老人ホームなどの 介護施設に入所	よくわからない	無回答
全体		1,744	26.0	40.8	31.5	1.6
男性		753	27.6	39.7	31.5	1.2
女性		930	25.2	42.0	31.4	1.4
自由記載		3	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
男 性	18～29歳	82	26.8	36.6	△ 36.6	0.0
	30～39歳	117	23.1	41.0	34.2	1.7
	40～49歳	129	22.5	44.2	33.3	0.0
	50～59歳	139	28.1	40.3	30.9	0.7
	60～64歳	72	29.2	44.4	▲ 23.6	2.8
	65～74歳	113	21.2	43.4	35.4	0.0
	75歳以上	100	☆ 46.0	● 26.0	▲ 24.0	4.0
女 性	18～29歳	124	▲ 17.7	△ 46.8	35.5	0.0
	30～39歳	134	▲ 17.9	☆ 56.7	▲ 25.4	0.0
	40～49歳	136	21.3	45.6	32.4	0.7
	50～59歳	189	21.2	42.3	34.9	1.6
	60～64歳	67	22.4	38.8	△ 37.3	1.5
	65～74歳	115	△ 33.0	● 30.4	33.0	3.5
	75歳以上	165	○ 40.0	▲ 32.7	▲ 24.8	2.4

(3) 希望する介護（居住地域別）

居住地域別にみると、「老人ホームなどの介護施設に入所」は中央地域(50.3%)で5割を占めて最も高く、新郷地域(47.2%)で4割半ばを超えて高くなっています。

【希望する介護（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	自宅での介護	老人ホームなどの 介護施設に入所	よくわからない	無回答
全体	1,744	26.0	40.8	31.5	1.6
中央地域	151	▲ 20.5	△ 50.3	28.5	0.7
横曽根地域	181	26.5	40.3	32.0	1.1
青木地域	230	25.7	43.5	30.0	0.9
南平地域	178	28.7	38.2	30.3	2.8
新郷地域	89	25.8	△ 47.2	▲ 25.8	1.1
神根地域	149	▲ 20.1	37.6	△ 40.9	1.3
芝地域	189	30.7	36.5	31.2	1.6
安行地域	93	28.0	38.7	31.2	2.2
戸塚地域	224	27.2	45.1	26.8	0.9
鳩ヶ谷地域	206	25.2	36.4	△ 36.9	1.5

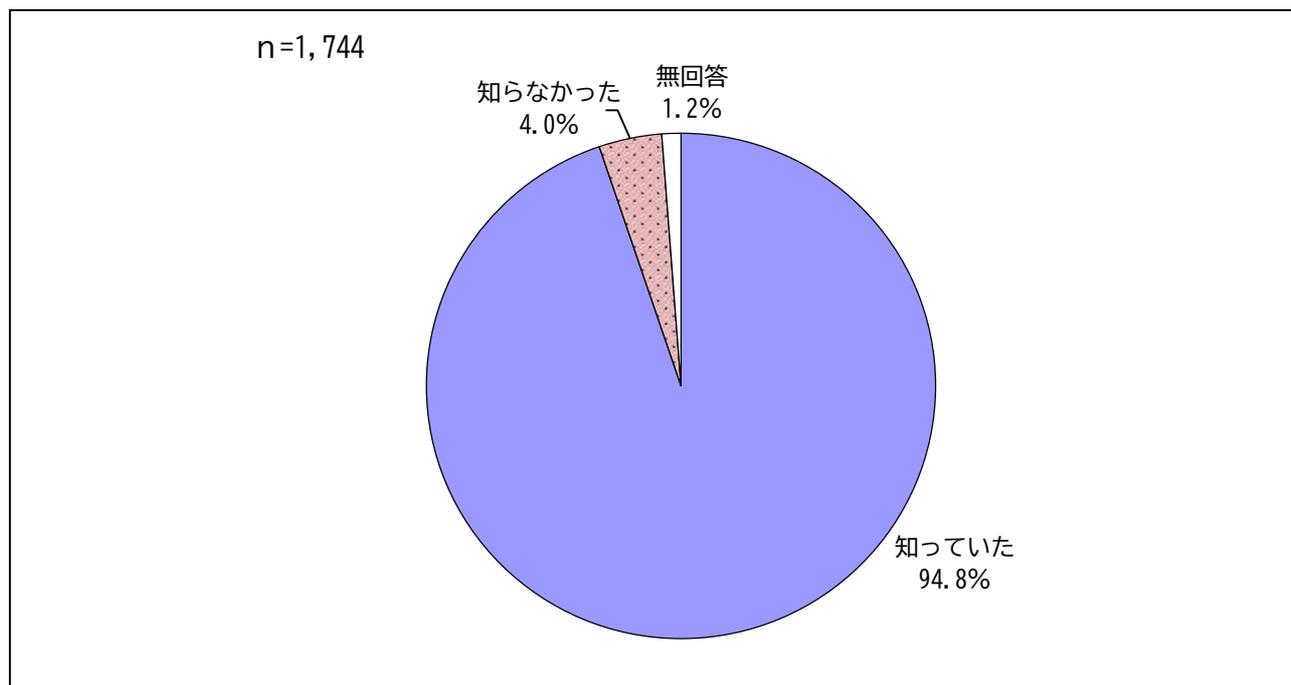
33 「終活」の認知度

(1) 「終活」の認知度

問 29 「終活」とは、ご自身の人生の終末期について考える活動のことです。
「終活」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

「終活」という言葉を知っていたかについて、「知っていた」は94.8%で9割半ばを占めており、「知らなかった」が4.0%となっています。

【「終活」の認知度（全体）】



(2) 「終活」の認知度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「知っていた」は女性60～64歳(100.0%)の全数が回答しており、最も高くなっています。

【「終活」の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,744	94.8	4.0	1.2
男性		753	94.3	4.6	1.1
女性		930	95.5	3.5	1.0
自由記載		3	△ 100.0	0.0	0.0
男性	18～29歳	82	92.7	7.3	0.0
	30～39歳	117	90.6	6.8	2.6
	40～49歳	129	97.7	2.3	0.0
	50～59歳	139	96.4	3.6	0.0
	60～64歳	72	97.2	1.4	1.4
	65～74歳	113	94.7	5.3	0.0
	75歳以上	100	90.0	6.0	4.0
女性	18～29歳	124	92.7	7.3	0.0
	30～39歳	134	94.8	5.2	0.0
	40～49歳	136	98.5	0.7	0.7
	50～59歳	189	96.3	2.1	1.6
	60～64歳	67	△ 100.0	0.0	0.0
	65～74歳	115	91.3	5.2	3.5
	75歳以上	165	95.8	3.6	0.6

(3) 「終活」の認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、大きな差はありません。

【「終活」の認知度（居住地域別）】

	(人)			(%)
	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,744	94.8	4.0	1.2
中央地域	151	94.0	5.3	0.7
横曽根地域	181	90.6	8.8	0.6
青木地域	230	97.0	2.6	0.4
南平地域	178	95.5	2.8	1.7
新郷地域	89	96.6	2.2	1.1
神根地域	149	94.6	4.7	0.7
芝地域	189	95.8	3.7	0.5
安行地域	93	94.6	2.2	3.2
戸塚地域	224	96.4	2.7	0.9
鳩ヶ谷地域	206	96.1	2.9	1.0

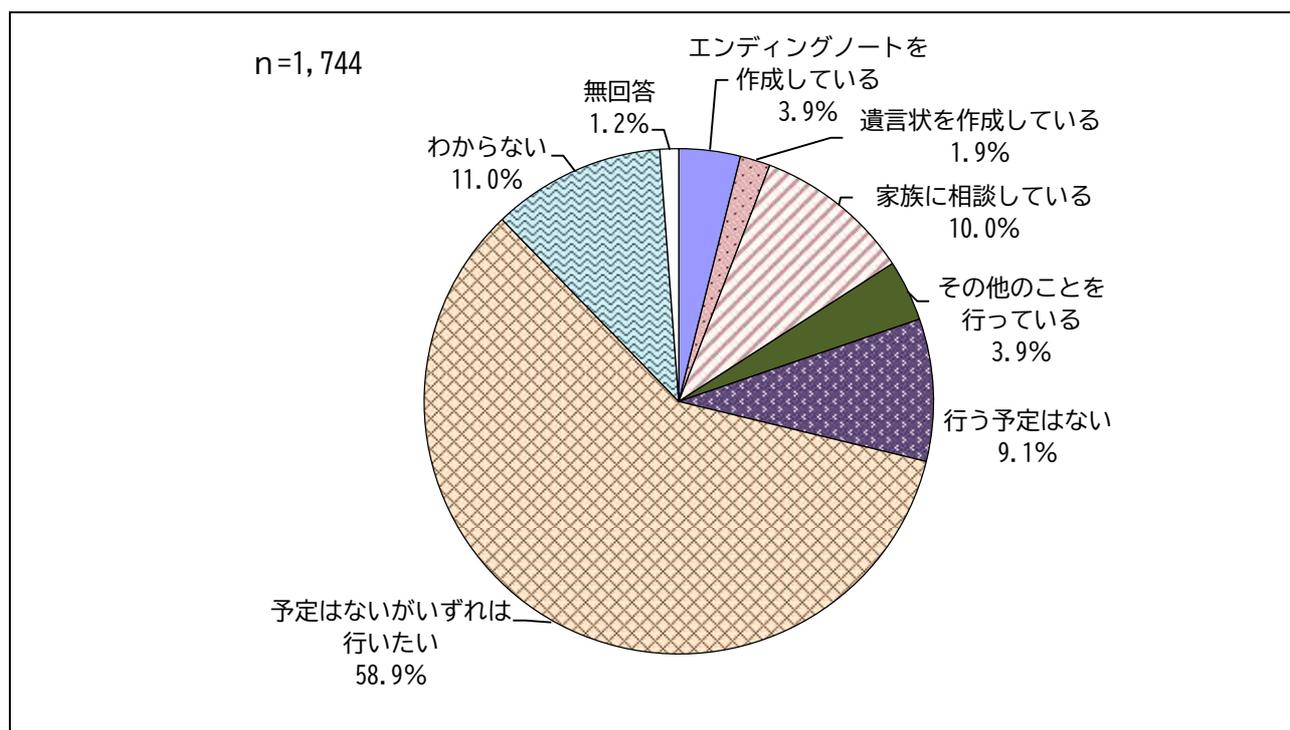
34 「終活」の実施状況

(1) 「終活」の実施状況

問 30 「終活」を行っていますか。(○は1つ)

「終活」の実施状況について、「予定はないがいずれは行いたい」が58.9%で6割近くと最も高く、「わからない」が11.0%、「家族に相談している」が10.0%、「行う予定はない」が9.1%と続いています。

【「終活」の実施状況（全体）】



(2) 「終活」の実施状況（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「エンディングノートを作成している」は女性75歳以上(14.5%)で1割半ばと最も高くなっています。

「家族に相談している」は女性65～74歳(24.3%)、女性75歳以上(21.2%)で2割を超えて高くなっています。

「予定はないがいずれは行いたい」は女性40～49歳(75.0%)で7割半ばを占めて最も高く、男性60～64歳(73.6%)、女性30～39歳(72.4%)で7割を超えて高くなっています。

一方、「行う予定はない」は男性18～29歳(30.5%)で3割を占めて最も高く、男性30～39歳(19.7%)で約2割と高くなっています。

【「終活」の実施状況（性別、性・年齢別）】

		(人)								(%)
		合計	エンディングノートを作成している	遺言状を作成している	家族に相談している	その他のことを行っている	行う予定はない	予定はないがいずれは行いたい	わからない	無回答
	全体	1,744	3.9	1.9	10.0	3.9	9.1	58.9	11.0	1.2
	男性	753	2.3	2.1	6.8	2.5	13.8	60.2	11.4	0.9
	女性	930	5.3	1.8	12.6	4.8	5.5	58.6	10.4	1.0
	自由記載	3	0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	△ 66.7	☆ 33.3	0.0
男 性	18～29歳	82	0.0	2.4	▲ 1.2	0.0	☆ 30.5	● 46.3	△ 19.5	0.0
	30～39歳	117	0.9	0.0	▲ 4.3	1.7	○ 19.7	56.4	△ 16.2	0.9
	40～49歳	129	0.0	1.6	▲ 4.7	3.1	△ 15.5	△ 66.7	8.5	0.0
	50～59歳	139	4.3	0.7	6.5	0.7	10.8	○ 69.1	7.9	0.0
	60～64歳	72	0.0	2.8	5.6	2.8	5.6	○ 73.6	8.3	1.4
	65～74歳	113	8.0	4.4	8.0	4.4	7.1	56.6	9.7	1.8
	75歳以上	100	1.0	4.0	△ 16.0	5.0	9.0	▲ 50.0	12.0	3.0
女 性	18～29歳	124	1.6	0.0	▲ 4.0	2.4	△ 15.3	60.5	△ 16.1	0.0
	30～39歳	134	0.0	0.7	5.2	2.2	8.2	○ 72.4	11.2	0.0
	40～49歳	136	2.9	1.5	5.1	2.9	▲ 2.9	☆ 75.0	8.1	1.5
	50～59歳	189	3.7	0.5	13.2	4.2	▲ 3.7	△ 66.1	6.9	1.6
	60～64歳	67	7.5	1.5	14.9	△ 10.4	▲ 0.0	56.7	9.0	0.0
	65～74歳	115	6.1	0.9	○ 24.3	△ 9.6	5.2	★ 40.0	12.2	1.7
	75歳以上	165	○ 14.5	6.7	○ 21.2	5.5	▲ 2.4	★ 37.6	10.9	1.2

(3)「終活」の実施状況（居住地域別）

居住地域別にみると、「予定はないがいずれは行いたい」は鳩ヶ谷地域(64.1%)で6割半近くと最も高くなっています。

【「終活」の実施状況（居住地域別）】

	(人)	(%)							
	合計	エンディングノートを作成している	遺言状を作成している	家族に相談している	その他のことを行っている	行う予定はない	予定はないがいずれは行いたい	わからない	無回答
全体	1,744	3.9	1.9	10.0	3.9	9.1	58.9	11.0	1.2
中央地域	151	6.0	1.3	9.9	4.6	7.3	60.3	9.9	0.7
横曽根地域	181	2.8	2.8	11.0	5.0	11.0	▲ 53.6	13.8	0.0
青木地域	230	5.2	3.0	10.4	5.7	7.8	56.1	11.3	0.4
南平地域	178	6.2	2.2	7.3	3.9	5.6	60.7	12.4	1.7
新郷地域	89	6.7	1.1	10.1	0.0	7.9	62.9	10.1	1.1
神根地域	149	1.3	0.7	12.1	2.7	10.1	56.4	△ 16.1	0.7
芝地域	189	5.3	3.2	13.2	3.2	7.9	56.1	9.5	1.6
安行地域	93	1.1	1.1	6.5	1.1	12.9	60.2	15.1	2.2
戸塚地域	224	1.8	1.3	10.3	4.0	9.8	63.8	8.0	0.9
鳩ヶ谷地域	206	3.4	1.9	5.8	4.4	11.7	△ 64.1	7.3	1.5

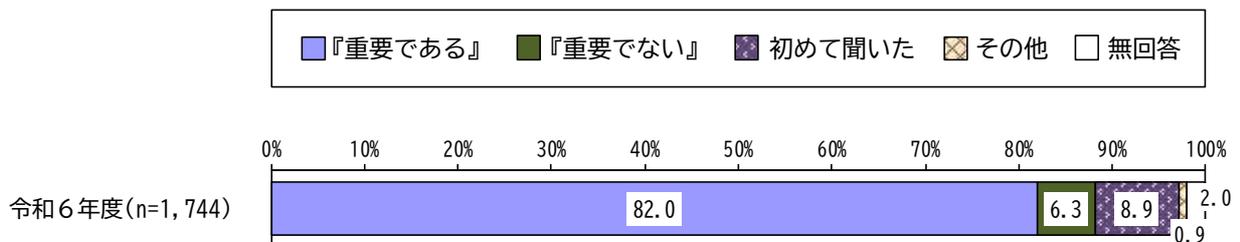
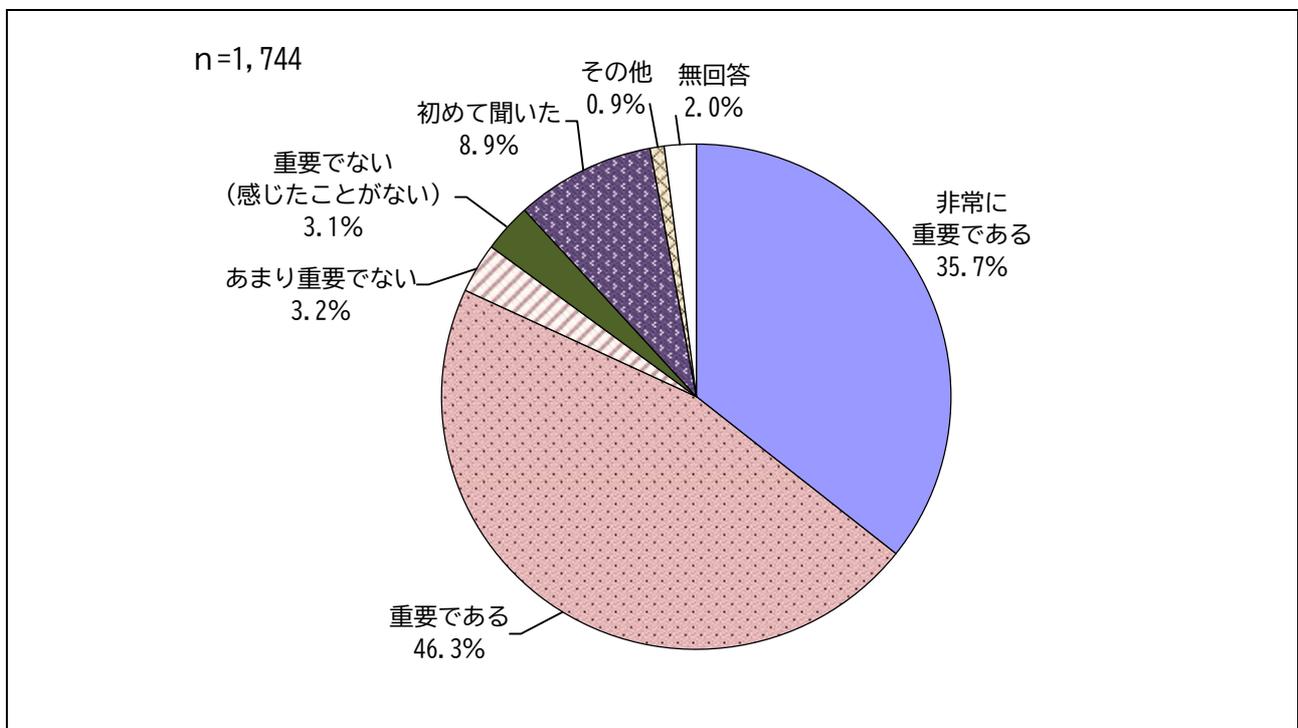
35 生物多様性の重要性の認識度

(1) 生物多様性の重要性の認識度

問31 私たち人間もふくめたあらゆる生きものが、生きていくうえで欠かせない生物多様性の重要性についてどう思いますか。(〇は1つ)

あらゆる生きものが、生きていくうえで欠かせない生物多様性の重要性について、「非常に重要である」(35.7%)と「重要である」(46.3%)を合わせた『重要である』は82.0%で8割を超えています。一方、「あまり重要でない」(3.2%)と「重要でない(感じたことがない)」(3.1%)を合わせた『重要でない』は6.3%となっています。また、「初めて聞いた」は8.9%となっています。

【生物多様性の重要性の認識度 (全体)】



(2) 生物多様性の重要性の認識度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「非常に重要である」は女性18～29歳(43.5%)、女性50～59歳(42.9%)、男性40～49歳(41.1%)で4割を超えて高くなっています。

「重要である」は女性60～64歳(56.7%)で5割半ばを超えて最も高く、女性65～74歳(54.8%)、女性40～49歳(51.5%)で5割を超えて高くなっています。

「初めて聞いた」は女性50～59歳(14.8%)で1割半ばと最も高くなっています。

【生物多様性の重要性の認識度（性別、性・年齢別）】

		(人)							(%)
		合計	非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない(感じたことがない)	初めて聞いた	その他	無回答
全体		1,744	35.7	46.3	3.2	3.1	8.9	0.9	2.0
男性		753	35.3	45.3	4.6	4.6	7.6	0.9	1.6
女性		930	35.8	48.0	1.9	1.8	9.9	0.8	1.8
自由記載		3	33.3	● 33.3	☆ 33.3	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0
男性	18～29歳	82	39.0	43.9	3.7	7.3	6.1	0.0	0.0
	30～39歳	117	● 24.8	49.6	5.1	7.7	11.1	0.9	0.9
	40～49歳	129	△ 41.1	▲ 41.1	3.9	4.7	9.3	0.0	0.0
	50～59歳	139	33.1	46.8	5.8	3.6	9.4	1.4	0.0
	60～64歳	72	37.5	45.8	5.6	6.9	▲ 2.8	0.0	1.4
	65～74歳	113	34.5	46.0	3.5	2.7	8.8	1.8	2.7
	75歳以上	100	40.0	43.0	5.0	1.0	▲ 2.0	2.0	7.0
女性	18～29歳	124	△ 43.5	45.2	0.0	2.4	8.9	0.0	0.0
	30～39歳	134	37.3	48.5	2.2	0.7	9.7	0.7	0.7
	40～49歳	136	36.0	△ 51.5	3.7	2.9	4.4	0.0	1.5
	50～59歳	189	△ 42.9	▲ 38.1	0.5	2.6	△ 14.8	0.0	1.1
	60～64歳	67	▲ 29.9	○ 56.7	1.5	0.0	11.9	0.0	0.0
	65～74歳	115	▲ 27.0	△ 54.8	1.7	1.7	9.6	2.6	2.6
	75歳以上	165	▲ 29.1	49.7	3.6	1.2	9.1	1.8	5.5

(3) 生物多様性の重要性の認識度（居住地域別）

居住地域別にみると、大きな差はありません。

【生物多様性の重要性の認識度（居住地域別）】

	(人)								(%)
	合計	非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない (感じたことがない)	初めて聞いた	その他	無回答	
全体	1,744	35.7	46.3	3.2	3.1	8.9	0.9	2.0	
中央地域	151	35.1	50.3	1.3	2.6	9.9	0.0	0.7	
横曽根地域	181	37.0	50.8	5.5	1.1	4.4	0.0	1.1	
青木地域	230	39.6	44.3	4.3	2.2	7.0	1.7	0.9	
南平地域	178	39.3	▲ 40.4	1.7	3.4	10.7	1.1	3.4	
新郷地域	89	▲ 30.3	50.6	1.1	5.6	9.0	1.1	2.2	
神根地域	149	32.9	48.3	1.3	3.4	10.1	2.0	2.0	
芝地域	189	31.2	50.3	3.2	4.2	7.4	1.1	2.6	
安行地域	93	31.2	50.5	4.3	1.1	10.8	0.0	2.2	
戸塚地域	224	33.0	45.5	4.9	4.5	9.4	0.9	1.8	
鳩ヶ谷地域	206	38.3	44.2	1.9	3.4	11.2	0.0	1.0	

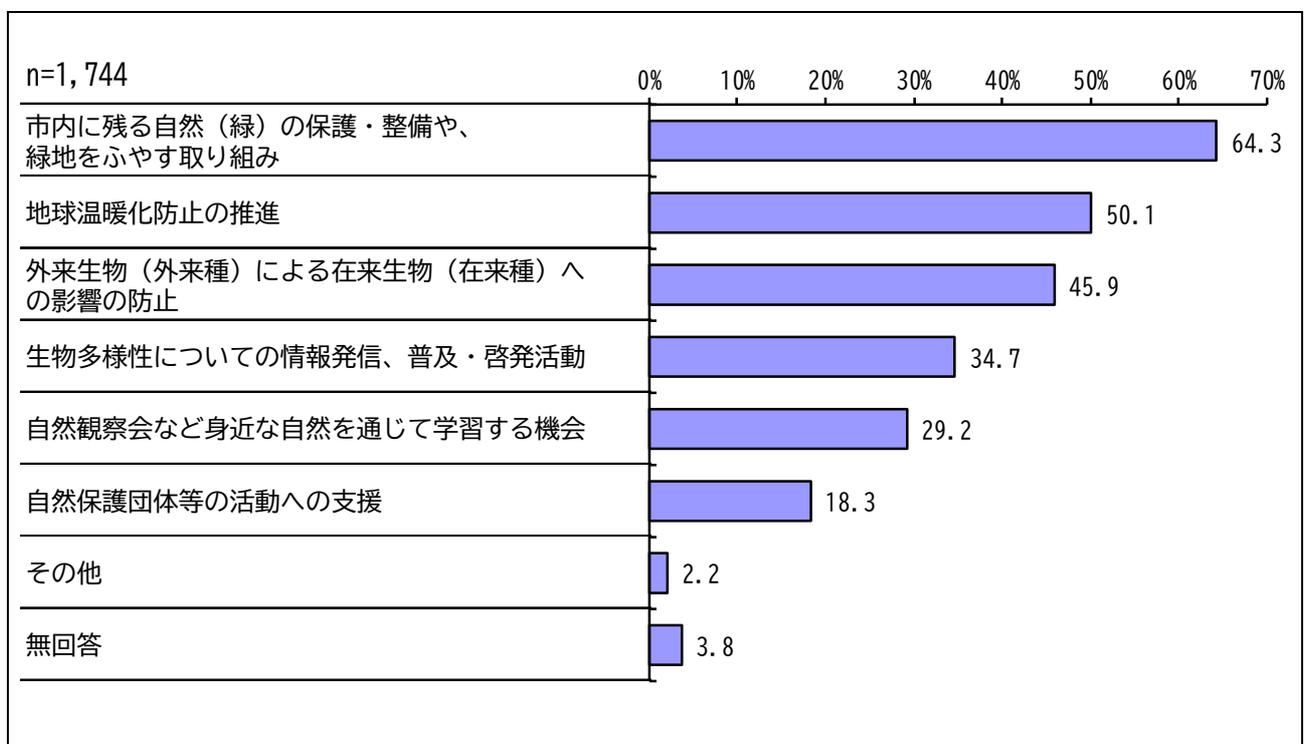
36 生物多様性の保全のために必要な施策

(1) 生物多様性の保全のために必要な施策

問 32 川口市では生物多様性の保全を進めるうえでどのような施策が必要と思われますか。
(〇はいくつでも)

生物多様性の保全のために必要な施策について、「市内に残る自然(緑)の保護・整備や、緑地をふやす取り組み」が64.3%で6割半ばと最も高く、「地球温暖化防止の推進」が50.1%、「外来生物(外来種)による在来生物(在来種)への影響の防止」が45.9%、「生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動」が34.7%と続いています。

【生物多様性の保全のために必要な施策 (全体)】



(2) 生物多様性の保全のために必要な施策（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止」は男性40～49歳（58.9%）、女性60～64歳（56.7%）で5割半ばを超えて高くなっています。

「生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動」は女性60～64歳（49.3%）、女性50～59歳（45.5%）で4割半ばを超えて高くなっています。

「自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会」は女性40～49歳（42.6%）で4割を超えて最も高くなっています。

【生物多様性の保全のために必要な施策（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	男性						
		18～29歳 (n=82)	30～39歳 (n=117)	40～49歳 (n=129)	50～59歳 (n=139)	60～64歳 (n=72)	65～74歳 (n=113)	75歳以上 (n=100)
市内に残る自然（緑）の保護・整備や、緑地をふやす取り組み	64.3	★ 46.3	▲ 55.6	68.2	66.2	△ 69.4	△ 69.9	61.0
地球温暖化防止の推進	50.1	★ 32.9	★ 35.0	46.5	46.0	47.2	54.9	55.0
外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止	45.9	47.6	▲ 40.2	○ 58.9	△ 53.2	47.2	50.4	44.0
生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動	34.7	32.9	▲ 27.4	△ 41.9	38.8	38.9	38.1	31.0
自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会	29.2	▲ 23.2	26.5	△ 36.4	30.9	▲ 20.8	31.9	25.0
自然保護団体等の活動への支援	18.3	▲ 11.0	▲ 10.3	21.7	▲ 12.2	▲ 9.7	22.1	18.0
その他	2.2	4.9	4.3	3.1	0.7	1.4	2.7	2.0
無回答	3.8	3.7	5.1	0.8	1.4	4.2	2.7	6.0

【生物多様性の保全のために必要な施策（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,744)	女性						
		18～29歳 (n=124)	30～39歳 (n=134)	40～49歳 (n=136)	50～59歳 (n=189)	60～64歳 (n=67)	65～74歳 (n=115)	75歳以上 (n=165)
市内に残る自然（緑）の保護・整備や、緑地をふやす取り組み	64.3	▲ 56.5	▲ 58.2	67.6	△ 72.0	67.2	△ 73.9	68.5
地球温暖化防止の推進	50.1	54.0	52.2	△ 57.4	△ 57.1	△ 55.2	52.2	51.5
外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止	45.9	41.9	46.3	41.2	46.0	○ 56.7	▲ 40.0	▲ 38.8
生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動	34.7	▲ 29.0	34.3	33.8	○ 45.5	○ 49.3	31.3	▲ 26.1
自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会	29.2	25.0	△ 35.1	○ 42.6	33.3	28.4	▲ 22.6	▲ 21.2
自然保護団体等の活動への支援	18.3	20.2	△ 25.4	18.4	16.9	16.4	21.7	△ 24.8
その他	2.2	0.8	0.7	1.5	1.6	1.5	2.6	3.0
無回答	3.8	2.4	2.2	4.4	2.1	1.5	6.1	6.7

(3) 生物多様性の保全のために必要な施策（居住地域別）

居住地域別にみると、「地球温暖化防止の推進」は安行地域(58.1%)で6割近くと最も高くなっています。

「外来生物(外来種)による在来生物(在来種)への影響の防止」は南平地域(52.2%)で5割を超えて最も高くなっています。

【生物多様性の保全のために必要な施策（居住地域別）】

	全体 (n=1,744)	中央 地域 (n=151)	横曽根 地域 (n=181)	青木 地域 (n=230)	南平 地域 (n=178)	新郷 地域 (n=89)	神根 地域 (n=149)	芝 地域 (n=189)	安行 地域 (n=93)	戸塚 地域 (n=224)	鳩ヶ谷 地域 (n=206)
市内に残る自然（緑）の保護・整備や、 緑地をふやす取り組み	64.3	61.6	67.4	65.7	63.5	▲ 58.4	65.1	66.7	64.5	60.3	△ 70.4
地球温暖化防止の推進	50.1	46.4	48.6	50.9	▲ 43.3	● 39.3	51.0	55.0	△ 58.1	52.2	51.9
外来生物（外来種）による在来生物 （在来種）への影響の防止	45.9	47.7	41.4	44.3	△ 52.2	42.7	43.6	47.6	44.1	48.7	45.1
生物多様性についての情報発信、 普及・啓発活動	34.7	34.4	35.4	39.1	34.8	32.6	32.2	34.9	33.3	35.3	34.0
自然観察会など身近な自然を通じて 学習する機会	29.2	26.5	27.6	33.5	26.4	25.8	24.2	30.7	28.0	30.8	34.0
自然保護団体等の活動への支援	18.3	▲ 12.6	13.3	20.4	21.9	15.7	21.5	17.5	20.4	17.9	17.5
その他	2.2	2.0	0.6	2.2	1.7	3.4	1.3	1.1	1.1	4.0	1.9
無回答	3.8	3.3	5.0	3.0	4.5	3.4	3.4	4.2	1.1	3.6	2.9

37 SDGsの認知度

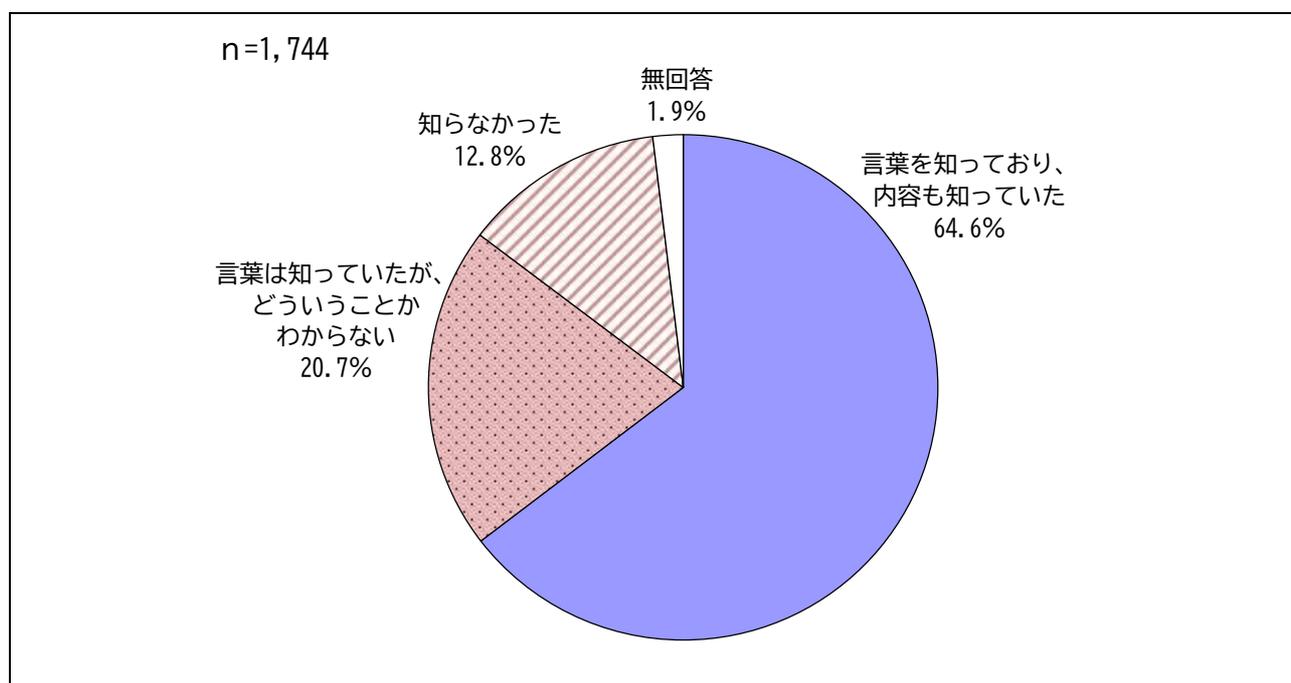
(1) SDGsの認知度

問33 あなたは「SDGs」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

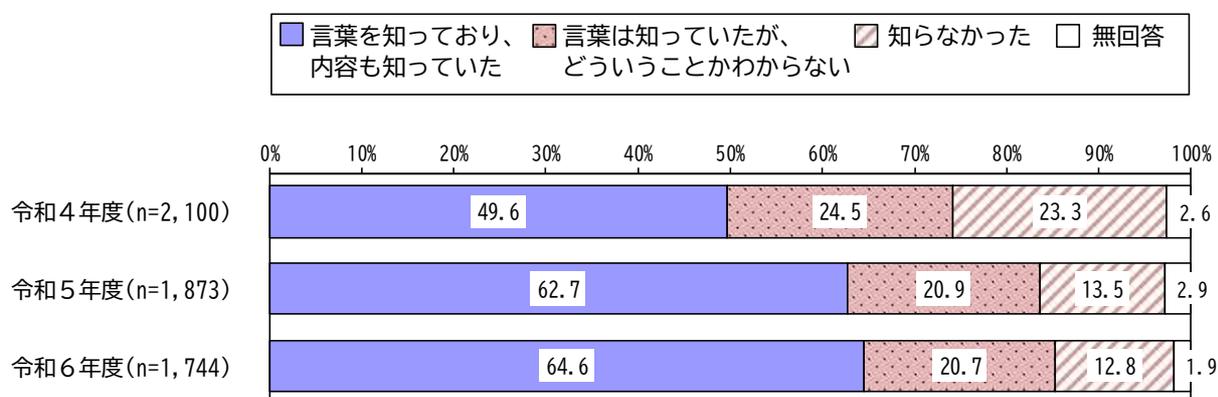
SDGsの認知度について、「言葉を知っており、内容も知っていた」(64.6%)と「言葉は知っていたが、どういうことかわからない」(20.7%)を合わせた『言葉は知っていた』は85.3%で8割半ばを占めています。一方、「知らなかった」は12.8%で1割を超えています。

SDGsの認知度の推移をみると、令和5年度と比べ大きな差はありません。

【SDGsの認知度 (全体)】



【SDGsの認知度の推移】



(2) SDGsの認知度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「言葉を知っており、内容も知っていた」は女性18～29歳(81.5%)、男性40～49歳(81.4%)、男性50～59歳(81.3%)、男性30～39歳(81.2%)で8割を超えて高くなっています。

一方、「知らなかった」は女性75歳以上(41.8%)で4割を超えて最も高く、男性75歳以上(36.0%)で3割半ばを超えて高くなっています。

【SDGsの認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	言葉を知っており、 内容も知っていた	言葉は知っていたが、 どういふことか わからない	知らなかった	無回答
全体		1,744	64.6	20.7	12.8	1.9
男性		753	△ 69.7	17.1	12.0	1.2
女性		930	61.1	23.3	13.5	2.0
自由記載		3	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	0.0
男 性	18～29歳	82	○ 75.6	17.1	▲ 4.9	2.4
	30～39歳	117	☆ 81.2	▲ 15.4	▲ 3.4	0.0
	40～49歳	129	☆ 81.4	▲ 15.5	▲ 3.1	0.0
	50～59歳	139	☆ 81.3	▲ 12.9	▲ 5.0	0.7
	60～64歳	72	66.7	▲ 13.9	16.7	2.8
	65～74歳	113	▲ 56.6	20.4	△ 20.4	2.7
	75歳以上	100	★ 37.0	△ 26.0	☆ 36.0	1.0
	女 性	18～29歳	124	☆ 81.5	▲ 15.3	▲ 3.2
30～39歳		134	△ 72.4	21.6	▲ 5.2	0.7
40～49歳		136	○ 77.9	▲ 14.7	▲ 5.9	1.5
50～59歳		189	△ 69.8	22.8	▲ 5.8	1.6
60～64歳		67	62.7	22.4	14.9	0.0
65～74歳		115	★ 47.8	○ 33.0	14.8	4.3
75歳以上		165	★ 21.2	○ 32.1	☆ 41.8	4.8

(3) SDGsの認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、「言葉を知っており、内容も知っていた」は中央地域(74.2%)、横曽根地域(72.4%)、戸塚地域(70.5%)、鳩ヶ谷地域(70.4%)で7割を超えて高くなっています。また、「言葉は知っていたが、どういうことかわからない」は安行地域(28.0%)、新郷地域(25.8%)、神根地域(25.5%)で2割半ばを超えています。

【SDGsの認知度（居住地域別）】

	(人)		(%)		
	合計	言葉を知っており、 内容も知っていた	言葉は知っていたが、 どういうことか わからない	知らなかった	無回答
全体	1,744	64.6	20.7	12.8	1.9
中央地域	151	△ 74.2	▲ 15.2	8.6	2.0
横曽根地域	181	△ 72.4	▲ 13.3	14.4	0.0
青木地域	230	62.6	21.7	15.2	0.4
南平地域	178	▲ 56.2	24.7	15.2	3.9
新郷地域	89	▲ 56.2	△ 25.8	15.7	2.2
神根地域	149	▲ 57.7	25.5	14.1	2.7
芝地域	189	61.9	22.8	13.2	2.1
安行地域	93	60.2	△ 28.0	9.7	2.2
戸塚地域	224	△ 70.5	17.0	10.3	2.2
鳩ヶ谷地域	206	△ 70.4	20.9	8.3	0.5

38 SDGsの取り組み

(1) SDGsの取り組み

問33で「言葉を知っており、内容も知っていた」と回答した方

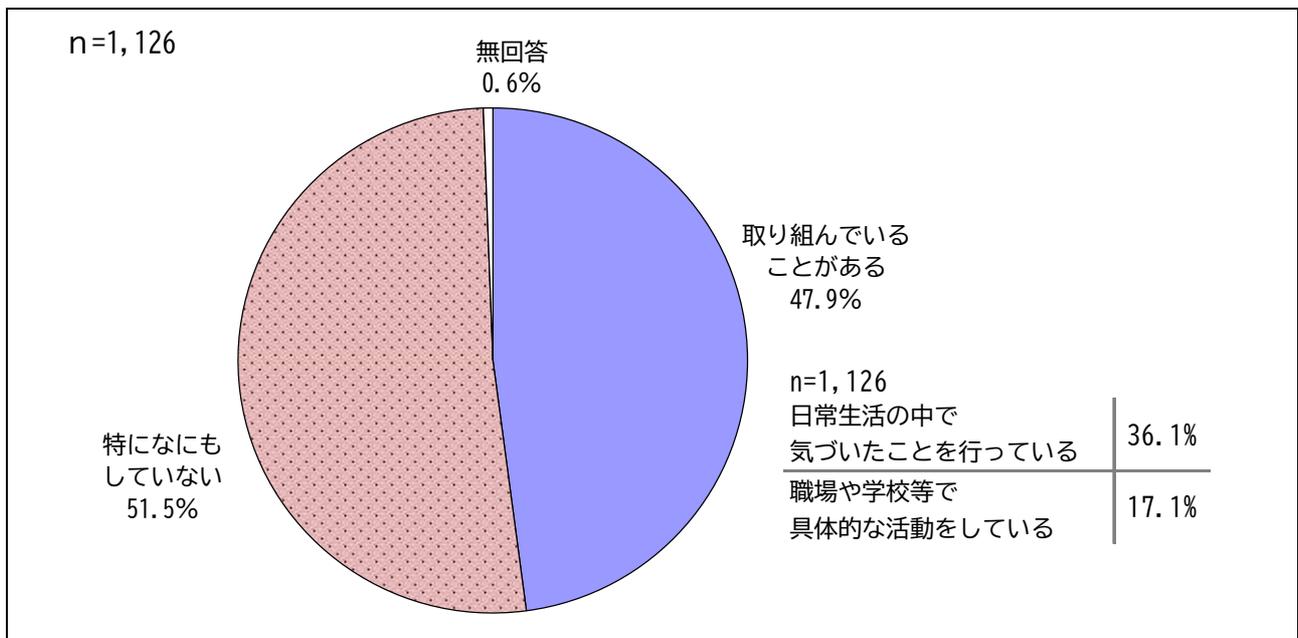
問34 SDGsの目標達成のために、あなたが日常生活や職場・学校等で取り組んでいることはありますか。(〇は1つ)

SDGsの認知度で「言葉を知っており、内容も知っている」と回答した1,126人の日常生活や職場・学校等でのSDGsの取り組みについて、「取り組んでいることがある」が47.9%で4割半ばを超えています。一方、「特になにもしていない」が51.5%で5割を超えています。

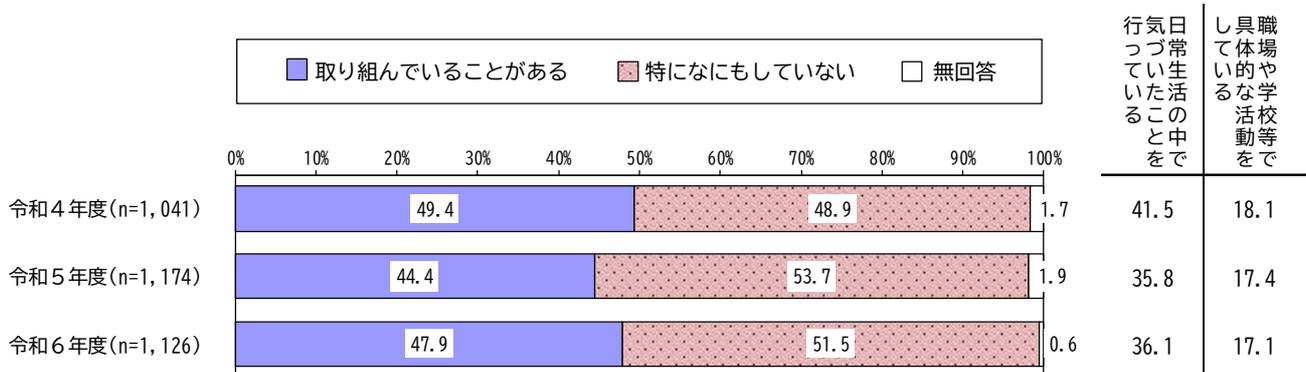
なお、「取り組んでいることがある」人の取り組みの内容は「日常生活の中で気づいたことを行っている」が36.1%、「職場や学校等で具体的な活動をしている」が17.1%となっています。

SDGsの取り組みの推移をみると、令和5年度と比べ大きな差はありません。

【SDGsの取り組み（全体）】



【SDGsの取り組みの推移】



(2) SDGsの取り組み（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「取り組んでいることがある」は女性50～59歳(64.4%)で6割半ばと最も高く、女性60～64歳(59.5%)、女性40～49歳(58.5%)で6割近くと高くなっています。

取り組みの内容をみると、「日常生活の中で気づいたことを行っている」は女性50～59歳(57.6%)で5割半ばを超えて最も高く、女性60～64歳(52.4%)で5割を超えて高くなっています。また、「職場や学校等で具体的な活動をしている」は男性50～59歳(30.1%)、男性40～49歳(28.6%)で3割前後と高くなっています。

一方、「特になにもしていない」は男性65～74歳(67.2%)、男性30～39歳(65.3%)で6割半ばを超えて高くなっています。

【SDGsの取り組み（性別、性・年齢別）】

		(人)				(%)	
		合計	取り組んでいることがある	日常生活の中で気づいたことを行っている	職場や学校等で具体的な活動をしている	特になにもしていない	無回答
全体		1,126	47.9	36.1	17.1	51.5	0.6
男性		525	▲ 42.5	▲ 26.7	19.2	★ 56.8	0.8
女性		568	△ 53.0	△ 44.5	15.3	46.5	0.5
自由記載		3	● 33.3	33.3	★ 0.0	☆ 66.7	0.0
男性	18～29歳	62	▲ 40.3	★ 19.4	21.0	△ 59.7	0.0
	30～39歳	95	● 34.7	★ 20.0	13.7	○ 65.3	0.0
	40～49歳	105	51.4	33.3	○ 28.6	48.6	0.0
	50～59歳	113	50.4	▲ 28.3	○ 30.1	49.6	0.0
	60～64歳	48	● 35.4	● 22.9	12.5	○ 62.5	2.1
	65～74歳	64	★ 32.8	▲ 26.6	● 6.3	☆ 67.2	0.0
	75歳以上	37	▲ 40.5	35.1	● 2.7	51.4	△ 8.1
女性	18～29歳	101	▲ 42.6	31.7	13.9	△ 57.4	0.0
	30～39歳	97	▲ 40.2	36.1	12.4	△ 59.8	0.0
	40～49歳	106	○ 58.5	△ 42.5	△ 23.6	● 40.6	0.9
	50～59歳	132	☆ 64.4	☆ 57.6	18.2	★ 34.8	0.8
	60～64歳	42	○ 59.5	☆ 52.4	14.3	● 40.5	0.0
	65～74歳	55	△ 54.5	○ 50.9	▲ 7.3	▲ 45.5	0.0
	75歳以上	35	48.6	△ 42.9	● 5.7	48.6	2.9

(3) SDGsの取り組み（居住地域別）

居住地域別にみると、「取り組んでいることがある」は青木地域(52.1%)、横曽根地域(51.1%)、中央地域(50.9%)で5割を超えて高くなっています。

取り組みの内容をみると、「日常生活の中で気づいたことを行っている」は横曽根地域(39.7%)、南平地域(39.0%)で約4割と高くなっています。

一方、「特になにもしていない」は新郷地域(62.0%)で6割を超えて最も高くなっています。

【SDGsの取り組み（居住地域別）】

	(人)		(%)			
	合計	取り組んでいることがある	日常生活の中で気づいたことを行っている	職場や学校等で具体的な活動をしている	特になにもしていない	無回答
全体	1,126	47.9	36.1	17.1	51.5	0.6
中央地域	112	50.9	37.5	20.5	49.1	0.0
横曽根地域	131	51.1	39.7	16.8	48.1	0.8
青木地域	144	52.1	35.4	20.1	47.2	0.7
南平地域	100	47.0	39.0	14.0	53.0	0.0
新郷地域	50	▲ 38.0	▲ 30.0	▲ 10.0	○ 62.0	0.0
神根地域	86	▲ 41.9	31.4	16.3	△ 57.0	1.2
芝地域	117	44.4	34.2	15.4	55.6	0.0
安行地域	56	46.4	32.1	21.4	51.8	1.8
戸塚地域	158	47.5	35.4	17.7	51.9	0.6
鳩ヶ谷地域	145	49.0	36.6	16.6	49.7	1.4

第3章 調査結果の分析

1 川口市の特徴

川口市への居住意向について、今後も「住み続けたい」と回答した人は8割超と、令和5年度から減少しています。

転入したきっかけとしては、「住宅の購入」、「生まれてからずっと川口市」、「結婚」がそれぞれ2割超、「就職・転勤」が1割半ばを超えています。

転入してきた人が川口市を選んだ理由としては、「都心に近いから」が3割半ばを超えており、「交通の便がよいから」と「住宅の価格・家賃が適していたから」が3割前後と高くなっています。

川口市の良いところ・好きなところは、「都心に出やすい」が6割超、「買い物など日常生活が便利である」が約5割、「公共交通機関が充実している」が2割半ば超など利便性のよさがあげられています。また、約2割の人は「災害が少ない」をあげています。一方、川口市の良くないところ・嫌いなところでは、「治安が悪い」が5割近くで最も高くなっています。

川口市に住むことを勧めたいか聞いたところ、「勧めたい」は2割超で、「どちらでもない」が約6割を占めて最も高い値となりました。

川口市に愛着や誇りを持っているか聞いたところでは、「持っている」と「どちらかといえば持っている」を合わせた『持っている』は6割超という結果でした。

川口市の好きな場所、もの、行事は、「グリーンセンター」が4割を超えて最も高く、「たたら祭り」が3割超、「中央図書館」が2割半ばなどとなっています。

川口市の状況や取り組みについての実感で、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』の回答がもっとも高かったものは「水道や下水道を安心して利用できるまち」で7割近くとなっています。また、「買い物しやすいまち」も6割を超えており、「健康に暮らせるまち」が5割を超えています。

川口市の都市整備施策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「下水道事業の推進」が7割半ばを超えて最も高く、次いで「良好な住環境の推進」が6割を超えています。

火災時の備えとして消火器を設置しているか聞いたところ、「設置している」が3割半ば、「共有部分に設置している」が2割半ば超で、これらを合わせた『設置している』は約6割を占めています。

市の行政情報を確認する方法は、「広報かわぐち」が7割半ばを超えて最も高く、次いで「川口市ホームページ」が4割半ば超となっています。また、市に関する欲しい情報は、「医療・福祉の情報」が6割半ばを超えて最も高く、「災害・防災の情報」が6割半ば、「イベントの情報」が約4割などとなっています。

過去1年間のスポーツ等の頻度は、「週に3回以上」と「週に1～2回程度」が2割超、「月に1～3回程度」と「年に数回程度」が1割半ば前後と、年に数回程度以上スポーツをする機会があった人は7割を超えています。一方、「全くしていない」が2割半ばを占めています。

川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを知っていたか聞いたところ、「知っていた」が約2割にとどまっており、「知らなかった」が8割近くとなっています。

この1年以内に「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したか聞いたところ、「参加していない」が約9割を占めています。

今後、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したいか聞いたところ、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた『参加したい』が3割を占めており、一方、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」を合わせた『参加したくない』が6割半ばを超えています。「市民・行政の協働によるまちづくり」に『参加したい』理由は、「地域とのつながり・人との交流・仲間づくり」が6割、「地域や社会への貢献活動に関心がある」が4割半ば超と高くなっています。反対に『参加したくない』理由は、「活動する時間がない」が5割を超えて最も高く、「活動するきっかけがない」、「一緒に活動する仲間がいない」、「関心がない」が2割半ばで高くなっています。

ごみの量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみ有料化」の賛否については、「賛成である」と「どちらかという賛成である」を合わせた『賛成である』は2割半ばを超えており、「どちらかという反対である」と「反対である」を合わせた『反対である』は5割半ばとなっています。令和5年度から『反対』は減少しているものの、『賛成』にあまり変化なく、「どちらでもない」が増加しています。

「ごみ有料化」を指定袋により実施した場合の負担の許容額を聞いたところ「1～50円」が7割超、「51～100円」が1割超で、二つを合わせた『100円以下』が8割を超えています。

ごみ処理費用を抑えるために必要な市民一人ひとりの行動を聞いたところ、「ごみを正しい分別、指定曜日に出す、排出ルールを守る行動」が7割半ばを超えて最も高く、次いで「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」が4割半ば超、「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、不要なものをゴミとしない行動」が4割超などとなっています。

「化学物質過敏症(香害)」の健康被害の認知度は、「化学物質過敏症(香害)の健康被害について知っていた」が3割半ばを超えており、「化学物質過敏症(香害)」という言葉は知っていたが、具体的な健康被害は知らなかった」が2割半ばと、『化学物質過敏症(香害)」という言葉は知っている』が6割を超えています。また、周囲に「化学物質過敏症(香害)」の健康被害者が「(自分も含め)いる」と回答した人は約1割となっており、その健康被害の原因は、「たばこ」が5割半ば、「柔軟剤・香りつき合成洗剤」が5割超、「芳香剤・香水・消臭剤」が4割半ば超などとなっています。

他人とのつながりの薄さについては、「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』は、「自分には人との付き合いがないと感じる」が2割半ばを超えて高く、「自分は取り残されていると感じる」と「自分は他の人たちから孤立していると感じる」は1割強となっています。

近所の困っている方に「あなたができること」を聞いたところ、「日常(安否確認)の声掛け」が約7割で最も高く、「話し相手」が4割半ば超、「行政や関係機関等への連絡」と「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が3割超などとなっています。

日常生活を送るうえで不自由な状態になった際に「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」を聞いたところ、「日常(安否確認)の声掛け」が3割を超えて最も高く、「行政や関係機関等への連絡」が約3割、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が2割半ばなどとなっています。

日常生活の生きがいの有無を聞いたところ、「生きがいがある」が6割近く、「思いつかない」が4割近くとなっています。

家族や友人・知人以外の相談相手の有無を聞いたところ、「いる」が約5割を占めており、「思いつかない」が4割半ばを超えています。

自分に介護が必要な状態になった場合、希望する介護を聞いたところ、「老人ホームなどの介護施設に入所」が約4割を占めて最も高く、「自宅での介護」が2割半ば超、「よくわからない」が3割超となっています。

「終活」という言葉の認知度は、「知っていた」が9割半ばを占めており、「終活」の実施状況は、「予定はないがいずれは行いたい」が6割近くと最も高く、「わからない」、「家族に相談している」、「行う予定はない」が1割前後などとなっています。

生物多様性の重要性の認知度は、「非常に重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が8割を超えており、一方、「あまり重要でない」と「重要でない(感じたことがない)」を合わせた『重要でない』が1割未満となっています。

SDGsという言葉の認知度は、「言葉を知っており、内容も知っていた」が6割半ば近くと最も高く、「言葉は知っていたが、どういうことかわからない」の約2割を合わせた『言葉は知っていた』は8割半ばとなっています。

SDGsの認知度で「言葉を知っており、内容も知っている」と回答した人の中で、SDGsの目標達成のために日常生活や職場・学校等で「取り組んでいることがある」と回答した人の割合は4割半ばを超えており、取り組みの内容は「日常生活の中で気づいたことを行っている」が3割半ば超、「職場や学校等で具体的な活動をしている」が1割半ば超となっています。

2 川口市の課題

① 保健・医療体制の充実、子育て・高齢者世帯への支援

今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものとして、「健康に暮らせるまち(保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち)」が4割半ばを超え、川口市の状況や取り組みの23項目中で最も高くなっています。また、「高齢者が安心して暮らせるまち(高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち)」(23項目中3位)と「子育てしやすい環境づくりのまち(子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち)」(23項目中4位)が3割を超えており、子どもから高齢者まで『全ての人にやさしい“生涯安心なまち”』を実践するため、市民、地域、行政が一体となって、包み支え合う取り組みが必要となっています。

② 安全・安心な市民生活の確保

今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものとして、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち(さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち)」が4割半ばと、川口市の状況や取り組みの23項目中で2番目に高く、「誰もが安心して暮らせるまち(年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち)」(23項目中6位)が2割半ば超となっています。なお、川口市の良くないところ・嫌いなところでは「治安が悪い」が約5割で最も高く、令和5年度から大幅に増加しており、『誰もが“安全で快適に暮らせるまち”』を実現するため、地域やコミュニティなど共助とともに、市民・行政の協働によるまちづくりを推進していく必要があります。

③ 交通環境の整備

今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものとして、「交通環境が整っているまち(安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち)」が3割を超えて、川口市の状況や取り組みの23項目中で5番目に高くなっています。なお、川口市の良くないところ・嫌いなところでは「公共交通機関が充実していない」が2番目、「道路事情が悪い」が4番目に高く、これらは地域による偏りがみられることから、地域間の格差を解消するための交通・道路整備が必要となっています。

まとめ

今年度の調査結果から、川口市に「住み続けたい」との回答は18年連続して8割を超え、住み続けたいと思うまちづくりを維持し続けています。この要因として「都心に出やすい」、「買い物など日常生活が便利である」、「公共交通機関が充実している」など、日常生活をする上での快適さや利便性のほか、「災害が少ない」こともあげられています。

一方、川口市の良くないところ・嫌いなところで「治安が悪い」が大幅に増加し、今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものに「災害や犯罪に対し安全・安心なまち(さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち)」が2番目に来ていることから、市民の不安を解消するために、積極的に治安維持に取り組むとともに、地域やコミュニティを介した相互理解を深めて行くことが求められています。

参考資料（調査票・単純集計結果）

総合計画(まちづくり)のための
川口市民意識調査
～市民のみなさまの声をお聞かせください～

川口市では市民の皆様、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対するご意見をお伺いするために、「市民意識調査」を毎年実施しております。

この調査は、本市にお住まいの満18歳以上の方から、無作為に5,000人を抽出し、調査票を送らせていただいております。

この調査票に記入していただきました内容は、本市において厳重に管理し、統計的な処理を行うこと以外に使用することは一切ありません。

川口市を一層、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするために、ぜひともこの調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月 川口市長 奥ノ木 信夫

【回答方法】

「インターネット(スマートフォン、パソコン等)」または「紙」の いずれかを選択してください。	
インターネットで回答	紙で回答

↓

① 下記の URL を入力するか、2次元コードを読み取ってアクセスしてください。
<https://logoform.jp/form/zRQD/412679>

② 以下の認証 ID を入力してください。

認証 ID

↓

①本調査票に直接記入してください
②本調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて封をし、郵便ポストへ投函をお願いします。(回答は無記名で、切手は必要ありません)

【回答にあたってのお願い】

- 調査対象者ご本人(封筒のあて名の方)が、ご回答ください。もしご都合でご記入ができない場合は、どなたでも結構ですので代わってご記入ください。その場合は、調査対象者ご本人の立場でお答えください。
- 回答は、問の番号順に進んでお答えください。回答内容によって、一部の方にお答えいただく設問がありますが、記載のとおり該当する設問に進んでください。

【回答期限】

令和6年9月2日(月)

【お問い合わせ先】

川口市役所 企画財政部 企画経営課 企画係
電話 048-259-7627
FAX 048-258-1203

(表記のない項目は、n=1,744 を 100.0 として%を算出)

◆ 川口市での暮らしやまち全体の印象についておたずねいたします。

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 81.1 住み続けたい | 15.9 住み続けたくない |
| | 3.0 無回答 |

問2 あなたが直前に住んでいた市区町村から転入したきっかけは何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 22.6 生まれてからずっと川口市 →問4へ | 22.1 結婚 |
| 17.3 就職・転勤 | 0.5 子どもの独立 |
| 2.0 出産 | 10.4 親や子と同居・近隣に住むため |
| 0.9 退職・廃業 | 3.2 特になし |
| 23.5 住宅の購入 | 5.7 その他 () |
| 1.1 進学 | 1.1 無回答 |

問3 あなたが川口市を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも) (n=1,330)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 20.8 自分や家族の家・土地があったから | 5.6 医療機関を利用しやすいから |
| 22.9 職場や学校に近かったから | 2.4 治安がよいから |
| 3.8 寮や社宅に住むことになったから | 6.7 自然災害が少ないから |
| 21.1 家族や親せき、知人がいたから | 2.2 にぎわいや活気があるから |
| 28.9 住宅の価格・家賃が適していたから | 3.9 発展が見込めるから |
| 37.8 都心に近いから | 6.9 周囲が静かで落ち着けるから |
| 31.0 交通の便がよいから | 2.0 地域のイメージがよいから |
| 17.4 買い物など生活に便利だから | 5.5 身近に自然があるから |
| 5.0 子育てしやすい環境だから | 10.2 自分以外の家族が決めた |
| 6.7 前に自分が生活していた地域だから | 4.9 その他 () |
| 1.3 子どもの教育環境がよいから | 0.7 無回答 |

問4 あなたが思う川口市のことについておたずねいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 27.1 公共交通機関が充実している | 7.0 自然環境が豊かである |
| 8.3 道路事情が良い | 0.6 街並みが美しい |
| 50.9 買い物など日常生活が便利である | 3.5 治安が良い |
| 16.1 勤務先から近い | 0.9 娯楽施設が充実している |
| 63.0 都心に出やすい | 9.5 住まいの環境が良好である |
| 4.6 医療サービスが充実している | 2.9 近隣の人々とのきずなが強い |
| 1.2 福祉サービスの水準が高い | 20.1 災害が少ない |
| 2.1 子育ての環境が充実している | 2.4 公害が少ない |
| 0.9 子どもの教育環境が充実している | 6.3 物価が安い |
| 6.2 公園などの憩いの場が豊富である | 3.3 特になし |
| 0.9 文化活動をする場が豊富である | 1.4 その他 |
| 2.9 スポーツをする場が豊富である | 0.5 無回答 |
- (自由記入)

(2) 川口市の良くないところ、嫌いなところは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 13.0 公共交通機関が充実していない | 4.1 自然環境が悪い |
| 10.9 道路事情が悪い | 12.2 街並みがきたない |
| 6.3 買い物など日常生活が不便である | 49.4 治安が悪い |
| 2.1 勤務先から遠い | 6.7 娯楽施設が充実していない |
| 1.9 都心に出にくい | 3.9 住まいの環境が悪い |
| 9.0 医療サービスが不十分である | 7.3 近隣の人々とのきずなが弱い |
| 8.0 福祉サービスの水準が低い | 2.2 災害が多い |
| 6.0 子育ての環境が整っていない | 1.8 公害が多い |
| 5.4 子どもの教育環境が整っていない | 6.6 物価が高い |
| 9.3 公園などの憩いの場が乏しい | 10.9 特になし |
| 4.2 文化活動をする場が乏しい | 15.0 その他 |
| 6.4 スポーツをする場が乏しい | 2.1 無回答 |
- (自由記入)

(3) 友人や知人に川口市に住むことを勧めたいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 23.7 勧めたい | 14.7 勧めたくない | 60.1 どちらでもない |
| | | 1.4 無回答 |

(4) 川口市やお住まいの地域に愛着や誇りを持っていますか。(○は1つ)

- 15.9 持っている
- 45.1 どちらかといえば持っている
- 14.5 どちらかといえば持っていない
- 12.9 持っていない
- 9.9 わからない
- 1.7 無回答

問5 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 10.1 川口市マスコット「きゅぼらん」 | 10.1 川口神社 |
| 5.8 川口マラソン | 3.0 錫杖寺 |
| 8.1 SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 | 5.3 峯ヶ岡八幡神社 |
| 31.7 たたら祭り | 3.4 地藏院 |
| 5.0 市産品フェア | 3.4 赤山城跡(赤山陣屋跡) |
| 4.3 彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム | 0.8 木曾呂の富士塚 |
| 9.5 科学館 | 12.0 芝川サイクリングロード |
| 24.7 中央図書館 | 7.6 青木町平和公園 |
| 22.7 川口総合文化センター・リリア | 12.6 川口西公園(リリアパーク) |
| 0.6 かわぐち市民パートナーステーション | 5.4 荒川運動公園 |
| 2.5 アートギャラリー・アトリア | 7.8 川口自然公園 |
| 43.8 グリーンセンター | 3.6 ゴリラ公園 |
| 9.2 川口緑化センター樹里安 | 5.7 戸塚中台公園 |
| 8.3 川口オートレース場 | 8.7 その他 (自由記入) |
| 4.7 旧田中家住宅 | 7.2 無回答 |
| 1.6 文化財センター「郷土資料館」 | |
| 13.8 赤山歴史自然公園(イイナパーク川口) | |

◆ 川口市が取り組む施策等に対する評価についておたずねいたします。

問6 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。

以下のそれぞれの質問に対してあてはまる番号に○をつけてください。

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 やや そう感 じる	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
1	川口市は保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまちだと感じますか。	12.2	38.9	32.6	10.8	4.5	0.9
2	川口市は子育てしやすい環境づくりに力を入れているまちだと感じますか。	6.4	27.5	42.7	15.1	6.4	1.9
3	川口市は高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと感じますか。	5.0	22.3	48.5	17.2	6.1	0.9
4	川口市は、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちだと感じますか。	5.3	21.9	43.2	19.0	9.4	1.1
5	川口市は子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまちだと感じますか。	5.0	24.1	47.0	16.4	5.2	2.3
6	川口市は学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまちだと感じますか。	6.2	27.4	43.6	15.9	4.9	2.1
7	川口市は文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまちだと感じますか。	6.2	27.7	43.7	16.1	4.8	1.6
8	川口市は性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまちだと感じますか。	4.5	19.0	37.5	20.1	17.7	1.2
9	川口市は市内産業が元気なまちだと感じますか。	4.7	25.1	40.5	22.4	6.0	1.4
10	川口市はものづくり産業が活発なまちだと感じますか。	7.3	28.1	37.3	19.8	6.2	1.3
11	川口市は大型店から商店街まで買い物がしやすいまちだと感じますか。	22.1	41.2	22.2	10.0	3.7	0.8
12	川口市は植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまちだと感じますか。	10.3	34.3	31.0	17.8	5.3	1.3
13	川口市は市内外に誇れる魅力があるまちだと感じますか。（自然や歴史、文化芸術など）	5.6	24.4	38.3	20.6	9.7	1.4
14	川口市は豊かな水と緑に親しめる場所があるまちだと感じますか。	8.3	32.6	32.7	18.3	7.1	0.9

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 やや そう感 じる	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
15	川口市は省エネ・再エネなど地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に行っているまちだと感じますか。	3.0	13.8	45.9	25.7	10.1	1.4
16	川口市はごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまちだと感じますか。	8.1	34.3	34.5	16.6	5.4	1.0
17	川口市は、住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されていると感じますか。	3.7	23.2	48.9	16.6	6.1	1.4
18	川口市は安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまちだと感じますか。	10.1	34.9	29.4	17.1	7.4	1.1
19	川口市はいつでも安心して水道や下水道を利用できるまちだと感じますか。	23.9	44.4	21.9	6.2	2.5	1.1
20	川口市はさまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われていると感じますか。	4.5	21.3	34.5	21.8	16.8	1.1
21	川口市はボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまちだと感じますか。	6.2	26.7	46.6	14.8	4.8	1.0
22	川口市は、市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っていると感じますか。	3.0	13.6	50.3	21.2	10.3	1.5
23	川口市は効果的かつ効率的な行財政運営がなされていると感じますか。	3.5	12.9	51.3	19.9	10.7	1.7

問7 問6の23の質問項目のうち、あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、問6の表の質問番号（1～23）から上位5つを選び、その番号を下の枠の中に記入してください。

【力を入れて（充実させて）ほしいもの】

- 47.7 川口市は保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち
- 45.8 川口市はさまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち
- 33.1 川口市は高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち
- 32.7 川口市は子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち
- 32.6 川口市は安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち

問8 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。
以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。

番号	施策	回答欄（満足度）				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
1	「良好な住環境の推進」はされていると感じますか。 (良好な住宅や住宅環境の整備)	8.9	52.1	29.1	6.8	3.0
2	「魅力と活力を育む土地利用の推進」はされていると感じますか。 (計画的な土地利用、市街地や駅周辺の整備等)	5.7	42.9	38.8	9.4	3.3
3	「総合的な交通基盤の充実」はされていると感じますか。 (道路・交通環境整備、バスなどの公共交通機能充実等)	12.6	42.9	31.6	11.0	1.8
4	「下水道事業の推進」はされていると感じますか。 (下水道の普及や機能の向上等)	20.4	57.3	15.5	4.5	2.2
5	「美しくうまいのある景観形成の推進」はされていると感じますか。 (美しくうまいのある景観形成の推進等)	6.1	40.9	41.6	8.4	2.9
6	「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」はされていると感じますか。 (緑地や河川環境の整備、治水対策等)	8.1	46.3	35.5	7.4	2.7

◆ これからは個々の施策についておたずねいたします。

◆ 火災時の備えについておたずねいたします。

問9 火災時の備えとして、消火器を設置していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

34.5 設置している 39.0 設置していない 26.0 共有部分に設置している
0.5 無回答

◆ 広報についておたずねいたします。

問10 市の行政情報を確認する方法は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○はいくつでも)

77.3 広報かわぐち
46.2 川口市ホームページ
2.0 川口市公式地域情報ウェブサイト「TRiCO Kawaguchi」
4.6 川口市公式X (旧 Twitter)
13.9 市内「広報掲示板」
8.4 メール配信サービス「きらり川口情報メール」など
3.2 その他 ()
1.4 無回答

問11 市に関するどんな情報が欲しいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|------|----------|------|---------|
| 24.4 | 子育ての情報 | 27.4 | 買い物の情報 |
| 67.8 | 医療・福祉の情報 | 25.2 | グルメの情報 |
| 64.8 | 災害・防災の情報 | 40.1 | イベントの情報 |
| 26.3 | 学びの情報 | 12.0 | 転職・求人情報 |
| 20.0 | 遊び場の情報 | 2.1 | その他 () |
| | | 2.6 | 無回答 |

◆ スポーツについておたずねいたします。

問12 過去1年間に運動やスポーツ・レクリエーション活動をする機会がどの程度ありましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

※運動やスポーツ・レクリエーション活動には以下のような活動も含まれます。

ウォーキング・散歩、ジョギング・ランニング、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、水泳、体操(ストレッチ・ラジオ体操など)、ヨガ・ピラティス、登山(トレッキングなど)、ボウリング、ゴルフ、筋力・ウェイトトレーニング、釣り、サイクリング、ゲートボールなど

- | | | | |
|------|----------|------|---------|
| 22.5 | 週に3回以上 | 13.7 | 年に数回程度 |
| 21.7 | 週に1~2回程度 | 25.1 | 全くしていない |
| 15.9 | 月に1~3回程度 | 1.1 | 無回答 |

◆ 協働についておたずねいたします。

「協働」とは、市民が市民として幸せに暮らす地域社会を築くために、市や市民等が「知恵」と「力」をともに出し合うことを言います。川口市では、社会貢献団体などの育成や支援を行い、市民・行政の協働によるまちづくりをすすめています。

※「市民・行政の協働によるまちづくり」とは、社会貢献団体であるNPO法人、町会・自治会、ボランティア、学校応援団などの活動、自主的な公益活動(登下校の見守りや地域の清掃など)のことです。

問13 あなたは、川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを知っていましたか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|------|-------|------|--------|-----|-----|
| 20.4 | 知っていた | 78.1 | 知らなかった | 1.5 | 無回答 |
|------|-------|------|--------|-----|-----|

問14 あなたは、1年以内に、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加しましたか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|-----|------|------|---------|-----|-----|
| 8.1 | 参加した | 90.5 | 参加していない | 1.3 | 無回答 |
|-----|------|------|---------|-----|-----|

問15 あなたは、今後、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したいと思いますか。
(○は1つ)

- 5.2 参加したい →問16へ
- 25.6 どちらかといえば参加したい →問16へ
- 45.9 どちらかといえば参加したくない →問17へ
- 20.7 参加したくない →問17へ
- 2.6 無回答

問15で1または2に○をつけた方におたずねいたします。

問16 その理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)
(n=537)

- 46.2 地域や社会への貢献活動に関心がある
- 60.0 地域とのつながり・人との交流・仲間づくり
- 9.7 時間に余裕がある
- 23.5 健康維持によい
- 21.0 興味や趣味を活かしたい
- 6.1 誘われた・頼まれた
- 5.0 その他 ()
- 0.6 無回答

問15で3または4に○をつけた方におたずねいたします。

問17 その理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)
(n=1,162)

- 52.5 活動する時間がない
- 24.7 活動するきっかけがない
- 20.9 どこから情報を得られるのかわからない
- 24.1 一緒に活動する仲間がいない
- 24.1 関心がない
- 10.0 その他 ()
- 1.2 無回答

◆ ごみの有料化についておたずねいたします。

「ごみの有料化」とは、税金とは別に料金を負担していただく「ごみ処理手法」で、ごみの排出抑制や再使用・再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革が期待できます。

一部の自治体では、ごみの排出抑制、リサイクル推進、処理費用の削減等のため、ごみ袋を指定することで、有料化を実施している事例があります。

(川口市では、ごみの処理のため、一人あたり年間約20,000円の費用がかかっております。)

問18 ごみの量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみの有料化」についてあなたはどのように思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 7.9 賛成である
- 18.2 どちらかという賛成である
- 17.3 どちらでもない
- 24.8 どちらかという反対である
- 30.7 反対である
- 1.1 無回答

問19 あなたは「ごみの有料化」を指定袋により実施した場合、1枚あたりどの程度の金額であれば負担してもよいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ)

※参考：指定袋…容量45ℓで一般ごみが4～5kg入ります。川口市の1人1日あたりのごみ排出量は約800gなので、1袋で1人1週間程度の排出量に相当します。

71.4 1～50円

12.4 51～100円

1.8 101～150円

1.0 151～200円

10.1 その他 ()

3.2 無回答

問20 ごみ処理費用をできるだけ抑えるために、市民一人ひとりがどんな行動をする必要があると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

47.9 商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動

43.5 再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりなど、不要なものをゴミとしない行動

77.0 ごみを正しい分別、指定曜日に出す、排出ルールを守る行動

21.7 道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動

4.3 その他 ()

1.0 無回答

◆ 化学物質過敏症（香害）についておたずねいたします。

「化学物質過敏症（香害）」とは香水や洗剤、シャンプー等の製品に含まれる化学物質により気分が悪くなったり、皮膚等に発疹等の症状が出たりする健康被害のことをいいます。

問21 あなたは「化学物質過敏症（香害）」の健康被害について知っていましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

36.6 化学物質過敏症(香害)の健康被害について知っていた

25.3 化学物質過敏症(香害)という言葉は知っていたが、具体的な健康被害は知らなかった

36.6 知らなかった

1.4 無回

問22 あなた、またはあなたの周囲に、「化学物質過敏症（香害）」の健康被害で悩んでいる方がいますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

9.5 (自分も含め) いる →問23へ 89.3 いない(わからない) →問24へ

1.2 無回答

問22で1「(自分も含め) いる」に○をつけた方におたずねいたします。

問23 原因と考えられる製品は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも) (n=165)

52.1 柔軟剤・香りつき合成洗剤

47.9 芳香剤・香水・消臭剤

20.6 殺虫剤・除草剤

55.2 たばこ

5.5 不明

9.1 その他 ()

0.0 無回答

◆ あなたの他人とのつながりやかかわり方についておたずねいたします。

問24 あなたは、次の①～③の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか。

あてはまるものに○をつけてください。(それぞれひとつに○)

項 目	1	2	3	4	無回答
	決してない	ほとんどない	ときどきある	常にある	
①自分には人との付き合いがないと感じる	26.7	44.4	15.9	11.3	1.6
②自分は取り残されていると感じる	32.9	52.3	9.3	2.8	2.8
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	34.4	51.1	8.5	3.3	2.8

※一般的に「孤立」は客観的概念、社会とのつながりのない／少ない状態を指します。

問25 近所に困っている方がいる場合、「1：あなたができること」は何ですか。また、あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「2：地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

項 目	1	2
	あなたが できること	地域の方々に手助け をしてもらいたいこと
①日常(安否確認)の声掛け	70.5	33.5
②話し相手	47.6	21.2
③ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	31.5	24.8
④食事のおすそわけ	19.2	13.3
⑤外出や通院の付き添い	18.1	20.2
⑥病気の看病	9.9	16.7
⑦短時間の子どもの預かり	16.7	18.0
⑧子育ての相談	16.9	17.9

項目	1	2
	あなたが できること	地域の方々に手助け をしてもらいたいこと
⑨生活についての相談	16.4	22.5
⑩行政や関係機関等への連絡	33.9	29.1
⑪その他（ ）	2.6	2.8
⑫特にできることはない	9.6	
⑬手助けしてもらいたいことはない		15.7
無回答	6.3	22.4

◆ あなたの「暮らしかた」についておたずねいたします。

市民ニーズが多様化・複雑化しているなか、子どもから高齢者まで年齢・性別に関わらず、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して充実した生活を送るために、日常生活においても地域における支え合いや助け合う力を高めていくことがますます大切になっています。

問26 日常生活に生きがいがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は1つ)

58.5 生きがいがある

→それはどのようなことですか

()

38.4 思いつかない

3.0 無回答

問27 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はいますか。

(市役所、学校・職場関係者、町会・自治会・老人クラブ、民生委員・児童委員、医療機関など) (○は1つ)

50.2 いる

47.9 思いつかない

1.9 無回答

問28 あなたに介護が必要な状態になった場合、どのような介護を望まれますか。

(○は1つ)

26.0 自宅での介護

40.8 老人ホームなどの介護施設に入所

31.5 よくわからない

1.6 無回答

問29 「終活」とは、ご自身の人生の終末期について考える活動のことです。

「終活」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

94.8 知っていた

4.0 知らなかった

1.2 無回答

問30 「終活」を行っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

- 3.9 エンディングノートを作成している
- 1.9 遺言状を作成している
- 10.0 家族に相談している
- 3.9 その他のことを行っている ()
- 9.1 行う予定はない
- 58.9 予定はないがいずれは行いたい
- 11.0 わからない
- 1.2 無回答

◆ 生物多様性についておたずねいたします。

生物多様性とは、人間だけでなく、哺乳類や昆虫などの動物や植物など、地球上のすべての生きものが豊かな個性のつながりにより直接的・間接的に支えあいながら生きていることです。

生物多様性は人類の生存を支え、様々な恵みをもたらしていますが、一方では豊かであったはずの生物多様性は人間の活動によって急速に失われ危機にさらされており、地球温暖化による気候変動とあわせて大きな問題となっています。

問31 私たち人間もふくめたあらゆる生きものが、生きていくうえで欠かせない生物多様性の重要性についてどう思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

- 35.7 非常に重要である
- 46.3 重要である
- 3.2 あまり重要でない
- 3.1 重要でない (感じたことがない)
- 8.9 初めて聞いた
- 0.9 その他 ()
- 2.0 無回答

問32 川口市では生物多様性の保全を進めるうえでどのような施策が必要と思われますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 34.7 生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動
- 29.2 自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会
- 64.3 市内に残る自然(緑)の保護・整備や、緑地をふやす取り組み
- 50.1 地球温暖化防止の推進
- 45.9 外来生物(外来種)による在来生物(在来種)への影響の防止
- 18.3 自然保護団体等の活動への支援
- 2.2 その他 ()
- 3.8 無回答

◆ SDGsに関することについておたずねいたします。

SDGs（エス・ディ・ジーズ 持続可能な開発目標）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

問33 あなたは「SDGs」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- 64.6 言葉を知っており、内容も知っていた
- 20.7 言葉は知っていたが、どういうことかわからない
- 12.8 知らなかった
- 1.9 無回答

問34 SDGsの目標達成のために、あなたが日常生活や職場・学校等で取り組んでいることはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）（n=1,126）

- 47.9 取り組んでいることがある
 - 36.1 ア 日常生活の中で気づいたことを行っている
→例えばどのようなことをしていますか
()
 - 17.1 イ 職場や学校等で具体的な活動をしている
→例えばどのようなことをしていますか
()
- 51.5 特になにもしていない
- 0.6 無回答

自由記入欄

川口市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望等を自由にお書きください。

- ◆ 調査結果を統計的に分析するために必要です。ご協力をお願いいたします。あなたご自身のことについておたずねいたします。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

F1 あなたの性別は。

※あなたが認識しているご自分の性別を選んでください。

- 43.2 男性 53.3 女性 0.2 自由記載 ()
3.3 無回答

F2 あなたの年齢は。(年齢は回答日現在)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 2.0 20歳未満 | 7.2 40～44歳 | 6.1 65～69歳 |
| 4.3 20～24歳 | 8.1 45～49歳 | 7.1 70～74歳 |
| 5.6 25～29歳 | 10.3 50～54歳 | 15.2 75歳以上 |
| 7.7 30～34歳 | 8.5 55～59歳 | 3.0 無回答 |
| 6.9 35～39歳 | 8.0 60～64歳 | |

F3 あなたのお生まれは。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 29.2 川口市内(※旧鳩ヶ谷市も含みます) | 53.2 埼玉県外 |
| 11.1 川口市以外の埼玉県内 | 3.3 国外 |
| | 3.2 無回答 |

F4 あなたの職業は、次の分類ではどれにあてはまりますか。

- 2.6 専門職(医師、弁護士、大学教授、僧侶など)
5.8 管理職(官公庁や事業所の重役、部課長など)
25.5 事務・技術職(一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など)
9.8 販売・生産・労務職(店員、工員、職人、運転手、作業員など)
0.1 農林水産業従事者
8.2 自営業・サービス業従事者
12.2 パート・アルバイト従事者
3.0 学生
11.2 家事に専念している →F6へ
15.6 無職 →F6へ
1.9 その他 ()
4.1 無回答

F5 F4で1～8または11を選んだ方にお伺いします。あなたの現在の勤務先、通学先は、次のうちどれにあてはまりますか。(n=1,205)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 34.2 川口市内 | 44.1 東京都内 |
| 15.2 埼玉県内(川口市以外) | 4.3 埼玉県、東京都以外の道府県 |
| | 2.2 無回答 |

F6 あなたの家族構成は、どれにあてはまりますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 14.6 ひとり暮らし(単身世帯) | 5.6 親と子と孫など(3世代以上) |
| 23.9 夫婦のみ | 2.7 その他() |
| 49.3 親と子(2世代) | 4.0 無回答 |

F7 あなたのお住まいは、どれにあたりますか。

- 50.3 持家(一戸建)
- 20.9 持家(分譲マンションなど集合住宅)
- 21.4 民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)
- 1.9 UR都市機構(旧公団)・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート
- 1.1 社宅・公務員住宅など給与住宅
- 0.3 住み込み、寮、寄宿舍など
- 4.1 無回答

F8 あなたは、川口市(※旧鳩ヶ谷市も含みます)にお住まいになってどのくらいになりますか。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 18.2 生まれてからずっと住んでいる | 15.3 在住して10年以上～20年未満 |
| 14.2 在住して5年未満 | 12.6 在住して20年以上～30年未満 |
| 8.4 在住して5年以上～10年未満 | 27.5 在住して30年以上 |
| | 3.8 無回答 |

F9 あなたが住んでいる地域は川口市内のどちらですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 8.7 中央地域 | 5.1 新郷地域 | 12.8 戸塚地域 |
| 10.4 横曽根地域 | 8.5 神根地域 | 11.8 鳩ヶ谷地域 |
| 13.2 青木地域 | 10.8 芝地域 | 3.1 無回答 |
| 10.2 南平地域 | 5.3 安行地域 | |

※回答のための住所一覧と地図です。回答は上の番号に○をしてください。

1 中央地域	本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1～3丁目
2 横曽根地域	川口4～6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木
3 青木地域	青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川
4 南平地域	朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町
5 新郷地域	赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、榛松、新堀、江戸、江戸袋、本蓮
6 神根地域	安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町
7 芝地域	芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎
8 安行地域	安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽
9 戸塚地域	戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚缺町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵
10 鳩ヶ谷地域	坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和



※この地域分けは、今回のアンケートだけの区分です。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

「紙」で回答する場合は、本調査票を返信用封筒に入れて **9月2日(月)まで** に郵便ポストへ投函をお願いいたします。

切手は不要です。調査票及び封筒に記名の必要はありません。

「インターネット(スマートフォン、パソコン等)」で回答する場合は、調査票1枚目の URL を入力するか2次元コードを読み取ってアクセスし、**9月2日(月)まで** にご回答ください

令和6年度
総合計画のための市民意識調査結果報告書

令和6年12月

発行：川口市役所

編集：川口市企画財政部企画経営課

〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110(代表)